女學世界

第八巻
第四號

博文館發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

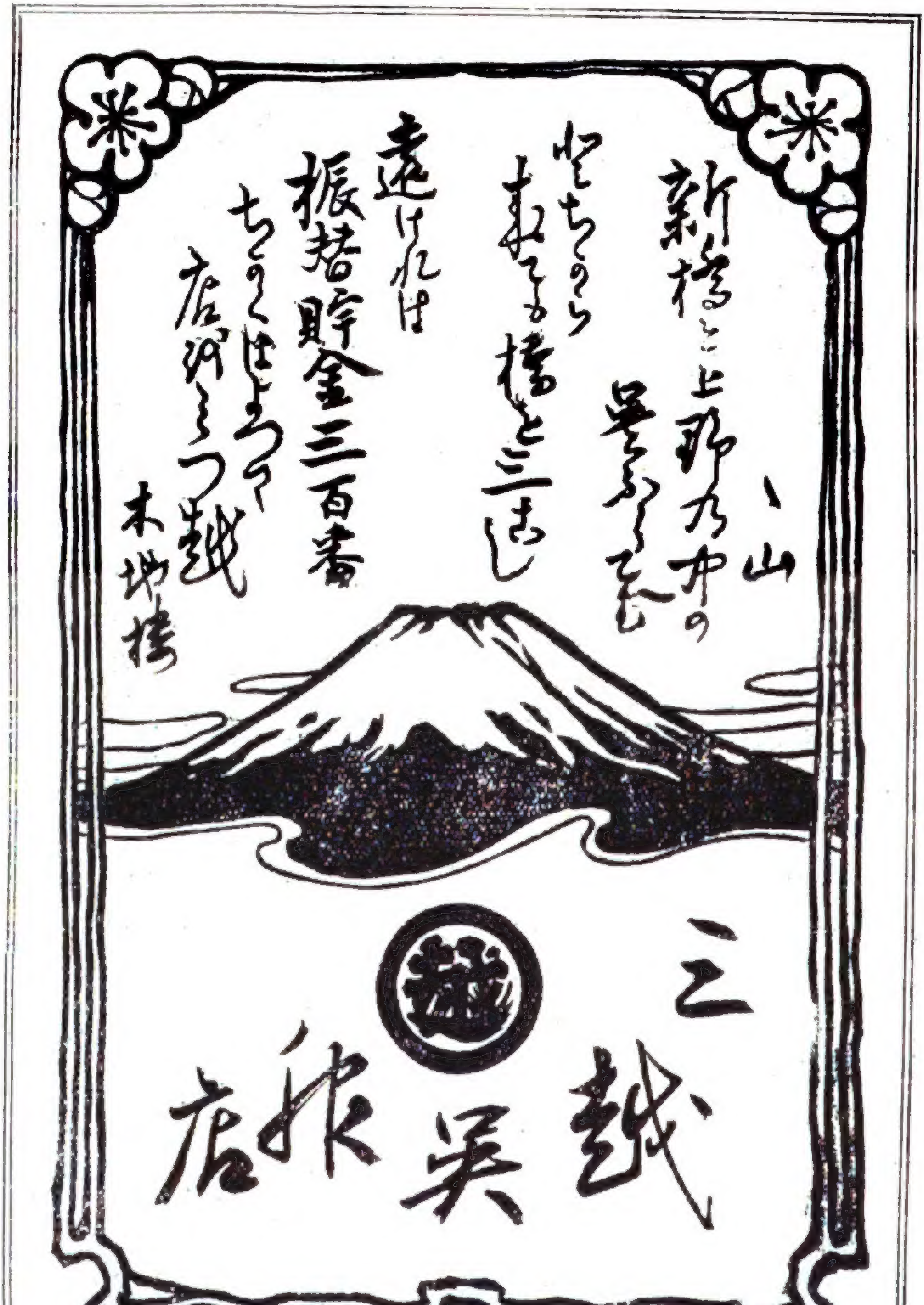
美顔水は天下唯一の美白光艶劑なり

化粧用美顔水は品質最もよろしく方今満天下の貴婦人令嬢佳人爭ふて之を用ゐ賞賛の聲囂すし色を白くしきめをこまかに光艶をだしうつくしくなる殊に化粧に用ゆればおしろい意のまゝにのりむらにならず常に用ふれば「花の顔せ雪の肌となり」眞に玉を欺く美しき顔となるべし

（本品御購求の節は化粧用美顔水と御指名を乞ふ）

▲東京市内は勿論日本全國各地いたる處の有名なる小間物店にて販賣す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女學世界 第八巻第四號 目次

▲虚榮に呪はれざる生活（二）……安部磯雄
▲世界同胞會の事業（一二）……某英國婦人
▲趣味ある婦人の趣味ある態度（一七）……婦人記者
▲世間を知るは奥様の役目（三二）……津田梅子女史
▲繪葉書の活用（三九）……ボールス夫人
▲新婚の夫婦に與ふ（四五）……大町桂月
▲幸福術の研究（四九）……前田越嶺
▲私の希望（五四）……蒲公英
▲世の飾りとして見たる女（五九）……金盞花
◎奥様の品格下落
▲情界の波瀾（六五）……泊子
▲結婚と人格（七二）……江湖子
◎醫學博士の禁酒論◎小説家の結婚論
▲妾は何故に尼となりしか（八二）……堀井貞乘
▲貌の觀察（八七）……賤子
▲女學生間の惡傾向（九三）……伊藤銀月
▲四季燈影（一〇〇）……むらさきめ
▲彌生の空（一〇三）……杉浦翠子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲私の子供を亡ひし原因（一〇六）……理學博士 横山又次郎
▲青山女學院の寄宿舍（一一三）……翡翠女
▲手輕に出來る子供服（一一八）……松江美佐子
▲分娩一ヶ月後の母子（一二九）……糸左近

◎衛生顧問

▲よしなし言（一四二）……静子
▲迷信の科學的研究（一四五）……山本迷羊
▲桃に就てさまざまの研究（一五六）……林天然
▲洋食道樂（一六三）……小式部
▲臺所に金を掛けぬ工夫（一六八）……翠香

◎人事活斷

▲虚榮の生活家（小說）（一九三）……藤なみ子
▲磯の悔悟（小說）（一九九）……寶子

口繪

◎青春（榊原蕉園）◎雛祭（佐藤生巣）◎春草（加藤南山）◎桃さく里（河崎蘭香）◎繪葉書（杉浦非水）◎さえづり、若草（加藤南山）◎玉（一條成美）◎峯踏大口鯛二）

寫眞版

◎大給子爵の家庭◎世界同胞會本部◎皐月會演奏會◎河本國手の家庭◎春の海◎東洋女藝學校の假裝◎貴婦人の集り◎女子高等師範の幼稚園◎女子共立會の假裝◎子供の洋服

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

仙嬢か

天女か

仰ぎ見る目も神々敷燦然として衆星の中に異彩を放つ物こそ大日本化粧界の白眉

たつた白粉

求め給へ召したまへ召して鸞鏡に向へば桃李の御姿濃やかに芙蓉の御粧を添へん

たつた白粉は新式白粉の總てに優越する、のび、つや芳香の清新高雅なる點に於て上流貴婦人に好評を博す

日本大阪仁壽堂分店製造

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

束髪用三枚櫛

（大西白牡丹戊申流行案内其の三）

一上流御夫人向としては本鼈甲製の無地物か又は圖の如き菫花其他優美なる草花模様を精巧に彫刻し銀色の眞珠を嵌入致せしもの

○三枚一組の價壹百圓、八拾圓、六拾五圓、五拾圓、三拾五圓

一一般御夫人令孃方の御用には黑甲臺へ金銀靑貝等の象嵌にて花鳥山草模樣を現はせし物と金地蒔繪へ彫刻を配合致せし物と種々有之候へ共槪して大模樣流行に御座候

○三枚一組の價廿五圓、十八圓、十五圓、十二圓、九圓七圓

一實用向としてはゴム製にて外見黑甲臺と同じ樣なる金地蒔繪又は彫刻せしものにて

○三枚一組の價四圓、參圓半、參圓、貳圓半

東京市京橋南傳馬町

大西白牡丹

店主　大西榮輔

振替貯金口座九二一九三番

長電話本局三十番三千番

女（いの一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

博士の信用と紳士の愛用

東京に於て帝國大學の教授諸氏を始め各生徒間に石鹼以上の實用品として流行せるクラブ洗粉は信用尤も厚く今や全國の化粧品店に於て紳士の洗面用として賣行頗る盛なり

（いの二）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

化粧品と家庭

村井弦齋氏の

宮中及各華族方の愛用盛んなるクラブ洗粉は有名なる村井弦齋氏の家庭に於ても一昨年六月以來舶來石鹼以上の善良なる洗面料なりと賞讃せられ四十一年の今日に至るまでも續いてクラブ洗粉は實用せられつゝあり●●●尙又氏は婦人世界の日常生活法に洗粉は皮膚に正しく有効にして舶來石鹼は一個十圓のものと雖も學理上皮膚に有害なりとして近來日本婦人の如く外國貴婦人間にも洗粉の實用的流行盛んなる實例を示されたり

（いの三）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

胃活

右は明治二十七八年戰役後我國民の體格に付て余等大に感ずる所あり即ち日本人の普通病なる胃病患者を救濟するの目的を以て學理と實驗とにより共同研究の結果發見したる胃病新藥にして效能確著誠に驚くべし之を廣く天下に弘布し世の胃病患者を救はゞ實に大日本國民の幸福なり

陸軍軍醫監正五位　長瀬時衡 印
陸軍藥劑監從六位　石塚左玄 印
海軍軍醫少監從六位　日向次作 印
海軍大軍醫正七位　横井太郎 印
陸軍大軍醫正七位　門倉梅三郎 印

◎醫藥用胃活錠

は有名なる五大軍醫の合議製劑胃活を加減し更に二三の新特効藥を加へた新式の錠劑であつて、完全なる健胃劑として現今の世界に知られたる藥品中其類が無い重に醫藥用として作られしが、今回廣く世上に發賣することとなりぬ

◎胃活錠は携帶に便に飲むに湯水を要せず、飲めは直に溶解し他出の際隨時服用の便あり
◎歐米の民間療法とは、胃活錠にて胃弱症を治するの類なり

理想的健胃劑

(注意)
◎胃活は女の如し、胃活錠は男の如く、胃活よりは其力强し
併し胃活の爲する事の出來ぬのは女の爲する事の出來ぬと同じ道理である

胃活と胃活錠効能

◎溜飲◎胃弱◎慢性胃弱◎胃加答兒◎消化不良◎胃痛◎食慾不進◎宿醉◎食傷◎腸滿◎胸痞◎胃痙等一般の胃病に著大の効能ある靈藥なり論より證據二三週間分を試めし玉へ

▲定價▼

胃活	胃活錠
壹圓	壹圓
六拾五錢	五拾錢
四拾五錢	貳拾錢
二拾五錢	

●全國へ郵送料●

發賣本舗　東京銀座一丁目廿三番地　大阪南久寶寺町堺筋東　山田安民藥房

(いの四)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

英國レーバー會社製
理想的石鹼の發賣

東京日本橋區駿河町
三越呉服店
振替貯金口座
番

Digitized by Google
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

英國レバー會社製造

レバー石鹸

この石鹸が一番良い事よ！

東京日本橋區駿河町

㊂

三越呉服店

振替貯金口座 二六〇番

三個入一箱壹圓五拾錢　一個五拾錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三越の特約販賣にかゝるレバー石鹸

英國の石鹸王レバー兄弟商會は、英國皇室御用石鹸製造の命を受け、高等化粧石鹸の製造所として、其名已に世界に高し。さればレバーとさへいはゞ品質の純潔と優秀とをいふに等しく、理想的化粧石鹸といふも不可あるなし。

レバー商會は一週間よく三千二百トンを製し、其製品亦十數種ありといへども其最も高等なる化粧用としては、このレバー石鹸と爲す。其香氣はバイオレット、ロース、ヘリオトロープ、カーチーション、ムスク等數種あり。今や三越呉服店は之が特約販賣を引受け、未だ嘗て我國に於て見ざる非常なる廉價にてこの世界無比の理想的石鹸を發賣せり。讀者諸君乞ふ、一度之を試用ありて、三越が之を世に弘むるの熱心を嘉したまへかし。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京日本橋區駿河町

三越呉服店

振替貯金口座三〇〇〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

肺病患者に告ぐ

私儀明治廿一年の十一月以來慢性肺病に罹り各地の名醫は勿論妙藥なりと聞く毎に精補の良藥を服し東京市内有名大家佐先生の診斷服藥し醫は横濱東逸科院長（「ドクトル」）い藥劑も其効なし豆州熱海相州箱根上州草津温泉何れも兩三年入浴するも異狀なく其外鍼灸限なく療養したるも効驗更になく漸次重症となり廿八年四月頃には時々喀血して皮膚青白く身體非常に衰弱し日々發熱し咳嗽甚しく能村同様に成早此の上は數方無之只死を待つの外なしと然るに私は病中臥褥の内と雖ども常に書見するの癖あり一日家藏の古書を點見する中文政の頃大阪の名醫時に遊學し臥人より授りたる肺病必治の奇法間者と云ふを發見し試みに數包を調劑して服せしに不思議に爽快を覺え尚續て服するに徐々快方に赴き四週間餘りにて全く根治したり然るに大患を斷なくしも容易く根治して實に蘇生したる思ひにて此の療術さの餘り未來肺病患者と聞く毎に川實を合けて試みせしもの五十四人皆共に全治せざるものなし實に驚く可き世界唯一の肺病奇藥なるを以て寧ろ之を世に公にして數多の肺病患者を救護せよとの勸めを受るに至り遂に肺治散と名つけ内務省の御檢査を經り弘く世の肺患者に發賣する事となれり然るに本劑の効驗非凡なるを以て發賣以來日尚淺きにも不拘内地は勿論數に**米國紐育市タイヤーガ商會及び印度バタビヤヒイアエーテス社**等へ續々輸出す專ら高評を博し服用諸君よりは全治の禮狀實に四千六百餘に達せり然るに此奇藥を知らず種々に迷ひ[illegible]に惱める人士なきにもあらじ天眞を完ふせんと欲せば速に本劑を服して難病根治の一大幸福を得よ

藥價 七日分貳圓●十四日分四圓●廿一日分五圓●卅五日分七圓五十錢●七十日分十四圓逓送料十錢●爲替局名は人森局宛取組の事

主治効能●肺結核●肺炎●氣管支加答兒●肋膜炎●肺炎加答兒●たん咳等肺病一切より起る諸病を根治する偉功ある

用法及び詳細は本能書にあり但し本舗へ直接御注文の時は病狀の模様を詳細に記入申込を乞ふ

東京府下荏原郡入新井村字不入斗二百十四番地

調劑本舗 川名助次郎

東京神田區花房町二番地 山崎帝國堂
横濱吉田町二丁目都橋際 永井永進堂
東京神田區松本町二丁目 福井甚藏
東京小石川區諏訪町六 大塚正進堂
大阪心齋橋筋二丁目 丹平商會
仙臺新傳馬町 櫻井伊之助
東京銀座一丁目 佐々木玄兵衛
横濱市吉田町二丁目 永井永進堂

肺治散特約店

東京銀座 岸田吟香
東京日本橋區本石町 守谷萬次郎
東京兩國米澤町 高田安五郎
大阪西横堀舟町橋西詰 賣藥卸賣株式會社
富山市東四十物町 中田清兵衛
東京銀座 松澤八右衛門
東京日本橋區瀬戸物町 長置金八
東京日本橋區上槙町 安川兒玉堂
長崎市船大工町 片塚七郎
東京神田區鍛冶町 大木合名會社
東京日本橋區本町 大橋博愛堂
東京兩國米澤町 大木口哲本店
大阪堺筋伏見町 谷岡春堂
水戸市上市泉町 三加納與右衛門
東京日本橋通 中田清兵衛出店
東京日本橋通 [illegible]
東京兩國 [illegible]
越後國長岡町 藤井[illegible]

（全國到る所の有名なる藥舖にて販賣せり尚一無之地は本舗へ申越次第特約す）

（その一）

Google

新案特許

最新式衛生米磨器

◉此の米磨器は實用と堅固とを主としたる金屬製にして幾年使用するも破損致しません使用法は誠に輕便にして米は決してくだける恐れはありません

◉上の木製把手を廻せば手を濡さずしてお米が磨げます

◉針金の處を押せば磨ぎたる水は米の中にある砂と埃と共に自由に流れ去り別に打揚げ笊もまたバケツなどもいりません

◉此の器を使用せらるゝ婦人はひびあかぎれのきれる氣遣はありません實に衛生に適ひ極めて便利重寶なる臺所道具です

◉たがのかけかへ入費がいりませぬおけをおもとめになるより安き代價にて此便利のものがかへます

定價

▲一升器 八十五錢　▲二升器 一圓十錢

▲三升器 一圓卅五錢　▲四升器 一圓八十錢

▲五升器 二圓四十錢

◉市內は御報次第無料持參◉市外は荷造送賃共廿五錢申受候

◉特約販賣御望の方は御申越次第御相談可仕候

女(ろの二)

東京市京橋區月島西仲通十丁目十一番地十一丁目一番地

米磨器製造販賣所

(電話浪花三九一九番)

Google

さあ諸君！
是れから運動會と云ふ僕等の得意の時節が近づいて來たから今から大に活動して懸賞『メタル』を手に入れる準備をしなければなりませんよ。それには第一皆んな洋服でなければ不自由で不活潑で和服ではとても運動會には勝てはしませんよ。諸君お揃いに何所か一番能い洋服店に注文しよーぢやありませんか。花子さん貴孃も廿世紀の令孃ぢやありませんか不活潑の和服を止めて洋服に改正し給へな

男女小兒洋裝

私のお母様が先達て横濱辨天通り四丁目（電話三四四番）の中野屋と云ふ洋服店へ注文して下すつてもう出來上て來て居りますよ。先の日曜に其洋服を着て寫眞を取つたのよ大變能い格向で御價段も東京よりはずつと安いと云つて一昨日赤坂のお伯母さんが御見えになつたときも私の從姉の富美子さんにも是非一揃買つてお上げなさいと云つて切りに御薦めして居りましたよ。
それに先月から東京麴町内幸町一丁目五番地の旭館（電話新橋三一七六番）と云ふ家へ澤山洋服をならべて横濱の本店の方から店の人が來て居て電話を掛けると直に男の子のでも女の子のでも孩兒の洋服でも丁度大きさの合ふ樣なのと色々小兒服の雛形の本を持つて來るさうですから文雄さんの樣な『ハイカラ』の方は是非一度電話を掛けて其洋服屋を呼んで見て御覽なさいな

女(その二)

Google

カメリヤ
あらい
洗粉
艶麗花の如く純潔雪の如き
美貌は本品の愛用によりて顯る
カメリヤ洗粉は最新の化粧法に基き學理的に配劑なせる高等美身術に適したる最良の化粧料なれば皮膚の營養を助け、きめを細かに光澤を增し肌膚を艶麗美白ならしむる特効を有し其香氣の優秀なる永く身邊に薫りて自ら快感を起さしむ
殊に寒冷に過ふて肌を荒害する憂なきは全く本品の純良なるが故なり
定價
大瓶 壹個 廿五銭
小瓶 同 十五銭
大袋 同 五銭
小袋 同 三銭
箱入 同 十三銭
發賣元 ライオン歯磨
本舗
東京神田 小林富次郎
(その四)

Google

盛春

榊原蕉園筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京上野廣小路
●高等美髪油●
松みどり香油
定價
大壜四十五錢
中壜二十錢
小壜十二錢
一合卅五錢
山崎油店

恭賀新年
千九百七年式巴里流行
乳狀薄化粧
フェースクリーム
最も日本婦人に適應して而も皮膚の營養滑澤に實効ある佛蘭西新式
煉白粉代用品
注意（普通のおしろいの如く多量に用ゆべからず）
顔面美的の價値は
FACE
CREAM
使用後一回毎に
實現す
（定價一瓶金三十五錢）
東京市日本橋區本町二丁目
高等香油チエリーオイル本舗
發賣元 高橋初次郎
（全國至る處の化粧品店小間物店に在ります）

(はの二)

幼年畫報臨時增刊 第三卷第四號

全一册 洋裝大判 美麗口繪澤山
正價金拾錢 郵稅(本號限り)貳錢

さゝなみ作
山中古洞畫

坊のお家

附錄 お花のお噺
イロハ太郎

三月二十日發行

坊のお家わよいお家、お父さんお母さん、お祖父さんお祖母さん、兄さんや姉さん、坊やの好きな人ばかり、坊のお年わ片方のお手々、おもちや箱にわお馬に電車、汽車わしかけでよく走る、手のない人形、足のない犬ころ、みんな坊やの大切な玩具、庭にや金魚のお池もあるし、窓にや小鳥の籠もある、坊のお家わよいお家、兄さんや姉さん、御飯をたべて學校へ行くが、坊は座敷で玩具と遊ぶ、夜わ祖母さんのお噺きいて、いつの間にやらグウ〳〵〳〵、坊のお家わよいお家。

東京本町 博文館發行

(はの二)

Google

自宅作文獨習良師友

懸賞（募集）課題 ○お伽噺○新派和歌○短篇小説○日記文○新體詩○實用文○俳句 ○新論文○舊派和歌○美文○短文○繪畫○新歌謠○滑稽談○餘興

（賞外）○學校通信○文學顧問 ○誌友思ひ／＼の事柄

選評 嚴谷小波、小栗風葉、横瀬夜雨、與謝野晶子、谷江風 中村文學士、佐々木信綱、内藤鳴雪、山中古洞、編輯局

▲詳細は見本（僞拾錢 送壹錢）に就て御覽下さい

本誌は三十八年一月創刊

投書は誰でもよい

日本唯一 女學雜誌

女子文壇（ぢよしぶんだん）

發行 毎月一日 增刊四回

口繪 名畫光澤紙原色刷 寫眞肖像風景數葉

定價 壹冊（百卅頁）金拾錢送料壹錢○半年分（八册）送共金八拾四錢○壹年分（十六册）同金壹圓六拾錢○郵券代用壹割增

低廉無比好評

●四年第四號 三月一日發兌

●四年第五號 四月一日發兌

臨時增刊 ●文壇の花 新案大懸賞新作 四月十五日發兌

紙數二百五十頁 定價 金貳拾錢 郵税 二錢

▲注意！一號より取揃あり最寄書店に品切の時は振替貯金拂込法により直接發行所へ御申込を乞ふ▼

東京 京橋區大鋸町 十、十一番地 【振替貯金口座第壹七貳九番】 女子文壇社發行

電話新橋 本局六百七番

特約發賣所 ●神田東京堂、上田屋●日本橋北隆館、至誠堂●京橋東海堂、良明堂

其他取次店は全國各雜誌販賣店

（其の三）

Google

THE GEM
ゼム
學びの道にいそしみ給ふ
孃に讀みて「ゼム」をすゝめまゐらす
日本一手發賣
愛國堂 山崎榮三郎
支舖
大阪高麗橋二丁目 山崎兄弟商會
其他都鄙は全國各地賣藥化粧品店にあり
衛生家必携懐中良藥

Google

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◉るいれき(腺病)の特効新藥

金線草百錢

四百五十瓦入壹圓也(送費廿錢)
二百廿五瓦入壹圓五十錢(送費十五錢)

▲本藥はルイレキ(腺病)外科的施術を要せずして全治し再發の患なからしむ詳細は同藥の說明書(金線草私言)に記述しあり望の方には無料にて送呈す

製藥本舖 東京日本橋區本銀町四丁目五番地 **東光堂**

振替貯金七六六七番

△本藥は各地有名藥舖に於て取次販賣す

近代の大發明獨逸國プフォイフォル大醫學博士製

ヘモグロビン

血色素

登錄商標

此「ヘモグロビン」が補血滋養劑として偉大の効を奏することは全世界に於て認むる所なり弊店は率先此神劑なる「ヘモグロビン」を一手專賣契約を以て本邦に輸入發賣仕候處我有名なる大醫學博士諸先生及び各病院に於ては直ちに之を歡迎せられ貧血者、衰弱者、虚弱の小兒腦貧血者病後の人等に飲用せしめられたるに着々効を奏し「ヘモグロビン」の名稱滿天下に赫々たり然る所近來僞物並に僞物の輸入品現はるに付弊店は上部登錄商標を此の「ヘモグロビン」に貼付せり此商標なき者は僞物なれば需用者諸彦御注意の上御買求あらんことを乞ふ

◉効能書は御申込次第進呈

東京醫科大學模範藥局御用
大日本赤十字社病院御用

各國食料品問屋
海外直輸入商

東京市京橋區新橋竹川町 電話新橋七百卅六番

三組屋 **大塚塚造**

女(にのこ)

Google

英語世界

第一號以下數版を重ぬ　▲毎月一回五日發行
年刊十二冊菊判紙數六十頁以上　毎號寫眞版及插畫數頁挿入

第二卷 第一號要目

●正月が三つあら（ホー杢作）熊本小習院教授●業談和歌と長谷川東京高等商業學校教授●英譯新年和歌・野口慶應大學講師●英譯數字雜感武信早稻田大學講師●深澤兵廉（マクスオーレル）……路中學校教諭●Syllabicationに就て岸本早稻田大學講師●新聞英語武勝タパンタイムス記者●名家英詩吟誦の研究……酒井勝軍●飛入學驗話增田早稻田大學講師●受驗學會手英語論講會……長井氏談●英語學校考英語の公式……佐川正則英學院講師●新年會話……野澤高等學校受驗々長●入學試驗解答（深澤）……一高資格檢定試驗……長井青郎●英譯一作お七つ屋……武信早稻田大學講師●英作日本の心得……武信早稻田大學●日用常語文語の雜誌……喜安璉太郎●時文研究英吉利郎……讀者研究室●新案英……（新年所感）……記者●英語演説法（新語かるた●百聞雜探し）……長坂●新課懸賞文拔萃……記者撰●懸賞探し●新題（和文英譯。英文和譯）會話雜探し書字、●雜錄（最輝小話。新刊紹介・英語倶樂部）

仝 第二號要目

●當新聞探訪員と語る……深澤兵庫野戰路中學校教諭●雜誌……山縣虎朝鮮英文記者●Syllabificationに就て岸本早稻田大學講師●對話（電車）……清水東京高等師範學校講師●沙翁の喜達を訪ふ……英太第四高等學校教授●短篇小説（コナンドイル）……今井關英學校講師●最近科學介紹……長井氏談●解釋練習：：增田早稻田大學講師●言葉の使ひ分け……S、K、生●飛入歸手英語論講會……長井氏談●英語慣用句伊藤神奈川縣中學校教諭●英詩吟誦の研究……酒井勝軍●入學試驗答解（長崎高等商業學校入學試驗）……深澤山次郎●英吉利の倶樂部……平田學習院教授●喜齋秀三郎氏を訪ふ：：東西生●英作文の心得……武信早稻田大學講師●英語雜誌……喜安璉太郎●日用常語（寒に關する語彙）：記者撰●時文研究……記者撰●英學大家吹込蓄音機●懸賞文拔萃、記者撰●懸賞新課題●雜錄（編輯餘錄。新刊紹介。英文通信紹介。英語倶樂部）

仝 第三號要目（三月五日發行）

●當新聞記者と語る（イークニーン）……深澤由次郎君●島高商教授箕讀●評註短篇小說……今井信之君●ンラブルの切り方……岸本能武太君●和文英譯（血付取）……武信由太郎君●英詩吟誦の研究……酒井勝軍君●受驗參考英語の公式物語……佐川春水君●今普通植物……野口米次郎君●最釋科學習……增田藤之助君●新縣語……長井氏談話●山の五十維氏訪問錄●會話達の歴奇……中學教師●諧英文賢談心得……武信由太郎君英語の雜筆……喜安璉太郎●君●對話「人をお先に使ふ」：：作英語研究●官立校英語受驗長井氏談●英學遊戲法●言葉の時文研究●英語大家氣編集●珍使ひ分け●英習字法懸賞拔萃及びらし新課題五種●國英文通信を紹介す

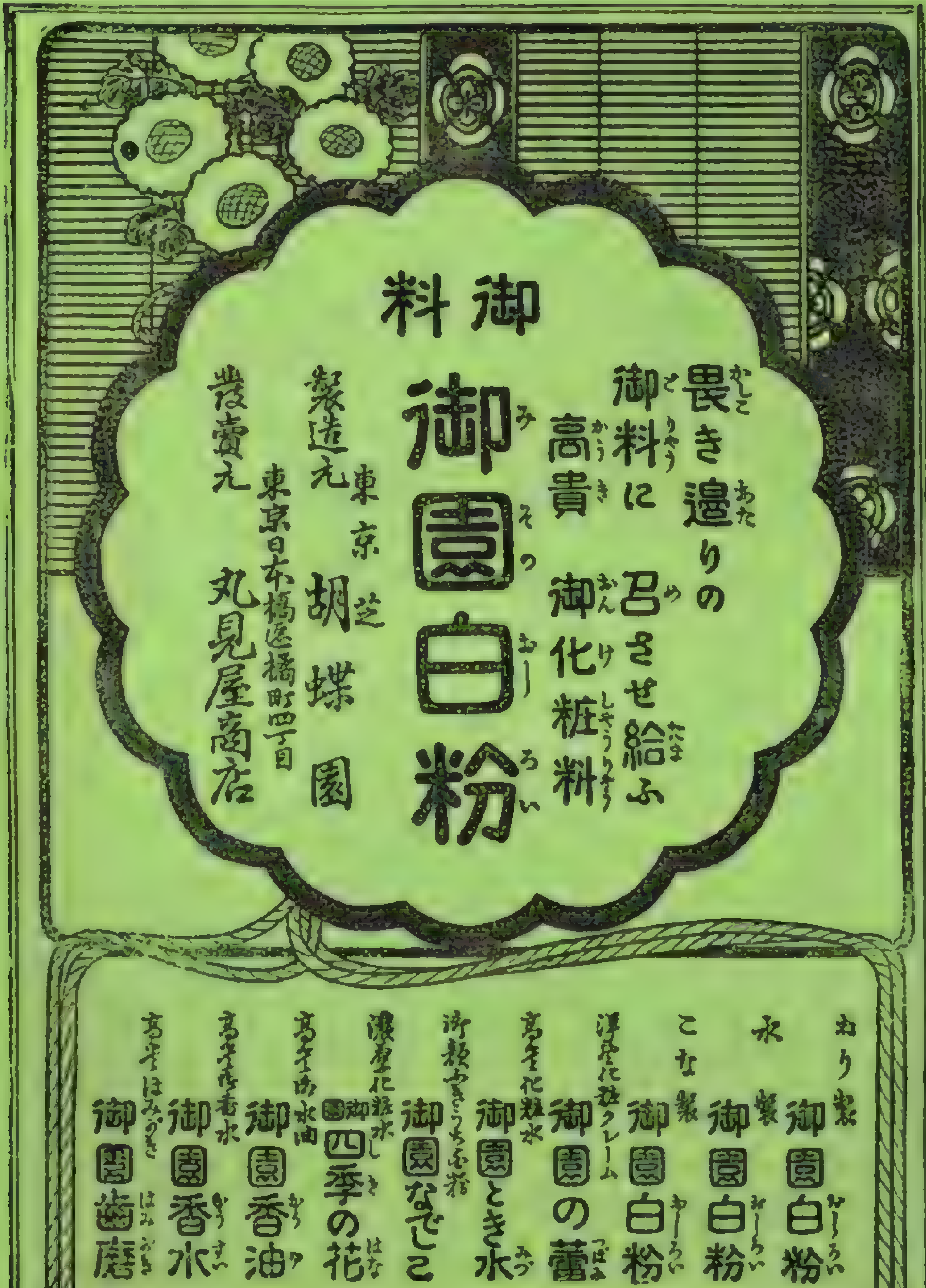
第一號以下取揃應需
▲正價金拾錢　郵稅壹錢　前金（十二冊金壹圓拾錢　六冊金五拾六錢外要郵稅）

發兌元　東京市日本橋區本町三丁目　博文館

Google

本邦に於ける時計商の元祖は
東京市京橋區八官町
小林時計商店!!!
電話新橋 一〇〇三
振替口座 七八〇七
電信略號 コ(又は)コハ
當店は宮内省東宮職各皇族家の御用命を拜し世上の信用益々厚く業務愈確實價格低廉無比!!!
營業概目
○時計 ○時計附屬品 ○ダイヤモンド ○各種寶石類 ○指環 ○帶留
○ブローチ ○かんざし ○根掛 ○手釦 ○立ピン ○眼鏡
○金銀製盃 ○花瓶 ○床置物 ○茶器類 ○紀念品一式

Google


御料
畏き邊りの
御料に召させ給ふ
高貴御化粧料
御園白粉
東京芝
胡蝶園
製造元
東京日本橋區橘町四丁目
丸見屋商店
發賣元
ねり製
御園白粉
水製
御園白粉
こな製
御園白粉
御園の蕾
高等化粧水
御園とき水
御園なでしこ
御園四季の花
御園香油
御園香水
高等はみがき
御園齒磨

春草

加藤南山筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

囀り

加藤南山筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

最上醤油
ヒシニホン

最上醤油
フジニホン

天下一品
マツニホン

特約販賣店

東京日本橋區北新堀町
合資會社日本醤油東京販賣所
（電話浪花一四六番）

東京酒類問屋組合

其他

酒醤油仲買店及
各小賣店に於て
販賣致候

最上醤油以下
數種あり

資本金壹千萬圓

釀造元

日本醤油釀造株式會社

東京深川小名木川通　電話浪花（長三七七三番 一五九五番）

女（ほの一）

Google

四六判總クロース製
極彩色模樣頗美本
紙數約三百五十頁
極彩色口繪十頁挿入

世界お伽完成 紀念出版

お伽花籠

東京本町 博文館發行

三月下旬發行

○犬の名前……西村渚山作 橋本邦助畫
○靈の水……沼田笠峰作 鏑木清方畫
○蝦夷の鍛工……吉岡向陽作 山中古洞畫
○琴の由來……高野斑山作 田代古崖畫
○爪助物語……竹貫佳水作 木村光太郎畫
○錦太郎……武田櫻桃作 宮川春汀畫
○金馬銀馬……黑田湖山作 岡野榮畫
○魔法の森……窪田空々作 杉浦非水畫
○お伽國大王……福田琴月作 岡谷洗濤畫
○赤天王……木村小舟作 名和永年畫

巖谷小波先生が前後六ヶ年の經營苦心になれる世界お伽噺は、玆に全部首尾完成を告ぐるに至れり、これ獨り我お伽界の最大幸福たるに止まらず、實に本邦教育界に貢獻したる事多大なるや言を俟たざるなり、即ち今先生の知友門人等相謀りて、これが紀念ならしむべくお伽花籠を編し、先生の勞に酬ゐんとするもの蓋し機宜に適したる快舉と云ふべし、花籠や上記著名のお伽作家の筆になり、加ふるに新進畫伯の彩腕なる密畫を以てし、花間更に錦を添ゆるの觀あり、世界お伽噺の愛讀者は是非一本を購はざるべからず、大日本少年諸子は須く之を歡迎せざるべからず。

Google

東京樂器製造所製
オルガン(金拾八圓以上)
山葉製オルガン(金拾八圓以上)
ピアノ(金參百廿圓以上)
鈴木製ヴアイオリン(金貳圓以上)
獨逸國直輸入ピアノ(金五百圓以上)
オルガン(金參百五拾圓以上)ヴアイオリン(金八圓以上)同上附屬品吹奏樂器
絃樂器各種
舶來樂譜
獨乙國製樂器
新荷着
目錄御入用の節は往復葉書にて御申越次第御送可致候
東京市本郷區湯島切通坂町二十七番地
南江堂樂器部
電話下谷一三三〇番・振替貯金口座一四九番・

六(ほの三)

醸造元
千葉縣野田町
茂木佐平治

天下一品
最上醬油

賣捌所は各地とも有名なる酒醬油店に有之候

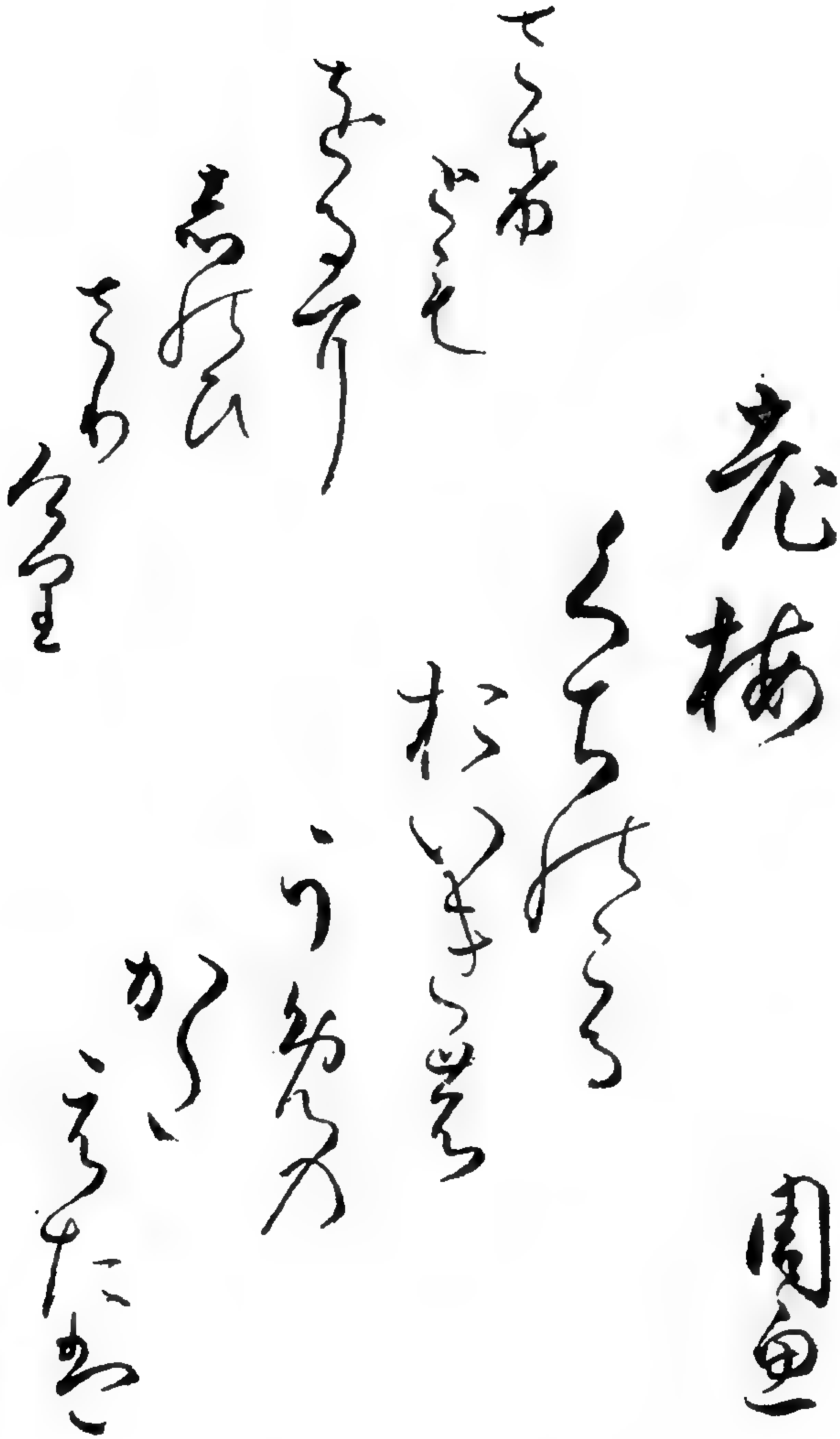
造花原料
八東京市九段坂
吉住商店に限る

營業種目
造花器具
造花材料
造花及半製品
造花用葉類
造花裝飾用達
摘細工材料
弊店の特色
注文ニ親切
品質善良
價格低廉
出荷迅速
營業用紙巾入用の方ハ東京市九段坂
吉住商店宛申込まるべし

Google

稚子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



大口鯛二筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美術造花材料
發賣御案內
造花用電燈
營業案內御入用ナレハ此切取御添ヘ御申越シ被下度候
盛籠用、花輪用、花簪用、枝花用等各種
營業概目。造花半製品、造花用染料、造花用器具
摘ミ細工材料、金銀モール、擬寶石、電氣用具線
切取線
東京市日本橋區橫山町壹丁目十八番地
天野卯兵衞商店
美術造花材料商
(特長電話浪花一六四三)(振替貯金口座四九七〇)

藤村島崎春樹君序
理學博士 齋田功太郎君閲
農學博士 稻垣乙丙君閲
田中貢一君著

洋裝菊判總クロース美本
紙數約五百頁
着色石版、繪十數葉
挿圖九十四個

(への二)

近日發行

著者は、植物學者にして、當時農科大學に其が專攻の學を修めつゝありと雖も、彼ねて文學に對する趣味深く、其造詣の深き、往々世人の意表に出づるものあり。著者は、世の所謂科學者の思想の餘りに乾燥にして、一に組織的事實の歴史家に過ぎざるを慨せられ、花界百般の事項を、一般家庭はいふに及ばず、其道にあらざる諸學生、或は文學者、神學者、哲學者等と雖も、無量の趣味と、絶大の興味とを以て、覺えず卷を解かしめ、自然の美妙、壯纖を味ひ得しむる樣、特に小說として發表せられたり、本書は、五月に於ける、金鳳華孃の講話に始まり、翌四月の春蘭伯の物語を以て終る、書中、愛らしき花子、勝の兄弟と、物美はしき此等山花との間に縷々として演出さるゝ光景の、如何に優しく、將た興味深きかをみよ！而して之が副たる幾千の山花の如何に書中に活躍たるかを見よ！書中の花は、悉くこれ活ける少女活ける紳士なり。花の聲は、悉くこれ活ける天の聲なり、其內容の豐富、該博にして記事の痛快、切實なる、此種の書類中未だ曾て見ざるところにして、優に、現時の自然科學界に於け●●●●●●る、破天荒の作物として推重するに憚らず。世の所謂文學と科學との調和を云々するの士は、先づ一度、本書を繙かざるべからず、信仰なく、生命なき世の科學者は、先づ本書によりて活きざるべからず、哲學者、神學者、夢想家は、先づ本書によりて、自然の美妙に觸れざるべからず、而して一般家庭の自然科學界に於ける好讀物としては、實に本書を措いて他に求むべきなし、著者の豫言に曰く『我邦の科學界は、早晩此種の書類によりて、其蒙を啓くに至らん』と然り、而して花物語は實に之が魁をなせるもの、思ふに、本書が、やがては滿天下の人士の極愛者ともなるに至らんは、豫め期待するところなり、

販賣用電話
本局二六二〇

發兌元 東京日本橋本町三丁目 博文館

振替貯金口座
第二百四十番

Google

慢性皮膚病を即治し肌を艶美ならしむ

◎イーセリン…の他薬に優れる特長はしみず●いたまず●一夜に効あり◎而も内攻の恐れなく能く難治の皮膚病を治するにあり

●田虫●いんきん●がんがさ●ひぜん●水虫●かゆがり●すりきづ●かんそ●くさ●しらくも●いとかせ●やけど●しつ●くつずれ●とびひ●にきび其他吹出物●諸毒虫の刺傷等總て皮膚病に用ひて奏効顕著なり

●薬價小十錢中二十錢大六十錢送料二錢

全國到る處の藥店にあり

若し無きときは發賣元へ

輕りん病新藥第一

▲「バロール」は新發見に係る根治的良劑で一回服量僅に三粒而も其効驚くべきで有る

藥價三日量卅錢▲七日量六十五錢▲二週量一圓二十五錢▲三週量一圓八十錢（郵税不要）

陸軍々醫藥劑官實効証明

用量僅少奏効迅速是特色

▲「バロール」は百藥其効なく時々發る●慢●性●淋●病●消渇に驚くべき偉効を奏し確に此恐るべき●難●病を根治せしむ

發賣 東京神田鍛冶町 大木合名會社 振替貯金口八〇番

全國到る處の藥店にあり

若し無きときは發賣元へ

女（への三）

Google

不思議！！不思議！！

女（への図）

若しも是れが五十年以前に世に出たならば無論切支丹バテレン宗の魔法妖術として、忽ち幕府の宗門係のお咎めを蒙つたのであらうとは某老婦人が『乳白化粧水レート』の不思議なる効驗に驚いての懐舊談なり、成程そのむかし、雪の水を以て化粧すれば其雪と等しく顔の色も眞白になると、至極無造作の考を持て居た時代より見れば、其不思議に驚かるゝも、全く無理ならぬ事と謂ふべし出來此『乳白化粧水レート』が男女の皮膚に不思議の効驗を顯はせるは、其原料が牛乳の主成分より成れる、理化應用の働きに基くとは云ひながら製造發賣者それ自身すらも斯までに確實の効力があらうとは豫期せざりし位にして、今日貴婦人御令孃間に高評嘖々として歡迎せらるゝに至ては宛然、左甚五郎の人形が其眞に迫りて活動を擅まゝにせしが如きの感なき能ず夫は兎も角、美しき花を開かしめんには、又豫じめ良き肥料と培養の注意を要すると同様、何れの家庭にせよ、麗しき笑顔の美を粧ひ、文明の事實を交際場裡に揚げんと思召す御方々は常に、容顔玉姿の肥料として最も之れに適當なる『乳白化粧水レート』の御使用を必用とす。

（定價）特別大瓶金壹圓。大瓶五拾錢。小瓶參拾錢。送料金八錢。

到る所の文明的化粧品を販賣する店にありにせものあり『乳白化粧水レート』の文字及び『發賣元平尾贊平』に御注意を乞ふ

女學世界愛讀者に限り定價の一割引

發賣元 東京市馬喰町一 大阪市南久寶寺町二 **平尾贊平**

Google

桃園

河崎蘭香筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭寶典

●●題字、序文・久我侯爵・大隈伯爵・澤柳文部次官・坪井理學博士・小杉文學博士・井上文學博士

●●題歌・序文・公爵母堂近衛貞子・侯爵夫人鍋島榮子・伯爵夫人柳原花子・赤堀有識故實家・子爵夫人入江信子・男爵夫人千家俊子

●女子裁縫高等學院長小出新次郎著

◎和洋裁縫大全

全三拾册 再版

●豫約申込期限は三月三十日限●見本豫約方法主要項目、入用の向は端書にて申込あれ直に進呈す

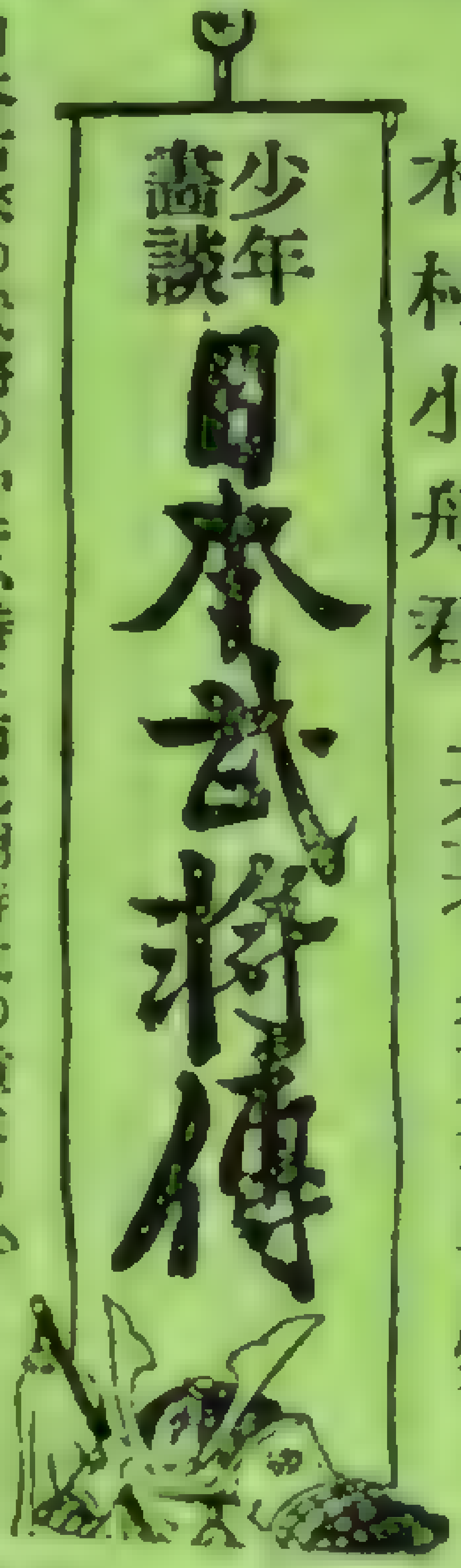
本書は斯道の大家として世に識れたる女子裁縫高等學院校長小出先生が一世一代の事業として積年教授の間にく／＼筆を執られたる者にして資料の豊富なるのみならず何れも工藝上の原理原則に法りて說き起しあり而も通俗的にして其說明の親切丁寧なる斯道の參考書としては古今無比の良書であります

●發行所 豫約申込所 東京市青山原宿貳百〇九番地 女子裁縫高等學院出版部

豫約申込所 東京神田 東京堂　大阪市久寶寺 前川書店　濱松 谷島屋書店　京都烏丸 東枝律書房　廣島 積善館　金澤 宇都宮書店　德島 博向堂

Google

武田櫻桃君
木村小舟君 共著
（好評再版）



日本古來の武將の中で、特に南北朝時代の重なる。忠臣の事蹟を述べたのが本書であります、著者は多年此種の著述に經驗ある人、其平易にして趣味ある筆は、多數の木版畫と相俟つて、少年諸君の好伴侶たるべき、至極可愛らしき好冊子となつて出ました、されば諸君は、此書に依つて古英傑の人となりを知り、併せて忠君愛國の志を養ふことが出來やうと思ひます、幸に御購讀あらんことをお勸め申します、

全一冊

洋裝菊判美本
紙數約百六十頁
正價 貳拾八錢
郵稅 四錢

賴襄子成著 久保天隨君訂

重訂 日本外史

（既刊發賣）

全一冊

四六判總クロース上製
紙數 八百餘頁
定價金七十五錢
郵稅 八錢

賴氏の外史、一たび世に出づるや、幾んど家ごとに一篇を藏し、刊本亦た數種の多きを算す。然れども、迭に多少の得失あり、終に完本と爲すべきものを見ず、本書は、あらゆる異本を蒐集して、この長處を合せ字體の詭異卑俗に渉るものは盡く其正に從ひ字句の異同は皆之を註し。なほし篇中人物の官位通稱小字を欄外に載せ、校訂嚴密、一字の誤訛なきを期す、庶幾はくは以て外史の定本たるを得む、加ふるに携帯の便又他書の比に非す。

東京 博文館 本町

（その二）

Google

毛のはへる藥

多年實驗の生毛劑にして特効驚くべき奇藥

一圓●一圓半●[illegible]二圓半●三圓半送料十錢

養散 やせる藥

●血ぶとり、あぶらふとり、酒ぶとり、顏赤く、のぼせ症等總て肥胖質の人用ひて害なく身體美容となる保證藥なり

●定價(一週)七十錢(三週)二圓五週三圓廿錢送料十錢

皮膚病專門藥

にきび	いんきん	たむし
あかはな	ざくろ鼻	あざ
ぜにがさ	ひぜん	わきが

本劑は獨逸國皮膚病研究所專用法劑にして特製一瓶にて全治保證又おいこむの憂なし

小瓶五十錢中瓶一圓大瓶一圓五十錢特製二圓送料十錢

專賣本舖　東京本郷區本郷三丁目　新宮藥館

三大博士發明

神經衰弱 貧血頭痛

ヒステリー陰痿等通俗的症候解治療法攝生法依ト足的聖根治藥詳說の雜誌をハガキで申込次第無代進呈す

肺病救濟

アドロフ博士新發見肺結核治療藥は我國醫界新紀元也我國に傳へ公私病院長廿七名の不思議の効果を確認ぜる全治報告根治療法詳說の雜誌を救濟の爲無代進呈ハガキで申込……

東京京橋越前堀　樂天堂藥房

◎圖書目錄　御入用の方は往復葉書にて御申越次第直に送呈す

東京日本橋區本町　博文館

男ちぢれ毛　女くせ毛　赤毛

は何程の難毛も直に根治黑殺し良き髮の出る奇術を郵券封入申込の方に無料教授習て美髮にして差上げます

東京麻布區材木町　岩阪

女(その三)

Google

貴婦人はドンナ白粉で化粧をなさるのでしょう？

大學の專門大家が最新の學理を應用し發明せられたる**大學白粉**。。は毫も鉛毒の慮なき美容と衛生とを完備せる絶好の化粧料として畏くも高貴の御料となり無上の光榮を得たる高尚名譽の白粉にして品質の純良なる芳香の高雅なる容器の優美なる眞に善美を盡せり今や滿都の貴婦人淑女は擧て本品を愛用せられ高評嘖々たり

定價　大瓶三十五錢　小瓶廿錢

令嬢方のお化粧にはドンナ白粉が一番善いのでしょう？

東京本舗並ニ全國各地の信用ある名化粧品店に販賣す

女（その四）

Google

大給子爵の一家

右より子爵母堂、子爵夫人米子、當主近孝子、令弟近詔氏、令弟夫人統子、令妹綺子

世界同胞會本部

本部は米國カリホルニヤ州ポイントローマに在り、下圖は會長カザリン女史（記事參照）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女學世界愛讀者に限り一割引

毛髮を黒く長くふさ〳〵する 椿油にて精製したる ランランオイル

色を白く肌を艶麗ならしむる 牛乳レモンにて製せる ランラン化粧水

兩種共一瓶定價各卅錢送料八錢づゝ

毛髮の營養には椿油ほど好い者はありませぬこれは衞生大家及び毛髮を大切にせらるゝご婦人方の實驗證明せらるゝ處でありますが此普通の椿油は厭らしき臭氣がありますから之を除去せねばなりませんランランオイルは最も純良なる椿油に毛髮の營養に必要なる藥劑を加ひロースバイオレツトの高貴なる香料を以て彼の惡臭を防ぎ毛髮の助育を專一としたる香油也

發賣元 大阪西區新町通三丁目
福田源次郎商店
電話西千六百壹番 振替口座六〇八六番

皮膚の營養には牛乳に勝るものなきことは皆樣のご承知のことでありますが近頃亦レモン液の肌を純白ならしめ殺菌の効あること發見せられ醫學大家の盛に賞許せらるゝ所となりましたランラン化粧水は此配合に困難なる牛乳とレモン液とを最も完全に調配したる最新最良の美顔劑にして色を白くし小皺を伸し吹き出ものを除き夏季の日焼け冬季のあれを防ぐ特効ある化粧水なり

Google

第一二號共多大の部數を發行せしも好評の爲めに再版を爲せり

第一卷第三號　三月一日發行

毎月一回一日發行　洋裝大判（四六判二倍大）紙數七十二頁

正價一册金拾錢　郵税一册壹錢

最珍 口繪

取引所內立會活況——歐米に於る銀行

破産の慘況——徒弟學校實習——小

偕上りの清國部總督

字々千金の讀み物

小僧より立身した清國部總督　山本氏

英國造船會社少年職工美質　寺野博士

商家小僧必然成功法　池田銀行取締

鐵道員となる第一の要素如何　笠井博士

商家受取書展覽會　有名商店の受取書類實物見る如し

砂糖の過去現在未來

切れる物切れぬ物

賭博場視察取引所

小說初奉公

商業會話

天秤棒一本で百萬圓

日本に見られぬ米國小僧　會長

予のマニラに於る實業　マニクニ氏

實業家の衞生　佐々木學士

彼は船人夫なりき　金子紫林

市長は石鹼屋に如かず

商館のボーイ・指定電報の例・國家生活の干城・職工パン屋成功談

大懸賞電信

文募集

大懸賞考物募集

其他記事皆ためになる面白きものばかり

急告!!! 實業に志す明治の少年諸子

東京 博文館 本町

Google

●子を持てる親 病人のある家人は必ず讀め

ね小便袋

衛生最良御用輕便ね小便袋は洗濯の世話なく手數を省き小便は袋の外へ洩れず蒲團を汚す事なく常に清潔なれば**老人小兒**病人の最も必要にして、ね、をき、たち、すわり等は寝ても差支なきは本品の特長なり（男女の區別あれば御注文の節御注意を乞ふ）

原料騰貴せし**並個**に付**拾五錢**より

定價小人用八拾錢 中人用壹圓 大人用壹圓八拾錢 小包料拾錢別

手代用一割增 ○大阪市南區南慶町

振替口座八一九八 **常盤號雜貨部**

美術造花

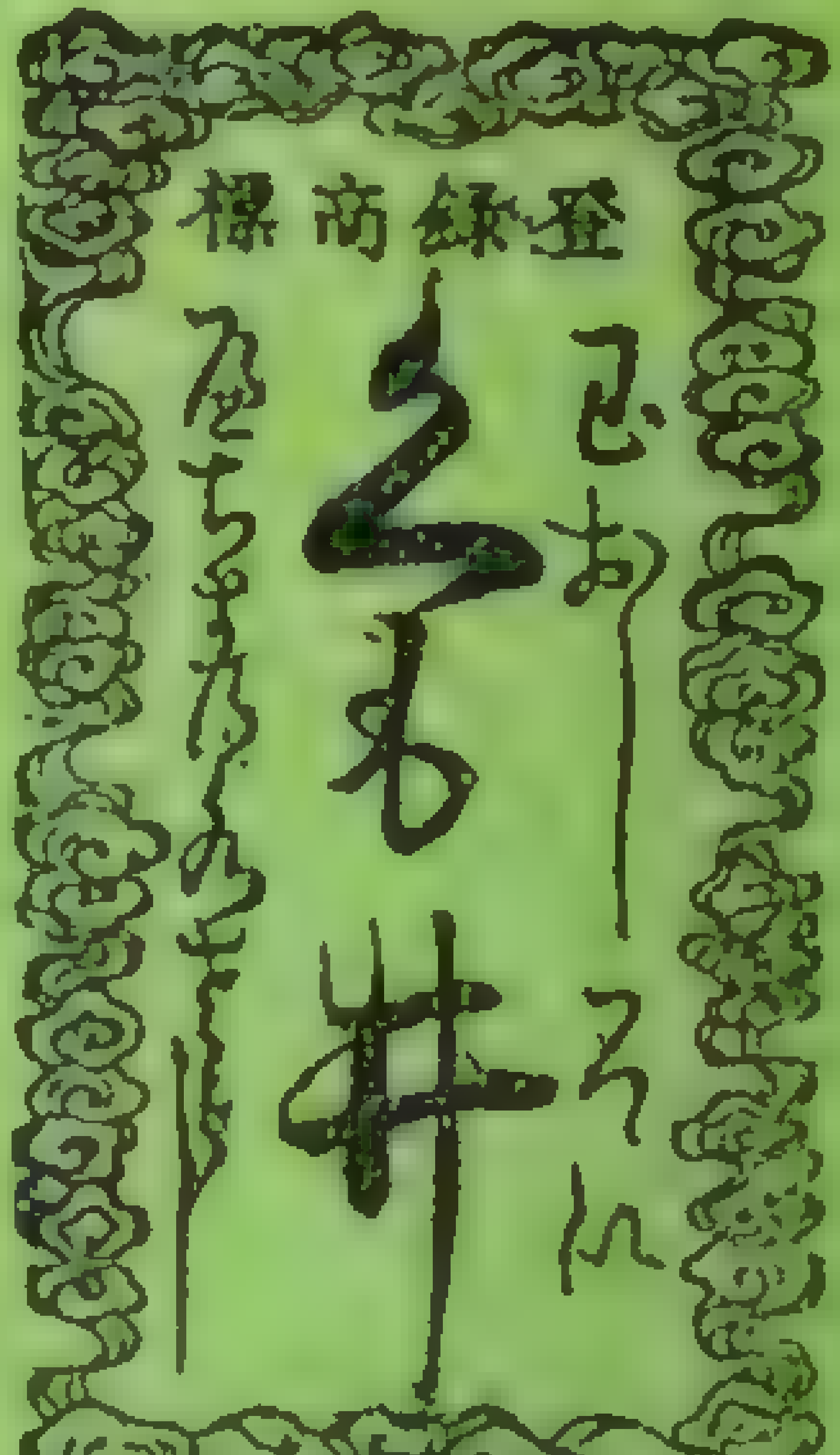
通信教授 二ケ月卒業

遠國の自宅で老幼男女誰にても造り花▲和洋花かんざし等美麗に出來る卒業後は就職の便あり▲案内書附製品見本は郵券十二錢送れば直に呈す

東京四谷簞笥町廿八番地

美術造花傳習所

意匠登録



定價瓶入 金貳拾錢 同曲入 金拾五錢 金六錢

この玉おしろい（雲井）の儀はへちまの水にてよく晒し玉に製したる白粉へ化粧料の薬品と龍腦麝香の芳しき香を加へ候故顔の皮膚を清く艶を出し其他御顔一切によろしく腫物を防ぎ候等實に類なき御重寶なるおしろいなり

御用法は常のおしろいの如く水にてときて御使用相成候得ば麗しく相付申候

東京市京橋區銀座三丁目

松澤八右衛門

（電話新橋特五百三十四番）

賣捌は各地小間物店賣藥店にあり

●**簞笥用包袋** 壹組 金壹圓 金五拾錢

遠國は小包料金十錢御增添へ御注文願上候也

◎東京市京橋區銀座三丁目 松澤商店

次ちの三）

Google

本品は多數のミルク中
にて最も乳酪に富む

全國到る所の洋酒食料品店
及有名なる藥舗にて販賣す

Google

皐月會演奏會

前列右より [illegible]

後列右より 寺尾よしゑ、伊達るい子、渡邊綾、松永のぶ子、大野愛子、北村初子、野村蕗々子、桑原駒子、阿部ちゑ子、桑原とく子。

河本國手の家庭

眼科の國手河本重次郎氏の一家にして前列の三令嬢は長女滋子、次女文子、三女雪子

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

TAKA-DIASTASE

タカヂアスターゼ

世界最大の製藥工場

パークデビス社は完全なる設備を有する世界最大の製藥會社にして、上圖は其デトロイトに於ける本社工場の全景なり。此他同社は加奈陀及英國に同一規模の分工場を有し、世界の醫家が要求せらるゝ總ての醫藥品を製造す。

高峯氏發見消化新劑

タカヂアスターゼはパークデビス社の製品なり。完備せる装置の下に熟練なる技術者に依り、製出せらるゝ、本劑は品質純良、毎瓶强度均一にして、又其効力永久不變なり。

醫師及藥舖諸彦！模造品製造者の誇大なる虚僞的廣告に誤らるゝ勿れ、世上本劑以上の實品なきは歐米及吾多數醫學大家の實驗報告に徴し確認せらるべし、需用者は必らず高峯氏タカヂアスターゼと指定せられよ、本劑は粉末錠劑水劑の三種として發賣せり各地藥舖にて販賣す

代理店　東京南茅場町　三共藥品合資會社

Google

女學生にも妻君にも有益にして面白きは本誌の特色

文章平易

婦人世界

説明親切

三月一日發行　毎月一回　第參號　一冊拾五錢　郵税一錢五厘　六冊分郵税共九十錢　十二冊一圓七拾五錢

▲斯くの如き妻君は決して成功せず……清風生

◎婦人の慎しむべき服裝　女學館 西田敬止

◎七十歳の長壽を保てる私の生活法　棚橋絢子

◎近頃の女子の手紙に於ける多き缺點…　女子大學 櫻井雨行

▲男女結婚論……村井弦齋

△媒酌人は何人に欺かるるか
△如何なる者が媒酌人となるか
△緊制結婚は見合ひを要せず
△見合ひは人の平生を見す！

△相縁奇談は滅多になし…
△聞合せもアテにはならず
△見合ひは多く一度なり…
△當人より親が見合ひする

◎母親の注意すべき小兒の種痘　醫學博士 加藤照麿

◎安産は如何にして得べきか……　醫學博士 榊順次郎

◎齒並は如何にすれば美しくなるか……　ドクトル 寺木定芳

◎婦人記者の實歴　報知新聞 磯村春子

面白き少女欄

▲教場内に於て實見せる生徒の惡癖三十ケ條…山脇房子

懸賞募集　△短文　△和歌　△俳句　△寫眞　△習字　△家庭笑話　△文字合せ　△家庭の重寶　△名文選擇　△繪探し　△頓智談　懸賞募集

發行所　東京京橋南紺屋町十二番地　實業之日本社（郵便振替貯金口座參貳六番）賣捌全國書店

Google

●丸山晩霞先生著並畫 **木彩畫法 女性趣味**（再版） 定價貳圓 郵税十錢

●吉田博先生著並畫 アメリカ・ヨーロッパ・アフリカ **寫生旅行**（新刊） 定價特製一圓五十錢 並製一圓廿錢 郵税各十錢

●三宅克己先生著並畫 **水彩畫手引**（十版） 定價特九十錢 並七十五錢 郵税各十錢

●三宅克己先生著並畫 **水彩畫指南**（再版） 定價六十五錢 郵税八錢

●中村不折先生著 **畫道一斑**（再版） 定價八十五錢 郵税十錢

●中村不折先生著 **鉛筆畫法**（三版） 定價六十五錢 郵税八錢

●橋本邦助先生著 **繪畫講話**（再版） 定價四十五錢 郵税八錢

●日本葉書會編 **スケッチ畫集**（三版） 定價四十五錢 郵税八錢

●日本葉書會編 **繪葉書趣味**（三版） 定價三十五錢 郵税六錢

●日本葉書會編 **萬國繪葉書帖**（十版） 定價十六錢 郵税四錢

下家東京府知事題詠　田山花袋編
尾崎東京市長題辭　柴田常吉撮影
小野東京商業會議所會頭序文　橋本邦助裝幀

東京寫眞帖

大好評 增刷出來

定價 壹圓五拾錢 郵税不要

内容

東京市郡詳密地圖（大型）
東京遊覽案内（四十頁）
口繪 上野動物園 淺草觀音（石版） 東京博覽會々場（コロタイプ）

名勝、舊蹟、諸官衙、公署、學校、銀行、會社、商店、劇場、遊覽場等寫眞版彩色刷鮮明約四百面

▲本帖收むる寫眞は皆最新の撮影にして説明は和英兩様を附せり
△全部アートペーパーを用ひ二色版二色刷鮮明なる壯麗美觀を極む
▲我帝都全體の實物光景は悉く本帖に網羅せり
△表裝は精粹を盡し製本の堅牢は永久保存に適へり
▲何人も是非家庭の裝飾として備ふべき空前の珍書なり
△遊覽案内は簡潔なる文章を以て説明し盡せり
▲帝都に遊びしものは以て好紀念になすべく未遊のもの[illegible]けは身は其の境にある心地すべし
△土産として進物として高尚優美價格最廉無比の好適品なり

發行所 小石川 **日本葉書會**

發兌元 日本橋本町 **博文館**

▲東京寫眞帖▲

（りの三）

Google

男女兩用毛髮用煉香油

ビユーデーオイル

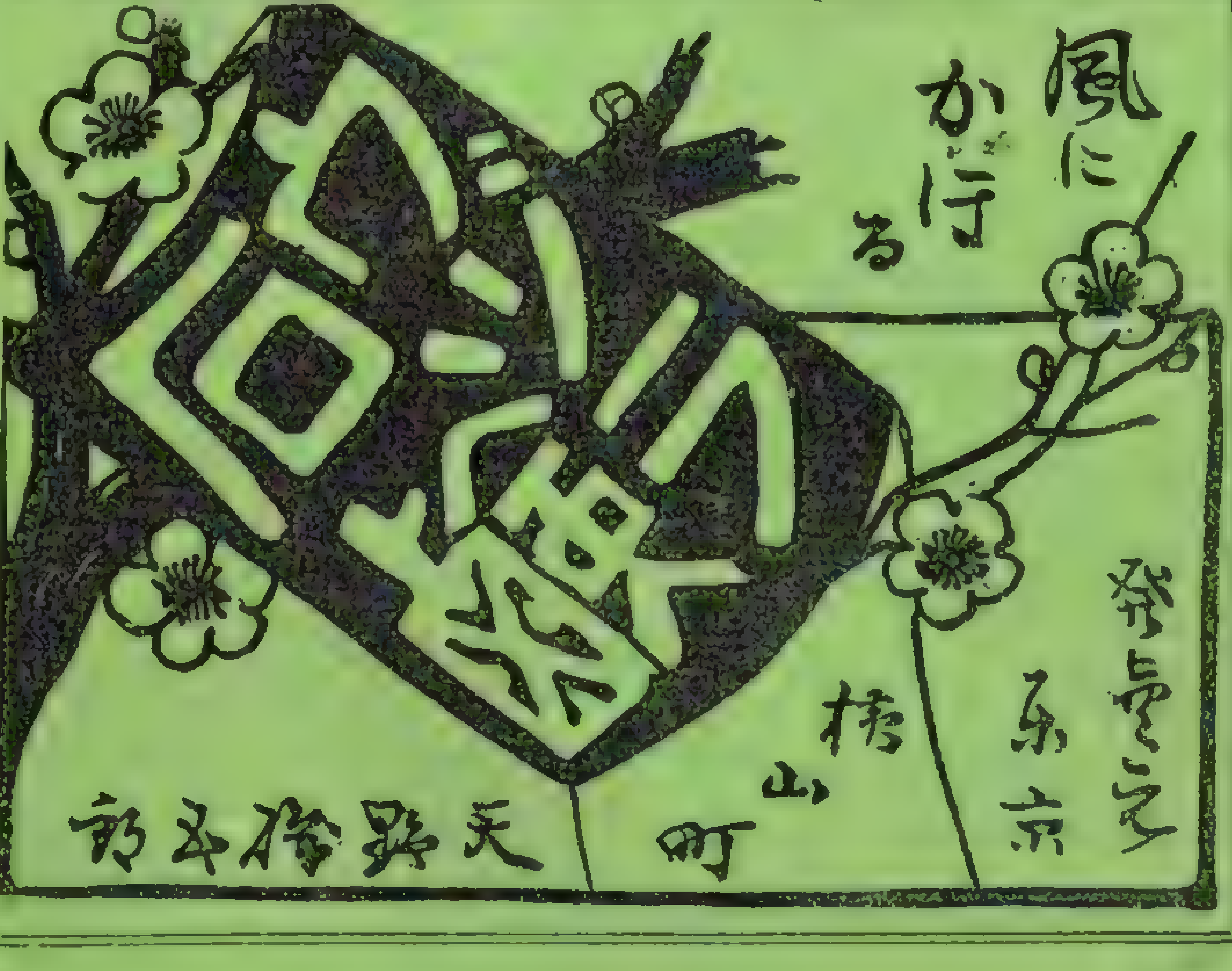
大瓶四十五錢

送料十錢

近頃化粧と云ふ事が進歩したのにも拘はらず毛髮油は更に改良が出來ないので舶來の油を用ゆる事が盛んになつたが舶來の香油は西洋人に適當する樣に出來て居るので永く使ふ中には毛が赤くなるとか又は折れる樣になる事が有るので種々研究して日本人の毛髮に適當なる椿油に含める毛髮の發育と光澤を助くる主成分を採り之れに高尚なる芳香と油の適油性を去るべき藥品とを配合して日本人男女兩用の煉香油を製出し之れをビユーチーオイルと名付けて發賣せり

發賣元 井筒油本舗 井筒屋香油店
東京日本橋區蠣殻町水天宮前
象印齒磨本舗 安藤井筒堂

見本御入用の方は女學世界愛讀者に限り郵券四十五錢を御送附になれば特に送料を要せずして一個御送り可申候



女(りの四)

Google

海　の　春

肥前大村の海岸

殿島蓬萊岩

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本品の特色は最も皮膚に有效なる原料を以て精
製したる者なれば色を白く肌を滑らかならしむ

プレスト洗粉

（定價）

袋入	貳錢
同	五錢
大袋入	拾錢
鑵入	七錢
同	拾五錢
特別	壹圓也

本舖　東京牛込西五軒町

山本玉川堂

皮膚の營養上容貌の美のため特に推薦する良劑

衛生美顔『シモン、クリスリン、クリーム』

Crème Simon

『シモン、クリーム』は近頃の製造品では有ません久しき以前より御使用と御評判を受けて居ので有り升「シモン、クリーム」は一種の強壯劑と皮膚を柔くする藥劑とを配合して製造したる無比の良品で有ます「シモン、クリーム」は皮膚を白くし且つ滑かにして表面がすべ〳〵となり又天鵞絨の如く艶麗ならしめ又快よき香氣を發します每日お化粧の時に御使用になれば何時もつや〳〵しき容貌を保れます『シモン、クリーム』はヾアレ、日にヤケ、汗もの、ニキビ唇のわれ、霜やけ、赤ら顔、又は毒虫に剌されたる時に御塗りになれば僅に少時間で其効能が分ります又醫劑の後やお小供衆に塗抹しますとすべすべとして大變氣持がよく又美くしくもなります

本品は販路が益々擴張さるゝに從ひまして僞物が多く市場に出て居りますから御求めの際は「シモン、クリーム」「粉おしろい」「石鹸」共特に登錄商標な御確めの上御購求を願ひ升
東京及大阪三越吳服店を始め各地洋品店化粧品店にて販賣致して居ります

登錄商標

日本代理店
横濱七十番
エー、ハイム商會

Google

文學士　久保天隨先生精解

日本外史新釋

●全部拾貳册

●每月一回發行

賴氏の外史は、その一生の心血を注ぐところ、世道人心を裨益せし功固より少からず、且つ漢文講習に益あること言を俟たず、これ家藏戸誦今に至りて尚ほ廢せざる所以なり。その講義の如き、坊間頗る是ありと雖も、その完全なるものを求むれば、遂に指を屈するに及ばず。天隨氏こゝに深く慨するところあり、乃ち平生の蘊蓄を傾けて、此書を著はさる、兎を搏つに獅子の全力を盡すは、適まその婆心の極めて深切なる所以、精該詳備、まことに賴氏の忠臣羽翼たるに負かず。この書一たび出でて初學幸に津梁あり、その業をなすに際して、唯だ易きを見て難きを見ず、將門の興廢を詳かにし、國史の大半に通曉すると同時に、讀書力の涵養に資するの便あるべく、一擧兩得勞半にして功必ず倍するものあらむ。

每編　和裝美本　紙數約二百頁

●第一册以下非常の好評にて既に數版に及ぶ

正價一册金參拾錢　郵稅一册金六錢

前金　六册金壹圓七拾錢　十二册金參圓貳拾錢　△外要郵稅

目次

◉第一册　一卷　平氏

◉第二册　二卷　源氏　三卷　源氏

◉第三册　四卷　北條氏　五卷　楠氏

◉第四册　六卷　新田氏　七卷　足利氏（上）

◉第五册　八卷　足利氏（中）　九卷　足利氏（下）　十卷　後北條氏

◉第六册　第十一卷　武田氏　上杉氏　第十二卷　毛利氏

（續刊）

◎第七册　織田氏

◎第八册　豐臣氏

◎第九册　豐臣氏

◎第十册　德川氏

◎第十一册　德川氏

◎第十二册　德川氏

（わの二）

發兌元　東京日本橋區本町三丁目　博文館

Google

文藝倶樂部懸賞當撰

美人繪葉書

江湖の大喝采を博せし美人投票

全國より集る三千有餘の寫眞中百名を選びて更に廿の精拔投票を爲す……百妓妙艶所究いづれ捨てがたき嬌天下の審美眼に依り採點の結果は本誌に發表せられたり其第一等以下月桂冠を得たる美人の面影は如何に其目其口其鼻まことに日本の花ならずや否世界に於ける日本のゲイシャは有名知らざる[illegible]となす廿名妓皆口を揃へて曰く皆さんドーゾ葉書を買ふて頂戴!!と

定價 一二等甲/三等乙 各三枚 十五錢 廿等まで一枚三錢[illegible] 特別上等 一枚 十三錢 郵稅四組まで二錢

美人ならでは夜も日も明けず當世向の美人を知らんと欲せば此葉書を買はざるべからずと版元申す

發行所 日本葉書會 東京小石川久堅町 振替口座二八三八

發賣元 博文館 東京本町三丁目 振替口座 二四〇

ドクトル 杉[illegible]先生序
醫學博士 栗本[illegible]先生序
醫學博士 川上元治郎先生序
小兒科專門醫士 羽太鋭治先生著

生殖衛生篇

上製金文字入[illegible]製本 定價金五十錢 郵稅金六錢

○だれにも讀める様ふり假名つき

這回博士序文中ニ曰ク「羽太君ノ生殖衛生篇ヲ讀ム人ヘ、唯タ智識ヲ得ンガ爲メニ讀ムベカラズ、智識ヲ得テ實行ニ資センガ爲メニ讀ムベシ、一頁ヲ讀ンデ一頁ノ内容ヲ實行セヨ、徒ラニ讀デ傾聞ヲ益スハ惡ノ極ナリ」若夫此全篇ヲ讀デ實行スル人ニ至リテハ、[illegible]立ロニ一門ニ滿ナ[illegible]タル一家ノ[illegible]ハ[illegible]ノ資金ヲ遺ウルニ似ラン

栗本醫學士序文中ニ曰ク「極メテ通俗ニ生殖衛生ヲ詳説セル本書ノ出版ハ[illegible]社會ニ利スル事鮮少ニアラザル可キヲ信ズ、」

發行所 東京日本橋區蠣殼町二ノ九 磯部甲陽堂 賣捌全國書店

妾事小供の時より薄毛の爲にて種々の藥を試みしも効なかりし所洋行中なりし醫學博士令夫人より奇藥を得是迄の薄毛も濃くなり又毛の生へざりし所迄毛生へし嬉しさの餘り困る方に告たし三錢郵券を添へ御照會あれ

東京市京橋區越前堀 河村愛子

Google

樂界に於ける最高評の樂器

山葉風琴

金拾八圓以上
金參百五拾圓迄各種

◉樂譜用紙、樂譜帖各種◉

音樂書

東京音樂學校御成版 **中學唱歌** 定價金參拾五錢郵税四錢

共益商社編 **唱歌教科書** 教師用一、二、三、四 定價金參拾錢郵税四錢宛

同 **同生徒用** 一、二 定價金拾五錢宛 三、四 定價金拾八錢宛 郵税同

小山作之助先生編 **重音唱歌集** 一、定價金五拾錢 二、定價金七拾錢 郵税不要

山葉洋琴

金參百參拾圓以上
金四千參百圓迄各種

音樂書

山田源一郎先生編 **女學唱歌** 一、定價金五拾錢 二、定價金六拾五錢 郵税不要

楠美恩三郎先生編 **唱歌集** 定價金六拾五錢 郵税八錢

島崎赤太郎先生編 **オルガン教則本** 一、定價金參拾五錢 郵税六錢 二、定價金五拾錢 郵税八錢

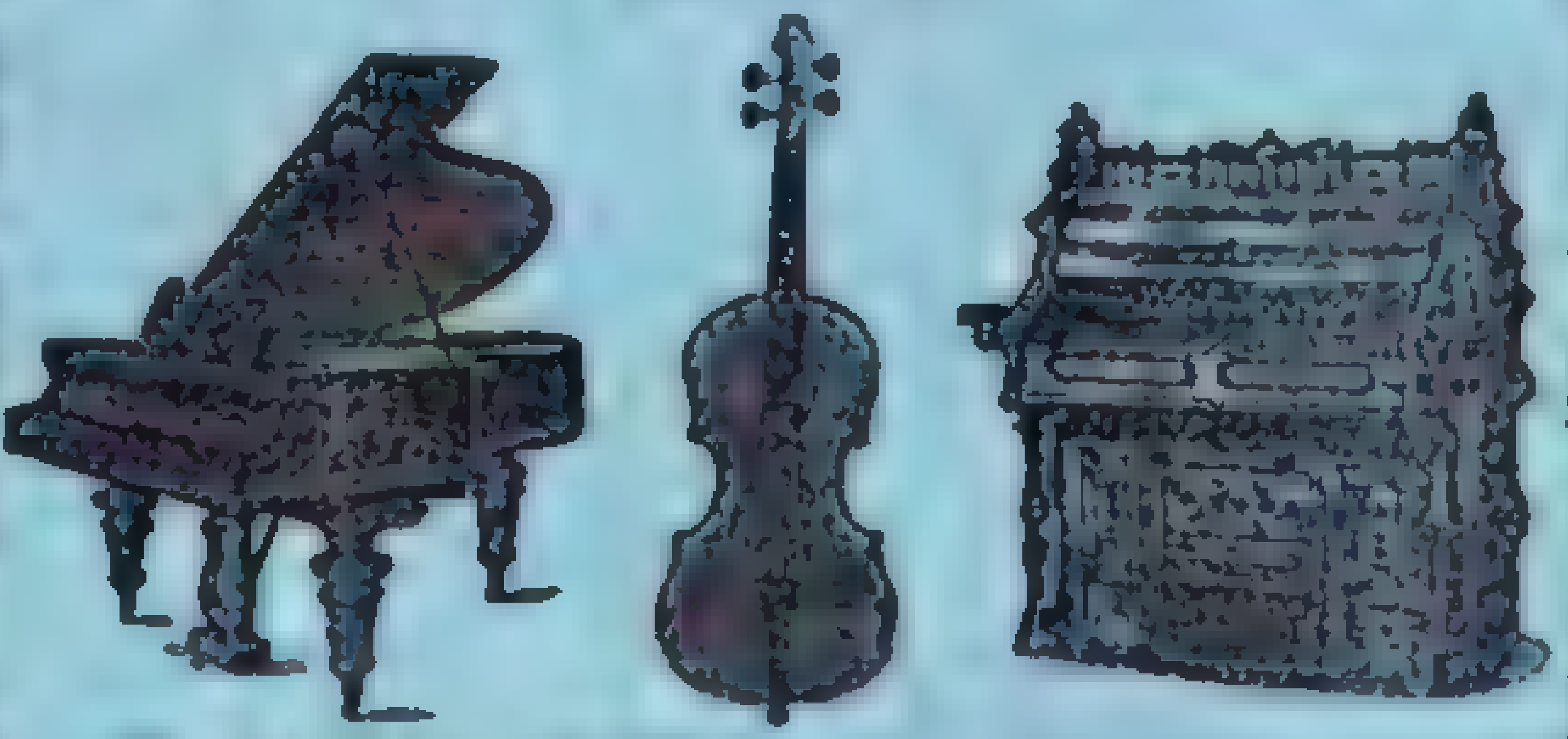
ノエルペリー先生編 **オルガンの友** 一、定價金五拾錢 二、定價金五拾錢 郵税八錢

鈴木ヴァイオリン

金貳圓以上金百廿圓迄
弓金七拾錢以上各種
箱金壹圓五拾錢以上各種

◉音樂原書輸入品各種◉

弊店は以上の外舶來洋琴風琴、ヴァイオリン樂隊用吹奏樂器、手風琴、ハーモニカ及其他西洋樂器各種並に和洋の音樂書を販賣し階上、階下には各種の



（ピアノ、オルガン調律修繕應需）

樂器を陳列し最も叮嚀懇切に各位の御需めに應じ候に付陸續御來店御購入の程希上候猶は郵　貳錢御送付あれば詳細なる目錄進呈仕候

東京市京橋區竹川町十三　合資會社　**共益商社樂器店**　電話新橋五二九番　振替口座壹五八〇

（ゐの四）

Google

東洋女藝學校の假裝

琴、挿花、茶湯、洋學、香

同上　木村重成・[illegible]

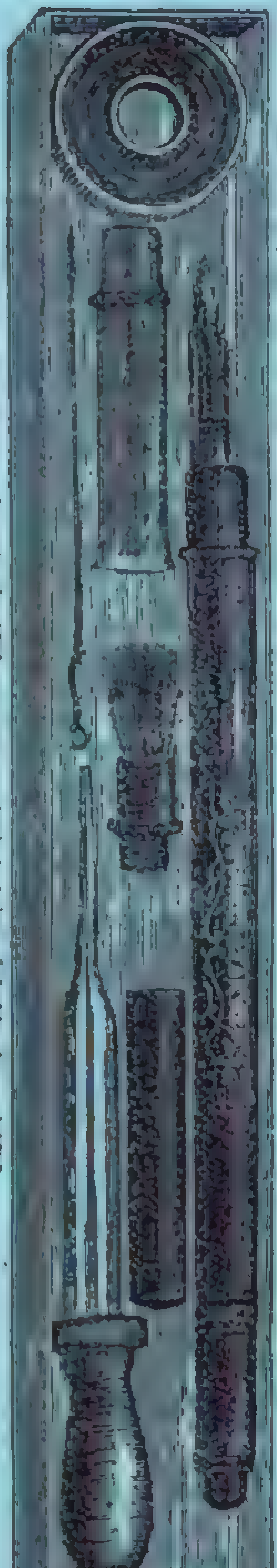
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

皇后陛下
東宮殿下 御買上之光榮を賜ふ

特許

攺良如意軸

（兩用萬年筆）



○如意軸は毛筆ペン兩用の軸内より自由に墨汁を出す大便利筆

定價毛筆用金參拾錢○兩用筆立附金參拾八錢

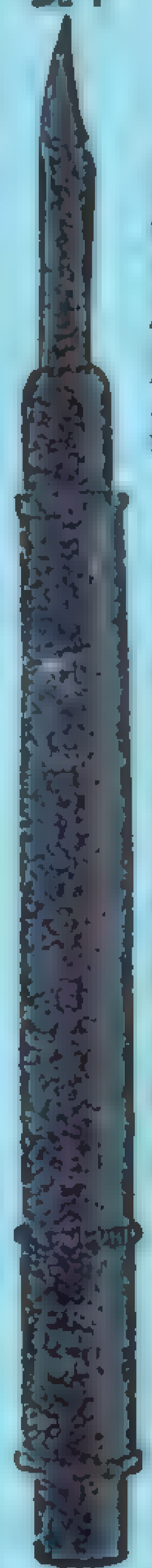
實用新案

ランギペン

（新式泉ペン）

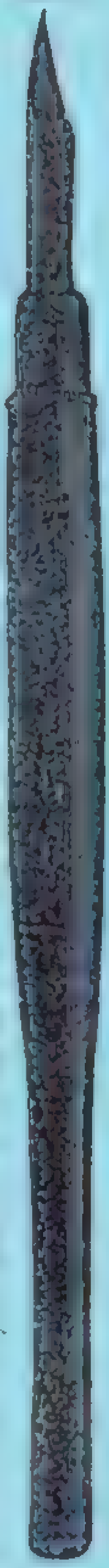
○實用新案ランギペンは自動的に軸内よりインキの出し入れ自由なり

甲號

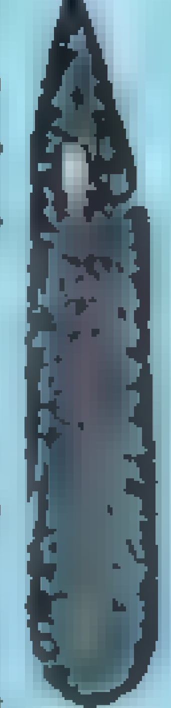


定價卅五錢

乙號



定價卅五錢



特許組ペン

特許組ペンは十四金にして尖頭へ「エリヂユーム」を附着しある故永久腐蝕摩滅の憂なき廉價の實用完全の金ペンにてランギペン用及び普通ペン軸用としても至極適當なり

定價未定 製造中

○送料各一打迄金八錢
○郵劵代用壹割増
○賣捌所は全國到る處文具店にあり

東京市神田區鍋町六番地
（長電話本局一六二七番 振替貯金口座六〇四三番）

欄木商會

（その二）

Google

通俗作文全書

全部廿四冊洋裝四六判
並製紙數三百頁
正價一冊三十五錢
郵稅一冊六錢　完

記事論說は紀行敍事等の雄編大作より尺牘簡牘の日用文に至るまで、苟しく是れ文なる以上は、文明社會の人は皆文を以て互に意思を通じつゝあるものと謂ふべし。翻るに今日の狀況を見るに、百般藝術の駸々進歩するに反し作文の技のみ獨り退歩の觀あるは洵に痛嘆の至りといふべし。是れ多數の人士が文章に重きを置かざるに由ると雖も、從來作文法を敎ふる完全なる書籍なきも亦其一因なりといふべし。敝館之を遺憾とし、通俗作文全書を發行し聊か以て此缺點を裨補する所あらんとす。其の目は下に列記す。

- 第一編　文章組立法　大和田建樹君著
- 第二編　書簡文作法　同
- 第三編　美文作法　田山花袋君著
- 第四編　商業作文法　天城安政君著
- 第五編　評釋 支那時文軌範　青柳篤恒君著
- 第六編　紀行文作法　西村醉夢君著
- 第七編　寫生文範　福田琴月君著
- 第八編　論說記事文範　河村醉茗君編著
- 第九編　女子消息文範　西田敬止君著
- 第十編　書翰文範　森田米松君著
- 第十一編　日記文範　大和田建樹君編
- 第十二編　祝賀弔祭文範　石崎篁園君著
- 第十三編　中等學生文範　山川角五郎君編
- 第十四編　明治時代文範　生田星郊君編
- 第十五編　言文一致文範　堀江秀雄君編
- 第十六編　古今名家尺牘文　太田才次郎君編

●元和より貞享の間（竹千代の保育を賴む文……德川家康、土井利勝に贈る文……山田長政外十）●元祿より安永の間（北小路に贈る文……熊澤蕃山、幕府に上る文……大石良雄外廿）●天明より文政の間（子規に贈る文……湯淺常山、郡母に贈る文……高山正之外廿）●天保より慶應の間（種々へ贈る文……十返舍一九、田內主稅に贈る文……賴山陽外六十）●明治以後（太田晴軒に贈る文……竹內東白、政府に上る文……櫻井龍雄外六十）

（續刊）

- ●古今名家文選　武田櫻桃君編
- ●小說作法　田山花袋君著

女（その二）

販賣用電話本局二六二〇番
東京 博文館 本町
振替口座番號第二百四十番

Google

世界唯一 麻病消渇の根治新薬

麻滅は最も進歩したる最新の麻病消渇即治妙薬なり、本剤はありふれたる普通の売薬と異なり殺菌学上効力顕著なる峻烈なる一新薬を主剤とし是を内服して麻病消渇の病原たる「ゴノコッケン」を忽ち滅殺する處方に基き製劑せし新劑に付輕症は壹劑重症は特別製分にて必ず確實に根底より根治する事を確證す但し彼の種々有害の姑息藥と異なり奏効確實峻烈なるだけそれだけ類似不廉なり用藥者[illegible]之を諒せよ

麻滅（りんめつ）

壹劑壹圓拾錢特別製貳圓五拾錢郵券代用貳割增しの事

專賣元 東京神田區五軒町拾九番地 日新館藥房

白色特効 ペーアス石鹸

壹個代價送料共八拾五錢 ▲三個函入同上貳圓參拾錢

此石鹸は世界第一等の良品にして化粧品の大王たることは苟しくも泰西の事情に通ずる者の熟知する所なれば今更喋々贅辯を要せず啻だ單に其主眼たる特効の一二を掲げん 皮膚を潤澤軟密にし色を白くし、粗糙質を治するは此石鹸特有の神効なり且つ此石鹸は香氣頗る佳良にして使用後五時間は芳香馥郁として身體に附着し離るゝは舘主の實驗保證する所なり、乞ふ昨今世上に續々顯出し誇大の廣告を以て他人を欺瞞する内地製の粗惡品と玉石混同視すること勿れ（昨年輸入の五萬個は夙に賣切れ久しく品切中の處今回合萬個着荷せり速に御注文を望む）

輸入一手 專賣元 東京神田區五軒町拾九番地 日新館藥房

世界無比 最新發明藥

あざ

入墨は廿日 ほくろ そばかす、なまず いぼは拾日 目に必らず美麗に除去す

保險附 新發明藥にして患部の大小輕重を問はず容易に根治し假令頑固たりとも毒も痕跡を殘さず無痛にて除去し得らるゝこと確證す故に之を用ゆべき患ひある人は速に用ひて天然の美質を完ふせよ來館者へ感謝狀及び除去したるあざ、ほくろ、そばかす、いぼ等の實物は山の如き全治者の感謝狀を示すべし 實に世界唯一の新藥也但し本劑は其製劑を二種に區別し一はあざ、入墨、ほくろを除去し又一はそばかす、なまづ、いぼを除去するものとす故に注文者は各自除去せんと望む所の病名及患部の形狀を詳細明記して申込あれば其症に適應する藥を送付すべし價は各壹劑分壹圓拾錢壹劑半分壹圓六拾錢貳劑分貳圓拾錢づゝにて郵券代用貳割增し（患部の面積大なる人は大劑を求むるを徳用とす）若金〆小包郵送す

梅毒根治新劑

本劑（商名ドクトル）は幾多の研究實驗を重ね多年苦辛存養の結果成功したる最新最良の藥物なれば現世紀に於る唯一のばい毒特効治療新藥なり故に黴毒及脳毒に關聯して續發する諸症（即ちばいどく。ひゑかさ。しつ癖。かんそう。よこね。ようばいそう。たいどく。いれき。骨がらみ。べんどく。ふしぶしのいたみ等）ならば如何なる頑固難症にても誓って根治することを確證す從來醫療賣藥等百方手を盡すも全治の効なくして困難せる患者は速に本劑を試服し其病毒を根底より驅逐斷絶し天賦の生命健康を保全せよ ●壹個價壹劑分壹圓五拾錢貳劑分貳圓九拾錢特別製分參圓六拾錢大劑[illegible]以上送藥す郵便切手代用貳割增しの事

專賣元 東京神田區五軒町拾九番地 日新館藥房

眞正秘檢 粋珍書案内

粋の人郵券四錢送れば直に送呈すべし披閲忽ち愉絶快絶眞に粋士必讀の珍書案内

申込所 東京市下谷區御徒町廿番地 東雲堂書店

（ろの三）

Google

は欧米各国にて造化の妙工を奪ふの奇効ありとの賞賛好評を博したる秘密薬を当館主が薬科大学医院在職中深奥なる学理と老錬なる技術とを以て専門的に多年苦心研究の後其有効成分を検明し之に最近の発見に係る生毛に関する新説を参考し最新なる配合したる世界無比なる学理的最新の新薬なり

代価金……郵券代用二割増の事

取次所ナキ地方ハ直接本舗ヘ注文アレ

三河国碧海郡刈谷町益世館薬局主

本舗 薬科大学卒業薬剤士 従七位勲六等 中島亀之丞鑑製

●大取次左ノ通リ●●大取次附近ノ各薬店ニアリ●

東京市
本郷六丁目赤門前 瓜生薬局
麹町区紀尾井町三 富藤薬局
日本橋区博物町十八 島田薬局
京橋区八官町八 野田薬局
神田淡路町二の四 森田薬局
芝田町四の一二 加藤薬局
芝愛宕下町一ノ二 岩本文薬店
赤坂田町四の一 竹内薬局
青山北町五 四井薬局
本所吉岡町廿五 小島薬局
四ッ谷大伝馬町二 永野薬局
高松市片原町 新明薬局
堺市大寺南門東入 一色薬局
京都市寺町通り京極ノ 石薬師角
京都市下京四五条通り富小路行当り

大阪市平野町二 丹平商会
丸亀市本町 桜井薬局
名古屋京町三丁目 飯田藤七
同 鉄砲町三丁目 荒川長太郎
同 同 谷田薬局
神戸元町一丁目 西村開成堂
広島市横本町 万代薬局
神奈川青木七軒町 木崎薬店
仙台市新伝馬町 桜井薬局
岡山市橋本町 加藤薬舗
弘前市下土手町角 菊地薬店
大津市蛭屋町 磯崎薬局
高知 薬局
安江洋反物店

於内外博覧会名誉大賞及金銀牌受領

元和二年創業

ヒゲタ印醤油

HIGETA SHOYU

THE CELEBRATED JAPANESE SAUCE

TRADE MARK

Patronised by the Imperial Household Awarded First Class and Gold Medals and Grand Prize at the various International Exhibitions held at home and abroad

The Oldest Establishment of its kind in Japan. Founded in 1616 by the ancestors of the present proprietor G. TANAKA Choshi, Chiba-ken, JAPAN

宮内省御用達

千葉県銚子町 田中玄蕃醸造

ヒゲタ印醤油

女一ろの四

Google

貴婦人の集合

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

臨時入學生徒募集

シンガーミシン裁縫女學院

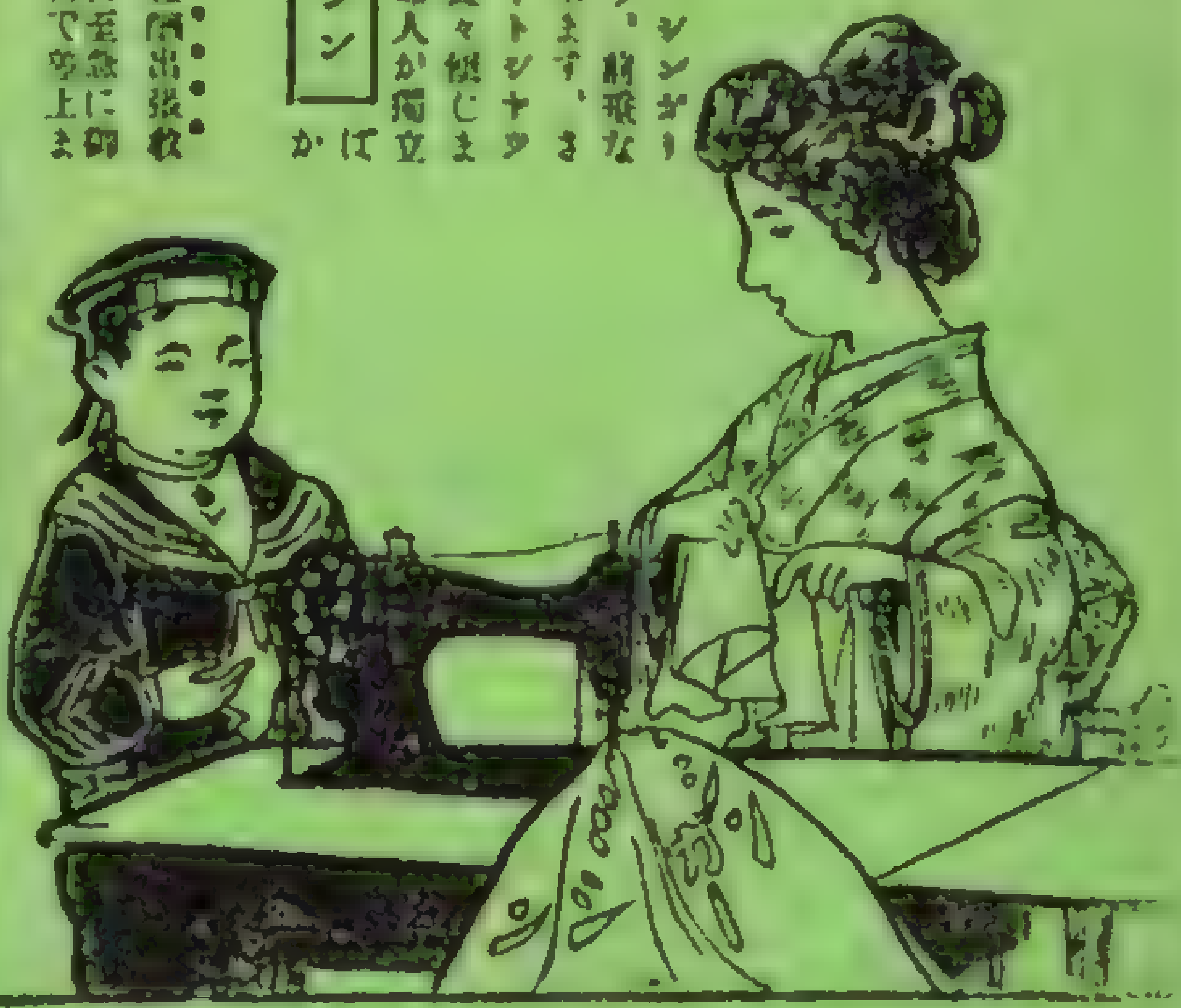
東京市麴町區有樂町　同院
百餘名收容附屬寄宿舍新築入舍を許す
横濱市常盤町壹丁目　同院
横須賀市深田十三番地　同院
其他全國樞要の都會に設立準備中

▼規則書　入用の方は郵券二錢御送付あらば送呈す

金を産み出す機械

様が機械の事でありますから、シンガーミシンを使へば家庭で經濟なり、簡便なり、小供の洋服運動服迄も直に出來ます、さては旦那のチョッキよりホワイトシャツに至る迄、必要に應じて多々益々便じます、そうしてまさかの時に、婦人が獨立する事の出來るのは唯シンガーミシンにかかりであります……

●●●●●●婦人向シンガーミシンの無料出張教授付と月賦申込御希望の方は至急に御一報あれ、明細書を無料で呈上ます



家庭用婦人向シンガーミシン特價月賦大販賣

銀座三丁目
シンガー裁縫機械會社
東京支店

女(その二)

Google

理學士 山崎直方君校閲

東京府立第三中學校教諭

石渡延世君著

地理統計要覽

抑も邦人は數の觀念に乏しくして之を歐人に比すれば統計に對する興味を缺くこと多く從て思想甚だ綿密ならざるの憾あり是れ國運益發展して事物愈紛糾き極むべき戰後の國民教育上閑却すべからざる問題なり是を以て普通教育の地理科に於ては宜しく巧に生徒をして統計に對する興味を喚起せしめ綿密着實なる志想を涵養せざるべからず本書は此要求に應じて出でたるものにして小中學の教師の教授上の參考たるのみならず生徒各自も一本を供へ地理統計の智識を收得せられんことを望む

全一冊洋裝三六判
總クロース金文字入
紙數二百四十六頁
定價金五十錢
郵稅六錢

日本女子大學教授

松浦政泰君編述

世界遊戯法大全

東西の著書數十冊を渉獵し遊戯約八百五十種を網羅し一々平易に說明す凡そ室内遊戯といへば何一として無きはなく此種の著に於て少くとも空前の一大著述なり

家庭も學校も會社も集會所も各々一本を備へて之を利用せば教育上風紀上大に益する所あらむ淸き娛樂と面白き遊戯とを望む者は必ず一本を備ふべきなり

菊判總クロース 頗美本
挿畫 總數六百五十頁 畫三百六十七個

全一冊

正價壹圓四拾錢
小包料拾貳錢

遊戯八百五十種之を五綱に分つ卽ち室内遊戯、對坐遊戯、闘技遊戯、闘智遊戯。
闘技遊戯八百五十種、古代のもあり近世のもあり中古のもあり。又二十世紀のもあり。
遊戯八百五十種英國米國佛國の流行遊戯あり始めて紹介する亞非利加洲のものもあり。
遊戯八百五十種、歌骨牌や花骨牌やトランプや本製六や將棊の駒遊び碁石遊び。
遊戯八百五十種、歐米の名家では珍らしい餘興遊戯や賑やかで面白い夜會遊戯

東京 博文館 本町

女六の二

Google

數年難治の慢性胃病を根治し
消化機能を强壯健全になす靈藥

胃病根治劑

從來世に胃病藥頗る多しと雖も皆一時の苦痛を凌ぐ制酸劑(即ち重曹、マグチシヤ、苦味劑の如き一時むきのゴマカシ的舊式賣藥のみにして未だ曾て根治的に其病の基因を斷つ其効あるを見ず。本劑は獨乙國高名大醫ノーテル氏處方に基き本邦胃病患者に適切なる最新有効藥を配合し百方實驗其奏効顯著なるを確め發見せし最も進歩せる完全なる新藥にして數年難治の頑固慢性胃病にても根本より誓って根治し胃腸を健全ならしめ食慾を催進し便通を快くし氣力を壯にし精神を爽快活潑にする空前の完全新藥なれば從來種々雜多の胃病藥を用ひて効なく多年宿苦に呻吟せる患者は一日も早く本劑を服し病根を斷絕し健康の大幸を得られよ輕症は一劑重症は二劑慢性症は三劑にて根治確證す

(定價)一劑四十二錢 貳劑八拾錢 參劑壹圓拾錢 郵券代用貳割增し

新輸入 美容料

肉體色白新劑

本劑は近時佛國パリス貴紳淑女間に最新流行の發明劑にして如何程色黒き男女にても特別製二劑を用ゆれば忽ち肉體純白色に變化し艶美の容貌となるを確許す世間種々雜多の白色藥を用ひて效なき人は直に本劑を試み見よ眼前に峻烈なる特効を覺ゆ眞に奇効顯著の確證新劑價は壹劑金壹圓貳拾錢特別製分壹圓八拾錢

以上二藥專賣元 東京市神田五軒町十九番地 日新館藥房

血塊流下

通經劑

よに皆めす子宮を害せず如何程長き月經閉止も必ず忽ち快通流下する特効あり本劑壹劑分を用ゆれば二三ケ月間滯りたる月經にて下しキレーに流下す又特別製分を用れば半年以上の月經閉止及び血塊にても必ず立處ろに流經す且つ月經不通月經不順より起る子宮病血の道を全治し多年滯りの古血及惡血毒血を一掃するを確證す但し本劑は其奏効極めて確實顯著なるも毫も衛生無害なり婦人諸君安心して試藥あれ價は壹劑分七拾錢貳劑分壹圓卅錢參劑分壹圓七拾錢特別製分貳劑參拾錢特別

(注意)本劑の大盛を羨み近時類似無効なる類似僞藥を頒つ者多く注意あり「專賣元日新館藥房」の名稱に注目し購求あらんことを乞ふ

わきが 腋臭

根治確證 新發見藥

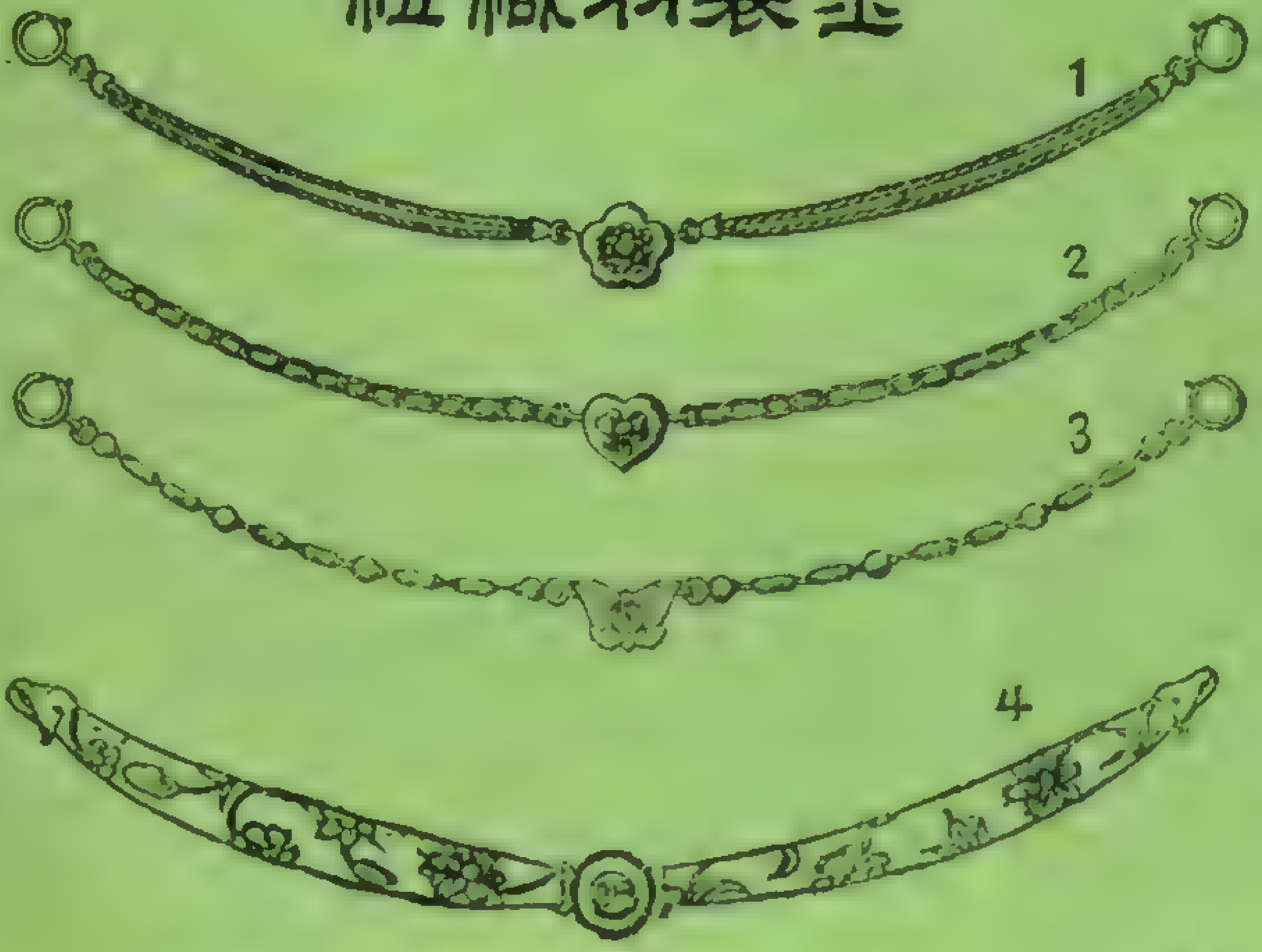
腋臭は從來百方手を盡せし如何程頑固劇烈の慢性わきがにても誓って根治し決して再發又は根治病に再發することなし世紀的改良根治新藥なり患部に用ひ苦痛を覺せしめず價は輕症根治分壹劑廿錢重症根治分貳劑四十錢頑固劇烈の慢性症根治分貳圓卅錢郵券代用必ず二割增のこと

以上貳藥專賣元 東京市神田五軒町十九番地 日新館藥房 (電話下谷二五四六番)

(その三)

Google

金製羽織紐



此品新案の羽織紐は[illegible]堅牢にして永久の御使用に[illegible]
最新の品のみなれば[illegible]の流行と[illegible]

一號 十八金製 金十一圓以上 十五圓
二號 十八金製 金十圓以上 十四圓
三號 十八金プラチナ眞珠入 金十八圓以上 廿五圓
以上三種の外に形ちは各種有之候

取分け四號の形は古更紗へヒスイ珠の飾りを附け附屬は十八金製にて極めて「イキ向」に適當仕る樣調製せし品なれば最新流行品たるや申迄もなく候

價 十圓より 十貳圓まで

東京市日本橋區若松町

丸嘉

電話浪花七六八番
振替口座九〇一四番

Google

女子高等師範附屬幼稚園

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内務省御検査済完全無鉛
バイオレツト白入
新花王
ねりおしろい
東京横山町二丁目
脇田製
定價(一個)参拾銭　同(一個)貳拾銭

美術
造花材料
半製品、鏝、打抜類一式
室内高等装飾品
光線モール
三國屋
卸小賣
御一報次第
定價表
進呈
東京浅草駒形町十四番地
振替貯金口座一一六四二

女(わの二)

Google

竹貫登代多君著

算術獨習書

出でたり！言文一致にて算術の初歩より誰にでも解し得る如く認めたる算術獨習書は出でたり!!! 著者は誰ぞ？數學世界主筆竹貫登代多君也。機敏なる學生諸君にして、先生の名を知らざるものありや。方今、算術を分り易く記述すること竹貫君に及ぶものありや！敢て[illegible]大方の學生諸君に、此書一度自己の所有に歸する以上は、僻邑の獨學せるものと中央部會に良師に就て勉學せるものとの差異は取捨はるべし、何となれば算術獨修書は、良師に接すると等なればなり、敢て勸む。書中の順序は決して奇抜なるものにあらず、世間一般學校に教授するものと毫も異なるなし、之れ等しく文部省令に準據しあればなり、只だ此獨習書の特色は説明の親切にして且つ分り易き點のみ、されば獨學者に頗る便利なるは勿論他の一般學生には良好なる復習書なり、各學校入學受驗者の福音なり、故て天下の學生に薦む。

全二冊

菊判洋裝美本

上卷……紙數三百八十八頁　正價四拾五錢　郵稅八錢

下卷……紙數二百四十二頁　正價三拾五錢　郵稅六錢

(わの二)

醫學博士吾妻勝剛先生序

佐藤醫學士　伊藤尚賢君共編

男女學生健康法

衛生の書汗牛充棟、衛生の學愈々進みて吾人の健康益々劣り來る、斯くの如きは理に合せざる處なるも、之れ今日の現況なるを如何せん。聞く健全なる精神は健全なる身體に宿ると假令不健全なる身體に健全なる精神宿るも、其活動目的を達するには病氣の発する處に非ず、諸君は男學生なりや、さらば普通人に比して更に一層の健康を要す、貴女は女學生なりや、さらば一般婦人以外に尚學生病に罹はるべし、又た國民として亦學生として由々敷大事ならずや、諸君並に貴女は曾て衛生書を讀みて其健康を増す處ありしや、著者は満腔の同情を表し、敢て此書を座右に捧ぐ。思ふに熟讀以て踐行せば啻に學生の健康に資するのみならず、家庭に於ても亦有要なる健康辭典となるべし、偉大なる希望を有する學生は固より健康を欲する人、并に子女の美麗と健康とを望まんとする父兄は、速に一本を備へられよ、健康は美麗と成功と快樂とを意味す、幸に試みて其效の如何するものぞ

全一冊

洋裝三六判

總クロース頭美本

紙數三百八十頁

正價金四十五錢

郵稅八錢

東京博文館本刷

Google

ハガキ文學は青年の友なるが故に生氣躍動し一讀與味津々再讀研究の資料となる
ハガキ文學は毎號大家苦心の作と新進秀才の寄稿誌上に溢る將に百花爛熳の觀あり
ハガキ文學は其内容も形式も逐號益進歩發展し現今雜誌界の精華たり乞ふ十二錢を投じ見本を御覽あれ
◉三月一日第五卷第三號發行 每號附錄エハガキ
□繪 木版 木炭紙彩色刷 一葉（頗有雅致） 寫眞版色刷 石版加工 二葉（頗鮮明也）

日本唯一 青年雜誌

ハガキ文學

定價 一册金拾錢送料一錢○半年分七册郵税共七十五錢 一年分十四册郵税共一圓四十五錢郵券代用一割増

懸賞募集 ○短篇小說○普通文○小品文○新體詩○新派和歌○俳句○川柳○○珍談奇話○如是錄○繪葉書圖案○スケッチ○漫畫（〆切每月十日）

撰評 山田花袋 沼波文學士 橋本春郊 兒玉花外 窪田空穗 内藤鳴雪 窪田而笑子 太田三郎

發行元 東京小石川久堅町 振替口座二八三八 日本葉書會
發賣所 東京神田東京堂 京橋東海堂 全國各書林

婦人藥王 流經散（りうけいさん）
定價 特製四廻り分金壹圓 同半月分六十錢◉七日分卅錢◉三日分十五錢送料各二錢宛

◉月やく止まるを憂ふる方は毎月一の此藥を用ゆれば止るとなし四ヶ月以上の閉止も特別製の方を連服すれば程よく下るとり妙な產の後古は血又血塊及び十七八歳になりて月やくなき人にても忽ち下る請合の道に折々目まひ立くらみのぼせ頭痛又物事を苦にして氣分あしき等に用ひて實によくきく藥にして世間ありふれの月ざらひ等と天地の違ひ是をのめば醫者を要せず

（天下一方服臭劑）
わきが藥
小包卅錢△中包五十錢△大包壹圓特製大包貳圓送料各貳錢宛

本症は頗る惡臭を放ち他人に接近するをきらわれ有爲の美男子も交際を欠き又美婦女も妙良緣を失ふが如き不幸に陷れる人澤山あり之れを救はんが爲數年苦心して得たる新發見藥を世に紹介す多少に係はらず本症のある人は早く用へて幸福の人とならんよ

定價 試み金卅錢◉小瓶金五十錢◉大瓶金壹圓送料四錢 特製貳圓

經驗保證 毛生劑
本劑は多年經驗したる化學的作用のけはいぐすりにして特許を受けたる保證劑なり。

女（わ〇三）

◉婦人秘密の養生寶典は郵券三錢封送あれ◉

專賣 東京神田區五軒町大通り 電話下谷壹參貳壹番 振替口座三六七壹番 寶順堂

Google

女學雜誌 なでしこ

本誌は記事行届き實質に富める婦人雜誌中一頭地を拔くものなりと夙に世の定評あり

毎月十五日發行壹部郵稅共拾五錢

本會は明治卅六年以來今年迄宮中歌御會始に預選の光榮を蒙りし會員六名に及びたり今般其祝意を表せん爲本誌讀者に對し着實なる方法にて

大福引を舉行しなでしこ壹千部毎に其價格**壹千圓**餘の女子必讀の書籍を贈呈すべき福引の籤を挿入す其贈呈書籍目錄左の如し

○婦人資典（特價貳圓六拾錢）千部○婦人の修養（定價壹圓貳拾錢）五十部○大和撫子（同五拾錢）三百部○料理百珍（同參拾錢）壹千部○新撰家政百個條（同拾貳錢）四千部以上合計五千三百六十個價格千○拾六圓●二月十五日發行のなでしこに右福引の籤を挿入せり●隔讀希望者は本會へ直接に申込みあれ郵便切手代用は壹割增しを要す

催主 **みやび會** 申込所 東京青山原宿 **大日本女學會** 電話新橋一八三〇 振替一一八三六

ら病

世のらい病は醫術の不治なる癩病治療藥を化學的の方法にて分析し其主成分に更に最近の發見に係る治癩新藥を加へ且つ萬餘すが資料大學本難中研究したる成績に基へ配劑したる新藥なれば一度使用して其効驗の確實なることを實驗せらるべし古來藥劑は不治の病と稱し今日と難も之を根治せしむる事は難事なれども其病勢の甚しからざる中に發病分を四ヶ月服用するか或は病勢甚しく進みたる人にても二藥を六ヶ月併用すれば病原菌を脫力死滅せしめ漸次輕快に赴き一生の觀を見れ得る事は確實なり本劑は安價に不幸なる病者を救濟せんとする主趣に基き發賣する者にして無効なる藥品に非常なる高價を貪り大言を吐て其効能の甚大なるらしく見せかけ不幸なる病者を陷れんとする賣藥の類に非ず

●醫師は癩病者を診察せず病出る規則なれど本藥師には其規則無ければ決して他へ知れることなし安心服用あれ

ダノサール　一ヶ月分　貳圓

強力ダノサール　一ヶ月分　參圓

三河國碧海郡刈谷町 壹世館藥局主

本舖 日本大學在學藥劑士 從七位勳六等 **中島龜之丞鑑製**

最近造花機

大阪市南區順慶町通參丁目

機具の覇王！

弊店工場にて製造する造花機具は創業以來五十餘年來の經驗を以て熟練なる職工を各部に配置し自ら監督の下に製出し其製品頗る多大に御座候故て價格も低廉にして完全如何に經濟的實用品なるかは既往御取引被下候諸彦諸氏の認識せらるる處に御座候弊店取扱品目の詳細は郵券貳錢封入御申越あれば最新列洋裝の圖入營業案內を

無料進呈致す可く候

淺井倉之助商店

Google

女子共立會の假裝

日蓮上人辻說法（二）

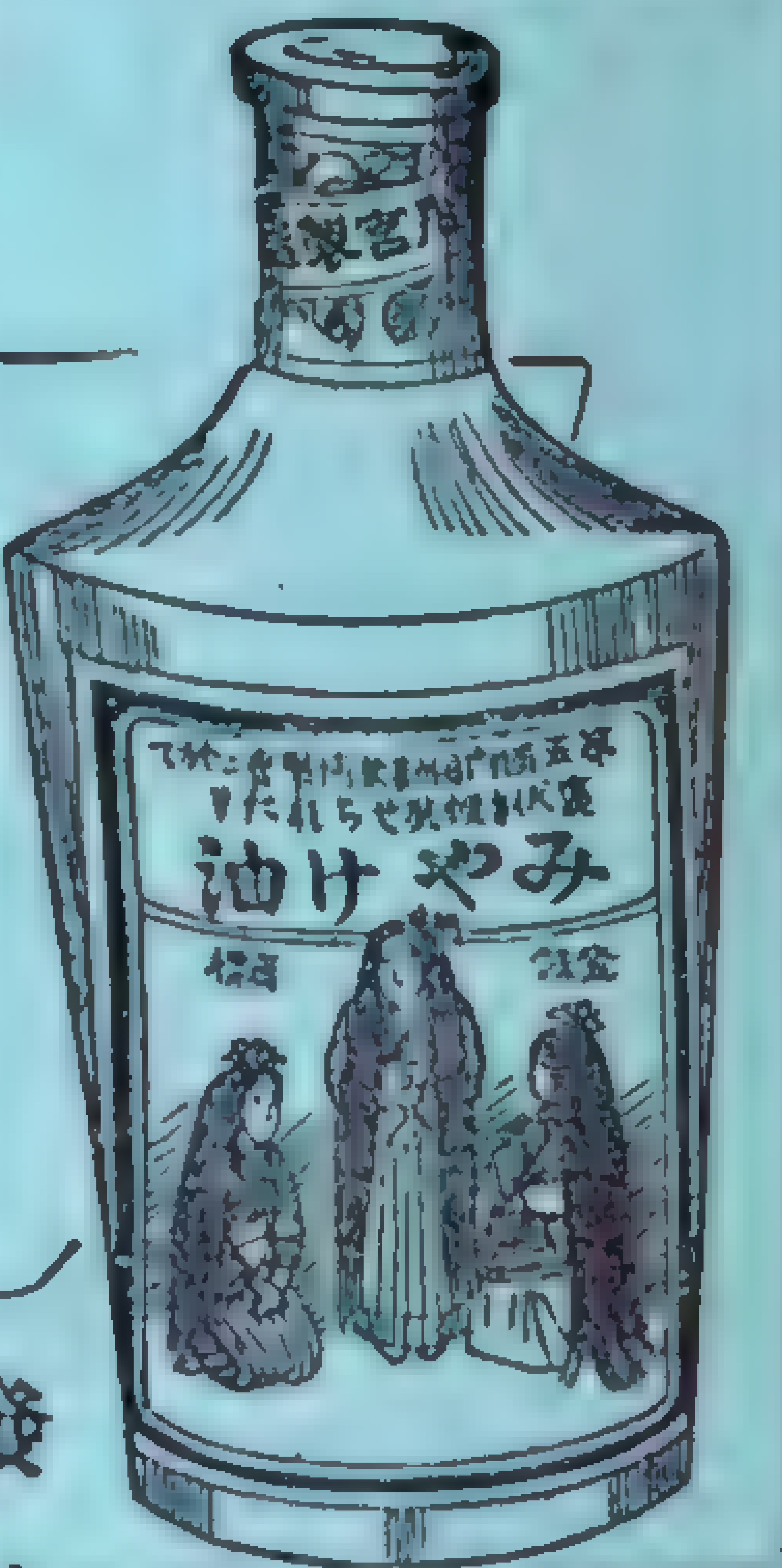
Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美人とみやけ油

▲感謝狀　富山縣婦負郡八尾町　清水久子様より

前の極の悪残り少なう寒う風も身にしみ付はや深さを知り申し候此頃店員皆々様には御すこやかにお過し遊ばさるゝことゝ存じ申候さて私とも過る夏の頃より御宅御販賣の三宅油を使用致し居候處まことに毛の爲めに宜しく我等様によろこび居り申候御堂の御陰と深く御禮申上候それまではナヱリオイル等を用ゐ居りしも只ひのみ強くさしたる效もなきに失望致し居りし一ト度び付井先生の御話を承はりて三宅油のなを知りて今まで所くの如き油の我が製に有るとも知らずして居りしに一層來品にのみ頼りを求めていたづらに致の三宅油も今は殘りなく使い申候まゝ貝今小袋にて六拾錢御送り下され度手數ながら何卒二合入御送り下され度御願申上候



發賣間宮三宅堂本舖

電話浪花六二〇　東京日本橋區人形町通蠣殼町二ノ十五　振替口座八七五一

根治確證　わきが　新治療藥　ラヒヨシン

必ず全治し決して再發 或は他劑に價七拾錢乙

本劑を塗擦すれば主成分は皮膚及ひ内の組織にある毒素を吸收せられ其の根組織におる毒素を根底より全滅せし深き悪臭を遂る作用を有する新劑にして如何なる難症にも用て特別効驗ある新劑を用ひ甲種を特製せ試して製價五拾錢内用甲種特製貳圓五拾錢

毛原名　毛のはへる　ヘアグロース

まゆ毛●口ひげ●など毛なき所に毛を生ずる人用ひよ毛髪増生すべき人

有力なる最新液　毛をはやしたき人

定價壹圓貳拾錢特別製品は貳圓四拾錢本品は原名をベルグネスと稱する今日最も賞用せらるゝ現今最新液にて

試みられよ●わけ毛落ちる人●あるはまた見苦しきものははげのある者にありたる人

化學製品　色の白くなる　ハンドコロン洛液

皮膚を漂白するを以て全身次第に白色艶美

分の力　主性

定價A印壹圓B印特製五拾錢送料十三錢本劑は貴女紳士間に大評判にて最新流行す化粧料にして今日之を使用せる方々は皆一層皮膚の美を得て男女交際上必要なる欠くべからざる新奇の妙品なり

根治確證　新治療藥　梅毒　ミズキニール

本劑は多年研究實驗の結果發見の完全なる一種新劑にして忽ち全身の毒を大小便に排泄し必ず根治す

如何なる難症のものも●ふる●きつけの劇毒にかゝりて其他性質の悪しき梅毒●いかにも效驗なる世間種々の新劑を用ひ

他症は中劑輕症は小劑重症は大劑にて一劑壹圓六十錢二劑三圓郵券代用一割増

専賣　東京本郷湯島四丁目十四　オリエンタル藥舘

電話下谷二三五五

女（かの二）

Google

◉學生諸君の良師友◉

大好評

學生參考叢書

各學科專攻諸氏擔當執筆

既刊目次

- 日本地理（全）志賀重昂君校閲 設樂金三郎君著
- 外國地理（前・後）東洋大學講師 三島定之助君著
- 地文學（全）理學士 八卷準次君著
- 日本歷史（全）東洋大學講師 三石賤夫君著
- 東洋史（全）文學士 丸井圭次郎君著
- 西洋史（前・後）文學士 深澤鐵吉君著
- 西洋年表（全）文學士 深澤鐵吉君著
- 物理學（前・後）理學士 林茂增君著
- 化學（前・後）加納理學士 小林理學士 共著
- 算術（全）正則豫備校講師 宮田耀之助君著

- 幾何學（前・後）理學士 林茂增君著
- 代數學（前・後）陸軍大學校教授 宮本藤吉君著
- 三角法（全）正則豫備校講師 山下安太郎君著
- 生理學（全）農學士 今村猛雄君著
- 動物學（全）農學士 今村猛雄君著
- 植物學（全）農學士 今村猛雄君著
- 鑛物學（全）農學士 今村猛雄君著
- 國文典（全）東洋大學講師 三石賤夫君著
- 國文熟語詳解（全）文學士 小倉博君著
- 漢字異同辨（全）東洋大學講師 安藤弘君著

袖珍携帶至便
低廉無比
各冊 價拾参錢 郵送料二錢宛

本書は學生諸君の、日常及び受驗準備用として、中等教育に教鞭を執らるゝ專攻なる諸先生の筆に成れる者なるが故に、能く要を摘み、精を蒐め、說明は親切、文章は平易、冊子は小にして携帶に至便、之を繙かば必ず滿足を表せらるべきを確信す、彼の滔々世間に流布する同種の書と玉石混淆すること勿れ。

◉發兌元 東京本町 博文館 東京神田 東京堂◉

女（へかの二）

Google

當今一番よくきく月ざらへは何か

●諸嬢姉方に急告す

月經閉止月やく滯りの如何に恐るべきかは今更言ふまでもなし然るに從來の月ざらへは其原理を極す各々大同小異にて殊効ある良藥なし本劑は其病理病症を各專門大家に習得し實地經驗と最新學理と**特効藥**を蒐集し**大醫**に係るにより普く直接大醫と同一の効力を有す即ち効能は婦人月經不順月やく閉止月經滯りを子宮も痛めず快よく下す妙藥也二三ヶ月以上の閉止も一二週分三四月以上又は血塊にても特製分服用せば必ず流下す十七八歳に至り月經なき人は二週分毎月月經困難は三日分服用せられよ

理想的最良藥

改良月ざらへ

廿月丸

藥價 一週分六十錢 二週分一圓十錢 特製 四週分二圓廿錢 六週分三圓廿錢 送料各四錢

●本劑は其奏効極めて峻烈なれ共身體には少しもさわる事なし實に有効無害の奇藥也

調劑本舗 東京々橋區東仲通中橋和泉町一番地 小宮愛生堂

あかげちゞれげくせあを

赤毛縮毛癖直

獨逸醫學博士發見化學應用赤毛縮毛くせ忽ち直り黒艶美髪となる說明書藥名詳說の雜誌ハガキで申込次第無代進呈

東京市京橋越前堀 樂天堂

醫學博士松本先生指導 醫學士佐藤先生閲 天眞堂醫院長吉雄濟著

梅毒淋病療法

世間幾多の梅毒淋病患者よ一讀再生の効を全ふすべし若し此言を疑はゞ此讀め希望者は送料二錢切手封入申込次第社會の爲無代進上

東京市芝區愛宕町二丁目 弘濟藥院

醫科大學藥學專攻 藥學得業士 金谷廣吉

肺病患者の福音

著名肺病全快の經驗と最近の學說に基き親切叮嚀に根治の法を詳述せし物也●郵劵二錢封入申込者に無代施本●東京市下谷區上根岸町 衛生書院

女(かの三)

Google

最上醤油
キハタ印
醸造元
茂木七郎右衛門
千葉県野田町
電信略號ハノ又キハタ
東京支店
中野長兵衛
日本橋小網町三丁目
電話浪花百七十七番

美顔料
毛髪料
コールドクリーム本舗 東京濱町 平尾分店

女（かの四）

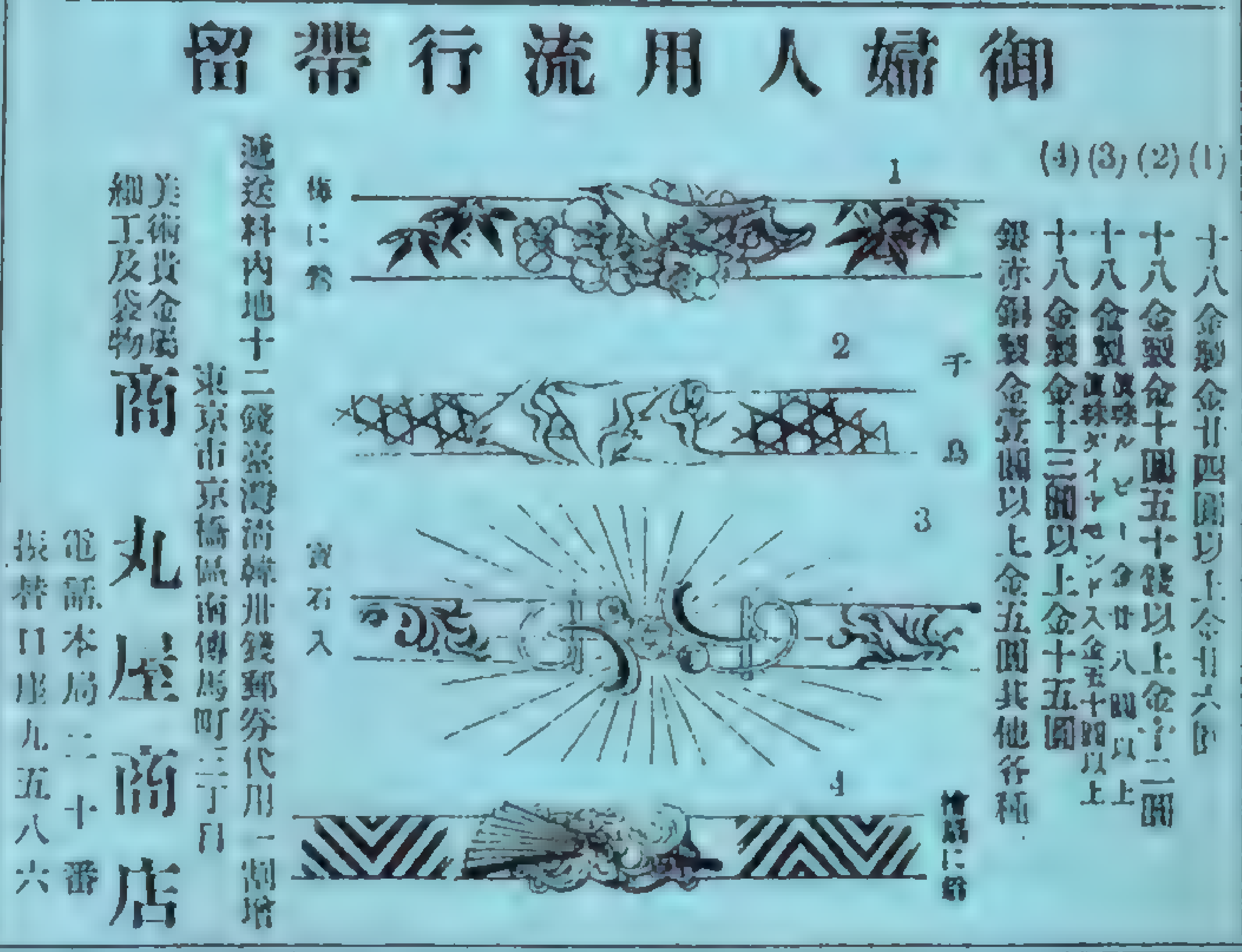
Google

子供の洋裝

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

登録商標
高木
懷中要藥
清心丹
清心丹特有の効能を常に食後食後に服用すれば消化を速にし胃腸を健全ならしむるにあり
東京市日本橋區元大坂町八番地
本舖 高木與兵衛


御婦人用流行帯留
(1) 十八金製金廿四圓以上金廿六圓
(2) 十八金製金十圓五十錢以上金十二圓
(3) 十八金製眞珠ルビー金廿八圓以上
十八金製眞珠ダイヤモンド入金五十圓以上
(4) 十八金製金十三圓以上金十五圓
銀赤銅製金貳圓以上金五圓其他各種
1
梅に鶯
2
千鳥
3
寶石入
4
郵送料内地十二錢臺灣滿韓卅錢郵劵代用一割增
東京市京橋區南傳馬町三丁目
美術貴金屬細工及袋物商
丸屋商店
電話本局三十番
振替口座九五八六

女(一〇一)

販賣用電話本局
二千六百廿番

醫學士 石原喜久太郎君著

新編家庭衛生

正價金壹圓七十錢
郵税十二錢

全一冊

洋裝菊判美本
紙數五百五十頁

石原醫學士醫科大學衛生學教室に在りて斯學の研究に從事すること玆に多年、傍ら或は演壇に或は諸雜誌に、衛生思想の鼓吹普及に努力せらるゝは人の知る所、近者掲題の一書を完成して之を本館に授く、著者本書の目的として記する所を見るに、「一國の衛生を進めんと欲せば先づ一家の衛生を進むべし、一家の衛生を進めんには、家事の實行者たる主婦に衛生思想を鼓吹普及するに如くはなし」と、是れ本書の生れたる所以なるべし。本書の前篇「諸論之部」は衛生に關する汎論にして、後篇「各論之部」は○住居之衛生○衣服と飲食物○季候と衛生○旅行と轉地○小供○姙娠と産褥○病氣の七章よりなり、衛生上の諸問目を、凡て是等各項内に網羅して細大漏さず、殊に行文は平易通俗、論者は實地應用を主とし、叙事明晰、説明懇到、高尚なる學理をも難澁なく説示する底の面目は、確かに多年の薀蓄深きを窺ふに足る、之を家庭に備ふれば一家衛生の良指針たり加ふるに又、醫師、醫學生の良友、諸學校衛生教科の參考書たるに適すべし

發兌元 東京本町 博文館

Google

通信教授 **産婆學講義録**

規則見本要郵券二錢

目下會員募集中

東京四谷區内藤町一番地 東京産婆講習會

初號二號發行 毎月一回 六ケ月修業

本廣告切取り申込者に束修を半減す

子宮病 血の道 子なき人

妾は永年子宮病にて苦み今度或大醫の御秘法にてキレイに全治せし故人助けの爲郵券二錢封入御照會の御方に詳しく御知せ申升●東京品川元芝八七〇 青木品子

○おしろいも香水も洗粉も要らぬ調法なる化粧品○

藥學得業士從七位鍋木郁夫先生製剤（但し淡少し頃る可 御的利殊新報見本）

皮膚特効美顔白色剤（化粧用商標登録三大備用）

高等化粧料 **ホワイテン**（一名にきびしらず）

正價 特製 壹圓貳拾錢 大瓶 七十五錢 小瓶 四十錢 送料一個二付八錢 清、韓、臺、樺太三十錢

ホワイテンは鍋木得業士が邦人の常用に適する如く消毒殺菌に注意し香水石鹸洗粉の代用ともなり經濟上の利少からずと云ふ御試用あらんことを

特効）皮膚を緻密にし自然白色艶美ならしめ（にきび）（あせも）（そばかす）等顔の荒れを防ぎ光澤を増す

郵便切手代用一割増代金引換小包一個二十四錢

製造發賣本舗 東京市芝櫻田伏見町三番地 東洋堂藥局 電話新橋二九四二番

ちゞれもくせも もはへうけあい 一大奇法

妾の手がけた方で此病にて諸師の買藥して些らぬ人も悉く治りし故夫れで皆様の進めにより御披露し升御問合せは往復はがきにて御申込あれ

女髪師 安部歌子 東京麹町區飯田町四ノ十六

懷姙避姙自由自在

全壹册 拾五錢 送料貳錢

子なき人は本書を讀みて妊娠の法を知るべく又子が出來て困る人は避姙の法を知るべく實に本書は懷姙避姙を望むが儘に自由ならしむる秘訣書なり郵券代用必一割增

大阪市東區和泉町二丁 泉陽堂

にきび●そばかす●こせがさ皮膚病一切如何なる難病も根本的全治せしむる一大奇藥を予が歐米巡遊中發見の結果僻りの不思議さに同病患者救濟の爲其由來冊子を進呈す郵券貳錢送れ

●東京品川海岸元芝 岡別邸

女（よの三）

Google

女(よの四)

大日本淑女學會

會員募集

講義錄は何時にても一號より送る

▲御自分のお宅に居って高等女學校の課程を講習しやうとする方は、本會におはいりなさい

▲本會は文部省令に據り正則完全なる女學講義錄を發行します。講義の親切丁寧なことは云ふまでもありませぬ。新式の教授法によって獨習に最も便利な方法をとります

▲卒業は二ヶ年で會費も低廉であります

▲會員には講義錄の外『姫百合』と云ふ美くしい體裁の利益になる女學雜誌を毎號無料で進呈いたします

本會の講義錄

▲大判三百頁優麗なる冊子
▲講義平易にして興味多し
▲各科講義の程度一定せり
▲各科皆聯絡し組織的なり
▲講師は專門女子教育家也
▲科外講師は博士學士廿家
▲毎號科外講話を附錄とす
▲純潔高雅の家庭小說あり
▲會員の質問は直に解答す
▲學期毎に修業證書を與ふ
▲講義錄は貳ヶ年完結とす

◎詳しい規則書は申越次第差上げます

◎東京神田駿河臺（電話本局三千四番）

大日本淑女學會

Google

行事＝＝三日上巳の節句、此日女兒ある家々にては雛棚をしつらへ、雛人形を飾りつけ、草餅、菱餅、白酒、赤豆等を供す。二十一日彼岸の中日、春季皇靈祭。

季節＝＝「啓蟄」、「春分」、衣服は綿入を着る氣候なれど春風堂に滿ちて、郊外煙霞の棚引くを見る。

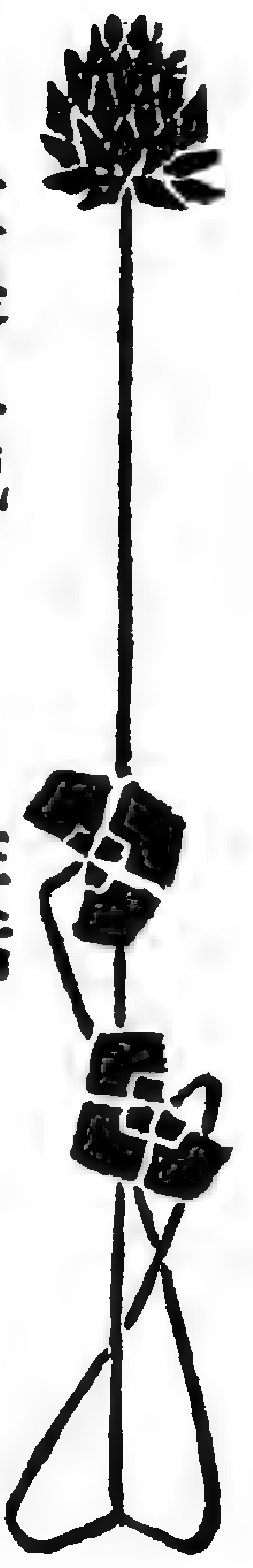
家事＝＝餘寒猶去らやすして、小兒の百日咳、流行感冒等多き時節なれば最も注意すべし。春畔焼く崩して農事繁忙の時期に入る、南瓜、茄子等の播種によろし。

食品＝＝野菜類は三つ葉、花柚、生椎茸、蕗の薹、蕗菜、つくしなど青き物口に適す、魚貝類は若鮎の吸物、鯛の潮燒、かれひ、かながしらの煮付など殊に美味、鯛の昆布卷き、蛤なべ、あさり、榮螺、赤貝、きし、山鳥なども妙なり。

遊樂＝＝各地共梅花爛開の季節、下旬よりは彼岸櫻を先登に枝垂櫻、一重櫻續いて咲きほころび、野邊には青柳の糸長く垂れて、菫、たんぽゝなどおひおひつぼみを破りそむるなれば、郊外散步に適す、又此月彼岸には都下の老人達六阿彌陀詣で賑かなり。

日曜＝＝一日、八日、十五日、二十二日、二十九日。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



虚榮に呪はれざる生活

安部磯雄

△人間墮落の第一歩

貴族といひ平民といふのも單に名稱の相違ですから、私は玆に殊更平民に味方して貴族に反對しようといふ考を有つて居るのではないです。貴族の中にも極めて平民的な人もあり、平民の中に却つて貴族的の人もあるのですから、獨り貴族だけを批評するといふのは少しく殘酷であるかも知れません。それで私が玆に論じたいと思ふのは、貴族にせよ、平民にせよ、殊更奢侈なる生活を送つて得意がる人を排斥し、同時に平民的生活が人間の理想であるといふことを明にしたいのです。此頃の風潮と言へば、言ふまでもなく貴族風の流行でしよう。單に經濟的の眼より見れば、人々が年を追ふて贅澤になつて行くのは、國家の富が增したる證據であつて、大に喜ぶべきことであるかも知れませんが、一方に於ては慥に人間の墮落と見て差支はありますまい。よし墮落でないとしても、墮落の第一歩であるといふことは言へると思ひます。

△貴族風の流行

國家經濟に功勞のある人に爵を與へて貴族とするのは善いか惡いとかいふ樣な根本的問題もありましようが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

苦は甚で歎ずべき哉がありません。既に貴族制度が存在して居る以上は、なるべくこれを濫用せぬ様にするのが肝腎であらうと思ひます。現に角貴族と平民が別人間でないことは明ですから、貴族特有の言語を用ゐたり、又これを真似たりすることは餘り感心の出来ない話です。何か儀式でもある場合に公爵とか伯爵とかいふのは宜いとしても、銀行の頭取として呼ばるゝ時に別段子爵や男爵を振り廻はす必要もありますまい。此頃演説などにも妙なことが始まつて来ました。其は聴衆の中に貴族が居る時には、演説者は大概閣下及び諸君と先づ挨拶するのですが、斯の如きことは餘り宜い流行とも思はれません。貴族の中にも御前様とか若様とか姫様とかいふ名称を嫌つて用ゐない人もある様ですが、中には男爵を貰つた翌日から早速貴族的名称を家僕に用ゐさする人もある様です、餘り貴族風を振り廻はすと、親戚や友人などの感情を害することはないかと心配いたします。或人が新に貴族に列せられたる友人を訪問したさうですが、玄関番はやがて彼を火鉢もない應接室に導き、「殿様は今御用中ですから、暫くお待ち下さい」と言ひ殘して出て行きました。其人は餘り馬鹿々々しさに

友達を殿様と聞く寒さ哉

と一句やつたさうです。

貴族の間で盛に貴族風を吹かせますると、富豪なる平民はこれを羨ましく思ふものと見えて、何時の間にか真似をする様になります。富豪と申しても一々左様である譯でもありますまいが、親戚が互に呼ぶのに名を以てせずして住所を以てするのが普通であると聞いて居ります。勿論これは多く僕婢の間に用ゐらるゝでありましやう。即ち番町に住める親戚の人が来訪すれば、女中などは「番町様」のお出でと呼はつて玄関に迎へるさうです。随分横柄なことではありませんか。

某女學校の同窓會が催ふされた時、同窓生の一人にて某富豪の妻君となつて居る人にも案内状を送つたさう

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ですが『奥樣は唯今御旅行中ですから出席が出來ません』といふ樣な意味の返事が執事の名前で來たさうです。此の如き例を擧ぐれば隨分澤山あるに相違ないですが、私は此流行に對して少からず心配して居るのです。私には貴族を羨むとか憎むとかいふ考へは極めて薄い樣に思ふて居りますが、貴族風といふことには極力反對したいのです。若し此氣風が増長する樣になりますれば人は必ず精神的に墮落せざるを得ません。

△投機の心

人の心は貴族的になる程輕薄になつて來ます。既に貴族である人は左程にもありますまいが、種々なる手段を講じて貴族にならうとか、或は貴族の眞似をしようとか考へて居る人の心は如何にさもしいものでしよう。彼等には決して堅實な考はありません。彼等は唯外形を飾つて他人に誇らんとする野心の外には何もないのです。平民的生活といふことを私が説きたいと思ふのは、自分の腕に依て自分の運命を開拓する。自分の價値は裸になつた自分にあるのだといふ樣な意氣を誰にも有つてもらひたいからであります。自分の價以上に買つてもらひたいなど考ふるのは自らを偽はり人を偽はるので、實に意氣地なしの骨頂です。此頃我國には投機的の事が非常に流行して來ましたが、これは慥に貴族的精神と何等かの關係がある樣に思はれます。元來我國人は賭博とか富籤とかいふ事には極めて冷淡である樣に思はれましたが、彼の勸業債券に富籤を許し、臺灣の富籤を許し、競馬を許すことゝなつて以來、國民は忽ち其本性を現はすことゝなりました。新聞や雜誌には懸賞があり、商店は競ふて福引を行ふことになりました。凡て此等の事は小い事であるといふ人があるかも知れませんが、國民の氣風に及ぼす影響は非常です。僥倖で以て桐箪笥を取らうとか、千圓の籤を引き當てやうといふのであるから、自分の腕で自分が儲けるといふことゝは全で反對です。私は此投機的の事にも極力反對せんと思ふて居りますが、此問題は殊に婦人の方々に考へて戴きたいのです。無遠慮

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に申せば婦人は男子よりも一層投機心が強い様に思はれます。第一婦人の運命といふものは多く男子に依つて定まるもので、白樂天といふ詩人も人生婦人の身と爲る勿れ、百年の苦樂は他人に依ると歌ふて居る位です。勿論今日は婦人の地位も漸次變はつて來たに相違はありませんが、尚ほ「澁かろか知らねど柿の初契」とか「女は氏なくして玉の輿に乘る」といつた樣に、其選擇したる夫の人物に依りて自分の幸福が定まるのですから、恰も富籤を引くが如きであります。言ふまでもなく、これは男女共に當てはめることが出來るに相違ありませんが、殊に婦人に於ては甚しいのです。勿論男子の方から婦人の心を推測するといふことは隨分冒險的であるかも知れませんが、私は茲に少しく婦人の心を解剖して見たいと思ふのです。

△富籤的の運命

婦人が結婚時期に達したる時は如何なることが最も多く其心を支配して居るのでしやうか。言ふまでもなく結婚問題であるに相違ありません。而して男子よりも婦人の方が多く此問題を氣にするといふのは、投機的分子が多いからであります。婦人は如何なる人の妻になるか豫め知ることは出來ません。若し自ら撰擇するの權があれば兎に角ですが、今日の如き結婚制度に於ては殆んど籤を引く樣な考へで結婚するより外はありません。それも多くの申込者があつて、其内より父母兄弟が撰擇して呉れるのならばまだしもですが、此方で希望する樣な申込者があるか、ないかゞ先決問題です。競馬や富籤に賭けて居る人が明けても暮れても其結果の事のみを思ふて居るが如く、婦人も如何なる申込者があるかといふことに就ては日夜考へざるを得ないでありましよう。何分一生涯の運命の定まるといふ重大なる富籤ですから、多數の婦人が此問題の爲に多く心を惱ますのは無理もないことであります。然し投機的精神は何れの時何れの場合にも宜しきものではありませんから、私は婦人の心からなるべく投機的精神の取り去らるゝに至ることを希望するのです。若し

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今日の傾向を自然の成行に任せて置きますならば、多數の婦人は貴族的弊風に捲き込まれて、益投機的の心を增長せしむるに相違ないです。今日の流行より推して考ゆれば、外交官、貴族、富豪などに嫁したいと思ふ婦人は確に多數を占めて居る樣です。無遠慮に申せば婦人は男子よりも一層虛榮心が強いのですから、外交官の夫人となつて交際場裡に活動して見たいとか、何といふ譯もなしに唯伯爵夫人と呼ばれて見たいとか或は富豪の細君となつて、贅澤なる生活に誇つて見たいとかいふ妄想が常に彼等を支配して居る樣に思はれます。故に婦人は殆んど自分の位地や教育などの事を考へる遑なく、一足飛びに立派なる貴婦人となつて見たいと萬一を僥倖して居るのであります。言ひ換ゆれば婦人は種々なる手段を用いて自己の身價よりも數倍若くは數十倍で賣付けんと試みるのです。斯る風潮は全く貴族的弊風の結果であると言はねばなりませぬ。

△簡易の生活、高尙の思想

哲人エマーソンの申しました通り、人は生活を簡易にして、思想は飽くまでも高尙にするといふことを理想とせねばなりません。私は決して社會の物質的進步に反對するのではありませんけれども、贅澤なる生活は必ずしも人類の幸福を來すものであるとは考へないです。人類は生きる爲に衣食住を要するので、衣食住の爲に生きて居るのではありません。我等が衣食住に不足を感じない樣に働いて居るのは、我等が思想の方面に充分發達するの餘裕を得たい爲であつて、唯衣食の慾を貪りたいといふのではありますまい。今日の有樣を以て見れば生活の程度が高まれば高まる程、思想は却つて墮落する樣に思はるゝのです。よし婦人が其目的を達して貴族富豪に嫁することがあつても、其は單に物質的成効であつて、精神的方面には大なる墮落であるかも知れんのです。人々が驕奢を競ふの結果は如何でしよう。彼等は最早便利とか必要とかいふことを考へないで、單に虛榮心の命ずる所に從つて滑稽なることを演ずるに至るのです。羅馬市民が驕奢を極め

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たる時代には互に其使役する所の奴隷の多きを誇ったのです。亦或時には高價なる燕のスープを客に饗して得意がつたものもあつたさうです。私は必用品や便利品の爲には幾何の金を投じても決して惜いとは思ひません。然し虚榮の爲に贅澤をなすが如きことには断然反對するのであります。婦人が貴族や富豪に嫁し得たることを其朋輩に誇るのは、恰も千圓の福引や一萬圓の富籤に當つたことを誇るが如きもので、餘り結構な話でもありません。輕薄なる婦人は地位とか金錢とかを唯一の寶である樣に思ふかも知れませんが、人生の幸福は決してさういふ事で得らるゝものではないのです。某大名貴族に一人の令孃があつたのですが、其人は隨分珍らしき考を懐いて居たのです。身は貴族に生れながら、貴族的生活が嫌いで、是非平民に嫁して自ら炊事をやつて見たいといふて居たのです。今は平民的生活をして居るか否かは知りませんが、無爵の人に嫁して居るのは事實です。これは一例ですが、隨分貴族の中には貴族的生活を厭ふて居る人があらうと思ひます。貴族富豪の生活が果して羨むべきものであるか否かは疑問です。私の信ずる所では簡易の生活と高尚の思想が眞に我等の幸福を來す唯一の條件で有ます。

△人手を要せぬ人

貴族的と平民的の分るゝ所は前者はなるべく多く人の手を借らんとし、後者はなるべく自ら働かんとするに在るのです。多く人手を要する人は貴族的で、多く人手を要せぬ人は平民的であります。私は先日清國に永く居る所の米國宣教師から聴いたのでありますが、清國にて教師と稱せらるゝ人は決して手足を動かす樣な働きはしないさうです。或教師の如きは召使が井水を汲んで呉れなければ何日でも水を飲まずに辛抱するといふことです。或時米國人がテニスの會をやるといふので、清國の官吏などを招待しました所、官吏達は米國人の遊戯するのを見て不思議さうな顔をなし、「こんな事は勞働者にやらせたら如何です」と言つたさうです。清國の紳士は實に勞働といふことを賤めて居る樣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に思はれます。然し我國でもこれに似たことは随分私共の日々實見する所ではありませんか。貴族的の人になると自ら手を下せば何の造作もないことでも尚ほ人の手を要するのです。自ら縁側まで行けば硯の水を入れることが出來る場合にでも、尚ほ手を拍つて臺所から女中を呼び寄せるといふ様な例は決して少くありません。こんなだらしのない不活潑の人間が漸次増加した日には到底一國の隆盛を望むことは出來ません。私は男女に拘はらず、なるべく人手を要しないといふことを以て平民的生活の重要條件と考へて居ります。

△生活を簡易にする法

世には多くの下女下男を使つて居ることを誇る人もありますが、私は全く反對の考を有つて居るのです。下女下男の多いといふことは其家の主婦を始め、凡ての人に獨立心の乏しいといふことを證明して居るので、寧ろ其家の耻辱であるといふのが適當でしよう。若し主婦が獨立心に富み、自ら萬事に立働くといふ人であり、且つ文明の利器を應用して一家を經營するといふ考があれば多くの下女下男を使役する必要はない。電氣を以て石油に代へ、瓦斯を以て薪炭に代へ、水道を引いて井水を汲むの手數を省き、ミシンを用ゐて舊式の裁縫を廢することゝすれば、一家の經營に下女の助を借ることは極めて少くなるに相違ない。且つ今日の如く下女の供給が甚だ少くなるに至つては、何人も必要上下女の助を借らずして一家を經營するの工夫を爲さねばなりません。米國に於ては數十萬の資産を有する人で尚ほ下宿住ひをして居る者もある位でありますから、我國民もなるべく簡易生活を送るといふ覺悟をしたいものです。

一家の生活を簡易にするには種々なる改革を要するのですか、飯を炊くといふことも其一例です。若し西洋諸國でパンを配達するが如くに飯の配達が出來る様になつたならば如何でしよう。主婦の働きが大に助かるのは明白です。私は將來完全なる方法が案出せられて、恰も牛乳配達の如くに飯の配達が行はるゝに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

至ると信じます。唯今私の知人で飯の配達をして居るのですが、場所は九段の坂下、體育會の向側です。一日に三石位の米を炊いて配達して居るのですが、若しこれが東京市の各所に行はるゝこととなれば、家政上には少からぬ影響を及ぼします。

子供の教育にも平民的方法を用ゐねばなりません。子供も九歳十歳位になれば少しづゝ自分の用事を爲さしむるが宜いと思ひます。何事にも善き習慣は大切なるものでありますから、子供の時からなるべく女中の手を借らぬ樣にすれば將來必ず獨立的の人となることが出來ます。亦子供に學問教育を與ふる爲め數名の家庭教師を雇ふて居る人もありますが、これは啻に羨むべきことでないのみならず、却つて非難すべきことと思ふのです。母親は如何程交際の事に忙しいといたしましても、自分の子供を教育することの出來ぬ程交際に時間を取らるゝといふことは果して賞賛すべきことでありましようか。私は斷じて否と答へます。年若き婦人は將來家庭を經營するに當り、多くの女中や家庭教師を雇ふべしなど空想して居るかも知れないが、是は飛んでもない考へです。家庭教師に己が子供を托するよりも、自分の手でこれを教育する方がいくら名譽であるか知れません。

△婦人の男子に及ぼす感化

男子にも虚榮心は充分ありますけれども、婦人の虚榮心に至りては一層甚しい樣に思はれます。婦人は男子の如く學問や才能を以て己を世に現はす機會が少ない、ですから華美なる衣服、住宅、馬車などいふ贅澤品を以て己の位地を人に示さんと致します。これは最も簡便なる方法で、亦最も効果が多いのです。其處で虚榮心の強き婦人は常に其夫を勸めて貴族的生活をなさしむるに至ります。男子は婦人の歡心を得んとするために、知らず／＼其感化を受け、終に華奢なる生活をなすことを面白く思ふ樣になります。婦人は表面に於て男子を動かす力はない樣ですが、其裏面に於ては大なる勢力を有して居ることは何人も認むる所です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

されば男子が貴族的生活に赴くか、或は平民的生活を好むかは多く婦人の嗜好に因ると言はねばなりません。故に私は殊に婦人に向つて平民的生活が人類の理想であることを説きたいのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界同胞會の事業

某英國婦人

近頃、日本にも貴婦人方が大分色々の會を興されて、中に隨分立派な會や學校なども出來て居る樣ですが、私が存じて居る米國カリホルニヤ州ポイント、ローマと云ふ處に本部が在る世界同胞會と云ふものも却々立派で面白いもので御座います。

此會の創立者はカザリン、ティングリーと云ふ婦人で、婦人の事業としては是等は先づ世界一番の頼母敷い會であらうと思ひますから、其の婦人の事や其の會の目的等を少しく紹介しようと思ひます。其會は近年非常に盛んになりまして、日本と支那との外は大抵の國に分會を設けて、昨年の一月迄に其會員は實に十幾萬人となりました。

會の主意は何かと申せば、世界同胞と言ふ事で、其の爲に會の內に種々の働が在ります。其內にラジヤ、ヨガと言ふ學校が設けてありますが、此のラジヤ、ヨガと云ふ言葉は印度に能く知られてゐる梵語なので、其意味は大なる一致即ち身體と腦力と精神を釣合好く教育する意味です。而して重に子供の良心を發揮させる樣に力めて居ります。會の教によれば、神は人間の本心と同質で、即ち此世に生れた人間の心を照す光であるから、其神の力を持つて總ての慾や缺點に勝つ事が出來ると云ふのです。幾程若い小兒でも、親や教育家が能々注意致さなければ、色々の癖が出て其本當の良心を發揮する事の妨げに成ります。譬へて言へば子供の心は花の種に似たもので、此世に生れてから其種に含まつて居る力や美德が段々と開くのが當然です、其種を世界の土に埋て、段々土から營養を得、太陽の光も受て、次第に奇麗な花に成る筈です。然し是に伴つて惡い草や、寄生蟲や、何にか色々妨げが有ります、ですから教育家の務めなければならん事は其妨げを悉皆取つて、其種に成長する機會を與へるのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其本當の心、即ち其良心の力は實に不思議な程强いもので、其力で何にでも勝つ事が出來ます。耶蘇の敎へに「汝等は神である」と云ふ事は誠に此良心を指して居るので御座います。又禪學の佛心と云ふ事も矢張是です。此心の光りを消さない樣に此光を隱す惡い習慣を殘らず拂つて、此精神敎育を基ゐにして大事に行ひさへすれば、普通の敎育は造作なく敎る事が出來ます。

此學校の子供の内には金滿家の子供、名高い人の子供、又貧乏人の子供等が一緖に育てられて居ります三人の生徒の拂つた月謝で、一人の貧乏人の子や、孤兒を入學させます。ですから其子供の四分の一は極く貧乏人の子で、外の四分の三は上流の人です。然し此學校に這入てからの待遇は上下に拘はらず、皆同じで、子供は皆上等の子供になつて、何方が金持の人の子で何方が貧乏人の子だか少しも區別する事が出來ませんある名高い米國の新聞記者は、實に其生徒間或は生徒と敎師との間は不思議な程に愛らしくて同情深い樣に見えると言ひました。而して其敎育の程度は驚く程進んで居ります。吾々大人でも其敎場の練習を見ると、誠に耻しく成つて來ます。例へば暗算などの練習には、私共は迚も出來ない問題を五六歲の子供が何の苦もなく解きました、外の學科も同じ樣に外の學校の生徒より遙に進んで居ります。勉强の時間は外の學校の半分位だけれど、子供等は其精神敎育のお蔭で心力を集中して居ますから、非常に好く且つ早く上達する事が出來ます。

勉强の外に子供は各何程らかの務めが有る上に、又體操や音樂や美術や園藝なども有りますから、何をするにも一生懸命で、少しも惡戯をしてゐる暇がありません。

米國の敎育家、視學官、或は新聞記者などは、皆此の新敎育法を賞讚して、方々から此本部へ調べに來ます。昨年の一月、アメリカン、マガジンと言ふ雜誌に、此の會や學校の事を記載した事が有りますが、記者は世界中に是程面白い實驗は有るまいと申しました。又ボールドウイン、と言ふカリホルニヤ視學官は此のラジ

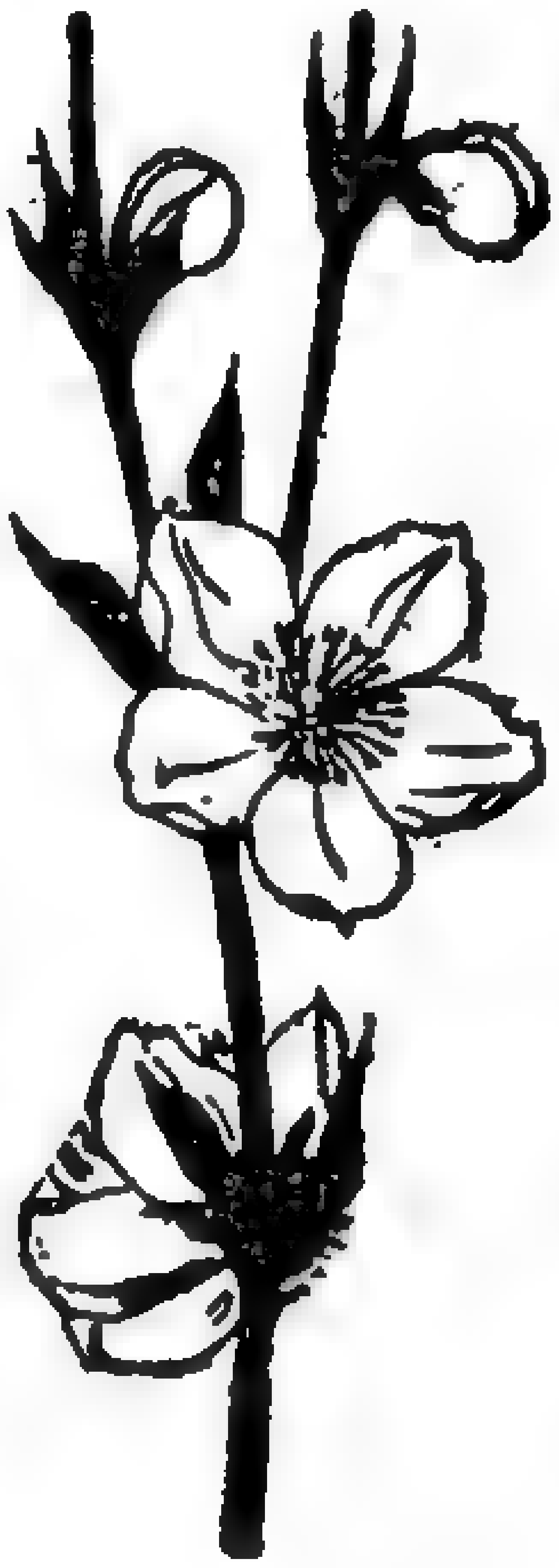
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す、ヨガ教育を受ける生徒は實に幸福だ、と言ひました。で今でも一千五百人以上の入學希望者が有ります。倫敦にも玖瑪にも此のラジヤ、ヨガ學校が設て在つて近い内に瑞典及び英國のニユーフオーレストにも同學校を建てる積りだといふ事です。それのみならず、世界各國から此の學校の創立を希望して居る手紙が續々來て居るから、遠からず萬國に弘まる事と思ひます。
教育には勿論重きを置いて居るが、其外色々慈善事業があつて、米國と西班牙の戰爭の時など、會長と其會員の婦人は、澤山材料を持つて行つて、一萬五千の軍人の患者を救護しましたから、米國の大統領や陸軍大臣から禮の書面を受けられました。又ジヤマイカ地震の時も此會長から送つた藥や外の色々の材料が一番先に着して遭難者を澤山助けて居ります、其外出獄人や醜業婦や貧困者を出來るだけ救つて居る又此の會の教師、事務員、又はセンチユリー、パスと云ふ毎週發行する立派な雜誌の掛員や、其他總て働いて居る人は皆自發でやつて居るから、利己主義の人は一人も此會に這入りません。
世界同胞會は耶蘇教や佛教や又社會黨などには何の關係もなくて、唯古今東西の宗教や哲學の内に有る好い處だけを信じて居るのです。其の會長は、今の世の有様では、理論計りでは迚も役に立たないから、宗教を吹聴するよりは其宗教の道德の處を實行して見せる方が必要であると言つて居ります。今迄「同胞」と云ふ言葉は如何なる宗教でも使つて居るが、此の會は耶蘇教や佛教や回々教などゝ違つて、宗教や人種に拘はらないところの世界同胞會であるから、此の主義の下に行を正しくさへすれば誰でも會員に成る事が出來ます。南カリホルニヤに在る本部は東洋と西洋との中間に在るから、將來東洋の知識と西洋の物質とを一致させて世界を進歩させる上に非常に貢献する事と思ひます。
尚ほ此會の事を調べたき人は左に紹介なされば精しく返辭を寄越します。

Mrs. Katherine, Universal Brotherhood.
Point Loma
California.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



趣味ある婦人の趣味ある態度

處は三保松原の絶景を一目、村は醇朴無比の一小別天地、家は昔ながらの東海の古刹、人は俗性の累を超越の女史。

婦人記者

東海道江尻の驛で汽車を下り立つたのは二月二日、偶然にも舊暦の正月元日。その午下りの頃でした。「南矢部の東海寺」と尋ねると車夫が直ぐ首肯いて「エヽ、先般も奥様のお伴をしました。書生さんも始終行きますよ。よく知つてゐます」といふ。それは好都合と直ぐ其車に乗つて出懸けました。

江尻の町を少時川に沿うて下つて、右へ富士見橋といふを渡るとやがて田圃路へ出る。さすがに田も畑も冬枯。寂しさを示してゐるが、處々に立つた野梅は最う盛りである。向うに見ゆる山沿ひの村、立木の間にほつ〳〵と藁屋が見え隠れする。

車を駐めて後の方を眺め渡すと、一面に展開せられし清見、三保、駿河の海、富士の高嶺、伊豆の山々の繚繞、湊合、交錯りて描くが如き風光、今更に言ふもおろかながら、翠凝らせる三保の松原は、右の方より一直線に遠く走りて鏡なす海を劃り、それに劃られし清水港内の浪はいと穏かに、長き松原の影を涵して動かず、その松原を越えて外面に光るは一面の駿河灣、その灣を越えて彼方に漂渺と立續く。伊豆の山々。眼を左すれば好適邊に秀で聳ゆる雪白の不二。此方の麓を立隠して錯落する蒲原の岬。興津の鼻。さては眼下に清水の町。海上の汽船。黒煙。白帆の影――たゞ一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

瞬に眼に入り來る絶好パノラマ。

かくて志す東海寺に着きました。東海寺には訪ぬべき藤井瑞枝女史が居らるゝのです。

女史は如何なる方で、又いかに異なりたる生活を爲されつゝあるか。それは下々に記すところで自からお分りになります。唯茲に申しておきます。女史は本願寺派の英才として世人に畏敬せられたる文學士故藤井宣正氏の未亡人で、號を侶松と申し折々彼方此方の雜誌に興深き隨筆などを物せられて居る方。

＊　＊　＊　＊　＊　＊

「此處でございます」と車を停めたので下りて見ますと屋根が瓦葺、そして竹籬が瀟洒てゐます。けれど小さな家で、打見たところ隱居所とでも言ひたいやうな閑靜。這入つて案内を請ふと、正面の式臺が廣くて、上つた處が本堂です。

その左に一室、それが女史の居室、右に一室、それが勝手。全體で三室の家と見受けられました。そして住む人は女史と十四五歳の女中と二人きり。時に女史は少し不加減で臥せつて居られたのを、床を上げ室を淸めて請ぜられました。壁に何かの畫幅が懸り、その下に机が一脚、外に一閑張の机の上に雜誌や筆墨が載つてゐました。女史は打見たところ四十には未だらしい、美しい方ですのに光澤のいゝ黑髮を無造作にきりきりと元結で束ねたばかり、いかにも淸楚した御樣子話振も明晰と快活でした。

「大變お待たせ申しました。這麼邊鄙へ遙々と來らしても、格別お話もありませんよ。それに近來は最う男子のやうな生活をして居つて、却つて御婦人方に因緣が薄いのですから……まあ兎も角も。私は御免蒙つて火燵を致しますから……御承知の通り身體が惡いものですから、

少しも隔てなきお話振。

「此寺へ參つたのは、一昨年の秋でした。最初參つた動機ですか、全く病氣保養の爲で……」さアまづお茶を一ついかゞです。お菓子もどうぞ。私は最う外の事に何にも關ひませんが、唯菓子だけは東京の物でなけ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りや用ゐないのですよ。其品も粗末ですが榮太樓ですよ。

詩歌小說に就ての感想

「私は芝居も小說も餘り好みませんよ。芝居は後にも前にも唯三度見たきり。小說は、近來、各位が送つて下さる雜誌のを拾ひ讀みする位なことです。鳥渡面白く思つたのは眞山さんの「第一人者」などで、新生面を開いたものだけにいゝと思ひますが、普通の人情世間を書いた小說は、その書いてある人情世間よりも、最つと實際の人情世間の方が複雜なもの、その複雜な實世間を知つた眼で見れば、何やら物足りなくて讀む氣が致しませんよ。此頃の飜譯物では、あの「何處へ」クワウヴアヂスを譯したもの——などが、さすがに偉いものと感心して讀みました但しそれは原作に感心した譯ですが……。露伴紅葉などですか。それも幾何も讀んで居りません。けれど露伴さんや鏡花さんの方を好んだので、紅葉さんのは何だか濃こい樣で好かなかつたのですよ。

漱石さんのは「坊ちやん」「二百十日」「倫敦塔」なんか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が、「虞美人艸」や「猫」よりもよく記憶に殘つてをりますね。然し小說はどんな佳いのでも二度と讀む氣にはなれません。蘆花さんの「順禮紀行」だの、深川さんの著書などは、內容が面白いばかりでなく文章も美しくて、非常に引き付けられます。私には恁ういふものゝ方が遙かに面白いのです。和歌では佐々木さんの社中などに感服するのもありますが、やはり晶子さんのは到底人に眞似られぬ雄大な奔放な深刻な刺戟を與へて一番優れたものと思ひます。私自身は餘り詠みも致しません。義理に迫られ時位で、其他は時々日記的に感想を記して見る位な事です。

芝居に就ての感想

「芝居に就いての話ですか、ずつと昔の事ですが、歌舞伎座で團十郎と菊五郎の「佐野の渡り」の狂言を見ましたところ、源左衛門常世が時頼の後姿を見やつて遠くから、オーイ〳〵と呼戾しますと、その時に團十郎の時頼が、ヒヨイ〳〵と五歩六歩花道を立戾つたのです。それが何うしても雪の降り積む路を步く風でないのですよ。私の生れ故鄕は信州の飯山で、御存知の通り雪の深い處です。それだけにあれでは雪路の足取では何うしてもないと、其處へ氣が付いたのです。可笑しい事に思ひました。次には梅幸の「紅葉狩」を見た時侍女達が「女御樣には……」何とか言ひましたが、あれも女御樣では宮中の女官だから如彼いふ塲合には佳くありますまい。やはり「お姬樣には」の方が當り障りが無くてい〻と思ひました。最う一つは芝翫の「春日局」でしたが、もう竹千代のお付きになつて年經つてから稻葉守の子供二人が江戶城へ尋ねて來る處で、前の幕に兄であつた方をこの幕では弟にし、又兄の方は大きい役者に變へて、つまりずつと成長くなつたのに、前の幕の竹千代と此の幕の竹千代と些とも變らないのですよ。可笑しいぢやありませんか。だから其れを申しますと、貴方は其麼缺點ばかり探してゐるから、藝術の趣味が出て來ないのです。切角藝術趣味を養成して上げようと思つて、誘つて上げるのにと攻擊されまし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。ハヽヽヽこれがまあ三度だけ芝居を觀ての三度の觀察でございますよ。

繪畫に就ての感想

「それから私は繪を見る事が大好きです。何か身體の加減でも惡くて、讀む事も書く事も厭さりとて退屈で仕方の無い時には、各位が英國、佛蘭西、露西亞個々の處から送つて下さつた繪葉書――などを出して見ては慰んでをります。ですから何時然う思ふのですよ、私に若し繪筆が採れたら、直ぐに此邊の優美な景色を描いて各位に上げるのですのにと。此邊のみならず私は美しい景色を見る毎に何時もさう思ふのですよ。旅行は隨分致しました。中國から九州、北の方は新潟も、併し奧羽方面は未だ日光より先へは參つた事がありませんが……。ですが此邊の景色も實に美しうございますね。ほんに繪のやうです。須磨も明石もさうですが、あれは墨畫で、これは四條派か何

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かの極彩色の密畫だと思ひます。然ういふ話があるぢやございませんか。雪舟が支那へ渡つた時に、一つ富士の景色を畫いて下さいと言はれたので、あの龍華寺からの眺望を畫いたといふこと。實際天下に富士を見る名所は澤山ありますが、龍華寺附近から見た景色が一番だと思ひます。さすがに高山さんは佳い埋骨の地を撰びましたね。月のある晩などに散歩に出かけますと、實に繪も及ばぬ景色で、天人が舞ひ降りたといふのも無理のない事と思はれます。黒光りする三保の松影も、月の光に映ずる富士の雪もよく分ります。沖の漁火、金波銀波を寄する海原。うつかり眺め入つて、立ち盡して、風を引いた事もあるのですよ。……して見れば私もなか〳〵自然趣味があるのかも知れませんね」。

然う言つて女史はハヽヽヽと快活に高く笑はれました。

超越的の婦人

今夜は淸水か江尻へお泊りでせう。切角來らつしたのに碌なお話もありません。せめて龍華寺へでも來らつしやらなけりや詰りますまい。お歸りになつたなら寺の夕食を上げますから。さうして又話して來らつしやい。

と絹ショールを無造作に引掛けて先に立たれます。で、記者も後から跟いて出懸けました。往來へ出ると其處らに靑年が二三人立談をしてゐました。女史が遠くから聲を掛けて、

「どうだい孝作、いゝお正月かい」

と言ふと、善良らしい若者は顏を振向けて、「えゝ…………」と答へながら羞爾してゐる。往來の右へ曲つた小路、やがて出た田圃路、其の總てを通じて顏を見た程の老若男女が皆挨拶をする。女史は一々快活に詞を交しながら、田圃を海の方へ進む。

「實に穩秀な景色ですなア」

「穩秀ですよ。私の處へ遊びに來た人が、此處の景色は眠れる美人だ、と言ひました。美人は美人だけれど

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眠つてゐるんですつて」

「成程。今日の様な薄曇りの日は稍々眠つたやうな趣がありますね。然し晴れやかな日光を浴びたならば、この山も水も醒めて來て所謂明媚秀麗になるだらうと思はれます。」

恁麼話をしながら小さな溝に懸つた橋を渡る。橋の袂の何樹やらの枝に新らしい輪注連が懸けてある。其の橋を渡ると女史は右手を指して、

「直き此の向うに寺の屋根が見えるでせうあれが鐵舟寺です。あの門前を最う少し行くと龍華寺へ出ますよほんの一歩ですから、では行つて來らつしやい。私は御馳走の準備をして置きますから」

で、わたくしは田圃路を右へ折て進みました。右手の小山には盛りの梅が處々に眞白に匂うて居る。桃の時節になると此の山は宛然友禪模様の如に美麗しいと、女史のお話を思ひ出しながら、女史の人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と身をおもひ浮べました、彼の温かい待遇振。それで居て極く淡泊としてゐて、自からも言はれる通り往々男子かと思はるゝ樣な言語、擧動。然もそれながらに矢張圓融い温柔かい、女性の美所を失はれぬ、つまり心が練れ澁汁か抜けた上でなければ出來ぬことは勿論ですが、然し單に世事慣れたといふだけでは、とても恁ういふ風にゆかぬもので、優美な感情、奇警な見識宗教的の素養、げに此等の靈氣が心に充ちてゐてこそ、虚禮虚儀を丸抜きにして、それで微塵も品格の崩れぬ應對振も出來るのであらう、かくて私は龍華寺へ參詣して再び東漸寺へ歸りました。

不思議な村

「お、お歸りでしたか。御緩くりでしたね。」

「今夜さに夕飯を上げますよ。種々の御馳走が參ってますよ。毎時私の許へ東京のお客があると、方々から御馳走を持って來て吳れるのです。餅も澤山來てをりますからお雜煮が出來ます。お鮨もお蕎麥も參ってゐます。皆澤山ありますよ。」

やがて洋燈も點き膳も出た。

「さあ澤山召上れ。私も御相伴します。その鍋だけは私の御馳走ですよ。お旨いでせう。ハヽヽ。そのお鮨も召上って御覽なさい。存外食べられますよ。田舍料理でも然う無暗に鹽が辛くないのですよ。此村では不思議に貰った物に困るやうな事がありません。この村は幾何か恁う品の善い所があるのですよ。」

で、小婢のお給仕で食事をしながら、村のお話を伺ひました。

「此の近邊は砂糖が出來るので、それには事を缺きません、然しこの村は六十戶ほどですが、郵便函が一つもなく、從って切手を賣る處がないのですもの。葉書一枚でも淸水の町まで行かねばなりません、けれども又御方便なもので、誰か知ら村の者が毎日町へ參りますので、用は辨じてくれるのです。が、村のいかに開けないかはこれ一つでもお分りでせう。御維新になっても何にも變った事はない。増った一つ善い事は、外

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

國の商船が此沖へ入るやうになつたので、茶の直取引が出來ること。それより外は何にも變らないさうですよ。それに二宮尊徳翁の報徳社は今も此村にも立つてあり、其の感化もあつて氣風が宜しいのです。それに不思議な事には、此村の者は無學に似合はず語が上品なのですよ。父母の事はちやんと「おとうさん」「おかあさん」。それが破れ股引の百姓夫婦の子供の語ですよ。「お父樣は何處へ行つたえ」「貢租に町まで行きましたア」。成程、税を納めるのは貢租ですが、鳥渡此方で首を傾げる位です。「うなじが寒い」とか、「懸命に何うした」とか、然ういふ語が少なくないのですよ。どうしても武士語の殘つたものだらうと思つて調べて見ますと、果して昔、今川氏の頃に、某といふ郷士が此村を支配してゐたので、その子孫が今も此村に居るのです。そして此村は青年の唄ふ俗謡といふものがありませんよ。鍬を肩にして歩きながら「鞭聲肅々」などをやつてゐるのです。眞正に面白い處です。も少し觀察した上で書いて見ようと思つてゐるのですよ。」

女史は折々お換へなさいと記者に勸めながら、箸を動き〳〵して話されます。記者は山の天然の鹽加減の何とも言はれぬ旨味さに、遠慮なく頂戴しながら耳を傾けてゐました。食事が濟と話が轉じました。

旅に就ての觀察

旅行も隨分澤山……中には贅澤な――金と時間とに無制限な――超越的旅行もすれば、又眞正の貧乏旅行もしました。皆お話しすれば限りもない事ですから、一つ奈良へ行つた事だけお話しゝませうと、女史は又火燵を擁して語り出されました。

「奈良へもやはり握飯で行つたのですよ。普通の人は今の奈良市だけで奈良見物を濟した積りですが、今の市はほんの昔の奈良京の一部分で、西の京から郡山、法隆寺の方迄、數里に渡つて七大寺其他の舊跡があるのですもの。もう奈良邊の繪畫や彫刻を見ますと、何とも言へない高尚優美な刺觸を覺えまして、それに如

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何にも澤山あるものですから、殆ど眼も眩むばかりですね。

「奈良へ行つた時は五月の始めで、恰ど藤の花の眞盛りでした、春日神社の一の鳥居から、神殿までの數町の間、見上ぐる計りの杉の大木に絡んで、紫や白の藤が亂れに亂れて咲いてゐる景色は櫻などゝは全く違つた、ほんに上品な奥床しい景色でした。恰ど私達が春日野の土手の處で握飯を喰べて居りますとね、鹿が群れて來て、その握飯を吳れと頻にお辭儀をするのですよ。奈良の鹿は餘程人に慣れて居りますね。けれど如彼いふ優柔しい動物ですから犬を見るとびつくりして逃げるのです。ですから昔は奈良では犬を飼ふ事を禁じてあつたさうですね。

「恰ど此時ですが、向うから小さい、十歳位の神樂乙女が、白い被服に緋の袴をはいて、頻に野の面を物を探すやうな姿態で近寄つて參ります。よく／＼見て居りますと春日野の蕨を摘んでをるのです。あゝ此時こそは私達が若しも寫眞器でも持つて居るか、繪筆でも執る事が出來る身の上ならばと、しみ／＼然う思ひましたよ。

「大佛は唯大きいと言ふばかり。三笠山は繪の通りに美しく、猿澤池は案外に小さいものです。橿原の神宮ではあまり其の質素なのに驚き、垂仁帝の御陵には神さびたしんとした樣な感じがせられ、初瀬の觀音へ參つては藤原時代の婦人の物語でなどを思ひ起し、それに私は物好きにも一寸大和五條の天理敎の御本山へ參つて見たりして京都へ歸りました。

先程から出されてゐた食後の菓子や、此邊名産のネーブルス、オレンヂの美味を戴きながら、趣味津々と盡きせぬお話を聽いてゐた記者が、今一條旅行談をと懇望したので、「では序の事に最う一つだけ」と話し出されました。

重ねて旅行談

「これは親族の老人連と寺社を巡禮した折のお話ですよ。この時が氣まかせの超越旅行なのです。京、大阪

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

から堺へ出て、それから紀州へ廻りました。和歌山市から和歌浦までは二里ほどもありませうが、其途すがらの風光がなか〳〵佳いのです。松並木は何時の頃にか其根を洗ひ上げられて、雅致を極めた姿態であり、處處に樹木の茂つた岩の小山が點々と散らばつて居り其岩が又繪にある様な線や皺のある、風趣の備はつたものです。其間を通つて参りますと、車上の自分も何時か景中の人となつた様な心地がせられたのです。

「さて和歌浦は雄大といふよりも、やはり繊細な景色ですね、一口に和歌浦と言ひますが、つまり一葉海水を隔てゝ紀三井寺を望むのが佳いのです。蘆邊茶屋へ着いた晩に私が、これで昔の様に鶴が群棲して居つたらどんなに美い景色だらうと、頻に申して居つたのですよ。すると翌朝早く同伴の老人が散歩から歸つて來

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、鶴が居るから早く起きて御覧と言ひます。けれどきつと欺されるのだと思つて、一向出ても見なかつたのですよ。處が愈々紀三井寺參詣にと出かけて見ると成程、鶴が唯つた二三羽ですが、蘆の茂みに餌をあさつて居るぢやありませんか。私は之を見て最う身も心も浮き立つ程嬉しくて見入つて居りました、が。後でよく〱聞くと何の事でせう蘆邊茶屋が飼つておくのを、日中だけ籠から出すのださうです。

「それから吉野へ廻りましたが、吉野は思つたよりも道路が善うございました。何でも先年皇后陛下行啓の際に大に路普請をした爲とかいふ事で、先曳の俥で樂に上られましたよ。處がその先曳きといふのが、此邊のは人間ではなく、犬が先を曳くのです。あの邊ではみんな車夫が犬を一疋づゝ連れてるのですよ。一寸外では見たことがありませんね。藏王權現から南朝の御所を拜して、其處で高御座を拜見致しましたが、其裝飾の樣式が、鳳輿の遺物として印度から送つて來た品の模樣に、酷似して居るのです。それで其の裝飾の根元は矢張傳來のものではあるまいかなどと、鳥渡思ひました。

「さて如意輪堂、延元陵なども拜し終つて伊勢へ廻り、其處で夫が佛蘭西で病歿したといふ凶報に接して匆惶に東京へ歸つて了ひました。此時藤井が死んだけれど、巡禮に出かけた妻の行衛が不明だといふので、大分東京の知己朋友を慌てさした奇談もあるのですよ……其他種々の旅行で種々の話があるのです。明石の濱で入日の海へ落ち行くを、ハッ、ハッと言つて夢中になつて眺めてゐて、思はず其處の溝へ落ちたなどといふ失敗談もあるのですよ。」

むかしの女學校生活

女史は又「御免なさい」と火燵に入られて、さて語られました。

「十一歳(明治十四年)までは故郷飯山で乳母の手に育ちました。父は明治十年前後にあつた神佛分離の騷ぎに際し眞宗局といふのゝ役員として東京に在勤し、母

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も上京して滞在して居りました。其折築地本願寺御輪番のお孃樣の、跡見女學校在學が母の眼に映じたのが動機となつて、十二歳の時父に連れられて上京し、跡見女學校の寄宿舍に入つたのです。「其頃は無論華族女學校もなく、其外學校らしい學校もとても無いのですから、跡見は全く唯一の女學校で、生徒の大體は華族のお姫樣。何でも今の島田三郎さんの令室、志賀（重昂）さんの令室、又は當時の岩崎のお孃樣、其他二三の富豪や名士の令孃を除く外は、皆お姫樣ばかりです、其お姫樣と同じやうにしたおたので其頃の氣樂る加減といつたらお話にも何にもなりません日曜に島地（默雷師）へ行くにも手車で迎を遣して送つてくれます。それは誰しも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

給う。又それでなければ學校で出しませんですから。學校の規則外は足で歩くものではないと思ひ、筆墨なり日用品なり總て帳面で受取れますから、お貨を手に觸れた事がなく、私なども在學の三年間それで通して、學費が何程懸るものやら知らずに過しました、かういふお姫様になり濟してゐたので、これが私の第一の極端生活です。

「處が其お姫様が今度は宛然男のやうになつて了ひました。どうしてと申しますに、跡見女學校を出てからは、外に習ふ所が無いものですから、大八洲學會、三島塾、日本英學館などと、專ら男子の學校や私塾へばかり出入してゐたからです。それに弟も勉強の爲に出京したので、一緒に居たものですから、自然弟の友達にも接しますし、それは最う隨分亂暴に——頭髪や衣服などは一向關ひ付けずに、朝から晩まで學校を歩き廻るに忙がしく、書物ばかり手にして居つたのです。それが數年。第二の極端生活でしたね。

「處が又第三の極端生活に變じました。明治廿一年頃から長岡春一氏(和蘭大使館書記官)の母堂(野村子爵の妹)すみ子刀自の家に寄寓して家庭的訓化を受けたのです。さあお紋付から起居から襖の開閉から茶の注ぎ様にまで總て整然と正されますので、苦しいの苦しくないのと申す段ではありません。けれども是が爲に益を得たことは數へも盡されません。

嫁しての後

「明治廿五年に藤井へ嫁いで京都へ參つたのです、肋膜などを病ひまして勝れぬがちに居りました。京都には七年居りました、須磨や明石へ遊んだのは其間で、轉地療養をしたのでした。

「明治卅三年に藤井が渡歐致しました。夫も身體が惡かつたので、初めより生きて還る心はございません。遂に卅六年印度探險を終へて再び英國へ向ふ途中佛蘭西で歿しました。不在中私は小田原の野村別邸および其附近に居つて、夫に命せられた調物などを致して居りました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「私は昔からの望が田舎寺の坊守の妻として、傍ら施薬をしたいといふのでしたから、跡見を出た頃から醫學修業を望みましたけれど果せなかつたのです。夫歿後、今は自由の身ですからと、再び思ひ立ちましたが今度は身體の衰弱の爲に果せませんでした。その後種々の活動的の地位に引出さうと、誰彼から强つてお勸めも受けましたが、性格と體質とを考へて皆御免を蒙つて了ひました。

今日の境界

「それで今は最う親族の者の好意によつて恁ういふ安逸な生活。明日の行末は分りませんが、今日だけは、樂しんでをるのですよ。氣候も佳し、風景も美し。田園なり。寺なり。まづ私の理想的生活かも知れませんね何よりも嬉しいのは知友の來訪です。又知友から送つてくれる雜誌や書物も嬉しいものです。日に一回來る郵便屋が投げ込んで行きますと、奧様又お友達が餘りましたと言つては、小婢が莞爾して持つて來るのですよ。小婢が又少女世界に熱心な事つて言つたら、そりや可笑しいのですよ……

お米さんはお茶を運んで來ておいて、それから詠草を取りに行きました。

「今夜は鞭聲肅々が聞えませんよ。毎時既う今頃は聞えるのですが……。東京のお客様があると思つて愼んでゐるのかも知れません」

笑ひながら女史が話して居られると、小婢さんが微笑みながら詠草を持つて來ました。女史が取上げて、

「面白いのですよ。お聽きなさい……」

と一口づゝ些々評や說明を加へながら讀むのを聽けば

雨の中笠をかぶりて簑を被て
　少女苗とる五月雨のころ

春風に吹かれて靡く靑柳の
　糸にとまれる燕ゆかしき

上見れば限りなしとて百合の花
　下を見てこそ我身幸福

山寺の庭の柳に紅梅に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鶯啼きて春ののどけさ

これに漫ろに興を催ほして記者も腰折二首を女史に呈しました。さて餘り遲くならぬ内とお暇をして清水の町に下りました。腰折は記者の女史に對する讃なのであります。

玉帆の浦よ白帆よ三保よ不二
その東海の庵に人あり
東海の庵に人ありをみななり
あらず二諦を超越の人

（なはり）

女子と商業教育

神田女子商業學校主幹の談に曰く、實質よりも兎角空名を喜び女學校の卒業證書さへ持つて居れば夫れを一種の名譽の如く思つて居た時代は最早過去りました。是迄は名のある女學校の卒業生とさへあれば實力などの事は餘り深く考へられませんでしたが今日では實際家庭で働ける婦人、役に立つ婦人、よく物の分つた婦人でなければ主婦となつて家政をおさめる事は出來ないので全く實力の競爭と云ふ狀態になつて參りました、夫れ故近頃は實業を授ける女學校へ入學するものが頓に多くなつて華族の令嬢の如きも實業の女學校へ入學されると云ふ事を聞きます、世間では女子が專門の學校へ入學すると其の學校では何か獨身生活でも鼓吹するかの如く誤解なさるお方もあります現に妾は女子に商業教育を授けて居るけれど決して其の樣な考へを抱いては居りません唯だ如何なる家庭に入つても能く働ける役に立つ婦人を養成するので決して獨立生活を勸めるのでは御座いません併し人一生の間には何んな事で如何なる不幸な場合に陷らぬとも限りませんで、其時には獨立して生活の出來ぬやうでは困りますからそれ丈の素養がなければならぬと思ひます、現に勸業銀行や横濱火災保險會社、又三井物產會社などに勤務して可成りの俸給を受けて居る婦人も少なくありませんが斯ういふお方は何な場合でも獨立が出來ますから人の厄介にのみならずに濟みます。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世間を知るは奥様の役目

日米婦人観——無學は男子の罪

女子英學塾長　津田梅子

贅澤もすれば活動もする

米國婦人の惡い方面を數へれば、それは隨分指が折れるでせう。何處にだつて長短の兩面あるは免れない事です。第一に目に付くは米國婦人の贅澤な事。一例を申して見れば、寄宿舍生活をして居る女學生が、何をお父樣に強請るかといふに、指環や時計などは強請るなどゝいふ價値はない、當り前の事。強請るのは自働車です。そして日曜などに——但し平日は寄宿舍生活の者は何處か知合の家へでも預けておくのですが——盛んに公園などを其車で驅け廻るのです。それは盛んなものです。恰どまあ日本の女學生が、お父樣に自轉車を強請る位なもの。その流行の程度の上から言つても恰どそんなものです。まだ寄宿舍生活をしてゐる學生の身で、何千弗といふ自動車に乘つて驅け廻る。一般に贅澤なことは此の一例でも分りませう。

だから弊を言へば隨分それもありませうが、その又一面の、非常に活動的なところは米國婦人の長所です。一般の社交は言ふまでもなく、或は慈善事業とか或は教育事業とか、其他さま〴〵の事業に對して、婦人の働きといふものは實にえらいものです。中には家庭の事を投げやりにして飛び廻つてゐるやうな人もありますが、さういふ事は多くはありません。やはり家庭の事はちやんと都合して、自分が出るならば出るやうに、女中に十分家事を心得させてあります。その盛んなる活動の一例を申せば、昨年十月に開かれた聖公會婦人大會には、米國だけの寄附金が二千萬弗！　日本では

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十萬圓の寄附金を募るさへ容易の事でありません。非常な感服ぢやありませんか。その多額の寄附金が皆婦人の手によつて集められたのです。宗教上の事業ばかりでなく、あらゆる方面に皆このやうに婦人が活動してゐるのです。因に申しますが、その時集まつた金の内一萬弗で、我が仙臺へ一つの宗教學校を建てることになつてをると聞きます。

奥さんと學識

日本では賢妻良母と稱して、頻に奥さんになる事に心配するやうです。それは賢妻良母は至極結構です。けれども口でこそ賢妻良母と容易く言ひますが、實際に賢妻良母になる事はなか／＼容易でありますまい。學問が確かり出來て、それの活用が十分に行はれなければ、なか／＼家庭や社交をよくすることは出來ません。日本の婦人と亞米利加の婦人とでは、大變教育の程度が違ひます。婦人雜誌を一目見たゞけで分ります。米國の雜誌には隨分學術上の事——理科に關する學術談などが載つて居ります。日本のには絶えて然ういふものを見受けません。もつと日本婦人の教育や學力が確かりして來なければなりますまい。

教師よりも博學な奥樣

私の知合の御婦人の話に、日本の奥さんほど氣の毒なものはないと存じます。近い例が、私の妹でございますが、華族女學校を出た頃には、そんなに學問も出來ない方ではございませんでしたのに、嫁してから數年の此頃は、もう全然——英語などは忘れて了ひ、偶々逢ひましても、可哀相な程趣味が狹くて、談話の材料を持たないのでございます。第一に出るのが家政の愚痴か、子供の面倒話か、姑の噂、其の他ほんとに卑俗なつまらない話ばかり、そしてともすると人の噂が出るのです。それにまあ驚き入つた事は、手紙などを讀みまして正しく意味を取らなかつたりするのでございますよ。實に悲慘な感じが致しました。かう言はれましたが、そんな例は少なくなからうと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思ひます。ところが亞米利加の奥さんは、なまじひ教師生活をする婦人などよりも、知識がずつと廣いのです。それは家庭にばかり居籠れて居らずに、ずん／＼社交場裏へ出て見聞經驗を廣めるからです。教師などしてゐる婦人はその專門の事だけには通じて居りますが、一般多方面の知識では、奥さんの方が遙かに優つてゐます。日本の奥さんが知識も趣味もまるで零になつて了ふのは、全く世間知らずに臺所にばかり蟄居になつてゐるからです。臺所の世話も十分せねばなりませんが、そればかりでは仕方がありません。

妻の無學は男の罪

それは半分は男子の罪です。自分ばかり勝手に出歩いて、奥さんの方をちつとも斟酌しないからです。成程經濟上の關係もありませう。さう奥さんが自由に出歩けるやうに、人手を揃へる事が出來ないからでせう。然し日本では、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

上流社會の自由な御婦人でも餘り出かけませんね、男子が惡いのだと思ひます。婦人は家に居るものと決めておいて、出れば厭な顔をするやうでは、婦人の方はどうしても出かけ得ぬ事になります。そこは男子の考一つで、成程自分ばかり急がしく外出し續ける必要もありませうが、稀に散歩に出る時でも奥さんと一緒にといふ風にすれば、心がけ次第で奥さんを最つと世間に出す事が幾らも出來ませう。そして一つは奥さんの衣服や帯やの騒ぎが大變で、それが爲にも出ない事になるのです。簡單に敏捷にずん／＼と亞米利加風にやつたら宜しからうと思ひます。

交際上より得たる發明

日本の婦人雜誌には、頻に「良人の選擇法」とかいふ樣な事が出ますが、米國の婦人間には、そんなに結婚々々と、さういふ問題ばかり氣にして騒ぎはしません。自由結婚などゝいふと、定めしさういふ問題にはかり氣を付けて、勝手氣儘な振舞をお孃さん方がすることだらうと思はれるかも知れませんが、決して／＼そんな事はありません。勿論米國の婦人は男子と繁く交際します。けれど其の交際といふものが、ほんとに無垢な、清淨な、天眞爛漫な、一口に言へばほんとに無邪氣な交際です。ですから幾らも交際しますが決して過ちはありません。日本婦人の男子と交際するのも、どうかあゝいふ無邪氣な風にしたいものだと切望致します。日本のは直きに妙な厭な關係になるのでいけません。然しどうしても最つと無邪氣な男女交際が行はれるやうにならなければいけません。さうなれば自然結婚問題の上にも間違ひが少なくなる。即ちお互ひに解し合つて後に結婚することが出來ますから、悲しい運命に陥る事が少なくなります。

けれども米國は右のやうに、青年男女が解し合つての結婚が出來るとは申し條、それなら親たちは放任して關はないかと申せば、何のそんな事がありません。親が厳然としてある以上、最愛の娘がどんな者と結婚

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しようと聞はないなどゝいふ、そんな事がありませうか。娘たちも實際した上でなければ成り立ちはしません。無理に強いて結婚するなら財産は一文もやらないといふ様な事もあります。それに抑娘さんのお友達にしてよい男かどうかと、最初によく人物を鑑定して、十分選擇を施すのです。いゝといふ事になれば随分家庭に立ち入らせ、往來もさせ、一緒に散歩や遊覧にも出します。そこらは自由です。が、つまり娘の交際範圍は、親や兄の眼で略決めるのです。最愛の娘ですもの——何でもいゝと棄てゝおく事が何うしてありませう。

かういふ注意や暗々裡の保護はあり、幼少から自然に養はれてゐる清い品性や良習慣がありますから、おのづから男女交際が無邪氣に出來るのです。日本のもかういふ風にならなければいけません。

進歩せる社交

よく日本では「お掛けなさい」と言つても其處へ掛けず、「お進み下さい」と言つても應せず、出した菓子を喰べず茶も碌々飲まないで、それを遠慮と心得て居り、私の塾の者などが、茶菓も頂けばずん／＼お話もするといふ風に致すと、い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かにも愼みが無いとか、はしたないとか、お感じになる方もあるらしく思はれますが、さういふ場合は遠慮でなくて、却つてお互に不便不快な事でありませう。客のために出した茶菓なら、喰べる方が本意に適ふ譯。話し合ふ爲の會合なら話すのが本意に適ふ譯。それを何にもしないのがいゝといふ道理もありますまい。私は米國で眞正の遠慮といふものは是れだらう——と眞に感じた事があります。例へば私が何處かの驛で汽車を下ります。迎へに來てくれた米國の婦人達があつて、お互に喜ばしくて握手し逢ひ、さて停車場を立ち出でると、一人が「私はこれでお別れします」といふ「なせですか？」。「いゝえ、貴方このお方とお話しなさりたいのだらうと思つて」。かういふ具合です。私實に感心しました。これこそ眞正の遠慮。米國の人は然ういふ處にまで、よく思ひやりが行届いてゐます。ほんとに斯うありたいではありませんか。ところが日本は大變な違ひ。私の船が神戸に着くと最う新聞記者が五六人も押しかけてゐます。上陸まで一時間ほどの際よりはありません。私は兩親も迎へに來てゐますが、もう話を〳〵といふので逢つてゐる隙がありません。まるで新聞記者に取り卷かれて了つて、上陸しても汽車中でも、兩親たちと話す事が出來ません。遂ひ新橋までの汽車中を、殆ど新聞記者の人たちと話し續けたやうな始末です。亞米利加の人の交際振とは雲泥の違ひではありませんか。

無規律は日本の特色

私が亞米利加を立つ前に、一日知合の人々が集まつて、送別の茶話會を開いてくれました。さうすれば最うみんな出てくるのです。さうして愈々出立に迫つては一人も來るものはありません。送別の志があれば會へ出る。宿へ個人的に來るものはないのです。大變いゝことですね。もう出立前で荷拵へなどに忙しい。けれど誰も來ないに決まつてゐますから。惡い衣服を着てずん〳〵働く事が出來ます。それに仕事の手順を狂はされる事はなし、大槪都合よく豫定通りの時間に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ずん／＼片付いて了ひます。日本だと決してさう行きません。「私は送ひ會へ出られませんかつたから……」とかいふやうな事で、ポツリ／＼と交る／＼忙しい中へ來るに決まつてゐます。それが爲にはまあ一寸上衣を脱ぎさへすれば、お客さんに逢へる位なものは着て居らねばならず、時間も手筈も狂ふ。疲れても晩くまで荷拵へにかかるやうな事になります。米國の人は送別の會があれば其れを重んじて、萬障もくり合せて出る。愈々出られなかつたらそれまでとして、後から忙がしい中へ來る事などは決してしません。實に規律立つてゐる大變都合が宜しいのです。日本では女學生のお方がよく私の塾などへ、規則書貰ひに日曜にお出でになる。日曜は休みに決まつてゐます。學校の方に事務員は居りません。然し切角ですから私の家の方にでもあるのを探して上げる

學校は外の六日間は午前九時より午後三時まであるに決まつてゐます。その間に來らつしやれば何でもないこと。若しその間が都合わるくば郵便で事は辨じます。それを撰りに撰つて日曜に足を運んで來らつしやる。これのみではなく、人を訪問する時間とか手續とか、すべて日本の婦人はまだ規律といふ觀念がありません。それに比ぶれば亞米利加婦人の社交は進歩し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たものです。思ひやりのよく行屆くこと、規律立つてゐることなどは殊に日本婦人の學ぶべきことだと思ひます。（[illegible]生記）

猶女史の歐米視察談を左に摘載す

▲米國婦人の特長とも云ふべきは上中下各社會を通じて一般に克く働くことであります。尤も國内が何事も整然と組織立つて居ますので、同じ働くにしても誠に働きよい。然う申すと大變不精のやうですが、臺所の器具を二階に運ぶにしても、エレベートルのやうな機械で致しますから、何なしても日本の家などより早く手が廻ります。世の中が進歩するに連れて、勞働者の缺乏は次第に多くなるものと見えて、彼國では女中などは昔のやうに澤山ありません。又一方から申しますと、雇傭者の力でも如何に富豪な家にしましても日本の貴族や豪家のやうに冗員は使用しません。日本の大きい家には兎角種々な名目の附いた人がゐて、奥方が直接に家政の事務に當ると云ふのは稀ですが、彼國では召使を置くだけの餘裕のない家は勿論、相當上流の社會と云つても家の事は家の主婦が致すことになつて居ります。一例を申すと曾て日本に來てゐられた米國婦人の家に私は暫く滯在して居たことがありますが、其御主人は重要なる地位にゐられ外交官ですから、家内の生活費などは日本の華族などゝ比較して劣るとも劣ることはない。處が其主人は毎日々常の需要品は御自身で市に買出しに行つしやるので、私も其供でパン屋だの肉屋だのに參つたことがムいます。

▲何事に限らず平民的であることは一度米國に行かれゝば直にお分りでムいませうが、先年日本の或公使が彼國で或ホテルに着かれた時に、其處に居た荷物を持つ人夫から突然言葉をかけられて、大變面喰はれたと申すことです。ですから召使が主人に對するのでも宿屋の者が客に對するのでも餘程見識が高いので、初めて日本などから彼國に參つて、ホテルに宿泊ても、女を雇入れても、誠に奇妙な感じが致します。道理に叶はないことだと唯諾々と承知してはゐません。又時間以外には假令召使でも自由の體となつて權利は主婦と變らないので、會々召使の公休の場合にお客でもあると、堂々たる家の奥方が御自身で玄關のお取次に出るのでムいます。前に話した外交官のお宅でも、時とすると召使の方の訪問客に御主人の夫人がお取次をすると云ふ奇觀を呈することもムいました。

▲日本の家は來客のあつた場合に大變繁文縟禮に過るやうに思はれますが、彼國では其點が誠に少ないのです。訪問客の歸る時に、日本では少し親しい人だとか、鄭重にしなければならぬ人であると、主人を初め奥さんや召使など一家内悉くが玄關ま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でお見送りをしますが、彼國では其麼事はありません。女のお客さんならば、亭主さんが玄關まで行つて扉を開て上げますけれど、男の客さんだと、室の戸口位で左樣ならをきめて了ひます。簡單シンプルな禮儀の方が實際の多い點からの供の中には適當であらうと思ひます。

▲米國婦人の態度は日本人の眼には餘り活潑過ぎてお狹に見えるから嫌だと仰有る方もありますが、遠慮に過ぎて引込勝なよりも寧ろ判然した方が何事に就けても極りがよい。私は日本婦人間では餘り引込勝ではない積ですが、其でも彼國の婦人には却々敵ひません。其ですから到底彼我兩國の婦人は同一には見ないのです。其に普通の婦人は頭腦が明晰で、決斷力に强いかと思ひます。食物が良いからでもありませうけれど、睡眠時間が長くて精神の休養をよくしてゐるからでもムいませう。彼國の婦人の眠ることゝ云つたら、普通で八時間から十時間、男子よりも却て多い方で御座います。

▲其人情は、權利や義務と云ふ觀念から割出したことよりも、好意上の親切が多いやうです。其は一寸交際して見た許では分りません。何故と云ふと、初めて交際なして見ると、彼國の婦人は誠にお世辭がなくて率直ですから、こつ〳〵して男のやうで、一寸日本の婦人なんぞには合ひかし知れませんけれど、漸々往來して其の心を知合つて見ると、案外優しい處が多いのでムいます。

▲伊太利や英國に參りますと、主人が訪問客に接するのでも、宿屋の者が客人に對する態度でも、宛然日本風で、ホテルに泊つて翌朝出發の際になると、宿屋の者が荷物を馬車の中へ運んで呉れたり、傘をもつて來れたりしますし、其は古い國だけに古來の習慣上から然うせればならぬやうになつてゐるのでせうが、米國では全然其風習を打破つて、人と人の間の禮儀作法が極めて手輕に出來てゐるのは、若い國でないだけに改革が早かつたので御座いませう。其で日本でも其等の特長を見習つて複雜なる禮儀を變更しやうとするには、今が其好時期と思はれますから、少く心懸ければ幾程でも便利な簡易な方にすることが出來ませう。然し其は婦人のみが望んでも男子が之を許さなければ致方はありませんから、家庭の改良は先男子の方から始めて貰ひたいものでムいます。

私の實驗せる繪葉書の活用

家庭教育の爲めに

ボールス夫人

◎繪葉書と子供

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

この頃繪葉書が大層流行ります。往來を歩くと繪葉書屋が澤山あります。子供がそれを見て大層欲しがります。そして其れをやると大變に喜びます。ですからこれを子供の爲になるやうに、家庭の教育の爲になるやうにしませんのは、惜しい事だと私思ひます。世間のお母さんがよく子供さんに繪葉書を上げます。然したゞ上げたのは直きによごします。さばきます。どうも餘り爲になりません。そして汚したり破いたりすると、度々叱られます。さういふ樣に度々叱る事は、子供の爲によくありません。私どうか然う無い樣に、教育になるやうに繪葉書を使ひたいと思ひまして、考へました。いろ〳〵考へました。

◎獸と花と鳥

さうして一つの考を得ました。それで――私の家に子供が三人あります。一番大きいのは男で、滿七歲になり、二番目が女で、末が又男です。その三人に各々種類の違つた繪葉書をやることに決めました。一番大きい子供には、何でも毛の物――さうです、獸の書いてある繪葉書、二番目の子供には花の繪葉書、三番目のには鳥の繪葉書、私のは子供の書いてある繪葉書、かういふことに決めました。さうすると子供が大變に喜びます。そして大事にします。失くしたり汚したり破いたりしません。而して漸々獸や花や鳥の智識を得ます。又それを愛する心が起つて參ります。私大變爲になると思ひます。

◎無意味には與へぬ

私平生子供の齒を大層注意いたします。幼さい間に齒をよく注意してやらないと、後に病氣が出て大變宜しくありません。齒の事は私ほんとに心配いたしますそれゆゑ、朝御飯の濟んだ後に一度、夕飯の濟んだ後に一度、齒を洗ふ事をさせます。けれど、幼さいものですからよく忘れます。朝は學校へ行くまでに最う時がありません。夜は眠い。眠くて〳〵遂ひ忘れます。それで度々忘れて、「さあ齒をお洗ひなさい」と言つてさせなければ爲ません。自分から爲るやうに任せておきますと、直きに忘れます。ですから私かうしま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

した。「貴方がた一週間の中、一度も忘れずに毎朝々よく歯を洗へば、土曜の朝——土曜は學校へ行かないから隙があります——皆に繪葉書を一つ宛上げます。一度でも忘れれば上げません。一週間の間よく忘れずに續けば上げます。」之れを三人を私の室へ呼んで話しました。而して三人別々の繪葉書に決めませう。貴方獣がいゝでせう。どうですか。」と言ひますと一番上の子供が「それ

がいゝ」と言ひます。「あなた女ですから温和しく花がいゝでせう。貴方鳥が好ですから鳥にしませう。さうして私子供のにしませう。」それで皆同意しましたからそれに決めました。而して一週間歯を洗ふ事が續いたら、御褒美に一枚づゝ上げることに決めました。

◎與へる際の注意

それで私繪葉書屋を見れば、美しいので種々違つたのを見付けるや

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うに心がけて居ります。外出した時、繪葉書屋を見れば決と美いのを探します。三枚五枚、時には二十枚までも買ひます。而して先きに見せると興味が滅じて了ひますから、默つて自分の抽出しに藏つて置きます。土曜日の朝になると、皆御飯が濟めば急いで齒を洗つて二階へ參ります。今日はどんなのだらうと思つて、大變に興味を抱いて喜んでゐます。而して益々上げる時に、獸のも花のも鳥のも五枚づゝ並べておいて、その中どれでも好きなのを一枚選ばせます自分に選擇させるのです。それが最う皆大變な樂しみです。

◎二枚に增級

それを試みましたところが、初めての一週間は一度位づゝ忘れました。それゆゑ上げませんでした。次の一週間には一人だけ一度忘れました。それゆゑ其の人にだけ上げませんでした。さうしたら最う其の後は決して忘れません。皆每朝々々必ずよく洗ひます。ですから私が又話しました。「今度は朝ばかりでなく、夜も一度も忘れずに一週間續けば、土曜日の朝に二枚づゝ上げます。」それで皆大變喜んで洗ひます。けれど夜は眠いので稍忘れますが、漸々忘れないやうになつて、最うよく洗ひます。私大變喜こんで居ります。齒をよく洗ふ事はまことに子供の爲になります。而して「齒をお洗ひなさい」と催促されずに、自分から爲る事、而して忘れずに續ける事、それが大變爲になります。私はそれを喜んで居るのでございます。

◎蒐集の心用ひ

それで成るたけ面白いのや珍らしいのや美いのを集めてやりたいと思ひまして、東京の店の繪葉書も探しますが、又他處で出來たのには變つたのがありますから、他處からも手に入れるやうにします。お友達などにお願ひして、送つて戴くやうにするのです。此間も神戸から大分取寄せました。郷里亞米利加の方へも言つてやりまして、「かういふ風に決めましたから、これからは一番上のへは獸の繪葉書、次へは花、次へは鳥、私へは子供のを送つて下さい」と頼みました。その外の諸方からもその樣にして貰ひます。さうすれば其の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

国々の動物や花を覚えますから、猶利益になります。今度都合のよい時に、日本の上手な畫家に賴つて、繪葉書を書いて戴かうと思つて居ります。一つには紀念にもなりますし、而して子供が大變に喜びますから。

お父樣は、いまシンガポール港に碇泊してゐるといふ音信が來たとき、須磨ちやんはどんなに喜むだでせう。父樣は海軍の少佐で軍艦に乘つて、いま日本へ歸る途中なのです。その日父樣へ出す手紙なれば、須磨ちやんがポストへ入れにゆくとこでした。その中には、母樣の長い手紙と、須磨ちやんは字が書けないから櫻の花を一輪入れておきました。軍艦の中でそれを御覧になるお父樣は、まあどんなにお悦びなさるでせう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

高輪御殿の御慶事

●高輪御殿の御慶事

高輪御殿に在す常宮昌子内親王殿下と竹田宮恒久王殿下との御婚儀は昨年霜月に合卺の大禮を行はせらるゝ御豫定の由承りしが御都合ありて三月中旬迄御延引遊ばされ給ふやに漏れ承りぬ當御儀式の濟せられたる後更に御披露の大御宴會を霞ヶ關の離宮か或は芝の離宮かに於て行はせられ兩　陛下にも臨御あらせ給ふとの御事にて東宮同妃兩殿下各皇族方にも御參列あらせらるゝ筈なりと。

▲常宮殿下御服裝　御服は純日本式に紳子の唐衣裳、唐衣は青色二重の織物。打衣は濃色綾、五衣は白。單は濃色幸菱綾、表袴は緋袴に檜扇をもたせたまひ三山形の御沓を穿かせ給ふ由。

▲竹田宮殿下御服裝　日本古代式にて御冠は垂纓、袍は黒色輪無唐草模様にて飾れは纈の單、御太刀は黄金造り御平緒は紫段々本組に御石帶は總て瑪瑙石、御手に笏をとりたまひ御沓を着けさせらるゝ等雄々しき御風なりとぞ。

▲御儀式の御膳部　折敷高杯六本の御膳なる由なるが此の御儀式は古より親王御元服の御例に因らせ給ふものにて色目は（第一）御飯、御箸木二雙、御匙木一支、洲の鶴の上におく（第二）酢、酒、醬、鹽を折敷の四方におく（第三）保夜、鯰見、海月、鯛醬、前同斷（第四）差料、鯛、蛸子、干鯛、前同斷（第五）鯉、烏賊、鮑、海老、前同斷（第六）折敷の四隅に赤白黄青の粉餅を置き、中に柿、干棗。

膳にて次に中盤には鶴の汁物、同じく中盤に御酒肴と云ふ順にして其次に御銚子。末廣三獻に御祝を參らすべく貴折數高杯は松に鶴の繪あり四角に心葉とて造花の松を建て夫れに總角を結び御器は銀器其他を交へ盛物には色々の薄様の數をなし平盛高盛をまじへ御前に進むる時は先づ御打敷とて龜甲に松を織りたる紅重の織物又は白き生絹五尺三幅に龜甲紋を九重にかきたる絹物を用ひさせ給ふ。

▲新御殿　現在の高輪御殿に新築され内匠寮の技師が客冬來夜を日に繼ぎて御造營にいそしみし甲斐ありて既に御完成になり御殿の御模様は貴賓室、御書院、御座所、御寝室、御浴室、侍女室など各室の裝飾は古今東西の美術品にて美しく取り飾られ御寶藏其他の庭築も全く完備し殊に品海の煙波を望める御庭園は典麗閑雅を極めたるものなりと承りぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新婚の夫婦に與ふ

大町桂月

「世の中に戀しきものは父母の外にあらじと思ひしものを」と歌ひけむ、御身等御兩人は、今や、その父母よりも戀しき人となりもし、なられてもして、人生中最もうれしく、最も樂しき御境遇、浮世がまゝになるならわれらも、今一度若返つてと、白髪頭叩いて、餘所ながら、羨望に堪へず候。この上は、末の松山浪こさず、琴瑟相和して、御家益榮えゆかむことこそ願はしく候へ。

　何か將來の心得になることをとの御言葉に甘え、利口ぶつたこと申し上ぐるも、自から之を能くせりと申す次第には候はず。過去を顧みてあゝでは、無かりしと思ふかず〳〵前車の覆轍、或は後車の戒めにもとの一片の老婆心の程御汲み下されよ。

　花笑ひ、鳥歌ふ陽春の好時節も、長くはつゞき申さず。浦島太郎、龍宮へ參り、世にも美麗なる乙姫の聟となり、浮世の外のあらゆる榮華を極めて、何一つ不足は無かるべき筈なるも、歡樂極まつて、哀情多しとやら、人情は單調に倦く。乙姫に別れて故郷にかへりしは、乙姫をいとふに非ず。故郷の戀しき也。浦島の心を輕薄と申すべきには非ず。忽ち熱し、忽ち冷え、忽ち喰ひつくやうに可愛がり、忽ち咀ひ殺すやうに憎むが、輕薄と申すものに候。熱ぜず、冷えず、いつも適度の溫味を帯ぶるが、夫婦の愛の長つゞきする所以かと存申候。

　夫君にのみ申しあげたきことあり、又妻君にのみ申しあげたきこともあれど、隱しだてするは、夫婦不和の基、明らさまに御兩人の前に申し上ぐ。願くは、愛に狎れさせ給ふな。狎れ給ふな。いとしや、可愛やとばかり、餘り鼻の下を長くすれば、驕慢の心、茲に生

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す。されど、匂ひこぼるゝ紅顔は、いつまでか、つゞき申すべき。机を分ちしは、愛のあまりと喜びしも、後には、我を馬鹿にしたる仕打と怒りし例もあり。愛に成りし夫婦は、必ず愛に破る。女には、六分の愛あつて、四分の敬あるべし。男には、六分の愛あつて四分の憐あるべし。愛は對等の城也。敬は見上ぐるの城也。憐は見下すの城也。これ必ずしも男尊女卑の東洋流にもあらず。男女必然の結果にて候。夫の本色は、妻子を養ふに在り。妻子を養ふの力なきものは、これ夫にして夫にあらず。男は力也。故に女は男の勇を愛すと云へり。妻の本色は、夫の力によりて家を治め、子女をそだつるに在り。夫をして益其力を伸ばさしむるが、良妻也。妻をして安心して神佛に逢ひたる心地さするが、良夫也。それにつけても、妻に敬あれば妄りに恨まず、妄りに腹立てず、すねず、やけにならず、失望せず、夫に憐あれば、妄りに怒らず、愛想つかさず、残酷なる事をせざるものに候。一方に敬なく一方に憐なくして、玆に夫婦喧嘩起る。夫婦喧嘩は、犬も喰はずとやら。喧嘩なしに一生を終る夫婦は、猶にも幸福なる哉。

敬は、夫の力を信ずるより起り申候。夫の力を信せむには、智を要す。朱買臣の妻、其夫を侮りて見限りしは、畢竟するに、智なくして、夫の力を信ずる能はざるに出れり。世には、かゝる例、頗る多し。夫に力ありとも、妻に眼識なくんば、猫に小判也。夫婦相知ること難し。佳人多く拙夫に伴うて眠ると云へり。「よかれ悪かれ要らざるお世話、わしが眼鏡ではれた人」といふ俗謠通りに、妻が夫を信じさへすれば、天下太平也。貧乏世帯も、苦も苦にならざる也。然るに、女は、とかく、年とれば、慾のみ深くなり、死ぬるまでも、欲しきは着物と金、金と着物ともらひさへすればどんな愚物でも、夫大明神、然らざれば、意氣地なき男、こんな處へ來るんでは無かりしと、くやし涙をこぼす、女こゝに至れば、實に濟度し難き也。一方の夫の方の事を言へば、如何に力あるも、妻をして其力を信ぜしめざるは、夫として、缺點なしと云ふべからず

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

力とは、必ずしも富貴の謂にあらず。如何に力あるも、逆境に陷ること多し、衰枯貧富に關せず、妻をして己れを信ぜしむるが、即ち夫の權に候、又義務に候。

　さるにても、幼稚園の生徒に、高尚なる學問は敎へらるべくもあらず。妻餘りに愚ならば、到底夫の趣味、識見、人格を知る能はざるべし、かくては、名目は妻なるも、實は給金要らぬ下女也。夫の心さびしからざらむや。よしや、結婚の當座は、お互に心を知りあふも、夫は社會に活動するにつれて、智進み、趣味も進む、妻は、依然として、もとの妻也。たゞ我に着物を買つて與るゝ時のみ、ほく／＼喜べど、己れを進めやうとせず、妻も夫の職業に同情を有せず、夫の理想や趣味やに風馬牛となり、唯つのるは、氣隨と慾と横着我足らぬことは知らぬが佛、否、閻魔、面ふくらしてふてくさる。あゝ、こんな妻をもつでは無かりしと歎息するは、愚痴なるべし。かくなるも、つまりは愛になるゝに由ることに候。愛のみなら、動物にもあり。人とても、下等社會なら、いたし方なきこともあれど苟くも、中等社會以上の夫婦では、この憐と敬との眞意を解せざるべからず。この二箇の眞意が心から分り候へば、それにて、夫婦の道の大本は立ち申候。

　男は女の美を愛すと古人も申しゝ如く、とかく、若いうちは、美にのみあこがれ候へども、試に五六人も子供をもつて見給へ、美人もへちまも有つたものにあらず。唯よく子女を育つる賢母が欲しくこそ候へ。風葉の句に、「鴛鴦の子も欲しうなき姿かな」、されど、健全なる女は、必ず子を生む。子をもつて、未だ親の恩は知らずとも、何よりも先きに、賢母の必要を感ず。良妻は第二の問題に候。子の賢愚は、母の賢愚に由る偉人の母は、必ず賢女なれども、必ずしも美人にはあらず候。或は老い込んだことと言ふと、御笑ひかも知らねど、他年子を多くお持ちに成らむ時、成程と首肯せらるべしと確信仕候。

　さるにても、夫婦間の物質上の最大幸福は、身體の健康に候。今や、梅一輪づゝの暖さ、木は芽ぐみぬ、猫は狂ひそめぬ。御兩人樣とも、國家の爲めに御自愛あらむことを祈り申候。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奥様の品性下等

江原某六叢塚田訪客に婦人の品性下等を語つて曰く、

▲私の懇意の家の奥さんが病氣で入院して居るので、或日見舞に行つて見ると、恰度何某夫人が七歳ばかりのお嬢さんを連れて來て居られた。お嬢さんは度々見舞に來て、病院の様子は能く御存知である。そこで彼の婦人は私に向ひ「此處の看護婦は蔭形りでお金をやらなければ些とも叔母さんのお世話をして呉れないのよ」と、看護婦が其處に居るのをも構はず斯う言はれたので、奥さんは非常に赤面された。

▲地方の或富家の子息が東京へ始めて遊學する際、兩親から下宿屋は無存だから是非確かな人の玄關にでも置いて貰らへと附けられたので、著京してから或る宏壯な構への家を見付けて案内を乞ひ、委細を話すと下女は冷やかな口調で「家の玄關は書生を置くと損だといつも御やるんだから到底駄目よ」と取次もしなかつた。立派な家の奥さんでもあんな事を仰やるものかと驚きましたと、其後書生は私に話した。

▲若し子供や下女が居たならば、餘程言葉使ひに注意しないと飛んだ所で恥を曝されねばならぬ。子供は正直だから、平常聞いて居る事は誰れの前でも構はず言つて了ふ。又實際書生を置いたら損には違ひなからうがそこは何とか「他人の子を預つて若し惡くでもあると申譯が無から……」位ゐに下女の前などでは言うて居ればいゝのに。ひよつとした事から主婦の品性が判るものである。

▲私の知て居る或る所に女學校の先生をして居る令嬢があつた。其人には嫌て許嫁の良人があつて、近頃佛國西から歸つて來たばかり、近々婚禮がある筈になつて居たが、不圖或る漬物屋で二人が買物をすることになり、色々と品を見繕ろつて居る中、此未來の夫人は無躾にも人差指で味噌をすくつてペロリと甞めた。それを洋行歸りは傍で見て急に嫌氣がさしとう〳〵離緣になつて了つ……

▲後水尾天皇の代は風俗亂れて盗賊横行の有様であつた。或夜一人の盗人は見すぼらしい破れの賤が屋へ這り掛り鍋の蓋でも盗まうと思つて戸の隙間から覗くと、親が病氣らしい、娘は傍で粥をこしらへて居る。もう煮えたかどうかを檢めさうとして娘は、口で嚙んでも分るものを、さうはせず、蓋の上に米粒を載せて箸で押へて居るのであつた。之を見た盗人も流石に其優美な心掛けに感心して去つて了つたといふ話がある。如何に立派な風采をして居ても、品性の修養が缺ければ、一寸味噌を甞めて大いに味付けた女教師の様な醜を曝らすのである。凡そ教育あり身分ある人の言語舉動のつゝましくないほど醜いものはない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●月經時は如何に過すべきか、

村井弦齋

月經時の衛生法は私が申上げずとも、醫師の訓戒をお守りになればそれに越した事はありませんたゞ一つ私どもの家族が用ゐて居ります「月の帶」と云ふ物がありますこれは産婆で有名な山田逸子が歐羅巴へ行て西洋婦人の用ゐる月經帶を調査し日本婦人に適する樣に改良を施し新に拵へたるものであります此の「月の帶」は至極輕く腰の工合も自由で大層都合が宜いさうです

右は村井弦齋先生が「婦人日常生活法」に紹介されたる一節にして現に本品の効用は

月經時に使用すれば如何程強い月經も漏出する事なく又各種の生殖器病を豫防し往來、運動、起居等婦人の動作を快活ならしむるを以て貴婦人令嬢教員事務員女學生看護婦女藝人等には缺く可らざる品で有ます

赤白帶下の強き人、局部の惡臭を發する人、子宮病を惱める人等にも最も妙也

初めて月經になりし令嬢に賴る適當す俗に冷え性と唱へる婦人常に用ゐて腰を温め子宮病を豫防するの効があります

各地に取次店あり發賣元へ直接の御注文は特別製(冬季寒中用)一個二十九錢甲種は八十九錢乙種は五十七錢(何れも送料共)郵便爲替又は三錢切手代用一割增で注文早速送ります發賣元は東京神田旅籠町二丁目の資生堂藥局です

產科婦人科專門 醫學士 北畠孝夫先生閲

最近 婦人病心得

子宮病自宅療法

女の一番つらい病は。子宮の諸病であるが。此病にかかりし婦人は。大抵之れを秘して、適當の手當をなさず。亦妙齡の頃などに。月經の閉止とか。不順等あれば、獨り心を痛めて、素人的の通經劑などを試み、遂には恐ろしき婦病となつて。生涯の苦みを遺すことのあるのは。洵に痛歎の極である。◉著者は多年の實驗と最近の學說を基礎とし。(婦人病者の心得)と題し左の各項に分ちて丁寧親切に詳說せり◉病める婦人は勿論一般の婦女は。本書を一讀して。自宅の療法を會得せよ。當分の內無代進呈す送料貳錢封入至急申込まれよ。

目次
◉婦人病の總論◉子宮病血の道(ヒステリー)の原因病理及び自宅療法◉神經衰弱、貧血、萎黄病とは如何及其療法◉しらちながちの病理及其療法、◉月經時の手當月經痛病の療法◉妊娠の原理、受胎すべき場合、妊娠の攝生、つわりの養生法

發行所 東京築地新榮町四ノ一(電話新橋三千六百一二)錦岡省三

女(たの一)

Google

四十一年度は益々束髪の大流行を来たす可し

上品なる束髪を望まば必ず前髪じんとして此

ヘヤロールを用ひらるゝ事を諸嬢方に勧告す

米國製

束髪前髪じん

●ヘヤロールは今や欧米に最も流行しつゝあり。従来の毛髪製品は彼の忌む可き病患者の遺髪等の混りある憂ひありて衛生上恐るべきは勿論常に頭部にかゆみを起し果ては禿げる心配等の事あれど此ヘヤロールは細微なる金線にて製し優美なる絲綱にて覆ひあれば毛を損じスベリ出す事なく且つ軽量なれば空氣の流通宜し故に「フケ」を生せず伸縮自在なれば大小の前髪になづみ殊に脳病又頭痛持ちの方には最も有益の新輸入品なり

ヘヤロール

●特に大形（十二インチ十五インチ）御望みの方はハガキにて御照會を乞ふ

●ヘヤタイは束髪用の元結なり●本品は従来の元結の如く髪の根元を一々結ぶ要なく随て髪を解く時にも一々切り取る手數もなし且一度使用する毎に不要にならず一本のヘヤタイは毎日用ふるも數十日間の使用に耐ゆる軽便にして徳用のものなり束髪には必ず御試用を希ふ▲定價半打十八錢・一打卅五錢

定價一個（普通十インチ）卅八錢送料八錢

輸入元　東京京橋區紺屋町一　日加商店　振替貯金八六六九

特約店　東京日本橋區橘町四丁目おしろい本舗　丸見屋商店

大阪東區南久寶寺町堺筋小間物問屋　小栗小三郎

販賣店各地和洋小間物化粧品店

（その二）

Google

美術
漆器
蒔繪

御婚禮道具
ぜんわん
家具 其他
とぶくろ
盃杯 鋳造

めうこるの陳列場設置
有之候間御随意に
御縦覧チコ不苦
御用向被仰付被御
承希上候敬白

東京市日本橋區
室町貳丁目
黒江屋本店
林九兵衛
電話本局（九百九十七番 千七百十番）
電信略号（キ九）

新築落成御披露
學校靴特別勉强
學校靴ハ弊店ノ特色

●業務の大擴張
●品質の大改良
●商品の優美堅牢
●無双の大勉强

東京市神田區小川町一番地
木戸靴店
電話本局 一二五三

THE ALLENBURYS' FOODS.

古來未曾有の乳いらず!!!

アレンバリー小兒滋養食

人乳ナクシテ小兒ヲ養育センニハ母乳ノ成分ト同一ニ配合セル食物ヲ撰フヲ肝要トス、小兒ノ消化力ト營養ノ需要ハ出生ノ時ヨリ生長ニ伴ヒ漸次增進スル故此理ニ適合セサル食物ハ其發育ヲ妨ゲ又一生虛弱ノ者トナス恐レアリ愛兒養育ノ責任者ハ大ニ顧慮スヘキ事ナリ

世ニ有名ノ「アレンバリ」小兒食ハ特ニ此點ニ注意シ**第一號**ハ生後三ヶ月 **第二號**ハ四ヶ月ヨリ六ヶ月迄ノ小兒ニ適スル樣成分ノ調合ヲ人乳ト同一ニナシ **第三號**ハ六ヶ月後ノ兒用トシテ麥芽ヲ調和セル物ニテ從來發明ノ類似品中未ダ如斯精良ナル者ナシ無比ノ効能ハ御試用ノ上實驗アレ

東洋總代理店 **ストローム商會**
神戸磯上通一ノ[illegible] 横濱山下町十二番

特約一手販賣店 **田邊元三郎**
東京日本橋本町四丁目(電話本二八七三)

秘訣 **リウマチス全治**

妾儀多年リウマチス病に罹り百方手を盡すも更に効なく困難の處不思議の神藥の奇効に依り忽ち根治全快し欣悅に堪へず依つて人助のため同病者に事實を告げ救濟せんとす御希望の方は郵券二錢封入申込次第詳細に御通知申上可く候間御遠慮なく申込あれ

東京府下大森停車場東大畑 **河奈とめ女**

洋畫講義錄

執筆畫伯 三宅克己先生 岡田三郎助先生 大下藤次郎先生 中澤弘光先生 外大家十數名

洋畫講義錄は水彩畫を始め其他油繪 木炭畫 ペン畫鉛筆畫肖像畫等すべて一切の洋畫に關する事を詳細に講述す每號美麗なる挿畫數多あり、每月一回發行、一年卒業、會費月卅五錢、詳細規則無料進呈

新學期開始!

東京市麻布飯倉四丁目 **大日本繪畫講習會**

繪畫講習錄は日本畫の技術と之に關する各種の學科とを平易懇切に教授し如何なる初學者と雖も獨るにして上達せしむ每號美麗なる繪畫數葉を挿入す、每月二回發行一年卒業會費月卅五錢、詳細規則無料進呈

繪畫講習錄

執筆畫伯 川端玉章先生 荒木寬畝先生 寺崎廣業先生 梶田半古先生 外大家十數名

Google

中村不折君畫

水彩繪手本

花卉 山水 人物

第一輯目次

一 鳥歌花舞（春の景色）
二 鴨神養素（葵）
三 萬藤香雲（藤咲く花）
四 卒陰幽清（雨の日）
五 富貴安樂（牡丹）
六 閒店養志（夜の鐘）

第二輯目次

一 詩情畫意（湖濱波）
二 神怡心醉（柳絮）
三 江山清趣（諏訪明神神社）
四 雅健高逸（オダマキノ花）
五 月淡煙沈（鎌倉川ノ新月）
六 簑翀保壽（枇杷と林檎）

各輯 正價五十五錢 郵稅四錢

博文館發行

私立

東京女醫學校

○五月一日新學年開始○入學試驗四月廿五日○高等女學校卒業生無試驗

前期生百名 後期生五十名募集

○規則郵券參錢。入學志願者は四月廿日迄に入學願書を東京麴町區飯田町四丁目九番地事務所へ提出す可し

文學士 小松月陵君譯

沙翁物語十種

全一冊 四六判 洋裝紙數二九〇頁 正價金四拾五錢 郵稅六錢

此書は英國少年の爲めにチャールス、ラムと其姉メリーとが物したる沙翁物語中特に十篇を撰びたるものにして譯者の意志は廣く我國社會一般に不朽の大著沙翁劇を味はしめん事を庶幾するが故也

本書目次

▲喜劇▼

夏の夜の夢
しつぺい返し
終よき皆よし
から騒ぎ
婦婦馴し
ヴエロナの二紳士
間違の喜劇

▲悲劇▼

ダイモン
ペリクリーズ
シムベリン

發兌元 東京本町 博文館

女（たの五）

Google

最近發行帝國百科全書

第百七十五六編

文學博士　井上圓了君譯述　上下二冊

純正哲學

純正哲學は形而上の唯一學王なり、百科の最高學府也。帝國百科全書遂に純正哲學の一科なきを得ず。凡百の科學茲に統一し、人生觀世界觀宇宙のあらゆる原理原則これによつて意義を附せらる、人間遂に純正哲學の一書を缺く能はざる也。井上圓了博士は我邦に於ける哲學者中の大家なり、啻に泰西哲學の蘊奥を極められしのみならず、東洋哲學の神髓に達せられある大家なるは世既に定論あり。弊館こたび博士に請ふて茲に純正哲學の一本を讀者の前に献するの榮を得たるは豈に學界の幸ならずとせんや。苟も宇宙人生の根本を究め、學問智識の源泉を披かんとするの士は、必ずこの書を一讀せざるべからず、乃ちこれを世に薦むる所以也。

上製各五十五錢　郵税各十錢宛
並製各四十錢　郵税各八錢宛

第百七十七編

文學士　後藤朝太郎君著

現代支那語學

近來支那語の研究盛んに起りたりと雖も觀て考ふるに今日の所謂支那語研究は單に實用の一點に止まれるが如し惟ふに支那語の眞の研究は單に實用の一部分にのみ限れるに非らず進んで支那語を言語學の立脚地より科學的に觀察せざるべからず是れ前人未開の難事とする所なり然り而して支那言語學が一個の學問として確立せらるゝには少くも支那語の音韻、組織、語彙、文章法、語學等の各部分的研究を重ねざるべからず然るに此等の研究は未だ殆んど全く顧みられざりし是を以て本書も音韻のみを主とし且つ敍述の範圍が現代のみに限られたるものは今日に於ては研究程度上之れ以上如何ともする能はざるを以てなり故に茲には單に北京官話の現狀及び各地方との比較に就て概說し以て支那語研究者の參考に供するに過ぎず。

上製五拾五錢　郵税十錢
並製四拾錢　郵税八錢

發兌元　東京市日本橋區本町三丁目　博文館

Google

女子高等師範學校教授
文學士 下田次郎君著

女子の修養

全一冊 洋裝四六判並製美本 紙數約三百頁 近日發行

今や古の女子の教へ廢れて、新しき教へ未だ確立せず女子は日常の生活及び修德の方法に於て、その適從する所を知らざるの有様なり。本書は此動搖の時代に在りて、女子に其執るべき道と方法とを示したるものなり。著者は我が國女子教育の專攻家にして本書はその多年の研究と教育上の經驗とに基きて物せられたるものなり。其所說は奇矯に失せず因循に陷らず極めて穩健中正にして文章また平易に何人もたやすく會得するを得べししかも著者の豐富なる學識と旺盛なる元氣と湧くが如き機智頓才とは他の模倣を許さゞる著者獨得のものなり。されば一度此書を手にせば遂に卷をおくこと能はずその終るの早きを惜むや必せり。切に婦人の一讀を勸む。

發兌元 本町 博文館

伯爵 松下直亮君序
足立栗園君編

立志處世 先哲教訓集

洋裝並製菊半截 紙數三百二十餘頁

正價金三十錢 郵税四錢

東京日本橋本町 博文館發行

本書は我國古來の賢哲か世俗一般を教化せんため修身處世上、極めて通俗にして趣味多き文字を用ひ機に臨み事に應じて筆を染められたる數百ケ條の教訓を集め一書として公にしたるもの也、特に多年德教研究に心を寄せらるゝ足立氏か其採集の珍書中より一々出所を示して其粹を拔かれたるものなれば學校家庭の參考本として將又學生及實業家諸氏の好指針として最も適當有益の善書たるや疑を容れざるなり立志處世に志あるの士幸に之を座右に備へよ

Google

東京 大倉書店 發行

女子職業學校教授 女子大學校教師 金子支江子
女子職業學校教授 三好幸子
女子職業學校教授 石川壽美子 共著

森本義子著 家庭 編物全書 和裝 全一冊 ●第二版 正價金八十錢 郵稅八錢

太田梅子著 女子技藝 果菜製作法 和裝 全一冊 正價金四十五錢 郵稅六錢

最新刊

家庭造花術全書

美麗着色石版畫八十葉木版刷畫四十葉挿入

本書は著者が多年の實驗と教授上とに鑑み獨習者の用に充てんが爲め和洋の花卉七十五種を四季に分ち懇切小易の說明の下に精緻なる美術石版刷着色挿畫を以て蕾、葉、莖、萼、蕊等の各切圖と實物に依り寫生したる全形を示し此れと相對照して製作すれば師無きも容易くこの術を會得するに努めたり單に獨習用に止らず技藝科教員及び各女學校生徒諸姬の良參考書となり又家庭に備へ置かば美術的趣味を得るの珍書なり

和裝美麗 全二冊 上卷正價八拾五錢下卷正價八拾錢（郵稅各八錢）

赤堀峯翁 赤堀峯吉 赤堀菊子 共著 家庭 十二ヶ月料理法 六版 上卷正價金五十錢 下卷正價金五十錢 郵稅各八錢

宇野彌太郎 渡邊鐵吉 共著 家庭 西洋料理 洋裝 全一冊 ●第二版 正價九十五錢 郵稅八錢

東京日本橋通 ◉ 振替貯金二三八番

女(たの八)

幸福術の研究

前田越嶺

◎人生の目的は幸福にありといふ處ろよりして古來世の宗教家、哲學者は種々なる主義を建てゝ議論し爲し盡したものである。併し乍ら幸福は個人の視做樣、乃ち己の諦法に由るものである、千萬人より幸福者と言はれるも、自分は不幸者と嘆じて居る者がある、天下擧つて可哀相と言つても、自分は世界の幸福者と思ふて居る者もある。

◎然し如何なる心を持つたならば幸福であるか、若くはどういふ諦方をしたならば、人生を愉快に送られるかと云ふことは、矢張研究問題で、是にはどうしても幸福哲學を研究した人の說をきかねばならぬ。

◎樂天主義の哲學者は「苦痛よ、汝は禍にあらず」といつた。妙な諦方ではあるが、此主義の哲學者の意見によれば、人は感情と理性で成立つて居るが、感情は人間の劣等部で、理性は人間の高等部である、處で劣等部によつて司配せらるゝ者は人間にして人間にあらずだ、故に高等部の發達した人間は苦痛の爲に動かさるゝ筈のものでないと言ふ。

◎此は君子は形體の爲に動かさるゝ者にあらずと云ふ論法より出たことである、若しこの論を極端にいふと頭を撲たれても、痛くない、痛いのは頭だけで我自身は撲たれたのでないと云ふかも知らぬ。

◎然し此の奇怪なる樂天說は一見兒戲に類せるにも係らず、實際に於ては、堅忍不拔の氣象を以て苦痛も苦痛に感せざるが如くならしめた効果があつた。丁度子供が頭を打付けた時、母が痛くない痛くないと云つて我慢させると同一筆法である、誠に天眞爛漫である。

◎近代の樂天主義者は理窟がモット上手になつてゐる曰く、人間は啻に理性のみの者でない、感情も亦人間

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

組織の一要素である、何せなれば人は精神と身體とを以て成立つて居る者である、故に一齒が痛んでも、矢張我齒が痛いのである形體の苦痛は矢張り人間の幸福を妨ぐるもので、之を否定することは出來ぬ、故に近代の樂天主義者は苦痛の存在を否定せず、唯だ人生には快樂が主要のもので苦痛の如きは畫中の暗影の如く、却て幸福をして益々幸福ならしむる任務を帶びて居るものであると言ふ、斯く觀れば貧苦の人と雖も尚且歌舞して樂む事を得る譯で、戰爭、疫病、飢饉の如き人生の慘禍と云はれて居るものですら、人道と正義に一種の美を添ゆるものであると云つて居る。

◎羅馬のシセロ曰く「幸福は自由、高崇、勇敢、不屈の精神に在る、善を以て福となし、惡を以て禍となす事を知る人は眞に幸福なり」と。

◎希臘の賢哲は之と少しく調を異にし、德其物を以て幸福となさず、但だ德は幸福の本源である、即ち幸福は德行の產物であると言つた。

◎然らば德行は如何にして幸福を產するか、曰く「節せよ、忍べよ」と、此の節忍主義は古代甚だ有力であつた、人生節忍の二字を服膺すれば、以て幸福に達す可しと信じて居つた。

◎近世に至つて德行即幸福論は首肯が出來ぬ事となつた、それは德行は即ち力行で、力行は甚だ苦しきものである、獻身、克己、制欲等は德行の主なるものであるが、是れ決して安樂の業でない事となつた、然し此の苦しき行動の後に樂しき幸福の生じ來るを見れば德行は即ち幸福の基であるといつてよい。

◎世には「幸福」と「愉快」とを混同する者がある、然し愉快は先づ第一感情的の幸福で、理性的の幸福でない、たとへば罪惡の如きも之を行ふ當時には多少の快味のあるものである、故に古の賢哲は幸福と愉快とを混同することを恐れたものと見えて、前記の德行即幸福論を揭げたのである、然し世には「愉快なる生活」と「幸福なる生活」とは同じ意義に解釋せられて居る。

◎十八世の頃にベンザムの輩が功利主義を唱道したが功利の二字。一步を誤れば利己主義になる、成金黨も

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

幸福と云ふやうになる。

◎近頃の社會主義は幸福を現在に認めず、之を將來に期せんとして居る、然し幸福の遠景を畫くことは易しいが、幸福の實境を顯出することは六箇敷い。

◎完全なる社會を望む事はむづかしい、吾人は社會を改良せんより、寧ろ先づ己れ自らを改良せんことを望む、さすれば黃金世界も自ら出て來る譯である。

◎昔から幸福なる社會を理想した者、否、想像に畫いた者は隨分ある、プラトーンの「理想國」、ルーツーの「自然狀態」、社會主義の「將來の世界」などは其の最も著しいものであるが、未だ孰れも皆「空中の樓閣」だから困る。

◎幸福の議論は姑く措き世界に古往今來如何なる人が幸福に暮して居るか、其の事實を揭げて世の幸福術を究めんと欲する人々の參考に供する。

◎先づ第一個人として如何なる人が幸福であるかと云ふに、是には大分其人の氣質が與つて力ある、世に鬪爭性の人がある、是れは不幸な人である、厭世主義の人間は多く皆鬪爭性である、之に反して天性極めて愉快なる人がある、此種の人々は始終笑つて居る始終悅んで居る、氣質が快活であるから、萬事愉快になる是は實に幸福な人と云はねばならぬ、此種の人々は多く樂天主義である、之を稱して幸福なる氣質の人と名ける。

◎昔の遊牧の民は生活の爲に殆ど何等の働きをもなさずして暮して居つた。此等の國民は或は水を飮み、或は果實を食して滿足し、鼓腹擊壤の民の如く、故さら人爲的要求を作るやうなことをしない、未開の民と云はゞ云へ、文明の民よりも幸福に暮して居る所は、確に仕合の民と云はねばならぬ、然し今日の如く生存競爭の世の中となつては、迚も斯の如き葛天氏の民や無懷氏の民を氣取る譯には行かぬ。

◎されば此際如何なる國民が一番幸福に暮して居るかと云へば、奮鬪を好む民である、事業に對して不撓不屈の精神を抱いて居る國民である、吾人は之が標本をアングロサクソン人に認める、彼等は活動の爲に活動

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して居る、其の活動直に是れ一種の愉快である、是は實に現世紀の幸福な國民と云はねばならぬ。

◎要求は進歩の母であるから、決して惡いとは云はれぬが、然し要求要求又要求、一生要求の爲に苦められて居る人は、餘り幸福な人とは云はれない。然し其の要求を一種の愉快と認めて居る者あらば、此限りにあらず。

◎世には又宗教を以て幸福の道と視做して居る者がある、良心に疚しからず、安心立命の境に躋らしむるものは、宗教の力である、德を行はしめ、慾を制せしめて、其の心身を健全ならしむるも亦宗教の力である、故に宗教家には幸福な者が多い、宗教は又人生の苦痛に慰安を與ふる者である、金や學問で求められぬ慰安を信仰で認むることが出來る。

◎幸福の生涯を送るには、人生の避く可きものと求むべきものとの兩様を心得て居らねばならぬ。

◎避く可き所のものは、先づ第一良心の刺激である、此は二つの方法によりて避けられる、之を殺す事と之を癒す事、前者の法は人をして罪逆に至らしめる、何せなれば大逆を行へば良心の刺激が止まつて了ふ、是は正しい方法でないから是非後者の法を取らねばならぬ、そは罪を犯さず惡を行はぬやう注意すれば可い。

◎次には身體の苦痛を避けねばならぬ、如何にして避くべきか衛生で避くるより外に道はない、之を癒すには醫術による。

◎又其次に避くべきものは煩悶、厭倦、將來の心配等である、此等は勤勉、精勵、苦闘、希望及び讀書などを以て避けられる。

◎尚又終りに激越なる愉快を避けねばならぬ、何せなれば愉快も餘り激しき程度になるときには、後必ず苦しみに變ずるものである、樂み極まつて苦み來るとか前夜の歡び今朝の悲となるとか云ふ語は古今東西詩人の能く言ふ所である。之を避くる法は別に六箇敷いことはない、度を過さなければ可い譯だ。

◎此の如く精神と肉體とを惱ませ苦ましむる分子を一打掃つて後、人生更に求む可き所のものがある、所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

消極の部分一たび去つてからは、積極の部分を求めねばならぬ。

◎乃で先づ第一には人生笑ふ事、樂む事がなければならぬ、笑ふ門には福來ると云ふ諺がある、弓はイツモ滿を持して居ることは出來ぬ、時々は弛めなければならぬ、人の心も又同じことである、時々休息して放笑するの必要がある。

◎次に苦樂を俱にする友が必要である、友は他人の我であると云ふ、何事も一致同心して助けてくれる、順境に在つては榮譽となり、逆境に陷りては避難所となる。

◎讀書も亦是れ一種の愉快である、友は始終同居して居る者ではない、書は之に反して何處にも隨伴する友である、卷を開けば直に聖賢と交ることが出來る。

◎眞理を樂む事が餘り哲學者的の事であるとすれば、別に又美を樂む心がなければならぬ、詩歌、音樂、繪畫等各々皆特殊の樂みを有つて居る。

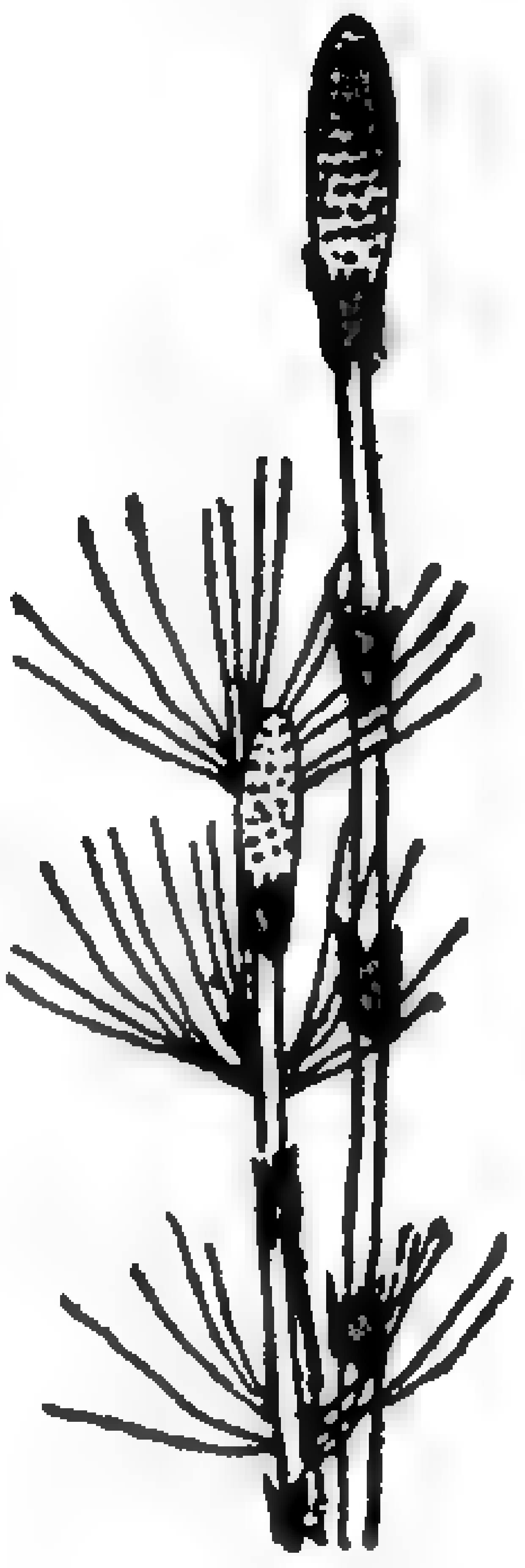
◎尙又善を行ふの樂みもある、仁を行ひ、恩を蒔き、愛を施す等皆一種言ふべからざる快味を藏して居る、善事をすれば氣持が良い惡事を行へば心地がわるい。

◎其外尙功名の樂みと富貴の樂とがあれば、人生の幸福は兎に角滿足と云つて差支ない、然し功名富貴を得る道は奮鬪に在る、故に精勤苦鬪を愛する心がなければならぬ、人間は何れにしても働かねばならぬ、食ふ爲にも働きが必要である、人生否應なしに働かねばならぬならば、働くと云ふことを一種の樂みとなす者こそ眞の幸福者である。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私の希望

蒲公英



私はまだ眞の親の手許を離れぬ繭ごもりの身で世の中の事などはとんと分りませぬけれども、何となく社會の人となると云ふのが如何にも面白さうで、其くせ幾干か恐しいやうな、薄氣味惡いやうにも思はれで は無いですが、でも鳥渡覗いて見たい氣もする、と云つて私などは、此先蝶になつて飛べるやら、蛾になつて死んで仕舞ふやら行末知らぬ身では有りながら、併しまア先の事は先の事として假いて隨分社會に出るとなつたら面白い事だらうとおもひます。

◎

浮世は辛いものだとして居る人がよく有りますけれど、私の目には只だ最う樂しい面白いものだとしか思はれませぬ、夫れはもう誰れでも仰しやる通り世の中は丁度大海のやうなものですから、近よらずに遠くで眺めて居れば美しくも有り、奇麗でも有りませうが、扨其の中へ足を踏み入れるとなれば貝殼で足の裏を切らぬとも限らないし、穩かに見えても波も有らうし前以て夫れ〳〵用意をして居ないと少さい波が來ても捲き込まれて仕舞ひませう、ですから一通り游泳の稽古も學んで置かなければならない、併し那麼事は學校だの家庭だので知らず〳〵の内に覺えて仕舞ふから好いですよ。

◎

私が此の間某方に遭ひまして話の序に人ほど樂しいものは無いんでせうねえと申したら大層立腹されて貴女なんかは只だ人生の春ばかり見てゐるから那麼呑氣な事を云つてゐられるんですよ、花が咲いて蝶が飛んで錦繪見度に思ふだらうけれど、春だつて花は散る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し、雨も降ります況して人生は春ばかりおや有りません、悲しい秋も音信れゝば慘ましい冬にも逢はなければ成らないのに、春ばかりを眺めて樂しいものだ等と思ふのは大間違ひな事ですよ殊に春も春も空想の春なんぢやア有りませんか現實の春はと云つて苦笑せられました、私は何の事やら譯が分りませぬけれども、時候にも春夏秋冬の異りが有るんだから人生にも有るのかも知れませんが、兎に角私は慾張のやうですが春ばかりで居たいものだとおもひますよ。

夫れはもう憂世と云ふ位ですから樂しい事も有らうし、悲しい事も有りませうけれど、それは氣の持ちやう一ッで奈うでも成らうと思ひます、樂しい事でも樂あれば苦有りですから今度は何麼悲しみが來るか分らないなどと、取越し苦勞でもして居れば切角の樂しみも半分は消えて仕舞ふ譯です、夫れに引換へて悲しい時にも何有に是れ位の事なんか、今に又好い事が有るだらうと思つて居れば夫れほど辛くも感じませぬ、何んでも氣が餘程手傳うものだからと私は何時でも然う思つて居りますよ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎

よく自分の境遇に泣く人があつて實に惨憺たるものだ等と云ふ人が有りますけれども、何麼境遇に居たつて自分で自分の心を慰める位の事は誰れだつて出來ると思ひますよ、悲しいと思へば悲しいけれど、苦しめば苦しむだけ夫れだけ自分の經驗を積んで行くのだと思つたら却つて嬉しいやうに思はれませう、溫い家庭で荒い風にも當つた事のないやうなお姫樣なんかには分らない事だと思ふと、何んだか自分が夫れ等の人より一段上にあるやうな氣がするものでございますよ。

◎

が幾程經驗になるからと申しても、冷たいひや〳〵するやうな破れ疊に暗い灯の前で胝だらけのがさ〳〵した手でもさすりながら、明日の日をどうして送らう等と考へあぐんで茫然してゐるやうな身になつたらまア何麼に悲しい事でせう、夫れこそ氣の持ちやう一つだ等と呑氣な事は云つては居られませぬ、那麼事を云つてる人に眞個に同情の無い人だと怨んでやり度もなりますよ、知らぬ他人でも自分の悲境に陷つてゐる時に修飾込んでぞろ〳〵してゐる女にでも逢ふと全く見す知らずの人ながら、癪に觸つて遂い冷笑して遣りたくもなります、だから那麼事を云ふのだらう、よく私の親が決して好い着物を着て歩くものぢやあ無い、人樣の怨みを受けるものだからと云つて居ます、で或る賢い婦人なんぞは自分の地位が人に勝れて居るので、決して衣服に奢りをしなかつたと云ふ、其話を常に親から聞いて居ましたので或る時其婦人に逢ひましたからよく氣を付けてみると成程と思ひました、爲れば甚麼贅澤でも出來る身分で有りながら、指環も無かつたし、時計も下げて居られなかつた、が何處とも無しに犯す可からざる品位は有ました成程々々と私は幾度も心で點首き人に勝れやうとする婦人の注意は違つたものだと思ひました。

◎

夫れは扨置いて、籠の中に居る身の私なんかでさへ人知れぬ苦しみは有るものを、況して社會に出れば種

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

種な出來事にも逢はうし、甚麼思ひをするかわからないし、一足先は眞暗で斯うやつて居たつて何時々々奈う奈落るか知れやしないんだと思ふと何んとも云はれず悲しいやうな氣も致しますよ、手が荒れて眞綿の指先に引き掛かつてさへ情けないやうな思ひがするものを、萬一明日の日を思ひわづらふやうになつたらまアどうしやうと思ふと急に社會が恐しくなつて一歩も動けないやうな氣が致します、が私なんかは一番餘り悲しいと云ふ事を知らないから那麼考へは直ぐと何處かへ消えて行ッて仕

舞つて、後からは花やかな、面白い事づくめの世の中が走馬燈のやうになつてぐる〱目の先にちらついて參ります。

◎女は人生の花だと云ひますから、其花と云はれるからには何處までも花らしくしなければなりません、人に秀いでた學才に誇つて嚴格にしやちこばつて構へずとも、唯だ一寸逢つて話でもして居る内に何んとなく優しい、云ひ難い懐しさを感じるやうな、微かに好い香を持つた花に接した時の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やうな優しさを持つた女になりたいとおもひますよ、妙におつに澄し込んでゐたり半分物を云ひ掛けてにやりと俯向いて笑つてみたり、意味有りさうな眼付ばかりして何んだか何時迄たつても氣の知れぬといふやうな女が一番私は厭でございます。

◎

何處か斯う鼻先に物のはさまつたやうな云草をする人がよく有ります　那麼人は自分では一ぱし思慮の有る怜悧だと思つて居るに違ひ無い、又然ういふ人に限つて決して馬鹿ぢやアございませんけれども、私は誰れにでもさらりと打ち解けて人に接するやうになりたいと思つて居りますよ。

○

何うせ何んと云つても一生なんですから何も自分から好んで人に厭がられるやうなひねくれ者になつて、淋しい人生を不滿く狹くるでもなし、又平々凡々と云はれても美しい花ならば美しいと云へばよし、雪は白いものお月樣は丸いもので澤山です、なまなか詩人なんか氣取つて花に泣き月に憧がれたりしたつて、花が同情を寄せやうちやア無し、お月樣が慰めて下さらうちやア無し、一寸洒落に歎いて見て答へぬからと云つて、あれ〳〵お月樣もあんまりな、なんて怨んだ處で仕方が無い、却つて怨まれたお月樣こそ好い迷惑です。

◎

だから私は詩人になるのも厭だし、勝れた人になるのも眞平だと思ひます、少し勝れた婦人なんぞにならうものなら第一女同志で話をするのも不滿らなくなつて、皆が喜んでキャッ〳〵笑つて居る事も一向可笑しくも感じないからお役目にア、ンと鼻の先で笑つて、馬鹿にしたやうな眼付をして見たりするから、何んだか氣の置ける厭な人だと友達仲間の受けは惡くなるし交際して與れる友達は漸々なくなつて仕舞ふ、夫れでなくとも自分一人高尚な趣味を持つて居るだけでも嘸ぞ不滿らない事だらうと思ひます、又自分一人だけ新しい思想でも不滿るまいし有且樸實の背比らべが一番好い、夫れでないと自分一人退け者にされて仕舞ふか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら淋しくつて堪るまいと思ひますよ、でも俗人どもは共語るに足らず、と云つて居れば好いやうなもの丶、永い一生を淋しく送くるのは何よりも何よりも辛くつて私は厭ですわ。

◎

出來る限り面白く樂しく暮したいとおもひます、で私の希望と云ふのは金持になり度いのでも無ければ地位や名誉を望むのでも何んでもございませぬ。只だ普通な極く平凡な婦人になり度ばかりです、藝が出來たり學問の有る婦人には不幸な人が多い、と云つて私の親は私に是れと云つて何も習はしませんでした、でも私は何んだか皆様が種々な事が出來るのに私ばかりは何も出來なくッて、何か習はせて呉れゝば好いのにと思はぬでもございませぬが、今思ひますと、却つて何も仕込んで呉れませんでしたのが有り難いやうにおもひます。で再び繰り返す私の希望は何よりも／＼普通の婦人になり得られゝば満足です。

世の飾りとして見たる女

金　盞　花

眞理は中間にありとやら今、私しの申すのも矢張それかと存じます、まづ一概に男の方は、世の中に女程詰らない者は無い僕なぞは男に生れて來てよかつた、なんて威張る方も有りますが、其れと同じに女の方は、何故女になんぞ生れて來たのでせうねえ、と今更ら取返しの付かぬ愚痴を云ふ方も少なくはありません。が私は寧ろ女に生れて來たのを此上なく、幸福と思つて居りますよ。私の云ふ事は美と云ふ事にのみ馳つて終ふかも知れませんが、全く女は人生の花です、此淋しい人の世を賑やかに色彩る花だと考へて私は内心窃か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に誇つて居るのでございますよ。

◎

まあ假に美にのみ驕ると致しても、男の兒が生れてから、七つ八つ迄と、女の兒とは甚麼に人の目を引付ける力が違ふんでせう。四つ五つの可愛いゝ盛りから、八つ位迄の女の子が、紅のリボンを眞黑な、房つさりとした髮に掛けて、華派なメリンスの友禪の着物か何かに、白の西洋前掛をかけて、毬でも持つて遊んで居る處は、誰の目にでも可愛ゆく映るだらう。其眠つて居る處でも、無邪氣い、恰で天使のやうなものだと思はれます、十二、三、になつても同じで、男の兒の、鼻を垂らして、赤切れや胼の切れた手で、凧を上げたり、獨樂を廻したりするのよりも遙かに佳いですよ。女學生を、マガレツトに結んで、短かく穿いた袴の裾から、靴下長く出して、紐靴で活潑に少し胸を突き出して歩くのや、束髮に大きな簪をさして、紺か何かの袴を揺長く、千代田草履か雪駄で、冬ならばショール、夏ならば色の華派な日傘を、氣取つて射して行く處、幾多の男生の目を引き付ける力は充分に備はつてゐるので御座いませんか。

◎

女なんぞは詰らない、要するに男の玩具に過ぎ無い。なぞと女を馬鹿にして、醉後の氣焔を上げて、空威張りをする方もあるか知れませんが、女の方から見れば却て反對に、男は馬鹿なもので、切角汗水垂らして稼いだ血の出るやうなお金を、女の一言に、献上して、一にも二にもウム諾々と大盡を極め込んで其お金をまき散らして了ふ。つまり女の方が狡猾で怜悧で、小才が利いて居るのかも知れません。が斯う云ふと、男は女を玩具にする爲めに金を稼いで取るのだ、と云ふかも知れませんが、女の方からは表面は知らん事、一寸反對に女の玩具にされて居るやうな感が致しまする。

◎

女は詰らないものだ、とか、憐れむべき者だとか、虚榮にのみ憧憬れる動物だとか、大言壯語して居乍ら、其憐れむべき動物の爲めに、煩悶、懊惱する人が少な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くはありません。表面では人聞きの好いやうな種な名を付けては、誤魔化して居るもの丶、早く云へば女から盲鐵砲を旨く食はされて、夫れでもまだ思ひ切れずに居て、其揚句の果ては、失戀とやら、厭世とやらに陷つて、終には、華厳の瀧に、世の無情を恨んで憤死しなければならないやうになる。又然うでなければ、憐れなる女の前にひれ伏して、其愛を僅かに得て、大悦びに悦ぶお方もある。而して其女の一顰一笑が悉く男子煩悶の種となるのではありませんか。

たとへば一國の主權を握る大宰相、成程これは一世の御人傑には相違ないが、飜がへつて、其裏面を窺ひ奉ると、前では御前とか何とか云はれて居て至極結構ですが、外から見ると、恰で手毬にとられて居る感が致します。女は何處々々迄行つても、何時も勝利の榮冠を被つて居るとしか見えませぬ。

◎

又譬へ女は甚麼醜婦にもせよ、必ず一つ位は取柄が有るものです。のみならず服装や姿で其半分は隠します。而して何か一つ、學問でも出來れば、名代の娼婦でも一轉化して直ちに天下の女丈夫と尊崇されて世の人から敬服される事になります。

論より證據、畫家でも、教育家でも、音樂家でも、小説家でも、何時の時代でも同じ事、技倆や實價の三倍五倍に囃し立てゝ忽ち成功場裏の人とするのでありますから、苟くも虚名を欲する人は宜敷く女に生るべき事とおもひます。

◎

若い時は花の姿で迷はし、老れば暖たかい家庭の優しき慈母となる。天使のやうな、無邪氣な兒は、父よりも母に親しむ。女は愛の化身のやうな者で、一生を通じて人を愛して居るから、女と生れた者は幸福に違ひありませぬ。

◎

それから女の德で男にないのは幾歳になつても、境遇の變化につれて趣きが違つて來るといふ興味があります、まづ十八九を櫻の花にたとへたならば、二十三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

圓は梅の花、何處かに品も付いて來て、十八九の時のやうに、仇つぽくはないが、其代り、洒落りした梅花の趣きがある。

◎小褄のキリヽとした、三十位の粋氣な奥さんもよければ、四十位の落着いたのも又佳いのです。

一つ年を取れば夫れ丈多く氣が付くから見つとも無い事は次第に亡くなつて了ふのです。

◎なんぼ身姿を構はぬ田舍出の女學生でも、二十五六になれば自分の襟や何かの汚なかつた事も分るだらうし。髮許りは何日もヘイカラに、高く廂にしたり、丸髷にしたりして、勿忘草か何かの簪をさして氣取つて居ながら、襟と來たらゾクとするやうな、鼠色の、肌襦袢の襟を出したり、襟足は毛むくじやらで、垢がたまつて居るやうな事もしませんから、年を取れば夫れ丈奇麗になる譯です。

○眞白、淡紅色、水色、と夫れ〴〵自分の好きな色の洋裝をして、襟には幾個の大きな花を着して、胡蝶の如に夜會や何かで舞踏して、誰の目にも艶の見へ誰の心をも醉はせる人、又は振り袖に裾模樣の紫、高島田の艶麗なる、春の夜の、櫻狩の宴に坐する人、是れ皆女ならでは出來ぬ仕わざ、其の女あるが爲めに、寂しい會も、宴も、人生も、花が咲いたやうに、春が來たやうに、美しくされるのではございませぬか。

◎要するに女は、人の世の裝飾でありますから、大切に、いたはるべきものだとは、今更申すまでもない事でせう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

下婢問題

近頃下婢の拂底に就て大阪朝日新聞社が其道の名家の意見を求めたる中に同府立病院長佐多博士の説として述べたるもの左のごとし。

○今日までの日本の下女は多くは常日頃から知り合ひの先か、さうでなければ知り合の人の紹介で置いたもので、其間には必ず多少主従の關係が出來て居て、今日のやうに只傭ふ、傭はれるといふだけの關係とは違ふ、随つて置く間は掃除から勝手元のことから、取次から給仕から、子供の世話から凡て家の中の用事といふ用事は何から何まで吩附けもすれば又其間に家事萬端を見習はしたものである、夫は獨て主家のためといふばかりでなく、使はるゝ方の者もかやうにして家事の修業をしたものである、其代り長く務めた上で年頃になれば嫁入りの世話もして遣れば嫁入道具も整へて遣るといふことになつて居た。かういふ風の關係であつたから、給金なども甚だ少く中には全く給金を遣らなかつた風のもある。

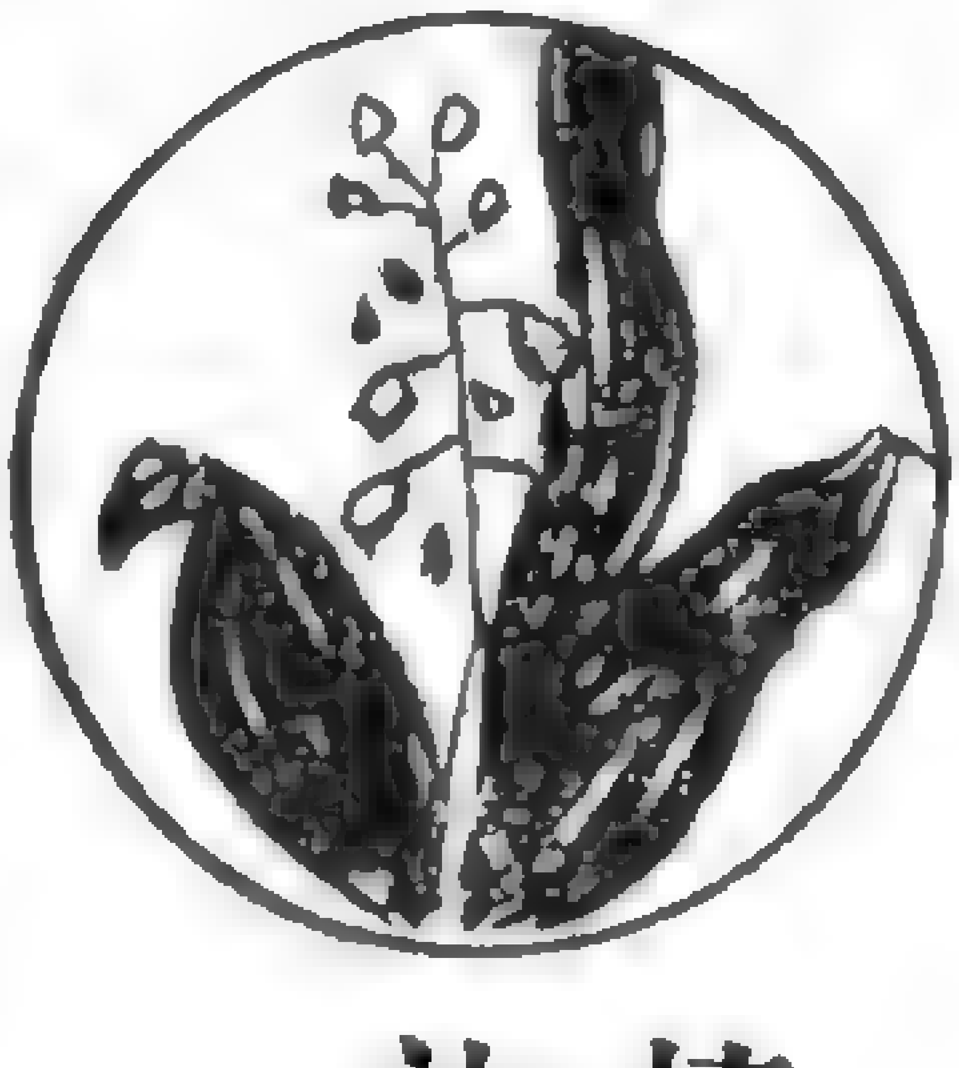
○然るに今日は社會の事情が一變すると同時に夫等の關係や習慣が全く無くなつて了つて、約束の期間も短かくなれば、給料の如きも謂ゆる勞働に對する賃銀は漸騰といふ風な性質に變つて來て居る、これは下婢制度に取つて大なる變化である、既にかう變化した以上は夫々相應した給料を拂つてやるのが當然であるが、移り變りの際でまだ幾分か舊來の風習が双方の頭に殘つて居る故でもあるが、一般の勞働に對する賃銀に較べると下女の給料が安い、其給料の安いといふことが、下女に來るもの丶少い重なる理由に相違ない。

○だから今後は十分相當の給料を與へて、十分間に合ふものを雇入るゝやうにする外はない、かく言へば一概に金がかゝるやうに考へる人もあるかも知れぬが、一面からいふと元來日本人の習慣として、殊に家庭などの中には人を使ふことの下手なものが多い、それがため兎角餘計な下女を雇ひて居る家が少くない、其邊らの點に少し注意して人手を減らして甘く使へば少し位の給料の多寡などは心配するには及ばぬと思ふつまり今後はかういふ風にし段々專門的の下女の數を多くするより外に手段はあるまい。

○尤も從來の見習の風習といふことは却々善い習はせであるから、出來るだけ此風習は永く保存するやうに力めたいものである。今一つは家事に其學問を修めた者に對しては西洋流に成業の證書でも與へて、嫁入りとか或は更に他の家に奉公でもする時の紹介に代へるやうにすること等も一つの方法かも知れぬ、さうすれば下女の方でもそれを貰ふ爲に成るべく良家を選んで永く辛抱するやうにもならう。何にしても今少し樂に下女を得られるやうにならぬと困る云々。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



情界の波瀾

泊子

五月は端午の鯉の吹き流し同樣、口先ばかりは男の意地にも立派に敲けど、微塵恐らしげも無き甘つたるさ加減、されば決して痛くは無い程度で可愛い横顔をちよつと、あらま何で御座いますつて、貴方つて眞箇にく〳〵お甚い方なのねとか何とかで、由來眼中我れには一物あり、勝算立ち處に成つて、其處は至極沈着いたもの、口惜し相にほろりと妙に取り澄ましたる面持の物こそ云はね、柳眉心ばかり逆立てゝ大儀らしう吐息しながら、

口より幾倍も能う働く艶めかしき優さ瞋みの、拗ねてはくるりと人焦らしの意地惡さは別して。眞箇だよ、と餘り馬鹿〳〵しからうじや無いかね、禪寺の小僧じやアあるまいし他人の頭を木魚だとでも思つてるんだらうか、チヨツ面白くも無い、眞當に大篦棒の唐變木の呆れ返つて物も云へないわ、眞實さね、串談も大槪にして止してゝ頂戴なよ、と頗る以て猛烈に來られては旦那樣男振りのお上り遊ばさぬ事夥しきは元よりの定なれど、面唯紅うして初心げに俯きながら、密と上目使ひの臆病相に男の顏盗み見ては、又しても落す膝頭の上、素直に兩手きちんと支へて、何處迄優艶しう顏をも上げず。

男は況して、女も之れ位の罪の無い無邪氣な夫婦喧嘩は、決して惡いものでは無からうと考へられる、否少々位の。

照れる脹れる

格別のおさし障りが無かつたら、隨分事情の許す限り、時と處と場合とに應じて、餘り七濃厚くない波瀾は時々起して戴き度いものだとは、自分が日頃からの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

持論なのである。

　と云つて之れとても、嘗つて一度は晩餐酔後の自分の經驗から割り出して云ふのでも何でも無いが、人生かりにも人と生れて、適ま男子とも生れて女子とも生れて、縁あればこそ互に夫婦ともなつて、男一生女五十年、痴話りも得せず喧嘩の味も知らず、一年三百六十五日、雨の朝も風の夕も、一向變化の無い平凡な下らん顔を突き合せては、春は曙夏は夕暮れ、人並々に花を見月を眺めながらも、雪の降る日は寒いものだ位に極め込んで、天地六合有情非情、行く秋の末にも春待つ若き執着も無ければ、左のみ身に泌みる程の樂しげもなく可笑しみも無く來る年も行く月も、同じい順序と方法と狀態とで、例へば空行く雲の行衛定めぬ様に、有るとは見えて泡沫の流れに浮ぶ水泡の其れの如く、宛然もつて喰ふうつと寢て起きて食べる計りに一日の日を暮すと云ふ分では、之れをしも世人或は、

平和な家庭

と云ふか知らねど、這麼詰らぬ無趣味な、一層道學染みた若々しい華奕かな生氣とても無い家庭なんか、第一自分からして決して滿足に默つて腹の虫が承知してまいと思ふ。

　嘗つて自分は友の一人に斯う云つてやつた事が有つた。

貴女の家庭は實に平和で居らつしやいます、其れは誰れだつて甚麼人だつて、貴女の御家庭の平和なのを見ては心から羨ましがらぬ者は無いでせう、彼の如何にも常識に富んで居らつしやる寛大な旦那様のお話し振りと奥様のお優し相なお待遇風とに預ると如何な亂暴な私でも、斯うぼうつと夢でも見る様な恍惚とした心になつて、何かしら目に見えぬ若い憧憬に青春の血の燃え立つ様な悶えも苦しみも、自づと消失つて行きます、而して生温い興奮の春の日を浴びながら、何處やら小唄の其れも聞き取れぬ程幽かに遠く聞くともなしに聞いてゝも居る様な、もうもう私は怎うしても小供らしい天眞の昔に歸らずに

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は居られなくなつて、阿方等の前には見えも外聞も虚飾も偽善も捨てゝ仕舞ひます、だから私は然う申し上げます、いへもう阿方等にばかり然う申し上げるではなく、然う私は固く信じて、貴方様にも然う申し上げて居るんで御座いますよ、阿方々の御家庭は寧ろ、

人生の墓場

で居らつしやいますと。

処が之れが甚く友の逆鱗に触れてか、自體其麼事を云はれても決して怒つた事の無い筈の人が、古今無類真赤になつて、人生の墓場とは如何にも情けないねと

頻りに溢し始めた、で、自分は其の時も再び更めて斯う云つて遣つた。

無論墓場でせう墓場じやありませんか、だつて阿方々の家庭は我れ〳〵の所謂人生の安息所と云ふんじや無くつて全く人生の墓場だと申し上げた方が適當だと思ひますんですもの御覧なさいまし、彼れ程平和で居らしやる其中に、何處か寂しい氣の滅

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

入る樣な……私はまあ厭ですね其麼家庭なんか。

だからさ、人生の墓場だと私に言はれて其れが、其れが其樣にお口惜しかつたら、時には胸毛の長い毛でも引つ張つて上げて、ちよいと小當りに旦那樣を怒らして、御覧なさるさ、而して極く淡泊と波瀾を起して見るんで御座いますよ

と。

自分ながら隨分罪なとは思はぬでも無かつたけれど、少々諷戯つても見る氣で云つたのが意外、友は恐ろしく悄然返つて、眞實くですわねと終々本音を吹いて白狀に迄及んだ。

其れは仕方が無いんで御座いますの、墓場だと云はれ樣が何と仰つしやられ樣が全く然うに相違ありませんの、平和？然うですよね、其りや私の家庭は平和で御座いますわ、お互に何一つ愛想盡かした事を云ふでもなしさね、無いんで御座いますけれどさあ什麼でせう、阿方の仰つしやる通り絕えず斯うね、物足らぬ樣な詰らぬ樣な、時には如何にも無聊に堪へられんと云ふ樣な、其の癖心の奥の〳〵何處かで妙にどちくたやつてるらしいの、其れだつて今度は其んならと云ふんで條理を立てゝ考へて見りや矢つ張り平和、其ら何時だつて平安無事なんでせう、此れで阿方小さい兒でも出來たら、私は此の上なしの幸福者なんだらうけれど、其れがさあ……一つ試つて見ませうかね

と、友は淋しう微笑した事もあつた。

其れから友の今一人の之れは甚だしい、延べつ引つ切り無しと云ふ形で、殆んど朝から晩迄これも隨分

厄介千萬な譯

である、旦那樣は至つて達辯の千里の奔流岸にも淀まず、昨晚お三の居眠して居ると云ふに抑も始めて、今朝のお汁の實の生煮えであつたと云ふに至る、之れも畢竟貴樣の日頃の注意が何事にも疎かであるからだと結論される迄のお手腕と云ふものは、實以て一寸の遑きとても無い、其れから第一貴樣の廂髪からして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

氣に喰はぬの、面の脹れてるのが一層癪だのと最後の止めは何時も之れだ、が、細君も去るもの、決して決して如何な事負けては居らつしやらぬ、隨分云はでもの事迄さつさと云ひて退けて盛んに捲くし立てられる喰つても掛かられる、さあ大變、斯うなれば何れも何れ、必ず血を見ねば止むまじき形相凄まじう、殺氣騰場に漲りて、結局は裏店共のすなる掴み合ひてふ義に迄及ばれるが順序である、けれど相手が女子の細腕丈に、大それた大男一人、勝つとも負くとも如何程のお高名にはなるまじき筈を、ぐつと反り身の肩怒らして、

旦那樣の權利少しは威張つても御覧じませと、後はけろりと一村雨の、急かずば濡るとも、いとしや可愛い頰つぺたに蚯蚓痕は揃へまじきをの後悔や先に立ち給はん、月は三五の雨後は況て、

憎くい奴

と旦那樣の先づ笑ひ出し給へば、私だつて彼のこの憎らしいのよとけも無い誠鴉の鳴かぬ日はありとも、奧樣旦那樣の怒鳴り聲聞こえずば、御近處合壁可惜天氣豫報の狂ひや生せん、知るは別して知らぬは猶更、てもまあ御根氣のいゝ事と異口同音に感心して居る、君其麼に細君を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

虐待しては不可んじや無いかと忠告する人のあれば、然うか知らんと小首傾げて旦那樣の無邪氣う不審り給ふも道理、其れは〳〵お仲のいゝつたら、三千世界恰でもうお談しにはなりませんよ、とお召し使ひのお三どん耐まらなさ相に失笑して、其の上は多く物語らねど、別にお仕事つてものも居らつしやら無いんだもの、彼れが眞の奧樣の御道樂筋なのさと、慣れては隣家向ひ三軒、小犬一疋吠えさせもせず。

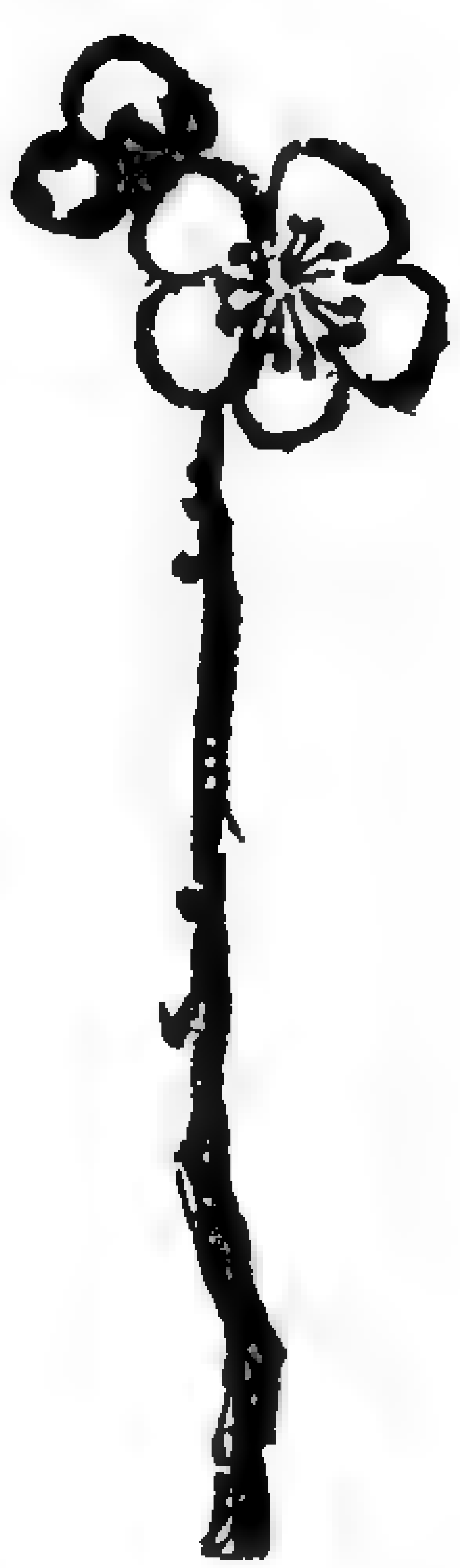
月によし日比谷の逍遙、二人の胸と胸寄り添はば、花楊魔木夜の香にや燃えなん、所詮好いて好かれた夫婦なればこそ、下らぬ遠慮に旦那樣の機嫌取らんも要なし、夏は夜すがら短かき手枕の夢に、戀辛きものと知り初めては、

今朝寢亂れの

痴話ともなるべし、喧嘩ともなるべし摑み合ひともなるべし、いやもう這麼喧嘩なら、失禮ながら甚だ以てお羨ましい次第だと自分は考へられる。

と云つて何も、夫婦は波瀾を起すべきものだ摑み合ひするに限るものだと罪な前提を前に措いて、御謹愼で居らせられる筈の皆樣に無いお智慧をお附け申す譯では無いが、妻も妻なり旦那も旦那なり、各臭い、夫婦の仲に物爭ひ一つせぬと云ふを見えにして、自然の影の遠ざかり行く心細さを心に覺りながら我れとも無く虛僞の假面に人類の本領を沒却して仕舞つて、寂しいつまらぬ生涯を送らうよりは、時と場合に打つかつたら隨分演るも宜し演らずも可ならん、無理と意地惡う上から出でゝ人困らせの喧嘩は、自分とても眞ッ平御免は蒙るが、怎うせ兒戲に等しい人生に、左のみは鹿爪らしく大人ぶらずともあれ、所詮明瞭を以て行ひを二つにし得ぬ我等ではなし、決して其處等の御參酌は御無用で御座ると斯う申し上げて置いて、時には耐も呼び給へ風も起し給へ、逆もの序、何も良人の一人位手珠に弄して、我が世の春面白う、二十年來受けし屈辱の婦人の恨みを思入れ晴らしてやらうではありませんか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



結婚と人格

江湖子

現今の女子教育の得失と云ふやうな疑問が起ると、私共の眼に先づ浮ぶのは此の女子教育の產物である一人の女子で、或る紳士の妻女である。此の女子が凡ての疑問に私共に代つて答ふるのである。此の婦人は女流としては英語に堪能なのであるが、猶其の學校時代に居た間に、學資不給の不運に出會つたので、其の許約であつた男は薄給の內から非常に節儉を行つて、未來の細君に二三年間貢ぎ繼いで、目出度卒業させたものだ。すると其の婉意外な方面から此の婦人に對して求婚者が顯はれた、其の男は教育界に位置もあり、收入もある歷乎とした紳士であつた。同時に其の約婚の男は前途有望の俊才ではあるが、其の俊才が猶は世間に認られないで、未だほんの書生上り、其の收入は僅に如上の求婚者の五分の一にしか當らなかつた。乃で此の婦人の心は忽ち動いた。

○

「○○さん（求婚者）の方に往くのが自分の爲には幸福だ、又口口（約婚者）は寧ろ自分の外から助けた方が彼の爲には手足が伸ぶ」と、斯樣云ふ考を起して、約婚者が其の契約の實行を要求した時に、直に之に應じないで、其の目出度合巹の式を擧ぐる迄には並々ならぬ面倒が起つたさうだ。然て愈一緖となつて家を持つたが其樣云ふ次第で成合つたのであるから、無論女に權力がある。事があると逃げ出さうとする。良人の方では何時も機嫌を取つて落ち附くると云ふ瀨の惡い役廻り兎角する內、子供が出來る、其でも其の子供を伴れて別れようとする、何自分は女學校に敎ふれば子供を養ひ乳母を傭く位の給料は優に取れると云ふ算段。此の離別騷ぎが子供の追繼出來るので漸う下火になりか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けたが、此間また何樣云ふ次第か、良人なる紳士（今日は既に紳士である）は妻子を一時國へ返すと云つて旅費の金策を為て居たやうであるが、果して歸したのであるか歸つたのであるか、其れ限り音沙汰無しである。

此の利己主義の實例が極めて顯著な私共の眼に浮ぶのは其の代表的實例として顯はれたからである。或は我輩の見る目の方が間違つて居るかも知れんけれど、今日の女子教育の結果に就て私共不服を懷く一人である。今日の教育は過渡時代である所為でもあらうけれど、單に女子の本能、別言すれば女性的感情を引き延ばすのに過ぎないからである。

○

一口に感情と云ふが、其の内に雜多な物がある、利己心もある虚榮心もある、輕薄もある喋舌もある、此等の缺點は無教育な女子に在つては缺點として咎めらるゝが、教育ある女學生に在つては既や咎むることが出來ない、缺點が既や缺點として取り扱はれない。教育が之を辯護して是を婦人の特性と稱する。之を責むる者を反對に偏道學者だとか、野暮漢だとか、婦人を知らぬとか、婦人に交際する資格が無いとか云ふ樣な高慢を言ふ。是に於て女子に對して男子は初から一目置いて物を言はなければならぬやうになる。是から女尊男卑の弊害も出て來る、と云ふのは女の感情と云ふものは無教育者でさへ甚だ制へ難いのである、既に既に教育と云ふ機關を以て十分煽て揚げられた女學生の感情を抑ふることは到底出來るものでは無い。理性を以て立ち向ひ其の利己と虚榮の首を一擊に碎かうとすると『其樣事言つたつて其りや無理だわ』、『男には其が出來ようけれど、女は感情が生命だもの其樣な事が出來るもんぢや無いわ』と斯樣言ふ、始から感情の動物と云ふことを極めてかゝる。是に於てか男子の爲すべきことは、其の感情に負けて遣ると云ふ積で、實は其に負くるのである。女の言ふことを立てゝ遣ると云ふ上手から出て、實は女の尻に敷かるゝのである。是が即ち女尊男卑だ、泣く子に負けてやる樣に、せがむ女

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に負けて遣る、其の遣るが女の尻の押し出し所、女が狡くて、男の甘い所である。若男子が女子に負けまいと思へば腕力を用ひるまでゝある。然るに今日の文明は男子が女子に對して腕力を揮ふことを許さぬ。斯かる男子を女房撲りと稱し野蠻と稱する。其樣言はるゝのが厭さに是非なく女尊男卑を承認するのだ。意氣地は無い。紳士と稱する自分が妻の奴隷である所の米國の有髯男子等が、人々に向つて這す所の不平は實際是である。米國人が女子に男子對等

の教育を授くるのは大なる失敗だ、是が米國の不幸（即ち女尊男卑）の原因だと言つて居る、我々は之と同一の理由を以て今日の女子教育を甚だ有害なりと思ふのである。（勿論一二の利はあるには相違ないけれども）

○

然らば身を女子の側に置いて見たらば、女子を男子より尊く遣るのであるから今日の女子教育は男子の爲には不利であるが女子の爲には利益では無いかと問ふかも知れぬが、我輩は極めて然らずと思ふ、世界の聖書でも日本の聖書

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でも、印度の經典でも支那の經典でも男女の位置は男子が主で女子が從だ。是は强ち男子が女子より强いと云ふ譯では無い、人生の旅行に於て男子の理性が善く女子の感情を導くに足るからである。感情は理性の智眼に導かれなければ感情其自身は盲目である。畢竟女子は其自身が盲目である。然るに今日の女子教育は其の盲目を頼りと煽て揚げて目のある者のやうに思はせるのだ。斯の如き教育は唯女子の欠點に佞するのである。女子の欠點に佞するのは女子教育の名の下に利を射るには極めて好い道ではあらうが、然し女子を益する道ではない、却つて之を害ふ所以である、女子の利己心を增長し虛榮心を增長するばかりである。斯樣に自分の欠點を煽てられた女子の身は、果して其の行末が幸福であるだらうか。

○

我々もつい此春或る親許の依賴で一女學生を知り合の大學生に推薦しかけた。是は兩親の希望でもあるけれど、根本的動機は其の愛娘たる女學生の心の底から起つたのであつた。何樣せ人の妻になるのなら學士の肩書を良人に持ちたいと云ふ念願。自分は其の大學生の人となりを知つてるから、到底もとは思つて居たけれど、切角の依賴であるからと、其となく種々序論的家庭談を試みた末、君も今から約束して置ては何樣だと云つた樣な話をした揚句、其の女の名を提出して批評を求むると「然樣ですなあ、持參金次第ぢや貰つても良いですなあ」と、冗談らしい笑ひを笑つた。冗談にせよ稍其の男の人格にあるまじい口吻を聞いたと思つたから、仔細を質すと畢竟彼の人の被服裝飾に顯はれた虛榮心に三四舍を辟易した次第だと云ふので「如何に學士の片書でも取付二十圓や三十圓の給料では彼樣贅澤はさせられませんからなあ」と、結んだ。是で切角の縁談も御流となつた。

○

「僕も寧ろ口口流を行らうかと思ふですが」と吾が大學生は更に自分の先輩で二年前卒業して目下外務省に出仕して居る一法學士の結婚談を語つた。此の法學士

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

といふのは、蓋し彼れが大學生時代では唯一の運動家で、而して又學力も優等で而も其精神は王陽明學で鍛錬した男私共の知つた限では多數の點に於て理想の青年であつた。其の大學生、數多女學生の申込を彈ね附けて、其の下宿して居た宿の女、一窮士族の女の外質素にして內堅實な精神を認めて「彼の女に見所がある」と曰つて、早速其女を貰ひ受け其の下宿屋で同宿の友人等を聚めて着のみ着のまゝ水盃の結婚式を擧げたさうだ。此の幸福な女は今日前途多望な外交官の令夫人である。是が人格の光輝である。吾が大學生は大笑ひ「大分女學生の估劵も下りましたなあ。」

〇

今日の女子教育は男子の配偶として、男子の會話の對手として女子も書物を讀まねばならぬ。喋舌も修養して置かねばならぬ、交際社會に出でゝ良人の名を辱しめぬだけの技倆が無くてはならぬと云ふけれど、此點に於て女子が果して男子の智識と趣味とを具し得るか如何であるか、少しく熟考して見たい男子として女子を會話の對手とし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、女子の應答に滿足を感ずるやうな男子は、實際男子として最も劣等な男子である。斯る男子は活社會に在つて男子の仲間に伍する能はざる頭腦の劣等な男子である。男子の會話と云ふものは、到底女子の解し得る者で無い。眞の男子は男子の中に對話の對手を求むる、即ち朋友とは是である。若妻を娶つた爲に朋友の必要を減じたと云ふ樣な男子があつたら、然樣な男子は必ず貴華族の子弟か何かで、活社會の生存競爭に堪へぬ代物である。今の女子敎育は女子をして斯樣な無價値な男子を生捕らせる目的なのだらうか。

○

又私共の相識の女子敎育の開拓者二十年間一日の如く其の任に當つた斯道の一先輩は、遂に最後に「女子は到底男子に弄ばるべき物である」と云つて、斷然其の職を抛つたのでは無いか。是れは女子敎育家が服膺すべき一言である。女子本來の性質が旣に然樣であるが上に男子の對話の對手だの、文藝の交際の對手だのに造り立つるのは即ち更に男子の玩弄物に仕立てるのでは無いが、心ある男子は女子に求むるに玩弄物を以てしない、男子が女子に求むる所の內助は玩弄物たる事では無い人格的幇助である。

○

又女子は一生涯の中に必ず一度は他を自分の犧牲にする乎、自分が他の爲に犧牲になる乎の危機に出會ふ物と極めて置かねばならぬ、——自分の戀を立て遂すか、但は親の意見に從つて結婚するか、結婚して子を生んで良夫に死に別れた曉其子を措いて他に嫁する乎但は其子の爲に生涯を獻する乎、女は不幸にして初縁で片づかなければ再縁もせねばならぬ。其の再縁するに當つては、繼子の三四人もある處に嫁せねばならぬ。其時には自分の爲に其の三四人の繼子を犧牲にする乎自分と云ふ考を全く棄てゝ單に繼子の爲に盡さうとする乎。又冒頭に話した婦人の如く好まぬ方に緣づいても、旣に數人の子供が出來れば甘じて子供の爲に殉する乎。但しは數人の子供を棄てゝも好む方に逃げようとする乎。婦人界の實際を見渡すと、隨分豫じめ學校

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の教場で心得させて置くべき問題が多々あるが、女子教育は果して是等の事項に對して何れほどの注意を拂つて居る乎。

○今日の女子教育家は儒教は女子と小人とは養ひ難しなど云ふので、女子を痛く侮辱した者として居る。又佛教も同じく女子は男子に生れ變らなければ成佛せぬと云ふので、同じく非難せられて居る。

然し今日の女流女子教育家の内に第一に指を屈するは、矢島先生、棚橋先生、三輪田先生など曰ふ名家は、儒教の中から出て居られるので無いか。又故愛國婦人會頭奥村女史は佛教から出たのでは無いか。其他從來我が國に於ける人格的女傑は皆儒教佛教の内から出たので無いが、儒教佛教には男子教育法は有るが、女子教育法は無い。男子の教育を以て女子に教育するのである。即ち女子を男子に更生さすのである。此の結果が此の有力な婦人を作るのである。彼の所謂ゆる女子教育なる物の中から如何なる模範的女性が起つたらう乎。

是故に女子の女性を引き延す今日の女子教育は誤つて居る。女子を男性に陶冶する昔の其は却て正鵠を得て居ると、我輩は思ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

醫學博士の禁酒論

未成年者禁酒法案が提出されたのは悦ぶべき事だが法律の制裁が在來の常習を一掃する事が出來るか何うかは疑はしい、昔から我國の社會や家庭では宴會とか正月とか云ふ時には子供でも何んでも酒を勸める而して飮まぬと禮儀でも知らぬ様に思ふ、斯んな媒介が度重なるにつれ辛い味も漸々甘く成り人の眼を偸んで飮む様に爲つて來る、之れは未成年者が飮酒する導火で有ると云つても差支へ有るまいと思ふ。

飮酒が原因で墮落した未成年者の多くは性來の嗜好から酒を飮んだので無く社會や家庭の誘惑が然らしめたものだと思ふ、自分は法律の制裁を設ける前に社會や家庭の惡習を矯正したい、で何んな手段が一番良好な結果を見るかは考ふ可き問題で學校や家庭に嚴重な制裁を設ける必要は充分有る、而して一面では小學から中學の間に飮酒の有害に就いて適切な訓話を授け家庭では子供に一切飮せぬと云ふ方針を執るのが急務だらうと思ふ。

家庭が執る可き手段に就ては色々また云ひたい事が澤山有る、假へば一家族が膳を並べて夕食をする家庭などでは主人が一合とか二合とか盃す規則の樣に飮むのも其日の勞苦を慰める爲めには惡いとは云はぬ、然し大酒を飮んで子供に狂態を演じて見せるのを何とも思はぬ人なども隨分多いので、縱んば無理的に酒を飮ませぬとしても酒を飮めば面白いものだとか云ふ風な觀念を子供の頭腦に留まらせるのは其實同じ事で自分は此等の間に立つて弊風を救るのは主婦の主權に依るより仕方が無いものだと信ずる。

要するに未成年者禁酒法案は法律上の問題であると云ふよりも社會と家庭が先鞭を執る可き問題で有うと思ふ、實際父兄が青少年を誘導した原因から云つても明かな實例で酒を飮んで狂態を演ずるのは風俗を紊亂する導火で有ると云つても憚らぬ、故に家庭に於ける未成年者の注意は主婦の權限内にある事と深く信ず。（醫學博士片山國嘉氏讀賣新聞）

小說家の結婚論

（上略）結婚に職業を選り好みすることは宜しくない、軍人が好いとか、會社員が好いとか、男の職業を選り好みするのも宜しくありません、職業は決して夫婦生活の幸不幸には最有力の關係とは云へない、尤も人によつて虫が好かぬとでも申しませうか、何うしても心に染まぬ職業がありますから、斯ういふのは可成く避けた方が可いが、大體から言ふと餘りに選び嫌ひするものでは無からうと思ひます、況して他人が側から口を挾んで、斯々の職業の人になさい杯と要らざる干渉を試みるのは甚だ可くないことです。職業を選ぶも理想の一であるが、かゝる理想は時によつて變化する。

◎自由選擇

それから自由選擇は考へ物ですまだ〳〵日本では經驗に老いた親の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眼鏡を借りた方が安全です、理論は兎も角、實際に於いて其方が危險がありません、結婚は一生の大事ですから、單に理想や理窟から割出すべきものでなく、實際といふことを考へねばなりません。尤も昔と違つて男女交際の途が開けましたから、早晩自由選擇に放任する樣になるでせうが、今日俄かに之を實踐する譯には參りません。

僅に十五六年も前は男女交際の機會といふのは殆どなく、年頃の娘は多くは外にも出なかつたものでしたが、今は女子教育の盛なる結果として外出の機會が自然多くなり、友の家庭をも訪問する。隨つて其友に異性の同胞あれば、之と談話を交換するといふ風ですから、青年男女の交際する機會が自然と多く成りました。尤も昔だからとて友の家に異性の兄弟姉妹が無い譯ではない。けれど昔の若い男子は功名話や、野心談のみ語り合ひ、女子は優しい事のみ女同志話し合つて居つて、兩者が没交渉であつた。女子は到底男子の話相手でない狀態があつたから、男子と女子とは全然別物になつて居たのです。然るに當今では女學の勃興に伴ひ女子の智識が著しく進んで女子も男子の談話を解し、男子も亦た趣味性が大に開けて來たゝめ女子の談話に趣味を見出すやうに成たから、兩者は話題として共に語るやうに進んで參つたのであります、故に話題が共通になつて來たのです。かくの如くにして交際が大に開けて行けば自由選擇に放任して可い時代が來るかも知れません。

◎趣味の一致

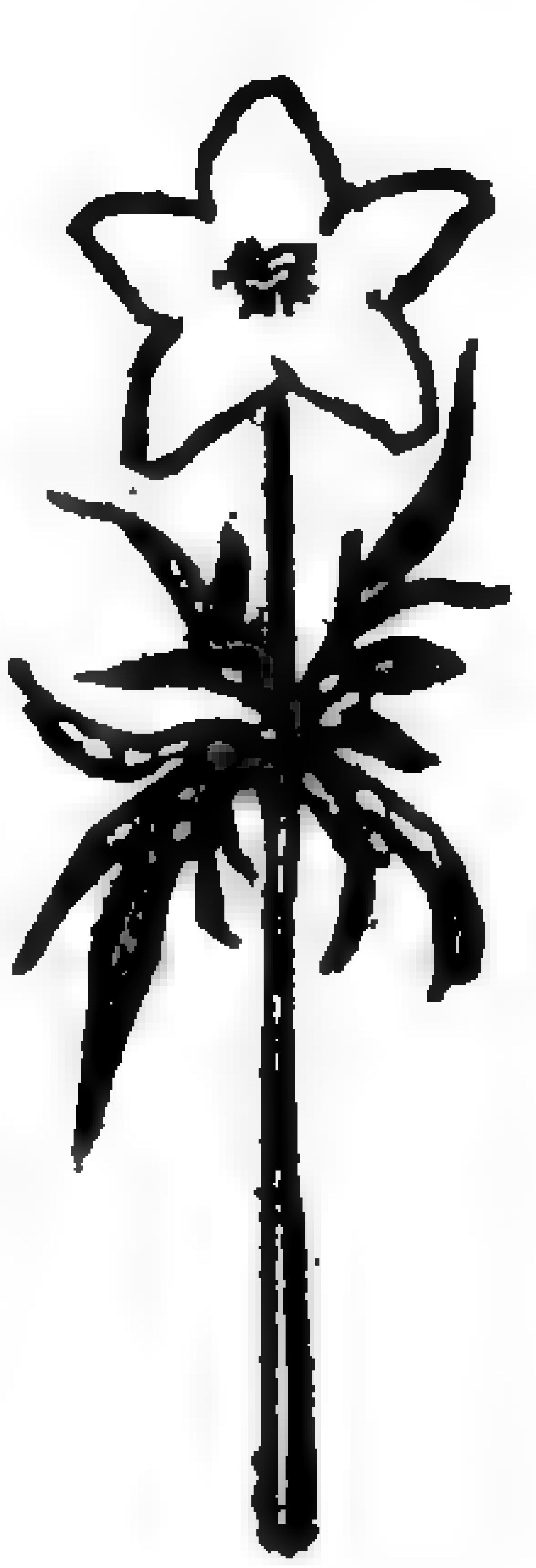
それから配偶者を選ぶ場合に趣味の一致と云ふことを申しますが、趣味よりも愛情の方が宏きであります、夫婦間に愛情さへあれば互の趣味を交換することも出來、又同化せしむることも出來ます。幾ら初は趣味が一致しても、愛情が薄らいだ日には何にもなりません。それに趣味と申すものは時によつて幾分も變化するもので、若い時趣味が同じだからとて、必ずしも生涯を通じて同じ趣味を保つといふ事は出來ません。茲に若し夫の方は學識の進むと共に趣味も進んで行くのに、妻の方は何時迄も娘の當時の若々しい趣味を持續するとしたなら、此夫婦は到底和合致しません。よく世間には中年から夫婦の趣味が懸隔して行て、そして其の結果面白くない事情に立到るのが有るやうです。これは非常に考察に價する現象であります。（幸田露伴氏談片二六新報）

小出氏と裁縫大全の完成

府下青山原宿なる女子裁縫高等學院長小出新次郎氏は多年の研究と實驗とによれる和洋服裁縫大全三十卷の大著述に從事し此度其完成を告げしにより去月五日其披露會を芝紅葉館に開きたり館の一室には同書中に挿入したる服裝寫眞圖の原雛形を陳列し一室には餘興場を設けて新曲常磐津を始め落語、花園節、富元、手品など種々あり大隈伯の祝文、柳原伯、角田眞平、日下部三之介、坪井博士等の裁縫に寄する趣味ある說話もありて頗る盛會なりし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



妻は何故に尼となりしか

堀井貞乘

牛込喜久井町の西方寺に在住される浄土宗の尼僧堀井貞乘師は、野州壬生藩の藩家に生れて司法官に嫁ぎ、文學の趣味一致して琴瑟頗る和合一男兒を擧げられましたが、其翌年良人は不歸の客となられたのです。師は最愛の良人に別れて後、專ら修學を本として遺子を敎へて永き餘年を送らうと決心されたのですが、盛りも過ぎぬ師を惜んで再縁を勸めらるゝ人多きを厭ふて佛門に入り釋典の奧義を究めて圓頂緇衣の妻となられたのは二十六歳の時で ありました。師は夫人であつた頃から好學の癖、釋典をも讀み味ふて居られ、深く感ずる所あつて 剃髮された後は東西兩京の尼宗敎場に入門して浄土宗の典籍を研鑽し、或は高僧の隨身となつて納所に働き、或は僻村の古寺に獨住して心靈を洗ひ清むる等婦人に珍らしき修業を積まれたのであります。其德行自から他に知られて宗徒の信用少なからず、目下傳通院境内の尼宗敎場に聘せられて徒弟の敎養に從事して居られますが、敎場の責任は信仰に依つて益々其根底を固め實に道德家の模範たるに恥ぢざる人格を備へて居られます。師が記者に答へられし御話は左の通り。

▲好學の夫妻

私は明治三年下野に生れ、父は赤間忠正と申して壬生藩醫を勤めて居つた者、維新後も引續き醫を業として居りました。私は十七歳の時千葉縣の司法官堀江氏に嫁ぎましたが、良人は學問好きで且世話好きでありましたから、私は他日役に立つやうな書物を彼此と撰んで讀ませて呉れました。實家の父も學問好で早くより漢學に志して居つたので、私も父の感化を受けて出來ぬながら學問は深く嗜んで居りましたから、父や師のやうに導いて呉れる良人の好意を何よりの幸福と悦び讀書にのみ耽つて居りました。良人は儒學が主でしたが傍ら禪學をも修め、又新刊の書籍は目錄を取寄せて大抵他に後れぬやうに購讀いたして居りました。其頃司法官は餘り交際の範圍を擴めぬ方針でしたから私も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奥樣方との御交際が少く衣服髪飾に趣味のない私には極好都合で、唯毎日澤山の書物を左右に置いて、良人と共に樂しんで居りましたが、花に風の喩に漏れず、私が二十二歳の三月初めて男兒を擧げた其翌年三月に良人は病魔に侵されて不歸の客となりました。

▲四年間の侘住居

良人が生前役所で執り掛けて居た事務を後任者が纒めるために一々良人の印鑑が要りますので、暫らくの間は舊宅に其儘住つて居ましたが、悉皆諸般の用向も濟んで後、埼玉縣の縣會議員井原善兵衛氏方へ子供と共に引移りました。一體良人の實家は北海道の漁業家ですが、實業よりも學問が好きで且つ身體も強健でない所から、家業を弟に讓つて此職務に就き千葉に住ふ事になつたのです。それで遺産と申す程の物もなく、未だ奉職後の年限も短いので恩給もありませず、唯一時賜金を頂いた位の事でした。埼玉縣の井原氏は良人の極懇意先で、自分が若し死んだら井原氏に一身の世話を託すが可いと申し殘したので同氏の許へ參る事になつたのです。私は元來勘定の智識が皆無で世間の事に眞暗闇でしたから家財の取片付等にも一向働きがなく、有丈の荷物を悉皆荷車に積んで千葉から埼玉まで送り、井原氏方では廣庭に一つぱい荷物を積み上げたので、近所の人は誰樣の御引越しかと驚いた位、私の迂濶さ加減は唯今以て笑話の一つになつて居ます。

嬰兒を携へた私は井原氏の厚情の許に安樂に暮して居ましたが、井原氏は却々思慮ある人で「未だ年若の貴女を何時までも私の家に置いては何か私が私慾の爲にするかのやう他に思はるゝも心苦しく、且貴女の御爲にもならぬから、他所に一戸を構へて閑居された方が宜しいでせう」と申されましたので、近村に小やかな家を借り親子の住居と致し、井原氏は萬端後見となつて呉れました。迂濶の私も此頃より世渡りの味を覺え人の情けを平氣で受けて居ては濟ぬ、出來るだけ節約せねばならぬと心付て下婢も置かず、子を育てながら侘しい生活を爲て居ましたのが丁度三年程で御座いま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

したが、此間も例の讀書癖は尙止まず本にばかり嚙り付て居ました。偶々子供を連れて畦道なぞに立止つて居ますと、百姓が「貴女のやうな學者は御承知ないでしやうが、是れが豆の葉で是れが瓜の花ですよ、田の草は三度取るものですよ。坊様是が御米になるのですよ」なぞと敎へて呉れる事がよくありました。斯様生活は閑雅を好む私に取つて誠に此上なき幸福でありましたが、何時までも此生活に落付て居る譯には參りません。種々の事情は身邊に集つて遂に剃髮いたさうと決心したので御座ます。

△剃髮後の覺悟

良人に別れた後は遺子を守り育てつゝ好める學問を修め世の塵を免れて此世を送らうと唯淡い考で居りました處、親戚知己は未だ年若の者を萎ませるのを惜んで再婚を勸められるので其好意は難有いのでありますが如何しても再び他に見

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

える心はありませず、去りとて頼りない女の身で我意ばかり立て通す事も出來まいし、寧そ姿を變へて結婚の望なきを見せやうと思ひ、二十六歳の時、淺草誓願寺の雲臺上人を戒師に御頼み申上げて黒髪を剃り落しました。私は前申上る通り良人が禪の書物を好んで居つたので私も少しは覗いて居り、無點經文も讀んで居りました。併し愈々此門に身を投ずるには餘程研究を積み心靈を清めて堅き決心を持つた上でなければならず、輕々しく髪を落して又還俗するやうな眞似を致したくないと存じ、一と先づ出京して淨土宗の尼宗教場に入門致しました。例の迂濶な私は四歳の子供を引連れて出京いたし、子持で入門も出來ぬと云ふ場合に初めて當惑いたした處、本宗熱心の信徒で子を失ひ妻を失ふて出家を思ひ立たれた御方が私の子供を世話して遣らうと言はれ私は何よりの幸福と怡んで早速其御家の御老人に子供を御頼み申しました。

▲入門後の修養

剃髪の後、東京の尼宗教場に入つて教を受け、卒業間近くなつた頃、少々感ずる所があつて西京の智恩院境内に立てられた尼宗教場に轉じました。此處では三年の學期を二年に縮めて下すつたので、先づ一通りの宗義丈を卒業いたしたのです。それから二週間の行を勤めましたので、此行は日々六次づゝ三世の諸佛を來拜いたし專ら佛に勤める作法を練習いたしつゝ信念を堅めるので御座います。此行を濟せますと先づ形式的に一人前の僧となる事が出來るのですが、眞成の修養は是から初めるので御座います。凡そ佛門に入るのに理を以て入る人もあり、信を以て入る人も御座いまして、一般尼宗の生徒は生れ立から各寺院に育てられて何時の間にか信仰が堅まつて居りますが、私なぞは中年まで普通の婦人で暮し理義の方から此道に入つたのですから、眞成の信仰は却々堅まらないので御座いました。迂濶な私は入つて見ますと、立派な教理と實際とは稍齟齬して居る事が偶々耳目に觸れるのを今更のやうに感じた場合もあり、心靈を清めるには自から修

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

功を積まなければならぬと存じて卒業の後、或寺院に入つて高僧の隨身となり、佛に仕ふる暇に納所の御用を勤め、他の尼僧方に教へられて米を炊き味噌を擂り、薪を割りなぞ致しましたので、俗事に疎き私には心にも身體にも多大の研究が出來ました。但し此處は尼寺でありませんから宿泊は禁じられてあつて、私共の宿所は他に定めてありました。其内千葉縣松戸の來迎寺と申す尼寺の後住に私を御世話下さる方があつて初めて一寺を守る身となりました。此頃小金の東漸寺に佛書が澤山珍藏されてありましたので、此寺から借り受けては讀んで居りました。此西方寺へ轉住しましたのは明治三十三年で御座いました。

▲信仰と歡喜

私は智慧の足りない者で、總て事に當つて後初めて分ると云ふ風ですから是までの徑路には一驚を喫する事が度々御座いました。此西方寺も昔は可なりの寺でしたが、私の住ふ頃は餘程荒廢して居りましたので、生活上の困難も此頃から覺えたやうな次第です。併し有難い事には私如き者も信者方が御引立下され目下は自分の望む尼僧の教育にも從事されるやうになりましたのは何よりの幸福と感謝して居ります。而して聊か信仰の固まりました爲に心靈の慰安を得て限りなき喜びに潤ふて居るので御座います。理義より入つた私が信仰の起つた動機は如何と御尋ねになる方が御座いましても、これは言ふに言はれぬ心靈の作用とでも申しませうか、餘程御答へがむづかしいので御座います。

▲無爲は嚴禁

私共は姿を擬え浮世の塵を避けたとは申すものゝ決して世間に離れる事は出來ません。御佛も人間が世を捨てゝ何處に住むぞと仰せられました。無爲安逸は佛法の嚴禁で御座いますから、私共のやうな者でも何か相應の御用もあらば力のあらん限り勤める積りで御座います。併し私なぞは日も淺く智も徳もないのですから、世間萬般の事から教を受けなければなりません。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何に付けても彌陀に依頼し、彌陀の御行を御手本にして心靈を磨きたいと存じて居ります。未だ却々婦人社會の道德がどうのかうのと考へる程な力はないので御座います。唯今は何事に依らず自己の上に鑑みて己れを愼しみ修める爲に斷えず心を働かして居り無爲に日を送らぬやう心掛けて居ります。

▲法門の希望

私は廣く世の中に働く事は迚も力が足りませんが、世間に佛種を殘したい希望が御座います。婦人の操行を守るに益ある佛教も傳ふるものが無ければ滅して了ふ次第ですから、望みある少數の婦人を確乎と育てゝ見たいと存じるのです。私は他日若し出來得べくば出世間の望める婦人を剃髮させずに寺院に置いて、女子の普通學を修めさせ乍ら始終佛理を說き聞かせ、朝夕御佛に仕ふる道を仕込んで見たい考へが御座います。斯樣いたせば假令本人の望みで他に嫁した後も染み込んで佛法が骨髓となつて柔和忍辱の德を維持し得らるゝだらうと存じます。

▲宗教の融和

佛法にも弊害は無いとも斷言出來ますまいが、婦人の嶮しい心を沈め、柔和に導くのは全く彌陀と云ふ崇高な方に寄り縋つて之れに則るからで御座います。私共かよわい婦人は必らず一の寄り縋る者がなければなりますまい。兎角かよわき婦人の常として眞心より虛飾の皮を何枚も被つて居ること丁度百合根や辣韮の如しと或聖は說かれましたが、斯樣弱點も宗教に依つて大に改められると存じます。それから宗教を奉ずる人が稍もすれば其異宗の爲に互に睨め合ふのは未だ本當に宗教に感化されないからでせう。私は基督教徒の方と成る可く親交を結び御互に考へを語り合ひ、相融和して心を清めたいものと始終望んで居ります。

道心堅の如き堀江尼僧は茶道にも嗜みあり、其態度は慇懃で優雅で茶菓の進め方なぞ如何にも女らしい御方であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貌の觀察

賤子

○

敢へて粹氣な女の肩を持つ譯では無いけれど鳥渡往來で擦れ違ふにしても、野暮な女と粹氣な女と比較て見ると、何と云つても私は前者を捨てゝ後者をとる。

○

よく世間で野暮な人をお上品な方だと云ひ、粹氣な人を下品だと一口に云つて仕舞ふ人が有るけれども、夫れは實際間違つた話だと私は思ふ、私の所謂粹氣な女と云ふのは見るから垢抜けのした、すつきりとしやんとしたのを云ふので下品なのとは大した相違だ、下品と云へば丸三うどんやの女中だとか、惠比壽じるこの女だとか、すつと下つて縄暖簾か何かで端末の一膳めしやのなんかには甚だしくつてお話にも成らぬけれども、兎に角那麼者と私の云ふ粹氣なのと一緒にされては夫れこそ堪らない。

○

同じ衣服を着るにしても着こなしが上手ならば何處となく生かして着るし、夫れは美人に越した事は無いけれど、假令此處ぞと云つて取り立てゝ云ふ程でないにしても、何んとなく人好きのする、容子の好いと思はれるのが有るものだ、什麼新時代の婦人を代表して居るからと云つて、マッフに眞黑な毛の肩掛をだらりと下げて据へ首で、何處ともなしに睨んでゐるやうな男なんかてんで眼中に置いてないといつた風で、腰辨などは尻り目に懸けながら風を切つて意氣まくつて、大道狹しと濶歩して居る樣は何の事はない肩掛のお化が敵打ちにでも出掛けるやうだ、擦れ違ひざまにえならぬ薫でも香ふ事か、鼻息の荒いのに驚かされて仕舞ふ、私のやうな氣の小さい人間は早速魘えて仕舞つて晩には魘れやうと云ふものだ、熱でも出ないがめつけもの、三時から四時頃學校の退ける時分に本郷通りでも通らうものなら學生町と云はれるだけ有つて、隨分種々な人に出逢つて面白い、何と云つても巾をきかし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て居るのが角帽で、一番無情な者は小官吏や腰辨先生で全く見るから哀れつぽひ、切角財布の底をはたいて新らしい中折帽子を被つて見ても斯る御仁の一體さへも嵌る事が出來やしない、と云つて角帽と別れた處で今度は是れで腰辨と縁を切るのが却々なものださうだ、して見れば大學を卒業するよりも角帽で居る內が花かも知れない、美しい女學生がおつな眼付をして見送つたり、妙に濟して見たりするのも只だ角な帽子に對して氣取るのかも分らぬ。

○

那麼事は兎に角、態々男のやうに活潑か知らないけれども、ギス／＼肩を振つてあるかないでも女は尙且女だから少しは媚態をつくつて居る方が好いと思ふ、くつちや／＼な束髮なんかよりは日本人は奇麗に髮を結つて居る方が優美だし、夫れかと云つて束髮に油をこて／＼つけて毛一筋亂してゐないと云のも、何んだか蠟でも付けて居るやうで決て見好い者ぢやア無い。

○

束髮なら尙且少しは遲れ毛がばら／＼と落ちる位で洗ひ髮で有つて欲しい。

○

油氣無しのさら／＼した毛が額になびいて等と云ふと什麼にも美しさうに聞えるけれど、其實不精して一ト月に一度位も髮を洗はないから溜つたものぢやア無い、油を付けないから汚れないと思つて居るのかも知れないけれども、何と云つても私は夫れが一番閉口する、豈夫貌を素向けて對話する譯にも行かないし、ハンケチで鼻を押へて居る譯には尙更行かない、仕方がないから我慢をしなければならない那麼時は屹度あゝ自分が鼻加多留で有つたらばと思ふ。其上洒落の人なんかとなると床や香水を振りまくんだから、汚れ毛の臭ひと香水とが、かち合つて實は何とも申しやうがない、然うかと思ふと人前も構はずピンを拔いて頭の地を搔き散らして、上氣るのよ搔いくつてかいくつて等と貌を澁面て云ふ、全く私は那麼のを見ると私の云ふ野暮な人即ち卯今の女學生なんか染々悚然する程厭だ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と思ふ。

○但し夫れは一般の人が然うだと云ふ譯ぢやア無い、夫れこそ上流の御令孃方となれば家庭教育も行き屆いて居られる事だらうから豈夫那麼事は有るまいと思つて居る。

○美しいと人に云はれる人は餘計に奇麗に飾りたがる、而して最う一層美しいと云つて褒めて貰らひ度いのだらう、夫れと同じ事で粋氣な女と一口に云へば既う垢抜けのした見るから氣持ちの好さゝうな女だらうと想像される。

○だから少し小粋氣な人だ等と云ふ事を小耳にはさむと益々自分でもみがくやうになるから奈うしても奇麗だ、お三どんは山出しの醜い者と相場が定まつて居るからお三どん自身も自分なんか洒落たつて駄目だ位で別に無謀氣を起して美人になつて一つ驚かして遣らう等とは思はぬらしい、だから私は思ふ全く女學生に垢抜けのした人が居ないのは當然だ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○

第一襟足が汚ない、折角白粉を塗けても剃刀を當てないから何んだかしつくりと白粉が塗らない、私の知つて居る某女學生、と云つても華族の御令孃だが校中の花と云はれて居ただけあつて却々の美人だ、が其又お化粧ときたら夫れは大したものだ生際も造れば眉もひく、頬紅もさすと云ふやうに五色位に彩色するんで殆んど素面などは私は見た事もなかつた、何時見ても花が咲いて居るやうで成る程女は人性の花だと云ふのは尤もだと思つた、處が恰度夏の暑い盛りに奈うしたものか汗と一緒に紅が流れて、夫れを知らずにハンケチで汗を拭つたので遂々貌が滅茶〱になつて仕舞つた、那麼のを見ると御當人よりか反つて他に居る者の方が一層氣の毒で堪らない、其時私は染々餘りこつてりと化粧なんかするものぢやア無いと思つた、尙且薄化粧の方が好い。

○

唯だ貌の化粧ばかりぢやア無い、鳥渡襦袢の襟を見ても後の汚れて居ない人は無い位で、わけて油と白粉とでてか〱光つて居るのなんか全く厭になる、況してや少し俯向加減になつてお低頭でもしてゐやうもんなら、立派なお着物を着して天晴れ姫様然と搆へて居らつしやるお方の眞黑に汚れた肌襦袢の襟がほの見えるなんて事になると全く色けしだ。

○

女學生に從つて第一に氣になるのは足袋の薄汚れしてゐる事だ、尤も餘り眞白い足袋を穿くのは田舍者か丁稚小僧だと云ふけれど、態々よごしたんでない以上は成る丈奇麗なのを穿いて貰らひたい、私の親類の者で大層自分では粹氣がつてゐる女が、私が餘り眞白い足袋を平氣で穿くと云つては厭がつて、下町の女なんかは新らしい足袋を態々紺で汚して穿いてる位だ、とよく云ひ〱してゐたけれども野暮なのか知らないが私は奈うしても汚してまでも汚ない足袋は穿き度くない。

○

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

足袋で思ひ出したが此間私が某寫眞店へ行くと十人ばかりの女學生が、應接室にずらりと並んで椅子に[illegible]になつて倚り掛つて待つてゐる私なんか隅の方で恐縮してお話をもれ承はつて居るとお定りの英語か何かでペチヤクチヤ喋舌りながら姿見鏡の前に立つて、前髪を掻くやら袴の紐を結び直すやら大騷ぎ、私は何の氣なしにふッと見ると卓子の下へぬつと投げ出した足袋の穢ないので私は驚いた、何れも鼠色で尤も寫眞に色も寫るまいから結構だけれど一厨野暮な女は厭になつた。

○が幾程粹氣が好いからと云つて、朝顏形の薄い少さいお茶碗に銀の箸か何かで新漬のお香物をちよい〳〵お茶づけをさら〳〵と云はせなくつても好い、迂かり那麽事をして營養不充分にでもなつて何も青い顏をして粹氣がつてるにも及ばないし、寒中の寒空に姿を良く見せたいばかりにふき綿の袷でがた〳〵しなくつたつて好いけれ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ど、只だ物腰動作に何處となく活々して居れば私は好いと思ふ、活潑にぴん〳〵はね廻つて居ても一向感じないのも有るけれど、鳥渡した身のこなしで何となく其人の姿が目に殘るやうで有りたいわ、だから同一反物を買ふにしても何んだかはつきりしないつて云ふやうなので無く、鳥渡人目につく物を買ひ度いと思ふ。

○

私なんか着物を持つて居ないからでも有らうけれども、少し良い着物を着たからつてさも〳〵大切さうに一寸泥を揚げたからつて脣でチユウ〳〵吸つたりする位なら好い着物なんか止したが好い、昔風だと云はれるかも知れないけれども、萬一失策でお茶やお酒をこぼしたら襦袢の袖を出して拭く位なのが好い。不經濟だと云はれるかも知れないが、美しい緋縮緬の袖でゝも有らうものなら袖一ッ位には代へられない程反つて其場の失策が美しく思はれやしないか、破て切つてボロ雜巾でぎやう〳〵やられるのとは大層な違ひだ、併し經濟上手な現今の女學生方は夫れを聞いたら何んと云はれるか、定めし呆れてお話にもならぬ奴だ位に思はれるだらう。

○

粹氣な時代は過ぎ去つて、廿世紀の女は何處までも大道濶歩で有らねばならぬと云はれゝば夫れまでだ、併し尚私は過去の遺物か知ないが粹氣なのを愛する。

○

と云つて女學生が拔き襟して袴でも穿れた日には見られたものぢやア無いし、什麼にハイカラが好いからと云つて遊女が二百三高地に結られても尚更堪らないだから尚且粹氣な人は何處までも粹氣に、野暮な者は何處までも野暮でないと、とんだお笑ひ艸になつて仕舞ふ、尤も野暮と上品とは是れ又違ふ、幾程白襟紋付でしやんと構へてゐられても一向にお品の無い方もあれば、お貌は二の町でも何處かに犯し難い品位のそなはつてゐる方も有る、品ばかりは天性と夫れから平生の心得とにも有ると私は思ふ。

（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女學生間の惡傾向

伊藤銀月

○

私は今、極めて眞面目な問題を研究しやうと思ふ。筆の先の向けやうに依つては、隨分危い所へ近づき易いのであるから、大抵の人は恐がつて此問題を論ずることを避けて居るらしい、又、男性の文士には、此段の消息に通じない人が多いので、これが問題となる場合の少ない事情もあるであらう。

小說家などでも、時代を觀察する眼が無い爲か、有つても鈍い爲か、此段の消息を筆に漏らす人が無い、いや、たまにはあるが、御話にならない程淺薄である

それは何であるか、青春の女子、就中女學生の間に戀愛と略同じい相愛の關係が結ばれることである。

これは確に時代の一現象である、研究すべき嚴格な問題である。

勿論、青春女子の間に見る相愛の關係は、青春男子間のそれと齊しく、必ずしも今の時代に限つた特徴ではない、何時の時代にもあつたものである、封建時代の御殿女中間などには、隨分盛んであつたものらしいけれども、今の女學生間に見る相愛の關係は、却々それどころでなく激しいのみならず、これに著しい時代の特徴を認めることが出來る、加之、かうならなければならぬ理由は甚だ明白である。

○

これを描寫するは小說の範圍に屬するのであるが、こゝでは單に女學生間に見る相愛の關係とは何であるかを、說明するにとゞめて置かなければならぬ。

それも、外面内面併せて說明することは出來ない、さう全體を說明しては此誌上に揭げることが出來ない

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

そこで、こゝには唯だ其一端を示して、鋭敏なる讀者に全體を推測して貰はうと思ふ、唯だ其輪廓を畫いて、内容は諸君の自ら進んで觀るに任せやうと思ふ。

そんなら、女學生間に見る相愛の關係とは何であるか。

一個の女子と他の一個の女子とが、男子と女子との間に醸される戀愛と同じやうな作用を起して、一種の情的關係を結ぶに至るのである、これは今の女學生間に動もすれば見る現象で、別けて、寄宿舍生活の女學生に此傾向が甚だしいのである、斯くなつた兩個は形と影との如く相離れないのみならず、手と手と相携へることを喜び、頰と頰と相觸れることを喜び、なほ次第にそれ以上に及ぶのである、かうなつた上で、萬一其中の一個が他の女子と新しい相愛の關係を結ぶことでもあらうものなら、さア事だ、殘る片割が、嫉妬に胸を焦がされて、頭に二本の角を生やし、怒りつ、恨みつ、泣きつ、强ねつするは、屹度受合である。それが、同性の女子間に於てのみならず、一方が男子と新しい相愛の關係を結んだ場合でも、矢張此燒餅騷ぎは持ち上がるのである。

女學生世界の裏面を少し深く觀察したら、こんな葛藤が容易く目に觸れるであらう。

○

日本の女性は、戰國時代から德川時代に掛けて、極度に壓制され、生ける器械、體のいゝ奴隷として、自分と云ふものゝ存在を主張することの出來ない生活を幾年代の間續けて來たものである、其結果、心も身體も共に病的に弱くつて、動く死骸のやうなのが、日本の理想的女性であつたのである。

それが、明治に入つてから、僅々四十年の間に、驚くべき變遷をなして、女子は心の教育と共に身體の訓練をも受け、靈に於ても肉に於ても共に自分と云ふものゝ存在を主張し得る自由を與へられた。

彼女等は、種々の新智識新思想に頭腦を養はれたと共に、體操運動で充分四肢五體を鍛へ上げたのである

○

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斯くて出來上がつた、若しくは出來上がりつゝある時代の女性は、藝術でも事業でも、心に任せて從事することを要すると共に、其最も重んずべき戀愛に向つても亦、心と身體との働きを自由ならしめんことを要するのである。彼女等の頭腦には、舊時代の女性などが夢にも知らぬ新智識新思想が滿ち、彼女等の身體には、健康と、活氣と、燃える情と、湧く血とが漲つて居る、彼女等は、舊時代數百年間の女性に代つて其鬱屈を開かなければ已まれぬのである。

そこで、彼女等は突進を試みた、これは、彼女等自身としてもモウ突進を試みずには已まれなくなつたのみならず、社會が彼女等の突進を是認するであらうと信じたからである。

然るに、如何せん今の時代は過渡期である、新時代に入つたとは云ひ乍ら、僅僅四十年ばかりの時間に何が出來るものか、まだ〳〵新時代に混ずる舊時代の分量が多いのである、新智識、新思想、新趣味が、舊智識、舊思想、舊趣味を征服して、天下を統一すると云ふ機運にはまだ至らないのである、動もすれば、新しい皮を被つた舊い物の爲に、眞の新

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しい物が壓し倒され追ひ捲くられる時代である。

○

であるから、今の女學生等も亦此時弊に悩まされることを免れない、彼女等は、其敎へられた智識思想趣味及び其養はれた體力情熱に誘はれて進行し、就中其最も急激な者共は、前後を顧みず、衆に挺んでゝ無暗に突進すると、豈測らんや、路の傍から熊手だの鈎縄だのが出て來て、會釋も無く彼女等を引きずり倒し忽ち罪人と稱して縛り着けて了ふのである、無論彼女等は罪に服さないで、我々の仕た事が何故悪い、若し我々の仕た事が惡いなら、何故我々をこんな事をするやうに敎へ養つたかと反詰する、けれども、社會は鼻であしらつて彼女等の訴ふる所に耳を假さない、生意氣だとか、御轉婆だとか、小癪だとか云つて、却つて益々縛り着け方を厳しくするのである。

此犠牲に供せられて、冤を呑んで葬られた青春女子は、幾人あるであらう。

此前例に鑑みて、一般の青春女子は深く考へるやうになつた、それでも、極く急激な者は、犠牲となる覺悟で、引續き構はずに突進して居るが、犠牲となる覺悟を極め得る迄には急激でない乍らも、情燃え血湧いて自分でそれに打勝ち得ない者は、どうしても他に逃れる路を開かなければならないのである。

是等の者がどうして逃げ路を開くかを見やう。

○

是等の青春女子は、時代が路の傍から差出し熊手や鈎縄を避けて、罪人扱ひに縛り着けられる憂目を免れつゝ、而も其放縦自由に敎へ養はれた智識思想を満たす頭腦に合ふ境遇を作るべく、其燃える情と湧く血とに結果を與ふべく、不滿足乍らも一の新しい道を見出だしたのである。

同性の中から一個を選んで異性に擬し、これに向つて燃える情と湧く血とを注ぎ、男女の間に成立つそれと齊しい相愛の關係を結ぶのが、即ち是れである。

此に至つて、更に多くを云ふの必要が無い、我々は唯だ、是等の青春女子を憐んで深き同情を寄せ、彼女

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

等をして此變則なる不滿足の滿足を生命とするの悲慘を免れしむるやう、一日も早く、舊時代の混淆を脱した純粹の新時代を來らしめ、男女の關係を自然に隨ふことの出來るやうにし、今日のやうな自然を求むるに熱心なるの餘り、却つて不自然に陷ることなど、一切跡を絶たしめなければならぬのである。

眞に心あつて自分で仕た事の結果を自分で處理し得る力ある人なら多少極端な事をしても、純粹の新時代を來らしめる犧

性となるべく、度胸を据えるがいゝ、世論や世評にクヨ〳〵して居る者ばかりでは、人間の頭腦の中の革命は行はれない。

繰返して云ふ、青春女子間に見る相愛の關係を研究するは、極めて眞面目な嚴格な問題であると。

○

それでも、時代は一端からズンズン進んで居る。撫で肩のほッそりした、いきとか澁いとか云ふ病的女性を、理想の美人のやうに、美人の標準のやうに思つて、輪廓が正しく、顏の道具の線の引かれ方が整

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて居る者でなければ美人でないとするは、今では中年以上の舊式な人か、さうでなければ、舊式にかぶれて玄人といきがつて居る分らず屋の青二才である、小說家などでも、こんな女ばかりを描きたがる者はモウ時代後れの骨董品である。

○

どうしても、新しい訓練を受けて充分に發育した頭腦と身體とでなければ、活氣と情熱とが中に張るものではない、活氣と情熱とが中に張る者でなければ、顏の上にも人をチャームする力が發しはしない、人をチャームする力が顏の上に發せぬ者は、縱令輪廓と道具立てとが申分無しに揃つたつて、それは紙製の造花の美しさに過ぎない、決して今の時代に於ての眞の美人とは云はれないのである。

既に活氣と情熱とを中に張らしめて、人をチャームする力を外に發せしむべく、青春女子を訓練して置き乍ら、時代は何故に彼女等を束縛して、同性の間に相愛の關係を結んで、辛うじて不滿足の滿足を求むべく逃路を開くの、不自然を敢てせしむるのであらうか。

貴婦人と眞珠

歐米流行界の嗜好は、且夕に變遷して殆んど端睨す可らざるものなるが、一兩年來著しく流行の氣運に向へる眞珠は、今や將來に於ける寶石類の王者を以て擬せらるゝに至り、隨つてダイヤモンドと鱗比するばかりの勢力を得來れるが、其結果人工培養品及び人造品の流布するもの甚だ多く、爲めに天然眞珠の價格をしていよ〳〵騰貴せしめ、往々五千弗内外の値を以て貴婦人等に爭ひ求めらるゝもの決して尠からず、而して此の流行は歐米社交界に於てのみならず、東漸遂に我が貴婦人社會にも歡迎され、直徑五厘位にて百五十圓乃至二百圓の價格を有するものも稀らしからず、徑一分以上のものに至つては、人工培養品は兎も角、天然眞珠にては容易に得難く、隨つて價格も五百圓七百圓の高價を唱へ、ダイヤモンドより値の好きも尠からねど、貴婦人等の嗜好殆んど全くこれに傾き、ダイヤモンドは何となくけば〳〵しくて上品ならずと、指環にもブローチにも、帶止めにも先づ眞珠ばやりとなり、何れも所々にて逸品を探れ競爭して選び居る有樣なりと。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

睡眠と夢

睡眠の必要に職業の別はないが就中最も必要なるは神経の鋭敏な人、貧血の人、労働者、而して男に比して女は一時間以上多くの睡眠時間を取らねばならぬ。

▲睡眠と時間＝＝寝ると言へば直夜間の事と思ふのが普通なれど眠ると云ふ事と暗いといふ事には何の関係もない明るい場所でも眠れば眠られる西洋には夜の十二時過ぎてから四時間就眠するより夫以前二時間の睡眠の方が効果が優つてゐるとの言慣はしがある。

▲小児の朝寝＝＝子供が朝寝するからとて無理に叩き起すは不可い子供の時代は大抵十時間以上眠る事が必要故早め時間を計つて早く寝ませるが好い。

▲不眠の害＝＝空腹で三日位耐へても別に人體に差支は無いが平生夜の七八時に寝る学校児童を十一二時頃迄起して置いて翌日其結果を試験して見ると記憶力が殆ど半減し又六時間遅く寝かせれば百の問題を七十丈しか了解し得ないとの実験をしたのは獨逸のアイザント博士である。

▲男女夢相違＝＝先づ男女孰れが多く夢を見るかと言ふと男子は百人中五十人なるに女子は百人中七十人丈だけの割合となる。で、女は多く色や迷信文学の感情に関する夢が多いのに男は此種のものが比較的少い感情に関するのは女子が百人中八十人で男子は五十人に過ぎぬ。

▲夢と感情の差異＝＝夢には智力や意志の現はれる事は極めて稀である即ち総て感情に関したものではあるが覚めてる時の感情が其儘夢に出て来る事も亦殆んど無い只ソレの裏返さるゝは恐怖の甚だ甚しい経験を度々夢に見るは男が七人中一人、女が五人中一人の割で同情といふ様な心情は男女とも絶えて夢見ぬものである。

▲夢と病気の豫知＝＝豫知さるゝ病気の種類は熱病、脳充血、寄生虫、呼吸器病、月経の来潮、神経病、眼病其他である例へば熱病ならば火事場に行つた夢、充血、溢血、月経などの時は出血の夢、眼病の時は火事を見る夢とか云つた様なものである。（婦人衛生会総会に於ける富士川ドクトル講演の一節）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四季燈影

むらさめ

夜は面白きものなり、晝の間のあらゆる務め、役目、服從、爭ひ、などさま／＼の變化ある時を越えて靜かにやすみに入れる時なり。

春

夜るは友ありてよし、一人にてよし、語るもよし、獨り靜思もよし。春宵の朧月に片折戸出でゝ笛など吹かば、畫人はこれを繪にも取べく、しめやかに降る春雨に、つめ彈きの音冴ゆるを聞かば、いろ／＼の事思ひ出して懷しくもなるべし。

一夜雨夜の櫻見んとて蛇の目傘を手にして一人山王臺に登れば、夜るといへ、雨といへ、人ッ子一人見えず、しんとせし境内に立樹と櫻と常夜燈の配色言はれぬ風趣あり。淋しけれ共恐ろしからず、人なけれどある如く、何處かで招かれる樣な氣がして見もすれば狐にでも、つまゝれ相なり。横道に入り勝ちなるは此頃なるべし。

夏

夏の夜は夕暮のひと風呂にさつぱりと着換て吹き通しの二階に上つて一人り靜にあしたの事など考ふる時の愉快さは却々に生れた甲斐もあると思ふ。手摺から下をのぞけば近處の人々心安げに其處此處に涼み臺持ち出して、さま／＼の浮世がたり。顏は見へで只聲のみが、ガヤ／＼と聞ゆる計り。此の涼み臺の群に入るは好まねど、人の語るを聞くは興ある者なり。

追々と夜が更けゆくにつれ、いつの間にか人聲も靜まりて向ふの空に月は昇ると、燈火を細めて蚊帳を釣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。蚊帳は夏の夜に於ける風趣ある者のひとつなるべし。蚊帳の中に横に成りて團扇を持ちて月を見ながらさま〳〵の事をおもひ始むる、何處かのお祭りの拍子の音もかすかに聞ゆる。涼しい風がサラリ〳〵と靑い蚊帳をゆさぶりては足の方へスーと透るなど、何とも云へずよき心地するものなり。「世の中は何の糸瓜と思へども」と呑氣に口ずさみて其まゝゆつたりと夢路に入つて仕舞ふはこの世の極樂ならずや。爽快にして無邪氣なるは夏の夜なるべし。

秋

秋の夜永の燈火の下とに紅絹裏など出して針箱に向ひし時は、まことに自分ながら女の本分を盡して居る樣に思はれて、心は澄み氣は豐かに引き締りて調子の美き者なり。老ひゆく母の昔語りを聞きて泌み〳〵ホロリとするも此の時なり。木犀はのかにもれて明月を仰ぎし時、何となく哀愁の念生じて人懷かしくなるのもかゝる夜半なり。

冬

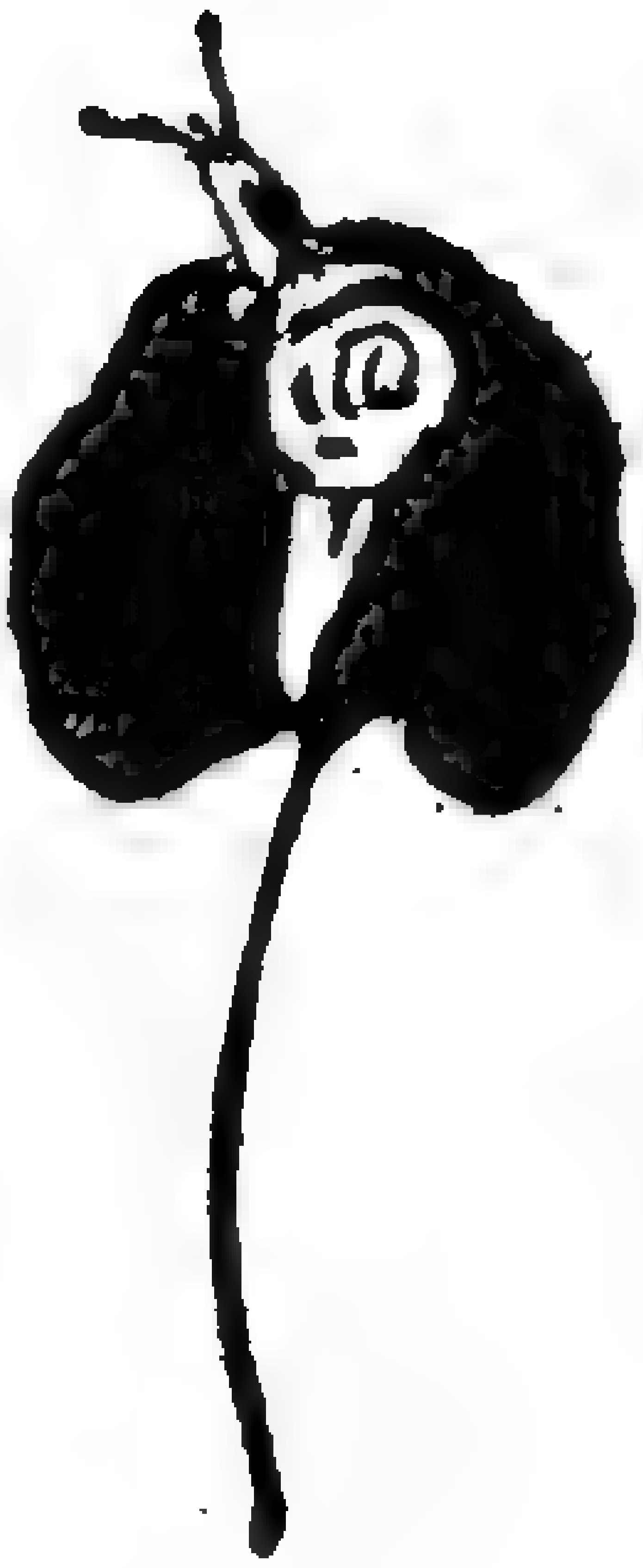
寒氣肌に迫れる中を屈せずはげみて深更に至りたる時の冴えたる心。折柄凍れる樣な夜商人の聲を聞けばあゝ彼の人も盛んに奮鬪して居るな。とまた自分も勵む氣になるなり。

外のすさまじい木枯の音を聞きつゝ溫かい夜具の中で耳をすまして荒れ狂ふ戶外の樣子を考ふるのも興あるものなり。

雪の降る夜に親兄弟と火を圍みて雜談をしもの食べなどし、其樂しみを思ふにつけても。「あゝ斯んな夜る家のない人は何うであらう。火の氣の無い人は何うであらう。」とつく〴〵と思ひやる。

勇氣の出るのと慈悲心の出るのは冬の夜に多きものなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



蒲生の空

杉浦翠子

雛祭

母上の姉上の妹のと順を追ふて、見事に飾られたる雛段見るに、母上の雛様は安政の頃に生れ出でゝはや五十路を重ね給ふか皺こそよらねど時世後れの下脹れの丸顔光澤失せて、袞龍の袖綿錆びて十二一重の紅の御裳もはや褪紅色したる内裏雛が、さも年の功誇るやう上段に御座まし〳〵てぞおはす、次なる姉上のはさまで年古りたるにはあらねども、見れば何れも鼻は缺け冠剝げてゐたら、絹の肌に傷の跡殘りて痛ましう聞けば姉上は幼きより惡戯に育ち給ひてかく雛様を虐め奉りしとか、今こそは嚴しう丸髷に結ひて奥様よりに澄まし給へど、姫御前にあられもなき御性、いつまでもこの雛の泣顔に殘りて在すぞ笑止なる、末の妹の雛様はまだ新らしければ、綾羅の袖金襴の帯キラキラと眩ゆく御顔も今様なる細面、柳の眉、花の唇の緋や紅の色めでたく御顔も若々し。

かく並べられたる、内裏雛三官女、五人囃子としほらしう咲き出たる大和撫子の中に異國の花まぢりて咲きしが、兄上の洋行土産に賜はりし西洋人形が林檎色の頰して碧眼大きう瞠りて居るを内地雑居の世なればと微笑まれぬ。

軈て日も黄昏れて妹の毛氈かげろひぬれば燭臺らせんと妹の君立ちしが、振袖ふれて雛の簪瓔珞搖ぐが實に錦繪見るやうなり。漸くにして小さき雪洞に灯のともれば桃の影、雛の影、後なる金屏にうつりて美しく、供へ奉る菱餅、草餅、櫻餅、雛の御歯も芳ばしからんとまで蓬の香、花の香、春を彩どる雛祭の今宵は十三の稚子輪の君が宴の主となれば集ひ來ますまろう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ども菫、蒲公英の花のやう雛に譲らぬ可愛き姫様方なるべし、月は朧に雛の宿にかげさしぬ。

雛の影、桃の影、壁に重なりぬ　子規

朧夜

花野の中の小社に君と相見てさゝめ言聞きしと思ひしは手枕の夢なりしか、何の醒むれば花も薫らで人もあらで詩集春の巻は繙かれしまゝに文机の上に置かれて孤燈の一穂室内にさびし。

暫時が間夢にまかせたる、我胸には未だに君が囁き、怨の香、耳に肌に親しみ殘れるものを、あはれ言なかばにして紫の雲にかくれ給ひし君の

そもいづち行き給ひけんと、たゞひたすらに夢の名殘の跡趁はれて、氣もそゞろ、願くは霞の奥までも分け入りて今一度君にあひ參らせんの我が思に妻戸引あけそと見れば、月の桂の花曇り、空も大地もたゞ茫乎と劃なき朧夜の菜の花畑も、麥畑もホンノリと同じ色なる薄靄かゝりて何とはなしに夢心地なるに、何やら我が名を呼ぶ心地して胸優しう騒ぐを強いておさへて耳澄せば、誰がすさびにや幽かに〱聞こゆる笛の音。

笛は謳はずとも爰に花ありやさしき笛の音。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

情を含で纏ふるが如く媚ぶるが如き音色の哀にも懐かしくて、そもこの奏者は誰れ……と血湧き乳房おさへつ柔かなる土踏みゆきてあと追ひまつれば、往けども〳〵夢野が原の霞の道か、世は混沌として我の色の人影だになくて、月ひとり天心に朧なる。

あはれ我が君は、雲の梯橋打渡り月宮殿に舞楽奏し給ふか、懐かしの笛の音も月より落つる紅の雫か、そも夢か現か幻かや、我が前髪に二三片花散る！

春の海

春の海干潟に貝を拾はんと、裳裾かゝげて洗足のまま濱地辿れば、踵になづむ銀砂金砂の軟に暖みて心地よく此處彼處の穴よりこそ〳〵と紅蟹這ひ出でゝ挾器用に何か拾ひ居るを人の足音するごとに、慌たゝしう逃げゆく横這ひのをかしさ、細き〳〵蟹の足跡砂地に殘る、汀に寄せくる女波男波は佇立む我が白き脛を懐しみ洗ひて、其折ごとに赤、紫、種々なる貝打寄せては金の梨地の礒を彩る。

見れば何も汐に濡れてキラ〳〵と、花片のやうなる玉の様なる瓔珞に似たるなどありて美しく、我に乙姫程の白き肌膚あらばこの貝糸に繋ぎて輪となして首に腕に飾りて、星の形の人手の冠戴かましをなど思ふ。

ゆら〳〵と浪に漂ふ流木にはひたと貝殻数多附きて其まゝなる青貝螺鈿の細工面白く、この流木に松海の緒かけなば琴とやならん、いざ海姫よ、春怨の曲これにのせませ、波の鼓松風の調も合奏せ参らせんものをなど思ふ折しもわだつみの底より響くかと思はるゝ法螺貝吹く聲遠く聞ゆ、見れば彼方の砂濱に地曳網ひく蜑乙女の赤き襷に腕あらは、肥肉なる肌膚を春風に弄ぶらせてエイヤ〳〵の掛聲勇まし。

沖遙かなる八重の汐路は紫霞み立籠めて、遠の島々夢よりも淡し、岩に砕くる波頭のざんぶと立つ飛沫の中より生れたるかとばかり、鷗の一群、空に高く舞ひ上がれば、眞白の翼、ハラ〳〵散りて亂れて、拾ふ浪の花片風に飄るやう、花も紅葉もなき浦ながら落花の風情をうつして、春の海は紺青の油を堪えたるやう洋洋として打煙ぶる、緑波に浮きたる雪一片、白帆かゝげてゆく船の船路波の上につけて遙かに〳〵に島がくれゆく霞の中、蒼海の彼方は何處ぞ、實に浦島の旅思はるゝ春日和かな。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

姫宮樣の御平常

◎御食事は朝夕は日本料理、晝は西洋料理である。西洋料理は二三品、肉類と水つぽいものとを配合せられる。其時に限り葡萄酒の一二盞を添へさせられる。

◎御食物の上の御好みは、甘みの物である。殊に萩の餅を好ませられて、三つ四つと召させ給ふ事もある。宮中より御菓子を賜つた折など、御邸に仕ふる者の限りに分たせられ、共々に召上がらせられる。

◎御召物は、宮内省で定められたのに隨つて、公けの場合には、必ず御和裝であるが此れは宮中より賜はるのである御邸內にあつては、折節御洋裝を遊ばす事がある。殿下の御洋裝は佛蘭西製であるのを普通とするが、御忍びに召させらるゝ事とて、何れも內國製の質素なる物である。

◎兩殿下にも御政務の御多端なるべきを憚らせられ、御參內遊ばす事は稀である。併し御同胞の御往來は常々ある。皇太子殿下の御邸と、電話にての御睦れ合ひも多く、又御招きに預る事も少くはない。皇太子殿下よりも御訪れあらせらるゝ。

◎其樣なる場合には、御睦じき御會話が盡きない。兩殿下には、時としては厨房に立たせられ、御手づから西洋菓子など造らせられる。皇太子殿下も、「兼、何をして遊ぶ」など問はせられる。「歌留多を致して遊びます」とお答へがある。「面白いだらう、私も來たい」と皇太子殿下が仰せられる。

◎兩殿下とも御嗜好の第一は、寫眞機械を弄び給ふ事である。御邸の中の物を何くれとなく寫させられるので、さしも廣い御邸の中にも寫す物が少なく成つて、此頃では召使の者を寫させられる。召使の者は御旨を領し晴着を着て御學問所へ入り、其所で着換て御撮影を願ふ事にして居る。

◎兩殿下とも料理の事は、毎週日を定め御膳を代へさせられ厨房の中に立つて親しく御手を下して遊ばされるが、和洋の料理とも一わたりは既に其御心得があり、そして糠味噌の漬け方まで習はせられたとの事である。

◎飯は御盛上げは兩殿下かたみ代りに遊ばして殆んど他の者の手を假り給はぬとの事で、大凡三日毎に遊ばす、その時は先づ姉宮殿下、妹宮殿下のを上げさせ給ひ、次に妹宮殿下代りて姉宮殿下のを上げ給ふを例とする。御髮は束髮である。此事は久しき御習はしであるので、何時か御熟練遊ばされ、見よきまでに上げさせ給ふのである。

◎御學問は斯道の名家が參候して御教授申上げてゐる、御課目は民間の女學校と聊かも異つてゐない。併し御智識を求めさせ給ふ上に就いては、啻に御課目によつてのみならず善く新聞小說なども御閱覽になり廣く社會の實際をも知らんと遊ばされてゐる。新聞紙は都下で發行するものは、殘らず御邸に入つてゐるので、兩殿下には大方御朝食前に於いて御閱覽になる。

◎兩殿下とも御常識豐かに、且つ世態のあらましに通じさせ給ふは、御身分に似つかはしからぬまでゞあるが、之れは一部は御讀書の御自由なる中より得させたまふのであらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私の子供を亡ひし原因

理學博士　横山又次郎

人體に害を及ぼす黴菌

昨年の春、私は、小供を、一人、亡ひました、かねて、私は宅の者に言ひつけまして、小供はなるべく人の澤山集まる所に連れて行かせないやうにしておきました、其の理由は、小供のやうなまだ體に締りのつかないものは、とかく惡い病にかゝり易いもので、其の病にかゝる機會の最も多いところは種々雜多の人の集つて、惡い病毒即ち黴菌を撒き散く雜踏の場所であるからであります、然るに昨年の春には、私の留守の間に、その小供をしかも寒い風のぴう／＼吹く日に、淺草の年の市に連れてまいりましたのです、するとそれから風引きの氣味で、三四日もたちまするとたいそう發熱しまして如何にも、普通の風引きのやうではありませぬから、早速お醫者に見て貰ひますとこれは氣管支加答兒で、肺炎にならねば、よいがとの話に、喫驚しまして、色々手を盡くして見ましたが、翌朝は案の如く肺炎になりまして、それから四日目に、大苦みの上、絶命いたしました、それで私はてつきり淺草ゆきが惡るかつたと思ひまして、宅の者に、小言を言つて見ましたが、後の祭りで、何の役にもたゝずそれよりいつそ宅の者には、將來をいましめ、それから又世間のお方にも、この事を注意いたしましたならば、幾分かの罪亡しにも、ならうかと思ひます。

私の小供がなくなりまするとと、直に或る近所の人が訪ねて來ましての話に、私の小供も先年淺草につれてゆきまして、その翌日から病氣になつて終に死んでしまひましたから私は或る名醫にその事を話しまするど

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其のお醫者の言はれまするには小供は皮膚の抵抗力が弱い爲に、とかく病にかゝりやすいから十歳になるまでは、雜踏の場所に、出さないがよいとのことでありましたから、私は其のお言葉を守りまして小供は一切外にださないことにして居りますとの話に私は之を聞きまして誠に感心もいたしましたし、又自ら恥ぢもいたしました。

淺草公園は果して黴菌の巣か

固より、此の人の小供でも又宅の小供でも、淺草で病毒を受けて來たといふ確な證據はありませぬがお醫者の說をきゝまするに、小供に風を引かせることが甚だ悪いさうでありまして、健康である時には、黴菌の類に取り付かれるおそれのない者でも、體の工合のよくない時には、とかく之に取り付かれ易いもので、肺炎のやうな病氣を起す黴菌も、風を引いてのどを傷めて居ると、其の傷めて居る場所から、中に入り込んで遂に病を惹き起すものであるとのことでありまするから、私の小供などは矢張、淺草ゆきが基であつたと、見なければなりますまい。

扨て何故に私の宅の者共は私のかねての注意に頓着しなかつたかと云ふことを、考へて見まするに黴菌黴菌と、口八釜しく言はれて見ても、其の黴菌とはどんなものであるか、とんと見たことのないものであるからであらうと存じます、此の點におきましては、宅の者ばかりでなく世間普通の人が、皆さうであらうと思ひます、眼で一度視たものは腦髓に能く感じまして嫌なものとか、恐いものとかいふ、考も起りまするが、一度も視たことのないものはとんと、頭に感じを起さないものであります、それで私は其の黴菌の如何なるものであることを皆さんにお目に掛けたいと思ひます然し皆さんもすでにご承知でもありませう、病の原因になるやうな黴菌は、至つて小さなもので、顯微鏡でのぞかなければ肉眼では決して見えないものでありまするから、これには、甚だ困らないを得ないのです私が一々皆さんの所に、それ御覽なさいと顯微鏡と黴菌

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とを持つてあるくわけにも參りませぬ、然し其の代りにこゝにその繪をだしてお目に掛けたならば、大體お分りにならうかと思ひます。

黴菌とはどんなものか

甚だ失禮の申し分ではありまするが、皆さんの中には黴菌とは一體何だと思召す方もあらうと思ひまするから、ちよつと其の說明をいたして置きます黴とは、かびのことで菌とは、きのこのことでありまして、きのこは、大きいものでありますると松茸、椎茸等のやうに、吾々の食物にまでなるものもありまするが小さなものは皆引きくるめて黴と稱へまして、梅雨の頃靴や衣類や其の他のものに、生えまする、小さな、白いものであります、此のかびは、ちよつと視ますると松茸や椎茸などと、大そう違ふやうでありまするが能く觀ますればやはりその同類であります、病氣を起す黴菌も矢張このかびの類でありまするが、其の小さなことに至りましては、普通のかびどころではありませぬ五百倍から、千倍も、大きく〳〵見ゆる眼鏡にかけて、始めて見ゆるくらいなのであります、その小さな黴菌がどうして病を起すかと申しまするど、一體此の菌の類や黴の類は生き物の、腐敗したものなどの上に生えて其の生き物を吸ふて榮えるものですから、人の體の中に入りまするど其の肉やら血やらが、かれらの滋養分となるのであります、そこで、かれらが大そう、繁殖しまするど、其の排泄物、即ち大小便のやうなものが澤山溜りまして、人の體に、大變毒になりますから、其の毒の爲に、重い病にかゝるのであります、熱の出るのも、矢張此の毒によるとのことであります、それで黴菌が居れば、黴菌そのものは、毒でありませぬでも、矢張毒と同じやうなものであります。

黴菌はどこに居るか

黴菌は、水の中や、空中に澤山飛んで居るものであります、障子の間隙や、がらすまどから、さし込む日光を御覽になりまするど、空中に塵の、澤山飛んで居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

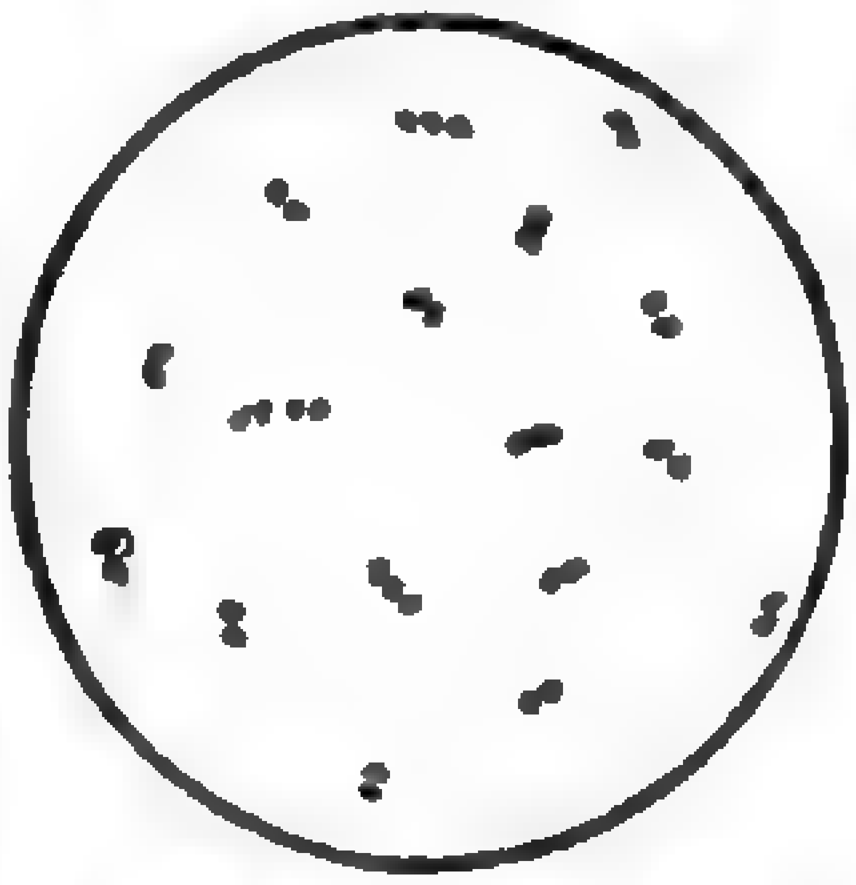
ることが御分りになりませう、此の塵の中に黴菌も澤山飛んで居ます、然しその黴菌は、皆病氣を起すものばかりといふのでは決してありませぬ、で、その多くは無害であります。そこで空中に黴菌が飛んで居るからと申して、それをびく〳〵、恐るゝには及びませぬが、とにかく其の無害のものゝ中に、有害のものも、少しは、混じて居るのであります、して其の最も多いのは、人の澤山群集る所でありまして、最も少ないのは海の上や山の中のやうな、人里遠い所であります、海邊や、山中の空氣の良いと申すのも、全く右のわけによる次第であります、しかし人の體はよくしたもので、極々健康なときは、少々有害の黴菌に取り付かれても、體の勢ひで、黴菌を殺してしまいますが、之に反して、體が弱つて居まする時には、黴菌の方が勢ひが強くて、死ぬところではなく反つて害をなしますそれで何んでも人の體を健康にして置くことが、第一の必要で第二には成るべく黴菌の多い所には寄り附かないやうにするのが、安全です。

これから、二三の黴菌の繪を擧げまして皆さんに御覽に入れます。

黴菌の種類

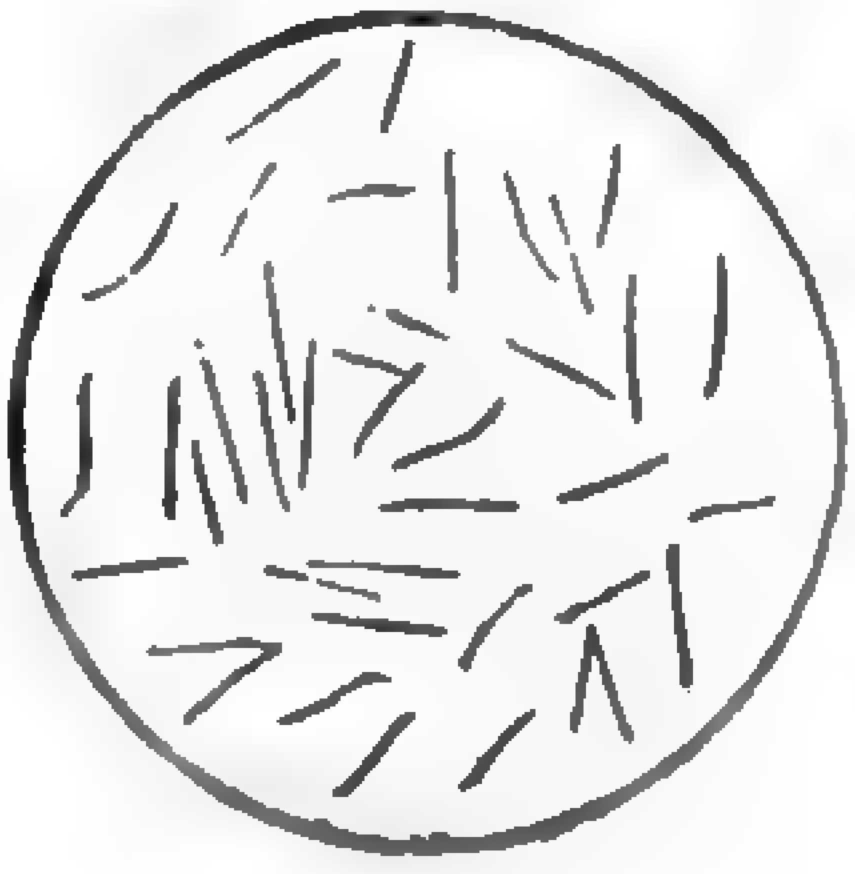
第一圖は、私の小供が、取り付かれまして、それが爲に遂に命をおとしました黴菌ですが、其の形は圓い珠のやうで、丁度團子を二づゝならべたやうなもので

第一圖



肺炎の菌

第二圖



結核の菌

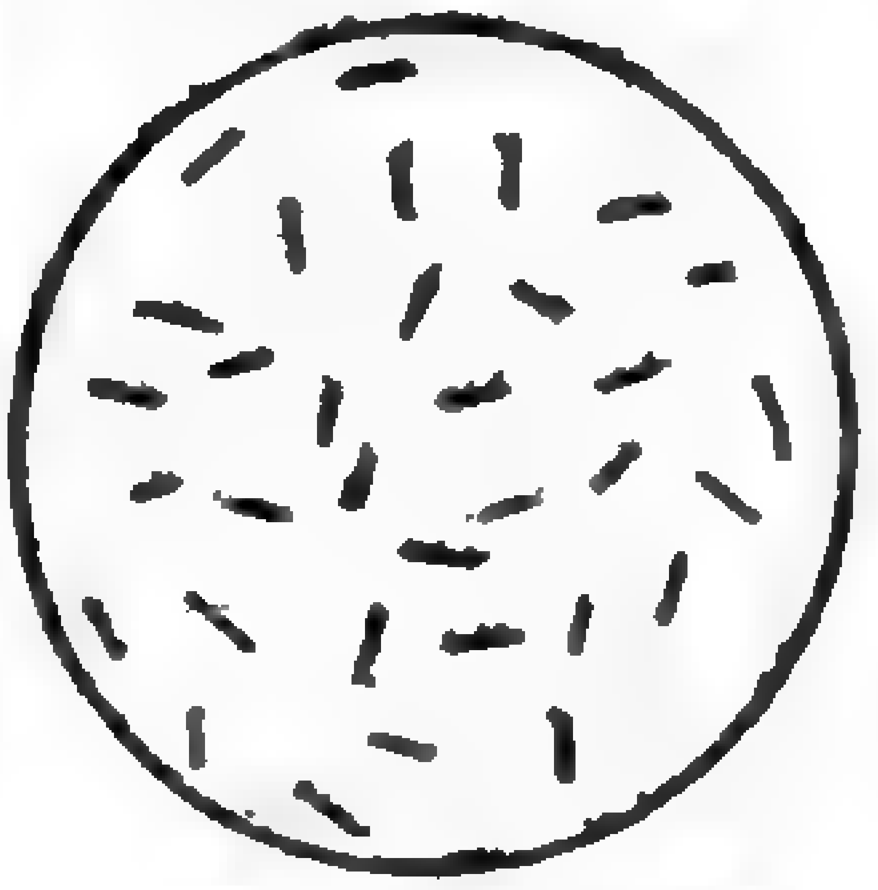
あります、これは、病人が吐いた痰の中に、たくさん混じて居ります、お醫者は之をヂプロコックスと稱へまするが、其の意味は、双子の球菌と申すことであります、然し又之をプノイモコックス、即ち肺球菌とも

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

申します。

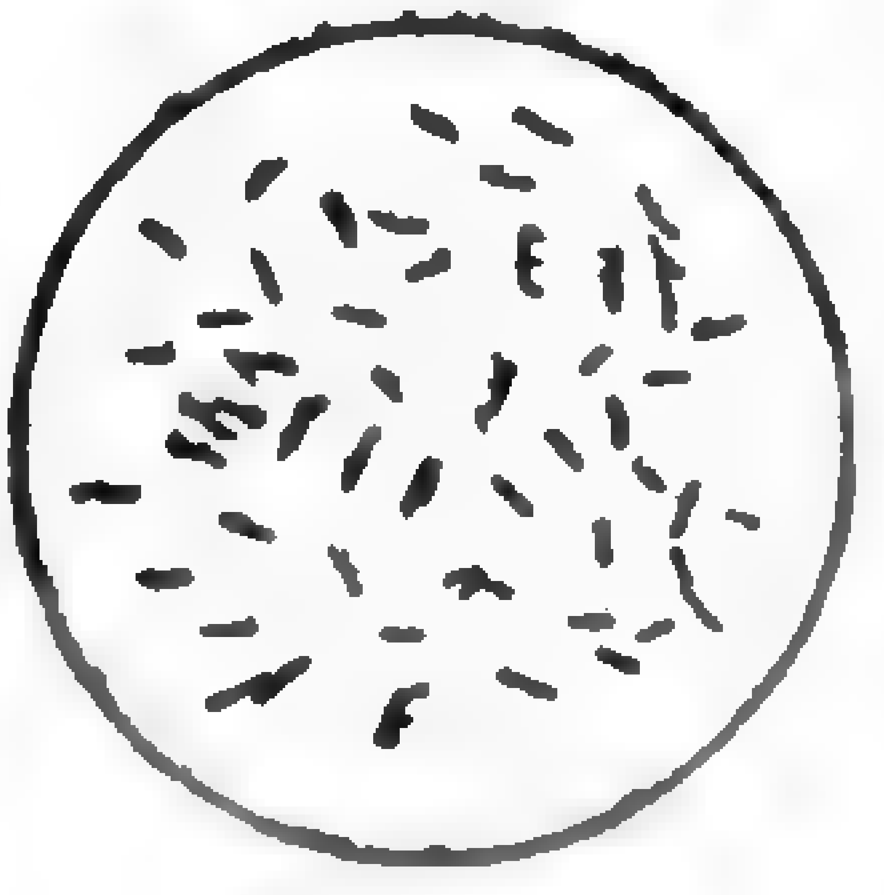
第二圖は、肺結核即ち俗に肺病と申しまする病氣を起す、黴菌で、其の形は細い竿のやうなものでありますから、之を竿菌と申します、然し同じやうな形の黴菌は、まだいくらもあります、例へば、第三圖の流行性感冒を起す菌や、第四圖の、ヂフテリヤを起す菌な

第三圖



インフルエンザの菌

第四圖

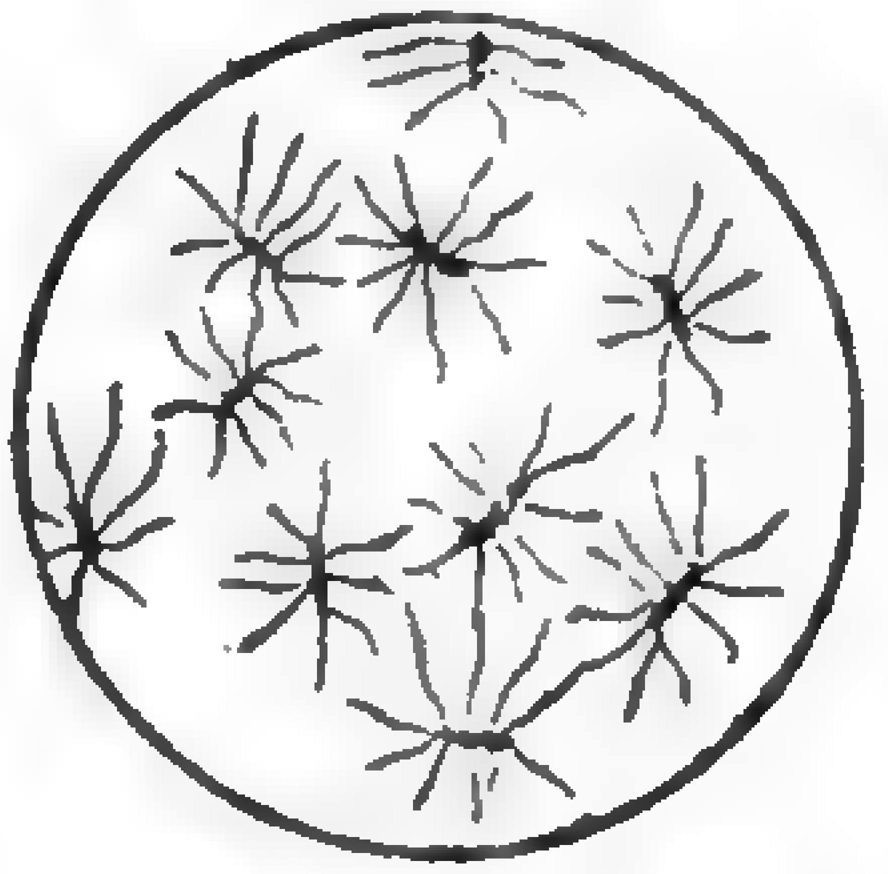


ヂフテリヤの菌

どでありま す、然し少しづゝ長さや太さが違つて居ます。

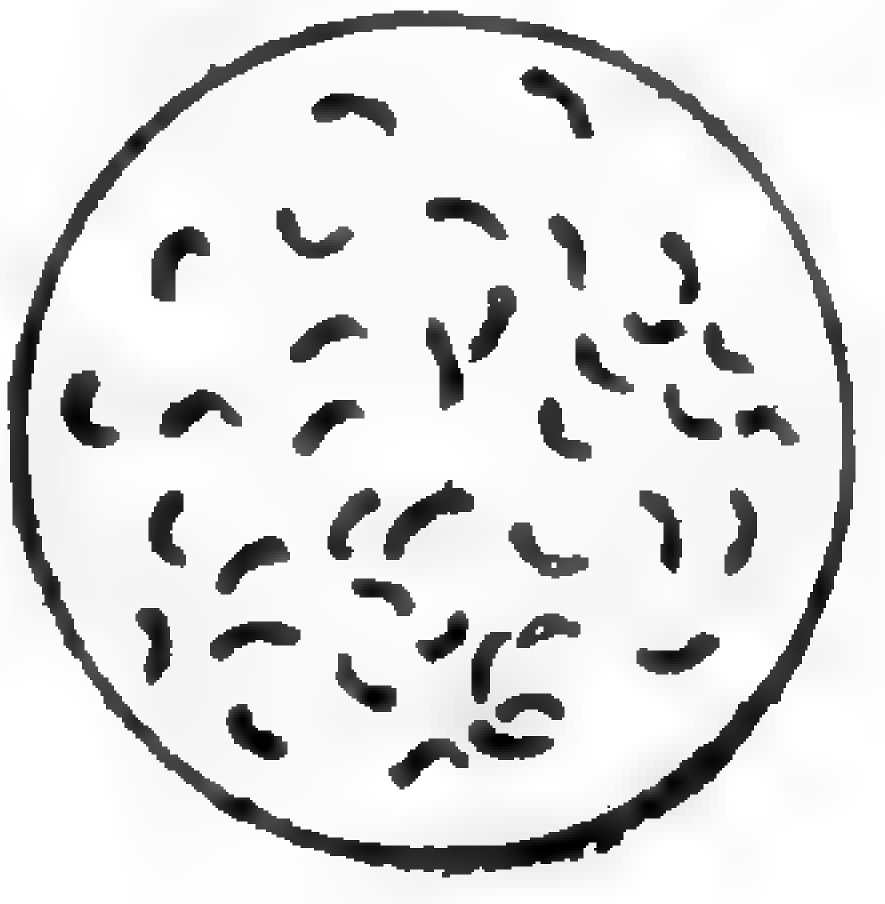
第五圖も、矢張、竿菌の一種ですが、四方に細い足のやうなものが出て居ます、この足のやうなものは、絶えず動いて居まして、丁度蟲のやうでありますこれは腸窒扶斯を起す黴菌であります。

第五圖



腸窒扶斯の菌

第六圖



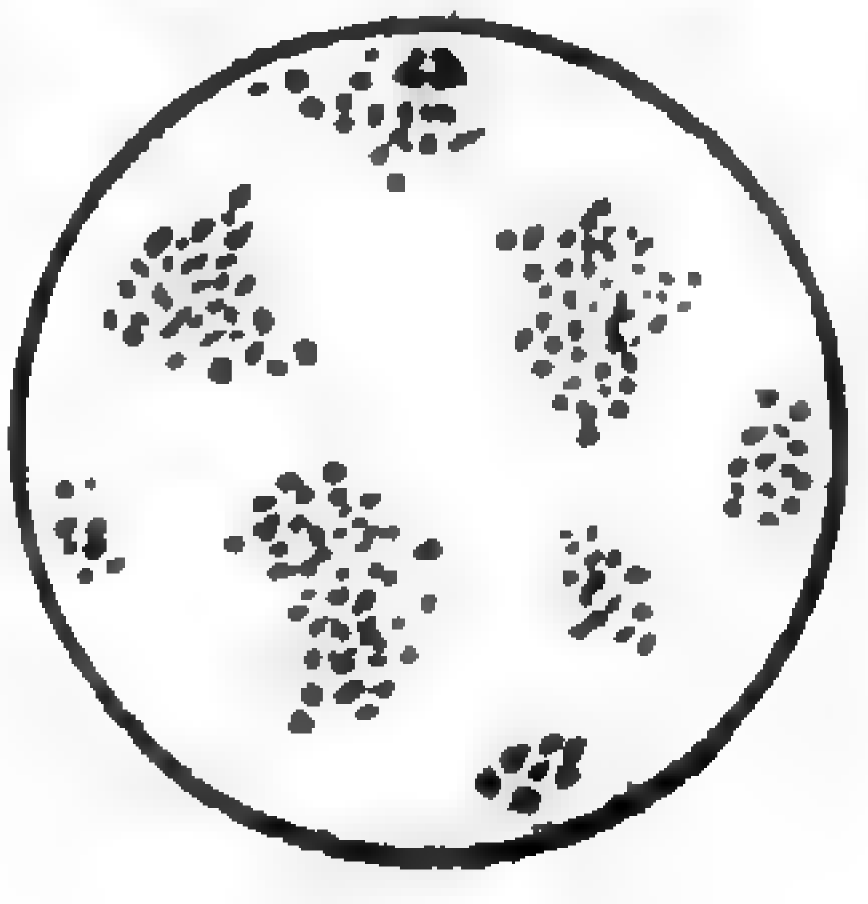
虎列剌の菌

第六圖は、コンマ菌と申しまして、虎列剌の原因になる黴菌でありますコンマとは西洋の書に語と語との間の區切りに用ゐる標でありますが、其の形が弓のや

第七圖

[illegible]

第八圖



[illegible]

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うに曲つて、ちよつと、かの黴菌に似て居る所から、かういふ名が附いたのであります。

第七圖と第八圖とは、膿菌と稱へまして、吾々の顔や體にできまする腫物即ち俗に東京でおできと申しますものゝ原因となる菌であります、此のおできが膿をもつのは、全く、此の菌の所業ですから、之を膿菌と稱へて居ます、此の膿菌に、二種ありまして、一は第七圖のやうに、團子を澤山並べたやうなものと、一は第八圖のやうに、團子を澤山一箇所に集めたやうなものであります、第七圖のやうなのは、鎖菌と稱へまして、第八圖のやうなものは葡萄菌と申します、何故なれば、一は鎖のやうで、一は葡萄のふさのやうであるからであります、能く人がおできは、體が丈夫だから出來ると申しまするが、それは素人考で、矢張皆黴菌の所業であります。

以上の外、黴菌の種類は、まだ／＼、澤山ありまするが、これだけで、其の如何なるものであることが、大抵御分りになつたであらうと存じます。

人間は萬物の靈と申して、一等智慧の豪いものですから、大きなものなら獅子や虎のやうな猛獸でも少しも恐れはいたしませぬが、小さな黴菌と來ては、まことに始末が惡うございます、其の多くに向つては吾々は少しも手を下すことができませぬ、無勢力です、命まで取られます、何と情ない次第ではありませぬか。

終りに臨みまして、申し上げますが、私が色々黴菌のことを、お話しいたしましたからと、申して、小供は決して淺草に連れて行つてはいけない、雜踏の場所へは出しては、いかないといふ譯ではありません、いくら要心ばかりいたしましても、病にかゝる時はかゝります、しかし前の名醫の言はれたことを、能く味つて大に、手加減をすると、いふことは必要かと思はれます、昔し支那の聖人も、危きに近かずと、言れたこともありますれば、あぶない所には成るべく、ゆかないやうにするのが、最も、安全の道であります、況して寒い風の吹く日や、ごみの澤山立つ時は、小さな小供の外出は、禁物とした方が、宜しうございませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

印度人の生活

◎印度では一日の食事は實際四度であるけれども、其の二度はお菓子を食べるので、正式の食事と云ふのは二度です、其れは朝の十時と夜の十時で晝午と云ふのが無い、其の外朝八時と午後の四時にお菓子を食べます、尤もお菓子と云つても日本のとは大分違つて居ます、食事の代りに食べるのは皆パンとミルクで造つたもので、近頃は歐羅巴でも之れに眞似たものを拵へて居るやうです、而して此お菓子を食べる時には必ず珈琲か紅茶を飲み又果物としては林檎、蜜柑、パインアップル、バナ、等をも食べます。

◎印度でも西部の方は麪麭を食べて居るけれども東部カルカッタの方は皆米を常食として居るので而も其の炊き方も日本と異なる所はありませぬ、只併し儀式の時などはバタと肉を入れた御飯を炊きます、又時々は御飯を炊くに水の代りに牛乳を入れて又砂糖を加へて炊くこともあります。

◎釜は鐵では無く陶器で出來て居つて其の形も少し異つて居ります、又竈も富人のゝは煉瓦で疊み上げ其の上に土を捏つて拵へてあります。米も良いのと惡いのとありて、良い米は色も白く形も小さく、直段も惡い方の四倍位に當り、多くは富者の食とせられて居ります、惡い米は一般の常食とする外ラングーン及び日本等へ輸出されます。

◎前にも申した如く朝餐と云ふのが午前の十時頃ですが日々其の重な所を賄はすものは先づ第一に豆です、之れは豆を潰してスープを作るので、毎日其食卓に上ります、尤も豆も豌豆の類豆の類を多く用て居ます。其の次は魚肉です、其の魚も多くは酢に浸けて蒸くしたもので、或は油で揚げます、又魚の外には馬鈴薯又は蘿蔔等を油に揚げたものを添へて食べるのですが、日本の漬物に當るやうなものはありませぬ、兎に角毎食必ず膳に上るは豆と魚とであります。

◎夜食も大抵同じ様なものを用ゐますが、富人は鳥肉のライスカレー又は羊肉、兎肉、鷄肉のライスカレーを拵へて食べます、元來此のライスカレーと云ふのは印度のお料理で、歐羅巴人も之れに習つて拵へ出したやうです、又印度の南方の地方では食事の時辛いものを好んで用ゐます、之れは餘り日本と變りはありませんが先づ主に丁子、肉桂、胡椒、辛子、カレー粉及び唐辛子等であります。

◎印度では無論日本の酒のやうなのはありませぬ、唯椰子の樹から汁を取りてそれを醱酵させたものを飲むので、尤も此れは上流の人の飲み物では無く皆下等の人が用ゐるので、隨て二錢か三錢の錢で澤山飲むことが出來るのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

青山女學院の寄宿舍を訪ふ

翡翠女

青山行きの電車の七丁目終點を下りると直ぐ左側に目に立つ高層な西洋館、芝山に朝鮮松の植込見事な庭園を廻らした處が青山學院で青山女學院はその横手にあります。そして建築の樣や庭園の構が學院によく似て居ります。

校長はミスルイスといふ米國人で、宗教趣味のある學校ですが流石に西洋人の建てた學校だけに私立には珍らしい程校舍の設備が完全して居ます。

この學校の寄宿舍と云ふのは特に寄宿舍として、校舍を隔てゝ一戸構へてあるのではなく、階下が教室で二階が寄宿舍となつて居て、その寄宿舍は新寄宿舍、舊寄宿舍と二つに區別されてあります。

わたくしは先づ舊寄宿舍を見舞ふとおもひまして、階段を上るとその入口とも思はるゝ處に大きな柱暦のやうなものが懸けてあります、毎日一枚づゝ剝がしてゆく暦なので、見れば二月十一日火曜日と年月を記した下に、「愛を以て事ふることを爲よ」といふ聖書の金言が大書されてありました。

流石は宗教的の學校だけに些細な所にまで、神の教が含まれてるのには驚きましたが、その眼で見る爲か何れも生徒の自習室が端正であつて、壁に貼り付けた繪なども、天使の寫眞やキリストの神畫のやうなものが多く、在天の師父の愛に抱かれて、樂しく學ぶといふ風が見えて居りました。

自習室の入口には各自の名札が掛けてあつて、多いところは一室に五人、尠ないところは二人位の同居で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あつて、五年以上の生徒が室母となつて姉様ぶりに年下の者を慈むといふ風であります。

案内して下さる先生が、とある一室の扉を開けて見せて下さいました、室は六疊ばかりで天井が高く窓の明いた西洋間で、編物の花瓶敷や、クリスマスのプレゼントらしい美しいカードなどが壁に貼り付けられて居て、何れの机の上にも皆小さな聖書が置かれてあります。

柱の釘には洗濯した足袋の生乾きなのが吊してある。

「洗濯は生徒が致しますか？」と聞きますと。

「ハイ土曜日毎に致させるやうにして居ります、此頃は随分寒いので外へ出す者もありますが、成可く自身致させるやうにして居ります。」

と先生がいはれる、次の室の入口を見ると、小さな支那紙が貼いであつて「吳瑞勇」といふ表札が掛かつてある。

「此室は支那人のですか。」

と聞きますと、「左様です、漢口邊の支那人で英語を勉強に來て居ります。」

と教師が云ふてコト／＼と扉を叩くと中から扉をあけて呉れました、見れば二十歳も越えてるだらうと思しき、色の黄色な女の支那人が淺黄色の支那服を着て、椅子に寄つて書見して居るところでした。案内の先生と英語で對話して居ましたが、發音など却々上手なものでした。支那人の室だからとて格別變た事も厶いませんが、何だか日本人のから見ると幾分か亂雜のやうに見うけられました、テーブルかけの赤いのや、椅子の布團の色の青いのや支那人が好きさうな濃厚なる配合に室は彩られて居ります。

あとの室は何れも變たこともないので今度は新寄宿舍の方へと行つて洗面所を見る。

洗面所は座がタヽキで却々廣く、流しが中高になつて細かく仕切られた棚がある、その棚には皆自分々々の齒刷、楊子が納められてある、却々便利が良い、其れから廊下をゆくと左側が食堂である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

食堂は廣い〳〵西洋間で、テーブルを圍で二百にも近い椅子がづらりと並で、彼方の隅にはオルガンが据られて眞中にはストーブがある、これに華やかな電燈でもついたならばホテルの食堂にでも行たやうな氣持がするだらうと思はれました。

「この部屋は食堂より外に使ふことはありませんか。」

と聞くと、

「否い、夜學の室に使て居ります、晩は食事が済むと皆こゝへ來てストーブを焚いて勉強します。」

「こゝの寄宿舍には夜學が御座いますのですか。」

と聞くと、「ハイ専門科の生徒は自治ですが、他は皆二時間づゝ致してまづ始める前に皆が英語の讃美歌を唱つて夕の黙を致します。」

と說明される、この食堂を見終つてまた廊下をゆくと、箏曲、六段の爪音が高い天井に反響して晩々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と聞える其の音のする室を開けると、二人の女學生が相對して琴を調べて居る所であつた、あまり廣からぬ部屋ですが茶掛、水桶、茶道具の風呂が置かれてある。

「こゝは、お茶の湯の稽古にも使ふのですか？」

「ハイ花も茶も遊藝一切こゝで稽古致します。」といはれた。

「もう一つ西洋音樂の方の室を御覽に入れます。」と云てまた長い廊下を傳はつてゆくと左側には一面芝に蔽はれた庭園が見られる、築山もあれば花壇も數多あつて却々立派な庭で、恰度今老梅が綻び初めて馥郁たる香氣を放てゐる。

音樂室が近づいたのであろう。ピヤノの音オルガンの音が入り亂れて錚々瑟々、小川に咽ぶ水音のやうなのや、松吹く嵐のひゞきの如き音や、種々な音色が風に送られて聞こえる、其の音を便りに進みゆくといつしか庭に面した音樂室の前に來た。

扉を開けて見ると三疊ばかりの狹い室に一臺のピヤノが据られてある、今生徒が洋琴の教授をうけて居るところでございました、次の室も是と同じくオルガンが据られてある、一室に一臺の樂器を置いてひとり〲の自修室となつて居るので斯様な室が七つ程續いて居ます。

宛然樂器屋の前にでも來たやう、却々賑やかなものでした、私立ではピヤノ一臺買ふのも容易でないのに、こう三臺も四臺もあるのは却々豪氣なものである、西洋化した學校だけに音樂や英語は他の女學校よりも比較的進で居ると思ひました。

百三十人ばかりの寄宿生の室は三十八の室に別れて居るのを大概見廻りましたが何れの室にも火鉢がムいません、何故かと聞くと、火の用心の爲に生徒の室の内にはランプも火桶も置かず、廊下に電氣が點くばかりであつて、夜は食堂で勉強するのだと云ふ、但病室だけは例外で日當りのいゝ八疊ばかりの室ですが、只今は病人は居ませんでしたが、厚い布團が敷かれて枕元には種々な雜誌が置かれ、藥戸棚などもあつて室内を温む可く火鉢には炭火が赫々と熾つて居ました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大概を見了つて先生に伴はれて應接室へと這入る、折しも恰度この室で話し合つて居たのは支那留學生でした。縞の支那服を着て、眉を描いた白粉の顏、臙脂を施こした厚化粧で、金縁の眼鏡をかけて居ます、矢張りこの學校の生徒ですが、同郷の人と相對して頻りに喃々と支那語を喋舌つて居た處でしたが私等が這入つて來たので遠慮して外へ出て行きました。

應接室は西洋間で籐の椅子五脚程に、棕櫚竹細工の長椅子など配置よろしく風景寫眞の額、花鳥の掛物などが懸て紅梅の花が見事に活てある。

「この學校ではメソジスト敎を遵奉するのださうですが日曜は如何にお暮しになるのですか？」と記者が聞きますと、

「日曜日の朝は通學生も寄宿生も常の通り皆學校の講堂に集まりまして日曜學校を開きます、夫が濟むと隣の青山學院の會堂へ集て禮拜を致します。

午後二時間の間は靜思の時間と云てこの時は互の室に引籠て聖書を硏究するとか、神の道の事について學ぶとかして、訪問や雜話などして笑ひ騷ぐなどゝいふ事はしないのでつまり淸い冥想に耽ける時間といふのであります、それが濟みますと女子青年會といふて專門科の生徒が組織した宗敎上の集會が御座いまして、互に宗敎上の意見や、感想などを口述るのでございます、夜はまた會堂に集まりまして夕の祈りを致します、斯樣にして日曜の安息日は終日淸くして暮すといふ事になつて居ります。」

と先生は語られた。

それ程宗敎上の感化を受けるのですからさぞ善良生徒が出來るでせうね。

「ハイ創立以來三十年にもなりますが、至て生徒の成績が宜しう御座います。」

誘惑の多い處女時代の潮流は兎角嵐の浪、鮫の淵に前途多望なる無垢の乙女の身を、靑春の舩から呑まんとする習慣であるのに、此校の諸孃達はそれを避ける事の幸福を持つてのではあるまいか、十字架の帆を揚げて行く船はいかに險はしい怒濤も神の力によつて安らかに、光明輝く彼岸に着く事が出來るではありませんか。

あゝ其光明界こそは德操高き諸孃の爲に、良妻賢母たるべき孃等の爲に建設られたのではなからうか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手輕に出來る子供服

女子共立會　松江美佐子

◎子供の洋服に就ての研究

私が子供の爲めに洋服がよいと心附きましたのは左樣、丁度十七年程前の事で御座いました、尤も其時には、只今のやうに、衛生とか經濟とか云ふ事を考へた譯では御座いませんで、只、總領の子供が遊び〳〵を致します頃、御承知の通り、日本の一ッ身では、いくら巾を廣く致しましても、前があかぬと云ふ譯には、却々參りせん、從つて見苦しい許りでなく、冬などは何程着せて置きましても、何うも寒さうに見えて困りますので、色々と考へた末、不圖、思ひ出しましたのは、私がまだ東京で修業を致して居りました頃、米國から歸られた方が大層可愛らしい服を御子さん方に召さして居られた事を思ひ出しましたので、あれならば膝の見えるやうな事もない、と存じて、早速其形を拵へて見ました、處が却々工合もよし切も僅かで出來ますし、其の上子供にも和服よりずつとよくうつりますので、何事にも新式を好む姑にも此ればかりは大層褒められましたやうな譯で、少さい內は大方是れを用ひて居りましたが前にも申しました通り、元來衛生だの經濟だのと云ふ點から考へた譯ではなく只、ほんの前があかないやうにと思つた位の事で御座いましたので子供が成人するに隨つてそれ等の研究をする考へもなく矢張り和服ばかりを教授致して居りました處、御承知の通り、八九年前からは衣服の改良と云ふ事が大層盛んに唱へられて參りましたので、私も職務上、色々と考へても見ましたが、此の衣服の改良と云ふ事は却々六ケ敷ものでございます、全體理屈から云ひますと、衛生と經濟が何より大切なのですが、其處が人情で何

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うしても美の方に傾き易く、いくら是れが經濟だ衞生的だと說明致しても、見てよいと思はぬ中は、却々一般に用ふると云ふ譯には參りません、それで私の考へましたのには、改良する位ならば、いつそ、洋服にした方が愛らしくもあり又衞生にもよいと存じましたので、其當時諸處に改良服の御考案があつたにも拘はらず、私は專ら洋服の研究を致して居りました、其の內に明治母之會と云ふのが出來まして、御承知のコーツ夫人が其の監督をなさると聞きましたので、早速入會致し同夫人に就いて、充分に研究致しました所が經濟の點も和服とは著しい相違のある事を確かめました、それで私は是非一般の方々に速に改良なさる事をお勸め致したいと存じまして其の頃から母之會の裁縫部をお引受致し、及ばずながら會員其他の方にお敎へ致して居るやうな次第で御座います。

◎和服との比較、經濟の點

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

和服との比較で御座いますか、左樣ですね、先づ用布から申して見ますと、普通日本の四ッ身を着る子供の爲めには、三ッ身だけの用布で出來ますし、三ッ身を着る子供の爲めには、一ッ身だけの用布で宜しう御座いますかやうに用布も少ない上に、和服と違つて帶だの袴だのと云ふやうなものはいりません、又下着も白のキャラコとか綿ネルとかで二代り位拵へて置けば、何の上着の下へでも持つて行かれますから大變に重寶で御座います、又男兒の方は尙更で御座いますよ、女兒服ほどの用布もいりませんし、其の上冬服などは散々平常に着て居りましても、外へ行く時に一寸ブラッシュで、拂ひさへすれば、和服のやうに汚くは見えませんから、着替へなども自然少なくて濟みます、で、その代價で御座いますか、左樣、地質によつて色々違ひますが、先づ只今の處、中學校の生徒が多く着て居ります、あのヘル位の處ならば七八歳の子供のために二圓二三十錢、此上へ裏地とか、ボタンとか、其他の附屬を入れましても先づ三圓內外ならば充分で御座いますね、併し是れも專門家にさせますと仕立賃のために一枚分の代價で二枚位、出來る勘定で御座います、お稽古で御座いますか、イヽエ却つて和服よりも容易いので御座いますよ、あの先月の誌上に出ました理想の子供服寫眞なども、お稽古を御始めになつてから二三枚目位になさつたもので御座います、ハイ細目も定めては御座いますが、是れは教授をなさる方のためでお子さんのお在になる方には、何んでもお好みのものからお教へ致して居るのでございます、其れで皆さんも大變趣味を持て御仕立になりますのでお進みも自然と早い譯で御座います、而して出來上つて御子さん方に召さして見ますと、御子さん方のお喜びなさるばかりでなく、御良人までが大層お賞めになつて「こんなに出來るのならば此れからは皆洋服にする方がよい」と勸めてお稽古にお出しになるさうで御座います、それで私の考へますには、たとへまだ御子さんのない方々でも、お閑な内にお稽古を始めて、嬰兒服から順次と召

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ますやうにすれば、衣服改良も世話なく出來て、誠に好都合と思ひます。

◎女兒服と男兒服

女兒服と男兒服との違ひで御座いますか、これは二三歳までは、男女共別段の相違は御座いません、然し三歳以上になりますと、男兒には「スイツツ」とか「ブラウス」とか云ふものを着せます、此の「スイツツ」と云ふのは上着を長くして「ズボン」の見えない位に致し帶通しを拵らへて其中へ皮帶などを通します、此形は活潑で誠に愛らしいもので御座いますよ、「ブラウス」で御座いますか、これは普通水兵服と申して居るやうな類で、衿の處は色々變つたものが御座いますが、兎に角、大體の形は背廣と違つて身巾をゆつたりと致し裾の方を細腰へ折返してふつくりと、くゝつて置くのを申します、此形を西洋では十四五歳位まで用ひますが、日本では兎角早くから背廣服を着る傾が御座います、其故、西洋婦人の話に、日本では少さな子供に背廣服を着せて、ズボンの長いのをはかせて居るのは餘程可笑しい、と申された事がありました、私共では、先十歳位までは「ブラウス」をお勸め致し、其れ以上になれば學校服をお敎へすると云ふ事に致して居ます。

◎稽古は中流の奥樣

此稽古の方で御座いますか左樣、只今の所では先づ中流以上の方が多う御座いますね、然し前に申しました通り、經濟である事が一般の人に解りましたなら、中以下の方々も必ずお用ひになる事であらうと存じます。尤も經濟と云ふ事が解つても却々一時に改良をすると云ふ事は六かしう御座いますから、私の考へますには、例へば袴を新調すると云ふ時に其切で以て一枚拵へ、又袷でも一枚拵へやうと云ふ場合に其れだけの値段で、一枚なり二枚なり拵へて行くやうに致せば宜しいだらうと思ひます、ハア形紙で御座いますか、何方にもお頒け致して居ります。

子供の洋服(口繪の說明)

子供を十分に發育させやうと思へば、平常手足を運動させるに最も都

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會のよい衣服を着せて置かねばなりません。それには洋服が最も重寶で既に實驗した人の話に依れば、嬰兒に洋服のみを着せて育てれば、和服を着せて育てるよりも、たしかに、二三箇月は早く立ち上ると云ふ事です。これは嬰兒ばかりでなく、稍々成長した子供の發育にとつても、矢張り同じ事かと思ひます。所が今日は子供の洋服に就ての智識がまだ十分普及されません爲に、此の重寶な衣服を用ゐる人は甚だ少ないやうですから、一寸說明致します。

口繪に揭げたのは、女の子供が肌衣から、順次に中衣、上着、帽子を着けた工合を示したもので、冬から春へかけて用ゐる他所行姿であります。子供服には色々の形があるが、この口繪の左の方にある寫眞は子供が肌衣を着けたところで、其の肌衣の下には、どの子供も皆巾四五寸丈二尺位の白フランネルの腹巻を巻いて居ります。此の腹巻は、成るべく切ばなしの儘にして、縁を縫はない方が、身體に障らなくてよろしいのです肌衣は大概メリヤスのシヤツを用ゐますが、頭から冠る事を嫌ふ子供には、フランネル製の後ろで釦止めになるシヤツを用ゐる事もあります。そして前の如く、嬰兒にはタオル製の襁褓を當てさせて、其上をフランネルの襁褓覆で包み、稍々大きい子供にはたゞ伊太利ネルなどで製つた股引を穿かせます。

右の方にある寫眞は、肌衣の上へチヨツキを着け、それに中衣を被たところで、年齢によつて幾分か形が違つて居ります。地質は、嬰兒の方は白のフランネル、二歳の大きい子供は白羽二重で、孰れも襟を取り裏はレース入にするなどして裝飾を加へ、前は赤のリボンを帶にして後の方へ下げて居ります。

上方の大きい寫眞は、以上の服裝の上へ上衣を着たところです。嬰兒の着てゐるのは、白羽二重で足の先より一二尺位垂れる樣に製り、裾があつて、其の上に羽が附いてゐるから、ふうわりと抱き上げた所は誠に綺麗に見えます。勿論涎掛も着けさせる。其の兩脇に立てる子供の着てゐるのは、地質は緋羅紗、裏は白のアストラカン、袖裏は白の琥珀織、襟は緋の天鵞絨、前は白の貝釦で止め、カラーとカフスは赤の天鵞絨を用ゐ、首から下げてゐる毛手套はアストラカンで製つて、其の兩方の小口は、練絹やリボンで製した花を附けて飾つてあります。それに帽子を被つて、靴を穿いて、先づ一通り揃つた洋裝になつて居ります。

これは稍々贅澤な服裝ですが、それで何程の費用が要るかと申すと、嬰兒の方はざつと十圓内外、それから大きい方になると、十三四圓より餘程上等のものでも二十圓は出ないやうです。今少しく下つた品を使ふか、或は夏物になると又格別で、揃へて五圓位でもできるかと思ひます。（横濱辨天通中野屋洋服店談）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

和歌

三宅花圃女史選

（天）　　伊勢　佐々木らく子

何となく胸安からぬよべの夢に
　朧の笛はなちやりけり

評、かゝるまよひはたれもある筋になにとなく心よせられつ。

（地）　父君のみはかにまうでゝ　　芝　三好靜子

木枯にこのはちりしく青山の
　みはかのもとそさりうかりける

評、實情にやあらむ、しらべかなしうこそ。

（地）　雪　　麹町　高木きん子

よきほどに雪降りつみて我が庭の
　松の姿もおもしろき哉

評、目馴れし宿の松も雪にはえたるはけにおもしろうこそ。

（人）　偶吟　　神奈川　飯田白露子

里の子の捨てやしぬりし野の川に
　椿のたばねゆるう流るゝ

評、春の川水しらべのどけし。

（人）　氷始解　　上總　安西琴子

里川の氷も解けて水車
　おとめつらしくめくる朝哉

評、たれも。

（人）　汐干狩　　築地　傍島小枝子

貝ひろふ少女やいづらぬきをきし
　こま下駄ちかく汐みちて來ぬ

評、春霞に立てへだてられたる少女の行へのおぼつかなさよくあるさまなるべし。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

萌え出し野べの若草つみ行けばたもとに積ゆる春の淡雪

春雪　　岡山　藤谷静子

風はげしく波立さわぐ海の光、物すごしとも
いまましとも言はん方なき心地して　　周防　小林龜代子

天つ風なにをつたへて和田の原あらぶる波の何をこたふる

笠置村に新年を迎へて　　上毛　栗原康子

春毎に椎栄ゆる笠置の森に千鳥を聞ふ今日哉

冬の月　　伊勢　松原たま子

水底せし森のかれ葉に霜見えて光り身にしむ冬の夜の月

梅　　伊勢　中島かず子

梅の香を尋ぬるあはれさに床よりうつす梅が枝

初霞　　京都　福田竹子

藻鹽焼く煙の末はうら／＼とかすみ靡れる天の橋立

折にふれたる　　大阪　森村夏子

失はん寶もなくてなか／＼にこゝろ安けきかり住居哉

閑居鶯　　東京　印出井きん子

八重むぐらとぢたる門なうぐひすの音にさそはれて出にけるかな

山家道　　尾張　井口とよ子

わかれ路にたてる石ぶみ苔むしていづれたどらんみやまべの村

折にふれて　　下總　かげ山靜波

たゞならぬ君のゆきゝやこの夕べ君すむかたに吾立つくす

春興　　大阪　やす子

文机の花もしほれぬこの夕ふるさと遠く君ゆきますか

旅路寄蕨　　口之津　南しな子

家つとになりてや行かむ樵人のかよふ山路にしげるさはらび

歸雁　　下總　山本ひさ

朧夜の花の木蔭にそみて遙かにかへる雁をきく哉

蝶　　埼玉　三田つね子

花の春を我が世にしめて舞ふ蝶の羽風にゆるくばらの花ちる

朝の鶯　　阿波　近藤かね子

我宿の梅咲きしより床に朝毎夢をさまされにけり

水邊柳　　越中　大森巴子

行く水にかげをうつして朝な朝な髪洗ふとも見ゆる青柳

○　　廣島　加藤しすい

雨あがり散りしく花の露ふみて君が宿とふたそがれの道

○　　山口　岡富清嘉

あつ氷結ぶ霜夜も打とけてふみよみかはす我ぞ楽しき

○　　鶴見　白楓

白酒と酒よぶこゑのあさ東風にもゝの小窓のゆめさめにけり

雪の朝　　姫路　芥下

朝まだき起き出で見れば白妙の木々の梢に六つの花咲く

月　　山梨　古谷喜代

くもりなき月にむかへばおのづから心のちりも残らざりけり

朧夜の櫻　　美作　性全知惠子

亡き父の姿やみえむともにみしこの櫻木のおぼろづく夜に

冬の夜　　水戸　榊八重子

茶は冷えて灰はつきたる冬の夜に思ひたえたる人の戀しき

友のみまかりしをりに　　牛込　池原米子

去年の秋さらばといひし宵の燈のながき別れとなるぞくやしき

社頭松　　四坂島　渡邊繁子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いたゞきの石の鳥居の跡まひてひれふしつゝく入鶴山桜

○　　　　　神戸　足立みい子

春の野のうかれ心ははてぞなきとまると見えし蝶もとまらず

時にふれて　　　　府下　中村千代子

身のつとめよくつとめつゝ友どちに真つくしてわが世すぐさむ

○　　　　　豊後　河野芳子

うつりゆく客し夕雲見てしより雨にはあらで涙覚えき

若菜　　　　　埼玉　大塚明徳

あつ物にせんとて摘みし若菜をはいつ庭鳥のついばみにけん

余寒　　　　　紀伊　松島千枝

あらためし春ぎの袖をさらにまた冬にかへして寒風の吹く

寒梅　　　　　京都　三野靖美

おしほへす霞さ初雪につゝきにけり枝に手向けん梅なたつれて

時にふれて　　　　韓国　波　奈子

遠足のきぬたの音に故郷の友と語らふ夢覚れけり

○　　　　　愛知　熊谷しずゑ

故郷さへわするゝはかりたのしきはつゝじ花さく春の山道

春月　　　　　愛知　榊原愛子

梅がにほふ春のこずゑはおぼろにて美くしかゝる春の夜の月

○　　　　　牛込　平塚白百合

手にかゝる子守のあたり菜花して小ばとむれゐる寺のひろには

初春月　　　　　大隅　林　幸子

もえ初し柳の糸にかゝりけりおぼろにかすむ三日月の影

○　　　　　南品川　平瀬かれ子

すべなくて小草をけしが貴真に友とわかれしかなしさはます

新年雑感　　　　能登　植田幸子

羽子をつきかるたとり〳〵遊ぶこそやがて恋ろ初めなりけれ

同　　　　　同　　同

紙鳶をあげて心空なろうなゐらを羨む身とはいつなりにけむ

むたかき集　　　　山梨　小田切さき子

旅人が一人通りて暮れにけり峠の茶屋の雪の降る日は

同　　　　　同　　同

里の子は雀とるとて騒ぐなり雪のあしたの野道の彼方に

社頭の松　　　　京都　藤田静枝

ためしなき御代の栄をいわひ顔かざりし松のいく世経ぬらん

歳旦　　　　　同　　同

子らの羽打喜べるさま見ればことしの旦の如何に楽しき

雪中の梅を見て　　　木原　今井新子

見渡せば松の雪たにきへなくにはや咲きにけり梅の初花

忠魂碑の除幕式に　　　近江　金子吉野

名くはしきみ魂をまつる石ぶみに額ふこゝろも清まろるかな

さむさ　　　　　神戸　栗山峯子

空たかくとぶ鳥の翼に霜さえて梅が枝寒き月が瀬の里

新年興　　　　　備後　角倉茂子

雄鶏きのおかしき節に我しらずしらすこしたる村境かな

春立　　　　　羽前　鶴　子

峰つゞく里山かけてうら〳〵とかすみのころも春やきぬらむ

○　　　　　神戸　足立あさ子

青柳の糸よりかけていかのぼりいかに嬉しく遊ぶみどり子

○　　　　　羽前　近野直子

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のどかなる初日を拝みて千代呼ばふ田鶴が音たかし八千代田の森

梅　山口　藤井こと
朧月夜木くゝ飾る枝の上になかば開きし白梅の花

○　姫路　尾田二二子
木蔭に芹摘む人の裾白なる足にゆらぎぬ夕映の露

霰　備後　角倉つたへ
嫁しよばふ聲も吹雪にとざされて京へ三里の石ましろなり

春雨　名古屋　清水みをを
田園の霧ほのしれて清水や地主の櫻に雨靜なり

奈良春日山七本杉を見て
すぐなれと立てるしるしや春日山麓にそびゆる七本の杉

戀ふ人を夢に見けるあした　千葉　小林きく子
さめて後いやはかなさはまさるとも夜な／＼見まくほしき君かな

旅所感　三重　木むら靜子
遠くもなりうすくもなりてみゆるかな霞にうかぶ三保の松原

寫眞　備後　平岡敏子
あはれ／＼親の面影に添へねべき心のおくのうつしゑもかな

女學世界へ投書せし和歌の載らざりしかば　岡山　貝弘八千代
おなし春と御國に咲けどいかにして歌に幸なき野菊なるらむ

初東風　備中　かほる
しのゝめの風寒けれど東風や吹くまとよりおくる梅がかほりは

○　讃岐　渡邊ゆき子
夜はあけぬ春の初日はひろごりぬおくしもきへて露となりけり

一月廿日の新聞の[illegible]りしを見て
いかでこの雲のけしきにまさるべき花のあしたも月の夕も　兵庫　野田とき子

社頭松　大阪　富永かほる
すめらぎの御園とゝもに榮えゆく宮居の松の色ぞ久しき

新年雪　信濃　荻原吉子
隅田川濱も長閑に年たちて初霜を飾るけさの白雪

早春水　伊勢　柏木脊野
芹あらふ山田の澤のゆきげ水こほりよりけにつめたかりけり

古郷の母を思ふて　豊後　光盛会女子
雁鳴むるや柴戸をたゝく雲音に古郷の母を如何にとぞ思ふ
深山をへだてし母を夢に見て醒むればさびし風の音

新年　下野　武田たか子
己が身に寄る年波も打忘れ子等と諷歌うたふもおかし

師にある師の許に　水戸　榊いち子
師君の植ゑし紅梅花咲きぬ文に封じていざ送らばや

里夕　京都　渡邊ふさ子
くれ竹のねぐらにかへるむら雀こゑかしましき里の夕ぐれ

○　美濃　高津容子
春風のそよ吹く野べの花のへに羽袖もかろく舞ふ胡蝶哉

玉霰　三重　北村みつ子
まがつみの怒りにふれて投げらるゝ罪の子のごと玉霰かな

社頭松　千葉　小林よれ子
そこひなきみたらし河にうつりけりいかきの松のよろづ代のかげ

雪　紫鳩　片岡ひろ子
ふる雪に竹の村立末ふしておくなる寺もあらはれに鳧

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○　越後　村崎千代子
加賀川の瀬を流ればなつかしき春のつき夜に琴ひける家

若菜　京都　前川こと
もえいでし野べの若菜をつみためて嬉しさあまるかごのうちかな

名所花　下総　小堀はる子
折り〳〵は琴のしらべもかよひ来て花おもしろき嵯峨の山里

寒見雪　大隅　林たみ子
高千穂の高根は雪の残れとも佐野の杉むら霞たなびく

立春　秋田　佐々木露子
門松にしめ引はへてひな人の千歳を祝ふ春は来にけり

鶯の初音を聞きて　越後　古澤ふさ子
山かげの去年のままなる賤が家も春訪れて鶯の鳴く

春日眺望　山梨　升山まさじ
春日かけいとうららけき屋根の上にねむる小猫の何夢むらん

○　摂津　横　文子
かなりさへ花さへ実さへめでらるる我日の本の梅ぞけ高き

梅　四谷　加藤あつ子
谷川の清き流にかげ見せてにほへる梅に鶯のなく

白梅　紀州　八重子
朝まだき谷の戸出でしうぐひすの羽風ににほふ庭の白梅

初春　東京　鈴木よれ
氷とけみ空かすみて鶯の春くと告くる聲の長閑さ

鶯　下総　石垣千代子
あつさ弓はるさり来らし我宿の梅もにほひて鶯のなく

春の雪　三重　堀ひろ子
若芽吹く枝垂柳の香川に雲流して都路かすむ

松間鶯　知多　白はぎ子
ゆききえし岡の松原わけ来れば朝日かすみてうぐひすのなく

新年興　宇都宮　松元のぶ
さかづきのそこにも春やこもるらんくめばさくらのいろにいでつゝ

春の歌の中に　豊後　菅原よし子
てる月の學びの窓にさしいりてのきばをつたふ梅の夜あらし

逸題　牛込　原あさ子
彩雲の匂へる野辺のしはらくな時になやみて花つみあへぬ

春の歌の中に　東京　奈良八重子
君逝きし悲しき日よと思ひ出て朧月夜を眠なくて明ぬ

社頭松　信濃　松尾節子
そのかみをかたりかほなるみやしろのこけむす松は幾代へぬらん

雪　下野　ふみ子
梅が枝につもれる雪も春風に花とみだれてちるぞをかしき

惜歳暮　信濃　松尾節子
とゝめあへぬものとはしれど一日だにとゝめまほしき年の暮哉
母君と夜晝わかで春衣縫ふ手せわしき年のくれかな

青柳　熊本　井上きくゑ
琴の音も奥に聞えてあて人の門の柳に春雨ぞ降る

逸題　羽後　小関女
ふりつもる雪ふみわけて學びやにきそひ行なり里のうなゐら

雪　下谷　田代糸子
雪ふれは賤かふせやもまかゞやくたまのうてなと見ゆる今朝かな

春風　伊勢　松原たま子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

霧の雲のとばりを押しわけて富士を麓立つ初春の風

冬月　伊勢　松原たま子

住む人の清き心も山の井の水にうつせる冬の夜の月

冬夜貧家　佐賀　由緑女

すきま洩る風は身を切るこゝちして親子他ひぬる冬の夜半哉

逸題　小石川　廣庭文子

たへかたき寒さをしのふけなけさはほころひそめし花に見えけり

すみれ　岩代　江川きい子

遠里のおばの許より送り來しすみれの花は咲きそめにけり

昨日迄君とながめし此すみれ今日は君なし誰と眺めん

白雲　岐阜　廣倉よし子

塵の世を掩うて積る白雪もとくれば濁る川となりつゝ

鶯　越前　藤野ツカ子

梅林なきて木傳ふうぐひすは花に聲あるこゝちこそすれ

霞中月　横濱　松尾久子

打渡す霞の空のおぼろ夜に梅の木末を匂ふ月影

梅　青山　高木すゑは

雪あられふるをしのぎてまさきいでし梅の花にぞ我はならはむ

梅花盛　横濱　松尾久子

梅が香は袖にあまりて大空の月もおぼろに匂ふ頃かな

祈り　肥前　嬉野金子

事しげきわが世のがれて神と語るそのつかのまはいかにたのしき

田家　澁谷　平原千代子

物おもふ影もしのりて賤が家の軒ばさびしく月ぞさし入る

偶書　同　同

流れゆく水にふり積むあは雪のあはと消へにし昔こひしも

寫眞　澁谷　平原千代子

別れにし友のうつしゑとりいでてまた今さらにあふ心地して

題知らず　播磨　まこと子

小夜衣かたしく國の旅枕馴れし昔の人の香ぞする

春氷　本所　海老沼たけ子

霞つゝ　けともわかぬはるかぜにたゝよひ初る池の薄氷

逸題　四谷　畑きみ子

ゆふ霧におもひをのせて末遠くやらばとおもふ夕まくれかな

逸題　香川　合田マガ子

石工の鑿の音さむふ日は暮れて歸る家路を淡雪の降る

逸題　福井　井田蝶子

海苔の香や春まだ淺き曉館孤の遠音を聞ながら聞きぬ

朧月　兵庫　小草女

新らしき湯殿のまどに朧月けたへに霞む湯氣かあらぬか

物乞ふ哀れの幼子を見て　同　同

只一人紅葉の小手の霜ばれて物乞ふちごこに先つ時雨して

霞　名古屋　志村まさ子

鐘の音の消え行く先をつく〴〵と物なつかしむ夕霞かな

○　米澤　加藤俊子

むしろ吾あだなる望み打ちすてゝなきはらからのたまやまもらむ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衛生

分娩一ヶ月後の母子

(母の攝生と子の養育法)

糸左近

●母は如何なる起居運動を爲す可きか
●子の起居運動は如何
●子守に負はせ外出せしめて可なるか
●小兒を如何樣に抱く可きか
●乳母車に乘せて可なるか
●這出捉り立に注意せよ
●分娩一ヶ月後の授乳時間割
●離乳期及び喰初は如何・・・・・・・・・
●種痘は何時施す可きか及び其の心得

▲母は如何なる起居運動を爲すべきか

案じるより產が易く、其の後の肥立も殊の外宜しく斯くて單調な產褥生活も最早一ヶ月を過ぎた。產んだ當時は五月蠅程人も祝やら見舞やらに來てくれたれど、今や訪ひ來る客も甚だ少く、來た所で良人の客我を慰めに來たのでは無い、實に徒然に堪えぬが偖て何をして長い月日を送らうか、唯ブラ〳〵してるよりも寧そ平生の仕事に取掛らうか、否々然うは行かぬ、然らば氣隨氣儘に寢轉んで暮すべきか、全く然うも宜しくない、然らば如何、茲に大切なる衛生の眞理が存するのである。世の中には產後三週間の靜臥も待たずにドシ〳〵家業に從事する者もあるし、又反對に餘り大事に取り過ぎて產後一ヶ月を經るも朝寢午睡を貪り箸一つ手に持たず怠惰放逸に日を送る輩も有る。此の兩極端者は何れも身體を害し、前者は子宮其の他の生殖器に故障を生じ、一方ならぬ重病を惹き起す種になり後者は消化力を損じ乳汁の分泌量を減じ、日を經るに從ひ母子共に大なる不幸を招くのである。故に產後一ヶ月も過ぎたら朝も早く起き、夜も早く寢ね、庖厨の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事や室内の掃除位は順次に手傳ひ、天氣清朗の日などは外に出で、散歩を試み、雨天の日は室内體操でもして飲食物の消化吸收を計らねばならぬ。斯の如くにして二ケ月より三ケ月、三ケ月より四ケ月と其の運動の度を一歩々々に進め、或は重荷を擔ぎ、或は長途の汽車に乘り、或は嶮しい坂を越え、或は風雨を冒して外に出で、或は舟に棹し馬に騎り、或はドン／＼舞踏をなすが如きは、何うしても半ケ年の後を待つて爲すべきことを必ず守らねばなりませぬ。母の方はそれで宜いとして、次に、

▲子の起居運動は如何

小兒が生てから一ケ月の間は可成床の上に平臥せしむべき事などは前號に說いたが、斯くて一ケ月も過ぎたら、暖かき日には愛の手を以て靜に抱きながら、庭園などに暫時連れ出すことは甚だ必要である。如何に小兒とても外界の大氣を吸はしめ日光に觸れしむることを時々行はぬと、薄弱なる腺病質になることがある腺病質は敢て遺傳ばかりでは無く、養育法の當を得ざることより發する方が却て多いものだ。大切な子だからとて一室の中ばかりに籠らせ置き、暗い日光に汚い空氣、以て月日を送らせれば身體の發育甚だ遲く皮膚の色は段々蒼白くなつて可愛らしい顏は次第に大人びた憂を帶びるものである。斯う申すと、左程に大氣日光が善いなら、

▲子守に負はせ外出せしめて可なるか

との疑問も起らん、けれども殆ど軟骨的の小兒を背負ふは小兒の胸腹を壓迫して呼吸を困難ならしめ、肺心二臟は言ふまでもなく、胃腸などの消化器までもその影響を受け、體格の發育を不良ならしむる恐れがある。我國では昔より此の風習を傳へ、文明の今日も猶廢れずにあるが、これが爲に幾萬の人を肺病に陷れたかも知れぬ。思うて茲に至れば何人も悚とするであらう。右の如く小兒を背負ふは甚だ惡い上に搗て加へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て之を十二三の子守に委託するに至つては、親たる者の不注意實に言語道斷と言はねばならぬ。斯る兒守は脊なる小兒の子をも打忘れて自己の遊戯に耽り、飛んだり跳ねたり揚句には倒れて怪我を受けしめたる例往々有ることではないか、故に親自ら抱いて出るか左もなくば普通の知識と德義心とを有する年長けた注意深き婦人に看護の任を託すべしである。然らば、

△小兒を如何樣に抱くべきか

生後半年も過れば普通の抱方にて可なれども、三四ヶ月を經ざる赤兒に在つては其頸がグラグラしてゐて自ら支ふるの力少ければ看護者たる者は之に注意して一方の腕を以て後よりその頭を支へ他の手に小兒の臀部を載せ、緩く抱いて徐かに歩くべし。して又前號にも述べた通り天氣清明な日に、日光の直射せざるやう、輕い帽子で

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も被せ、彼方此方と徘徉ついて「赤の飯に魚添へん、魚にも勝る母様の、旨しいお乳汁を差上げん……」と節面白く子守歌でも唄つて小兒の心を慰むるが宜い、然るに無暗に笑はせんとして、不意に大聲出して呼んだり、或は劇しく動く物を示したり、或は光の強い物を視せたりするのは、大に害有ることである。話替つて抱いてばかり居れば、手の疲るゝものであるが、

▲乳母車に載せて可いか

小兒生て四五ヶ月乃至半年も經てば、乳母車に乘せ小兒の身邊には布團でも巻いて、身體の倒れぬやうに工夫し、凹凸の無い平坦なる道路を、徐かに引き歩くは、幾分か小兒の心を慰め、看護者も其の勞少く、實に良い方法であるけれども、險惡なる道を無暗に引き歩いて、ガタンドシンと絶えず小兒の身體を震動せしむるに至つては、その腦を害することも一通でない。余の知人某の老母は二歳の愛孫を乳母車に乘せ、左程傾斜の無い坂路を下り、不圖手を離したれば、車は次第に速力を加へて自然に走り、アワヤと後を追へども老人の事とて追付かれず、車は遂に電信柱に衝突し、小兒は眞倒様に落ちて頭腦を打ち、命に別條は無かつたが、白痴同様になり『嗚呼乳母車に乘せねば宜かつたものを』と己の不注意を棚に上げて、唯々車を恨んである。されば看護の任に當る者否看護者を選ぶことは甚だ肝要である。斯の如く看護の任は重大で啻に乳母車曳く時のみならず、

▲這出捉立に注意せよ

小兒段々發育して四肢の運動次第に自由を得、可愛らしい手を以て這出し、それが大分熟練して來と今度は戸障子などに捉まつて立つことを自然に學ぶもので親としての樂みは此上ないものだ。

這へば立て立てば歩めの親心
　　我が身に伴れる老を忘れて

とは善く人情を解したる歌である。されど此際は最も危險で、少し看護者の眼を離すと或は縁側より轉び落

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ち或は尻餅を搗き、或は烟草盆の火を掴むなど、實に油断のならぬものなることは、誰人も知つてゐられるだらう。併しながら慈愛に充てる親が、早く發育させたい所から小兒の手を取つて引き立て『歩よが上手お轉びお下手』と無理に歩ませんとするは將來彎脚症とて、膝の外轉したり醜き姿を遺すものなることを知らぬ人が往々有る嗚呼自然なる哉自然、自然の時を待たれたいものだ。話は又元へ戻つて、

▲分娩一ヶ月後の授乳時間割

に移らう。前號には生後一ヶ月間の授乳に就て述べたが、一ヶ月も既に過ぎて二ヶ月乃至四ヶ月にも至らば晝間は三時間毎に一回、夜は四時間毎に一回。第五ヶ月に至らば晝は四時間毎に夜は五時間毎に一回。第八ヶ月以後に至らば早朝に一回、日中に一回、臨臥に一回位にして其の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

餘には牛乳を少し交へ、漸次に授乳の數を減じ遂に全く之を廢し、小兒の消化器をして休息せしむるやうにせねばならぬ。一回の授乳に要する時間は小兒の健否如何に依つて差異あれど大凡二十分時乃至三十分時の間である。次に、

▲離乳期及び喰初は如何

小兒が段々發育して一定の時期に達すれば乳齒が生え、乳汁以外の食物を少し宛取つて漸次に哺乳を廢し得るに至る、此の期を名づけて離乳期と云ふ。乃でこの喰初及び離乳に就ては東西の諸家先輩は各々意見を異にしてゐる。ビーデルト氏は七ケ月、ウッフェルマン氏は九ケ月乃至十五ケ月フライシュマン氏は小兒體重の増加すること緩慢なるを見て喰初とし、ヤコビー氏は門齒の二個乃至四個の發生を以て離乳期とす。我國では大抵門齒發生を以て喰初とし、小笠原流の禮式には生後二百廿日と定めてゐる。けれども右は皆乳汁を離れる準備期を指したもので眞の離乳は是れ亦諸家の說區々で、西洋では生後十一ケ月乃至十二ケ月とし我國では甚だ遲く二歲乃至五歲甚だしきは再び懷姙する時まで乳房を哺ませ、懷姙せねば七八歲までも嘗めさせてる習慣がある。乃で余は思ふに西洋はいざ知らず我國では八ケ月目位から極めて徐々に牛乳、ソップ、粥汁、水飴、半熟卵、粥、刺身などいふ如き順序を以て次第に與へ、若しこの喰初が炎暑の時期に當つてゐたら之を延期し、眞の離乳は體質の强弱にも依るけれど十八ケ月位が適度であらうと信ずる。某醫學博士は一ケ年で可なりと言はるゝが實際行はれまいと思ふ余の長女なども余は一ケ年半で止めしめんと思うたれど當人よりも母親の方が『此樣に樂しんでゐるものをパッタリ止めさせるは可哀さうでなりませぬ』と淚を溢してゐる、余も亦昔を憶へば十九歲の時母に別れたが其歲までも母の乳房を見れば何となく懷かしく、乳嘴を一寸撮んで見ると、母も『馬鹿な事を爲さるな』と言はるゝ中に腹も立たなかつたらしい。それで意志の弱い余は長女にも遂々足掛四年の間嘗めさせました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斯様に意志の弱い我等の事は別問題として、兎に角眞の離乳は一ヶ年半位であらう。文明國と言はるゝ西洋人の小兒を我國の小兒に比すると死亡の多い理由は、一は離乳期が早いからだといふ人も有る。さもあらんと余は思ふ。

▲種痘は何時施すべきか附其の心得

種痘は三四月頃

の春に限ると思つてる人も澤山有るやうだが、これは、とんでもない間違で年百年中何時種ゑたとて何等の差支ないのである。故に生後五十日を經たら早速醫師の許へ伴れ行きて種痘を請はねばなりませぬ。併し七八九の三ヶ月は汗の多く出るのみならず種々の病に罹り易い時であるから天然痘の流行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時ならざる限りは見合はして十月へ延しても差支は無い。若し天然痘の流行する兆があつたら、此等の條件を悉く取消して、炎熱燒くが如き氣候であらうと、五十日以内であらうと、其樣な事に頓着なく寸時も早く種痘の實行を怠つてはなりませぬ。斯う申すと種痘を爲せば發熱するから、五十日以内の小兒には可哀さうだと言はれうが、成程種痘をすれば發熱するには相違なきも、その熱は甚だ微弱で、人命を危くするやうな恐ろしい事は斷じて無い、然るに斯る熱を恐れて猛烈な天然痘を傳染せしめた例は世間に往々ある。それから又此等の事柄は能く〳〵承知して居れど、我身の都合ばかり考へて明日醫者の許へ伴れ行かん明後日こそと順々に延ばし、遂に玉の如き小兒の顏へ痘痕を殘さしむる親も世には無いではない、其癖斯る親は却て我顏にはヤレ奇麗水だ、ヤレ色白藥などゝ浮身を窶してゐるものだ、可惜してふ語は斯る親の顏をこそ言ふならめ。夫から又種ゑても不善感なる時は更に一年間内に再種乃至三種を行ひ善感しても、三年乃至五年に再種を行ひ、再種後五年乃至七年に三種を行ふやうにして頂きたい。若し又天然痘流行の兆が有つたら『何時幾日に種ゑたのであるから何效がある』などゝ小理屈を言はないで早速醫師の許に行き、親も子も種ゑて貰ふが何より安心だ『念には念を入れ』とは斯の如き事を申すのである。

次號には乳汁の出ぬ塲合の處置、注意すべき小兒の病等に就き愈々有益なる事を掲ぐる積りである。

衞生顧問

（神經衰弱と姙娠）**問** 昨年五月頃より神經衰弱症に罹り只今は姙娠六ケ月に候斯る病氣の時受胎せし子は不具者に相成候と聞き及び候が果して眞か、又出產後哺乳せしめて可なりや及び其の發育法等御安心敎へ下され。（兵庫縣 好青女）

問 神經衰弱症に罹り候に付先生のお說に從ひ旅行療法致し度候へども只今は姙娠中に候へば實行出來申さず分娩後幾日程經ば實行いたして差支なきか。（川邊郡の 壽世女）

答 神經衰弱症の時姙娠したりとて不具者を產むの道理なし。出產後

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

その氣付にして完全ならば奮ましめても可なり。養育法に就ては先月及び今月の衞生記事を讀まれたし詳しく書いた積であります。實行療法は分娩後少くも六ヶ月を經過せざれば却つて害ありと知り給へ。

妊娠と兎の肉　問　妊娠中に兎の肉を食すると兎唇の子が生れるとか、又火事の時腹に手を當てゝ見ると痣ある子が生れる云々、心配に堪へず候がその眞僞御教へ下されたし。（武蔵川越の願ひ女）

答　斯る俗説に就いて或る大醫は笑うて曰く「兎を食つて兎唇の子を産むなら蛸を食へば八手の子が生るゝだらう、又火事を見て皮膚に手を觸れ痣の子を産むならば大木を見て皮膚に手を觸れたら如何なる子を産むか、億々傳説程愚なるものは無い。信ずべからず〳〵」と。

腸窒扶斯後の皮膚病　問　腸窒扶斯病に罹り全快後一ヶ月にして頸、顔頭などに小さき面皰様の物澤山生じ色々療法を施し居候へ共全快致さず、何卒良き療法を御教へ下され度候。（松浦北女）

答　腸窒扶斯に限らず急性の熱病及び其他の重病後は身體の營養衰へ從つて皮膚病を罹し易いものである、滋養に富める飲食物を取り毎日米糠汁を沸して清潔に洗ひ給へ。日を經月を累ぬるに從ひ美しく治るであらう。

心臟病の豫防法　問　知人が心臟病の爲に歿して以來私も同病に罹らぬかと心配になつてなりませぬ。若し罹れば如何なる徴候になりますか。又その原因と豫防法とを教へ下され。（下野の南生）

答　唯心臟病と言ふだけでは色々種類が有つて之を一々病狀、原因など書き立てたら本誌一冊悉く費さればなりませぬ故一寸その豫防法だけを記せば暴飲暴食及び過房を禁じ運動へ適度に行ひ即ち不運動ならざるやう又過激の運動せざるやうに注意し精神も常に愉快にし不潔の空氣を吸はぬやうに工夫せられたきものである。

慢性凍傷の療法　問　三年前より足指腫れ夜は睡眠を妨げられ痛むことがあります、然れど夏になれば輕症を殘す位に過ぎず當地の醫師は慢性凍傷と申され候、月經その他別に異狀無し、何卒良き療法を教へ給はりたし。（熊本縣白ゆき女）

答　苛性加里一瓦、屈里設林三十瓦、酒精五十瓦、水百二十瓦の四品を混じて之を夏から冬へかけて半年乃至一年間一日も缺かさず塗布して御覽なさい、恐らく治らぬことはありますまい。

美顔水の製法　問　美顔水の原品及びその製法をお敎へ下さい。（奈良生駒郡盛子女）

答　賣藥の美顔水は何うして製するかは知り申さず候へども左の如く調合して皮膚を洗へば皮膚病を豫防し皮質を濃かにする効能がある。

硼酸二瓦、薔薇油二三滴、溜過百瓦

右の溶液が冷えてから顔等の皮膚を洗ふのである。

月經中の白帶下　問　私は本年二十歳ですが二ヶ月前より月經時に經血と共に白帶下を見ますが何時に候や御教へ下され。（江州の某入前女）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

答　病的ならん事くならぬ中に專門醫の治療を乞はれよ。

臍の爛れ　問　四五ヶ月前より臍爛れ白き液體少しづゝ出で候しかしやがて液體固まり松脂の如く相成申候何病にやその療法と共に教へ下され度。（栃木縣、冬谷百合子）

答　臍炎と申す病ならん。石炭酸水を以て洗ひたる後亞鉛華半瓦と澱粉十瓦とを混ぜて木綿に包み之を以て臍其部を輕く叩かれよ。

添毛と油に就いて　問　添毛を入れると毛が減るとやら本當でせうか、又椿の油は三宅油に限りますか私の村でも椿の油を搾りますが如何に候や。（山口の妙齡女）

答　添毛を入れたりとて毛の減ずる憂は無いが頭へ餘り重い物を澤山載せると頭痛等の病害を訴へることがある。油は敢て三宅に限る譯では無い。製法さへ善かつたら何れのでも構ひませぬ。

顏の赤きを治する法　問　顏面常に赤くて冬に至り風に吹かるれば紫色になり甚だ見苦しくて困り居候何卒療法敎へ給はれ。（女醫生山住女）

問　私は幼より顏赤く逆上症に候が何卒その療法を敎へ下され。（氷錦町富士女）

答　（一）毎朝起きるや否や中合乃至一合の冷水を飲むこと（二）毎日一時間以上大氣に觸れて汗の出る程運動する事（三）毎夜眠る前に必ず腳湯を缺かさぬ事（四）寢床に入つてから腹部を輕く按摩する事（五）大通に缺かぬ事（六）頭部を寒風に曝さぬ事。若し冬日外出せねばならぬ時は眼だけ出して其餘は物を以て掩ふ事（七）酒を禁じ辛い物も可成用ゐぬ事（八）心を興奮させぬ事（九）身を屈める仕事をせぬ事（十）夏冬共に腹卷をなし冬は湯タンポを足に當てゝ寢る事。以上の十個條を一年守れば必ず効が現はれます。然るに唯何か良い藥が無いかと藥に依賴して右十ヶ條を怠ける事が出來れば到底駄目です。一ヶ月や二ヶ月行つて効が無いと言はるゝやうでは答者も實に閉口します。

僂麻質斯を治する妙法　問　本年五十五歳になる人慢性僂麻質斯に罹り醫藥も種々相試し候へ共未だ治らず、即ち腕に痛みを生じ衣服の着換も人手を要し困難罷在候何卒此療法を敎へ下され度。（愛知縣知多郡、心配女）

答　慢性僂麻質斯病は古今東西の醫師が治らぬものと殆んど定めてゐるやうな病であるが、今より四五年前に、余は感ずる所あつて、日光、溫浴、藥用の三療法を數人に經驗したれば何れも効果を奏し今や健全であるされば左にその經驗談を揭げておきませう。

（第一）一日に朝午晩の三度入湯する事。

（第二）可成日光に觸るゝやう日當りへ出てゐる事。但し夏の光線を直射せしむるには及ばず。

（第三）は藥用であるが、これは如何にも平凡な藥で即ち、

沃度鐵舍利別六、〇　苦丁二、〇　水一〇〇、〇

右一日三回食後分服

である。而してこの三療法を少くも半年以上試み其間は茶柿の如く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

胃酸を含む食物を斷たればならぬ。此の通り守つて半年乃至一年に亙つた人は何れも効能あつたれど其だけ厭んで入湯を怠つた人は何等の効驗なく、斯の如き人に限り己の罪を棚へ上げ、却て余を藪醫者だなどと誹つてゐるさうだ。余は藪醫者には相違ないが兎に角日本人は薬にのみ依頼する弊がある、概嘆の至である。

鼻加答兒の療法 問 膿汁様鼻汁多く出で而もその鼻汁は惡臭を放ち呼吸を妨げ困り入候、何卒にや、その療法なし御示し下されたし。（武藏の、鼻美女）

答 強く鼻を擤むことを避け衣服を温包し可成飲物を減じ、

イヒチオール 一、〇　依的兒 一〇、〇　酒精 一五、〇

右混和して鼻中へ塗るべし。

月經帶に就て 問 月經帶は如何樣に作るべきものに候や。（信州のGK女）

答 腰帶を以て丁字形即ち越中褌の様に作り消毒したる脱脂綿を束め之を當てゝ其上に又亞麻仁油紙に少し綿花を入れたる物を被ひ例の丁字帶で固定し脱脂綿は時々取換ふるのである。尚藥店から一つ購求して、其次からは其を見て自製する方が宜いでせう。

▲（常州の或なる乙女）へ‖貴女も亦この丁字帶を應用せられよ。

小兒痙攣の應急手當 問 妾の長男四歳は時々「ヒキツケ」に罹り醫者を呼んで注射を依頼するが、時には醫者の留守なることあり、困ることがある、その時の應急手當を教へ下さい。（武藏のGH女）

答 先づ頭部には氷囊を當て額へは冷水を吹きかけ足には溫脚浴を施し、頸部には芥子泥を塗らるべし。これ素人方の知つて居らねばならぬ應急手當法である。序に衛生顧問外なれどお手紙の御文中なる言葉が女性としては如何にも不美ではないかと失禮ながら思はる、一例を擧れば某人に向つて其人の事でなくとも其人と同職なる職名などは「お」の字若しくは「樣」の字を附けられたい、貴女以て如何と思召すか。

救急箱に就いて 問 昨年の本誌に日本橋青物町敬愛商會から先生の御考案なる救急箱を廣告してありましたが果して私等の如き素人が求めても藥の調合は出來ませうか、又藥の盡きたる時は其藥だけを買はるゝものに候や、又如何なる藥品何十通り收めあり候や御答を乞ふ。（大阪の好衛女）

答 説明書もあるし又天秤其他の器物も有りますから誰にでも調合出來ます、藥の盡きたる時は其藥だけ御地の藥店にて求めらるゝとも又同商會へ注文せらるゝとも必ず賣るに相違ありませぬ。其他の事は右商會へ直接御質問下されたし。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

（大阪の小松女）へ‖硫化加里軟膏に杓櫞油數滴を落して塗けたれど毛を除くことが出來ぬとの仰せ、されど今一回塗けたる後角錐にて少し強く擦でゝ御覧なさい。

（清國上海杞憂女史）へ‖毛生藥に就ては從來幾十何度書いたか數知れませぬ、兎に角何藥を塗けられるにしても半年以上ならでは効驗し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と知り給へ。

（廣島市ペキヌ子）へ――今一度病狀を詳しく書いて質問せられよ。

（愛知縣の禿頭女子）へ――禿げて數年を經、毛根なき處へは生涯上生える道理がありませぬ。

（北海の十七歳女）（滋賀の拔似女）へ――（大阪の小松女）へ答へたるが如くせられよ。

（廣島縣の十九歳女）へ――色白藥の強効藥は三千世界に斷じて無し。

（東京の新鋭女）へ――醫師に就いて昇汞水の罨布を乞はれよ必ず治ります。

（茨城縣の二度何女）へ――御求めの藥御地になくば東京日本橋區青物町牧愛商會へ注文して見られよ。

（近江心配女竹子）へ――毎年十月末から一日に朝夕二度づゝ硼酸一、〇水三〇、〇の蒸氣吸入を四ヶ月續けられよ、豫防出來ませう。

（越後今町こけ狹女）へ――到底治す方法はありませぬ。

（天橋立むし配女）へ――御地の醫師と御相談の上顳顬部にコロヽホルムを塗つて擦られよ、齒ぎりは致しませぬ。

（近江柏原心配女）へ――外科醫に就て手術を受けられよ。

（山口縣一二子）へ――産後の衞生法は今年の二月即ち前號の女學世界に「分娩後の一ヶ月」として書いて有るぢやありませぬか。

（三重縣冬女）へ――2%硼酸水で含嗽なせられよ。

（美作の白癬女）へ――癬を除く方法は無いでもないけれど悉く劇藥ではあるし、その塗け方が惡いととんでもない過を來します、お尋ねの藥は恐らく效無からん。

（攝津座家二紅女）へ――癖毛は却々治らぬもので數年の手入をせねばなりませぬ。

（兵庫縣給律女）へ――猥褻然たる質問に答ふることが出來ませぬ。

* * * * * * * * * * * *

質問心得

一 書體は楷書、墨汁を用ひられぬ事。
一 葉書に一人一問たるべき事。
一 姓名年齡は必ず記入せられたき事。
一 郵券封入又は往復を以て返書を乞はるゝも必ず應ぜぬ事。
一 匿名は異樣なるを避けられたき事「女學世界愛讀女」「困難女」「心配女」「何歳女」其他病名を名にする如きは甚だ多くて紛らはし。
一 男子の質問固より差支なけれど男子生殖器に關する事は答へぬ事。
一 面白半分の問と認むるものは沒書にする事。
一 質問書は東京市本郷區森川町表北裏七十八號 某左近へ宛てらるゝ事。
一 質問書表面に「女衞」の二字を必ず書く事。
一 ペンや鉛筆を用ゐず必ず毛筆にて書く事。
一 締案書は用ゐられぬ事。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

よしなし言

靜子

元祿姉さん

さあ〳〵遠からんものは音にもきけよ、近くば寄つて眼にも見よとも言ひたくなるはこの君なり又の御名は拔衣紋とやら泊子とやら、何れにしても御袴召して、踵の高き御靴を穿き、首にはボーア、の真白きを巻き頭は丸たぼの、庇にあらで水も垂れんかの黒髪を散毛、一本なき迄、梳き上げて、つぶしか、何かに銀のちらしを結び、長きたぼに汚さじとや美くしき襟足見せて、黒繻子のかけ衿後に抜き、御はき物は歯の低き兩ぐり、穿きて、内輪に歩み給ふ御方とこそ想はるゝに、御書きになりしものを拝見すればなか〳〵に海老茶黨か、筒袖に白縞の短かき袴を召して、柳の下駄にステッキ打振り、大道を濶歩し給ふ御方様にぞ思はるゝ。初め、女學世界に思ふ存分の氣焔御吐きなされし時、男か、女か、生娘か、商賣女かと騒がれ給ひしも道理、女にしては餘りに不遠慮に、男としては餘りに行き渡りて、教育なき、あばずれ女としては餘りに御素養深く、まこと不思議なる人も世の中にありもし現はれもするものかなと評議まち〳〵なりしも慥かに女との御辯明なれば今は疑を容るゝ餘地なく女性の御方とは信ずれども、さても、女丈夫にて在はす事よ、いつも〳〵御筆の走り様、御觀察の鋭どさにあつとばかり敬服して、また元祿姉さんが面白い事を言つてらつしやるわと話の出づる度毎に女でせうか、男でせうか、女とすればもう〳〵酸いも甘いもかみ分けた、世に怖ろしきもの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なり、惡く言はうが罵らうが、一向此方は不關焉とすまして居らつしやる御方でがなムいませう、御若い方ぢやなかろうと思へど御文章は若いしと御噂の出でぬ事もなし、さこそ御み足の搔ゆく在はさむも我々の樣に小心者に在はさねば、又誰か、私の事を言つてるよ、眞個に煩いねと牛の角に蚊のとまつた程にも思召すまじ。「呪はれたる女」など、まことに千言立ところになると申さうか、竪板に水とでも申さうか、その雄文、魁詞、天晴れの鬚男もはだしで逃げ出す、荒まきの御筆、さはれ女は弱きものと嘲りて、いぢめ給ふ、男方も多き今の世に斯る人の出でませしは、力強くも思はるゝ男の五人や、十人逆寄せに押しよせたりとも負けはせじ、舌戰筆鬪何れなりと、昔の巴、板額の勇ましき御武者振、我れ等氣の小さき女は御爪のあかをなりとも煎じて飮み度き程なり。御家に在はす時は、長火鉢の前に立てひざして、長煙管もて煙草ふかし給ふ、御方の樣に思はるれど、初めよりさる風になれ給ひしにはあらで、御獨學か學校仕込みか、何れ、立派なる才を持ちながら、身を持崩したる御身の果てか、其とも失戀てふ、詩的の名の下に、拗ねて〳〵すねぬいたあげくに反抗られし御身の果てか、それとも又大悟して哲學者になりすまし給ひしものか、御容姿の美醜何れにしても極端にて、御美しければ楊貴妃の如く……まことわからぬ御身の上かな、誰にも申まじければ、私丈に、極、內密にて、御明し下されよと申た處で、せんなかる可し。

晶子女史

鬼神をも泣かせ、天地をも動かすてふ、和歌の力も昔の世ならば、とにかくに、今の世に、けり、かも、こそ、と併べたてゝも、さまでの事にも覺えざりしを天才、晶子女史の出でられて、斯道の上に光を與へ、復活なさせ給ひし御手柄、明治年間の文學史にその名を記され給ふ、價値は慥にある可し。君は泉州堺の御生れとか、色なま白く、のんびりとしたる顏に、何だすか、……さうやさかい等と、鼻にかゝる言葉のふしま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はし、贅六と言はれても「よして御呉れやす」とすまして居らるゝ土地に斯うも、ちやき〳〵の江戸子の様なる御方生れ給ひしかと、あやし。御作を見るに縦から見るも横から見るも天才の面影隠れもなく、一寸の隙間もなき様なり。「みかど知らす、古事記しらすのやまと人をレモン咲く野にはならせ給へ」かく、古事記とやらレモンとやら三十一字の短歌の中に讀み下したるは從來になき事にして、晶子様御夫婦の專賣品特產物とや言はまし、足曳の山……等と詠じ居たるに、かくも、ロマンチックの一派出たるなれば初めは一寸異様に覺へたるも無理ならじ、僅の言葉の中に廣くも深き意味をこめて巧みに言ひまはし給へば歌の意味わかりかぬるも二三に非ず、おめず、おくせず己が心の儘を詠み出で給ふ、御心の勇々しさ女性に在はして男性的なり、作物の上より見へたる性と、眞實其の人の性質とは相違ありて、この御方が彼の様な作をと思ふ事も間々ある可ければ、一概に其と言へまじけれど、御歌の上に見へたる晶子様は、熱情家にて、この人ぞと思ひ込めば虹の如く電光の如き戀の焔に身をもやさつくす可き御方かとぞ覺ゆ。

我戀は虹にもまして美くしき電光とこそ似むと願ひ

〇

の御歌、これぞ、僞りならぬ、君が御心なる可し、古人の、戀を螢火にたとへし歌と、幾何の差ぞ、之によりても古今の違ひは見らるゝぞかし。

鐵幹様は君が鳳の性を名乘居給ひし折の戀人にて在はせしと聞きしが、御名を聞けば、鐵の棒でもふり上げ給ふ様にこはらしき鐵幹様も多情多涙の詩人に在はせば晶子様の虹にもまして美くしき電光に似たる戀情に打たれて、その足許にひれ伏し給ひけむ。願ひ叶ひて御一しよになられし時の御滿足さこそと想ひやらるゝよ、七色の息ふき給ひ、星の如き瞳の輝き、詩の國の女神男神と、見へませしならむ。流石に恥ちて人には見せじ二人のものと深く秘められたる歌反古あまた、あらむかとの意地惡き想像許させ給へ。もしやこの戀叶はざりせば、サッポーの悲劇、こゝ日本にも演

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せられしならむを、詩の神、美の神に惠まれ給ひし御方なれば、よき伴よと出雲の神の御會議事もなうすみて、結ばせ給ひたる、神を讃むるの歌一つがひ、大社に捧げ給ひしや、否や。

日露戰後中「君死に給ふ事勿れ」との歌をものして、物議をおこし、大町樣と讀賣の劍南樣とやら國家的觀念が、何とやら、彼とやら、爭ひ給ひしも無事御凱旋ありて、さぞや御嬉しかりつらんと、女は女丈に、また、兄弟の情を、くみて、深き同情捧げもしぬ。餘りに放縱に過ぎや、せんかと思はるゝ節もあれど、氣熱溢れて天才の面影、三十餘字の中に躍動す、天才は普通の常規もて律す可らずとか。放縱も氣熱も思ひの儘に吐き給へ。折々、目にせし御作の中、

花に見ませ、王の如くもたゞ中に男は女を守る美はしき莚

花の中の微細の點を摘へ來りて、美くしうも高うも言ひ出でられたる事よ、花に見ませよ、男莚は美くしう、女莚を守るにあらずや、女なりとて負くるものかは、女尊男卑にあるまじけれど、强は弱を守りて優しかれよと言ひなしたる中に犯す可らざる女性の氣品あらはれて嬉し。

肩を垂れ、裾にそよぎし幾尺は王の手にさへ捲かれじなとも。

綠なす黑髮、ふさ〳〵と長う垂れて裾に及び、倘裾にも餘りてそよぎし程のこの黑髮を國王なりとて、捲かすものかは、手折らましとの王の言葉もきかじなと一時は威張つた事もありしを、今は、？との歎き「なとも」の未了語にこもりて何とも言はれぬ味ある樣に覺ゆ、美人の末路を言ひつくせり。

棲みて三年、後は百年、中の一日、犧牲にたまへと來しや、さびしみ。

君と同棲こゝに三年後は百年なり千年なり、御心の儘に、共に棲む可き身なれば、その中の一日せめて今日一日は我が心のまゝに許し給へとあばずれて來しもの、この言ひがたき寂しみの胸、！！一耐百年の中一日たりとも汚しはすまじと歸り行くてふ、意にや、放縱の中に、しほらしき女の情を包みたる處、晶子樣の性格そのまゝかと想はるゝ。

流石は天才、天才よりも鬼才とや言はまし、生れながらの詩の人か。

次號には岡木田治子、伊藤まさ子、長谷川しぐれ、一の瀬初子の方々を御月旦申あげん。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

迷信の科學的研究

(鰯の頭も信心から)

山本迷羊

○

生物の心ほど不思議なものはありますまい。生物の中の動物、動物の中の人間、その人間の心と來たら實に靈妙不可思議なもので、科學の研究が進めば進む程、益々造化の巧に驚かれるのであります。精神と肉體とが寄合つて人間は活動して居るので、この兩者は引きはなすことの出來ぬもの、隨つて何れに勝り劣りは無い筈であるが、所謂高等な人間にあつては精神は主、肉體は從といふ關係になる傾向がある。やかましく言へば一個人の有する精神と肉體との關係如何に由つてその人間の價値が定まるといふことにもなるが、こゝではそんなことはどうでも宜しい。他人が看てゐないと思つて抓み喰ひをしたり、病氣揚句に醫者から禁められて居るにも係らずうつかり菓子皿へ手を出したりするのは、普通の人に有り勝ちのことだが、これは全く精神の方が肉體に負けるからで、大きく言へば、精神の修養が足りない所から起るのである。

○

一體吾人の精神の活動は束の間も休まないもので、人の生活して居る間は絶えずその職務を盡してゐる。自分が爲ようと思つたことを實際に行ふことの出來るのは、肉體が精神の命令に從ふからであるが、これは決して覺醒時ばかりでは無く、睡眠中にも多少行はれるのである。諸嬢も定めし御承知でせうが、私なども幼年の頃にはよく枕にたのむといふことをやつた。お父様やお母様に何處か好い處へ連れてつていたゞく

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とか、學校の遠足でもあるときは、朝早く起きようと思つて、前晩寢るときに床へ這入つてから、他人に知れぬやうに自分の枕に願をかけるので、たとへば翌朝五時に眼をさましたければ、「枕さん枕さん、何卒明日の朝は五時に起して下さいよ」と一心不亂に枕さんにお願ひ申して、その枕を五つ叩く。でこれを三度繰返すのが定法である。私の老母などは今でも往々やつてゐる。勿論眞面目で、決して可笑しいなどゝは思はぬ。

私も母に敎はつて始終やつた覺えがあるが、成るほど枕さんは約束を違へずにその時間に起して呉れることもあるが、どうかすると違約をする事もある。時間通りに起して呉れなかつた朝は、眞顔になつてその理由を母に訊ねると、母上は慈愛溢れる顔に笑を湛へられて、「では枕がお前の御用を忘れたのでせう」とか、「枕も寢ちやッたのでせうよ」なんて仰有つた。私も何だか變だとは思つたが、中學時代なんかにも試驗の時などに前晩に復習ひ殘した個所を翌朝やらなければならないので、明朝はどうしても何時に起きなければと固く決心して、さて枕さんへ一生懸命にお賴み申して置くと屹度それよりも早く起して呉れるから、理由もわからずに調法なものだと思つてゐたのだが、實は不思議でも何でも無い。一言で解決を與へて見れば、枕が起して呉れるのではなくて、自分の心が起して呉れるのである。

○

自分の精神は常に自分の肉體を支配すべきものである。覺醒時に「何時に起きよう」と決心したことは、睡眠中にも精神の何處かに保たれてゐて、それが肉體——身體の器官を刺戟するのである。寢態が惡くて寢れば必ず枕をはづす女でも、氣に入つた髮を結つた晩などには珍らしく枕を外さぬことがある。これは全く、枕をはづせば折角の大切な髮がこはれるといふ考が深く頭に浸み込んでゐるからで、その決心が固ければ固いほど、髮は幾日ももつのである。「齒ぎしり」なども、習慣や病的になつてるのはさう容易くは行くまいが、中にはこの決心一つでなほるのもあるといふ、こ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れは催眠術をやる人の暗示だ。これらは自分の決心だが、他から與へられた刺戟でも、非常に強いのは筋肉の運動を起すもので、例へば兒童を晝間あまり激しく笑はせ過ぎると夜寝ぼけることのあるのもこれである。

諸君が前へ戻るが例の枕の御願懸だ、どうせ自分の決心なのだから、自分獨りで篤と決心さへすれば好い、何も枕を引合に出すには及ぶまいと言ふ人があるかも知れぬが、一概にさうは言へない。精神の極めて健全な人なら、たゞ心で覺悟したゞけで目的を達しることが出來る筈だが、普通の人ではこの覺悟に助太刀を頼んだ方が都合が好い。否、精神の健全な人でもこの方法を採つた方が安全である。他に例を引いて見れば記憶力の良い人でも大切なことには心覺を書きとめておくやうなものだ。枕に頼んだと思ふとどうやら安心が出來るので——氣が弛むのでは無い——これが催眠術に所謂サッゼッション（暗示または刺戟）を與へることになるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だから枕ばかりを賴みにして、自分は寢たいだけ寢て居たら好い時分には枕が起して吳れるだらうなんて呑氣に構へてたんちやア金輪際眠の覺めッこはない。枕は目覺時計の代用にはならぬ。言ふ迄もなく枕の起して吳れるのは自分の決心が固い時である。

神經衰弱者が往々寢小便や何かをするのは、彼等は精神が不健全になつてゐるので禁止の作用が極めて弱く、從つて單純な器械的の刺戟の爲めに飛んだ失策をやらかすのである。故にこれも睡眠中の寢言や齒ぎしりと同じく精神の衰頽（デゼネレエシヨン）の結果に外ならぬ。

○

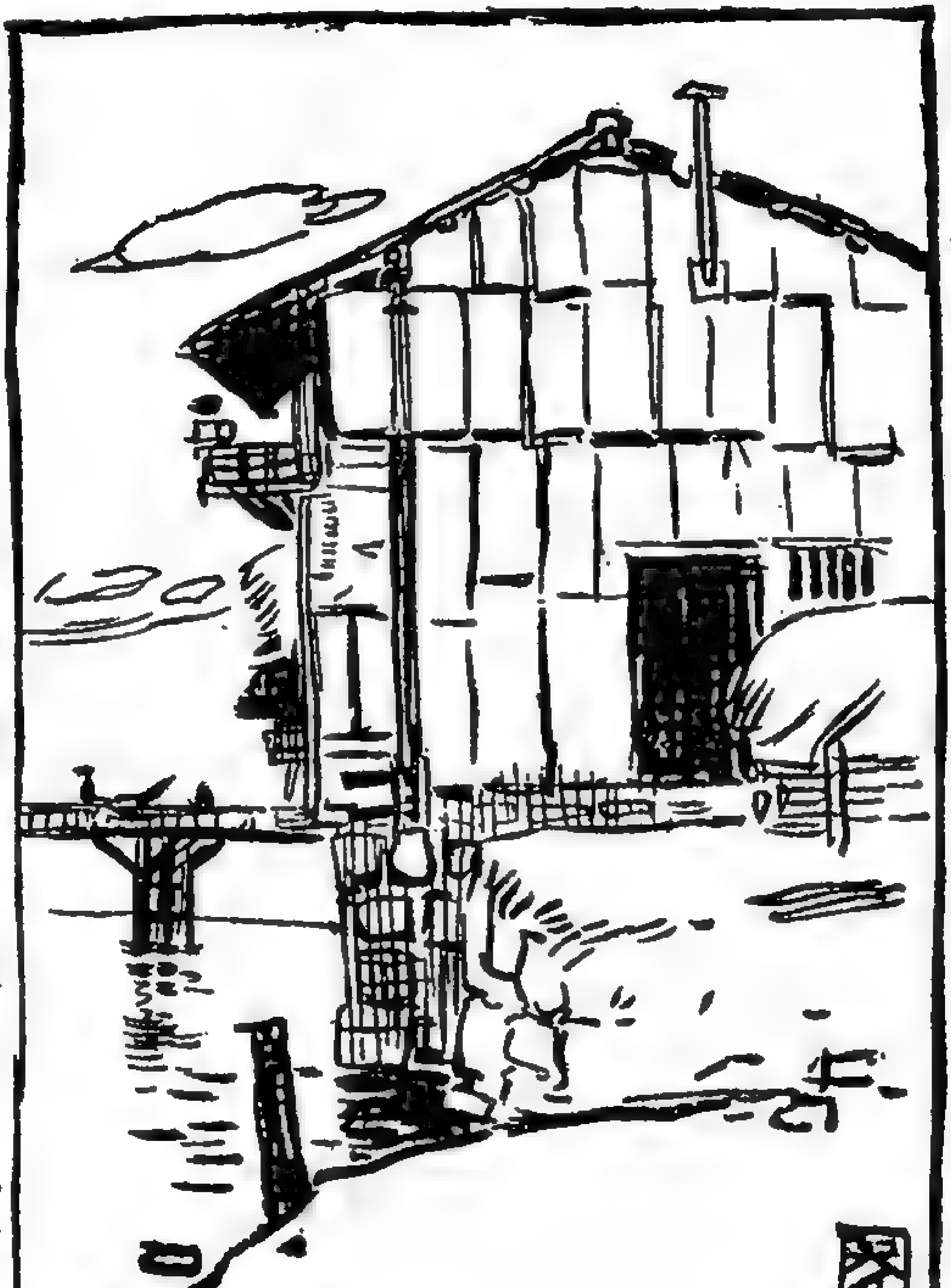
病は心から起るとは昔から耳に胼胝の出來るほど聞くことだが、これは動かすことの出來ぬ眞理で、近世科學の進歩につれて益々その證據が擧るのであるが、西洋でも大にこれを說く學者があつて、ジヨン●ハンタア氏の

「心の或る狀態が病を惹起すことあるが如く、その或る他の狀態は治療の効を奏するを得べし」

といふ主張は確に學界の一大波瀾となつたもので、テユウク氏の新著「健康時及び病時に於て身體に及ぼす心の影響」と題する書の如きはこの種の研究の隨分精細なる發表と思はれる。凡そ身體に起る自然的の活動にしてその當時の特別なる心的狀態の影響を受けぬものは一つも無いといふのが、かの「ハンタア」氏の持論である。實に心は病を癒すといふのは、近世に至つて特に長足の進歩をした科學研究の結果で、醫學の本場たる獨逸の醫學者間には、近來藥劑は病氣を治するに左程の効能なく大抵の病は患者の心がけ次第即ち精神の力で癒ると主張する者が大分あるといふ話だ。實際病氣の中には、患者が精神中に「これは屹度全治るに相違ない」といふ確信を有ては、ほんとに全快するのがある。手近い話が、下痢の如きは（皆とも行くまいが）、若し患者にかゝる觀念を非常に强く抱かせる法があれば直になほるものださうだ。下痢に關しては、現時の變態心理學催眠心理學の泰斗文學博士福來友吉先

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生の面白い實驗がある。即ち、これまでは水を飲んでも何うも無かつたのに、ある機會に水を飲んだところが不圖下痢を起した人がある。でこの人は其後は水さへ飲めば必ず下痢をするやうになつた、無論湯ならば差閊ない。これは一遍水で懲りたので、それが恐迫觀念になつたからである。然るに、この人に催眠術をかけて置いて、これに水を與へ、「これは湯だから飲め」といつて飲ませると、實際



は立派に水を飲んだにも係らず決して常習のやうに下痢をしない。ところが、今度はこれに湯を與へ、「これは水だぞ」といひ含めて飲ませると、實際は湯を飲んだにも係らず下痢を起すといふ。これは決して珍らしくはないことだとは福來博士の屢屢語られるところである。併し普通の心的狀態(催眠狀態でなく)では、現在水を見て湯と信じることは出來ぬから、これを飲めば矢張り下痢を起すのである。一遍水を飲んで懲りたこ

とがあれば、程經つに從つて自分ではその事を忘れたにしても——即ちその嘗て經驗した恐怖は時日の經過につれて意識から消え失せることがあるが——それはたゞ自己の意識外に沒したといふだけで、決して吾人の精神生活（精神活動）の埒外に消失せたのではなく、心理學者の所謂潛在觀念となつて精神內部に保存されてゐて、肉體との間に非常に强い聯想（アッソシエエション）を形づくることがある。

これに就いては種々面白い例がある。ナポレオンが水を恐れること甚しく、川の邊又は橋の上なんかを通るときは生きた心地がしなかつたといふのも、彼が以前の若い經驗の結果であるが、もつと面白いのは、誰の部下だつたか大將の名は忘れたが兎に角ある佛蘭西の一兵士で猛虎をも手摶にせんず一騎當千の荒武者があつた。戰場で人の首を搔切るなんかは屁とも思はず元より可怖いとか恐ろしいとかいふことは厘の毛ほども知らぬ男だが、たゞ一つ不思議なことには、この兵士どうしたのか山寺へばかりは近寄ることが出來ぬ。勿論山寺が取つて喰はうとはいはぬ。又よしや大入道が出ようと若い女の生首が轉げ出さうとビクともするやうな男ではないが、何となく妙な氣がして近づくことが出來ぬのである。自分は元より山寺なんぞが怖くてどうすると齒がゆく思ふがどうも致し方が無い。で或る人がこの不可思議な現象の原因を探つて見たところが、外でも無い、全くこの兵士が幼少の頃に始終守をしてゐた乳母が、幼兒の泣いたり言ふことを聞かなかつたりする度に、山寺へ連れてきますよといつては嚇かしたので、子供心にも山寺といふものは大變怖いところといふ觀念がすつかり頭腦へ這入つてしまつたので、それが後年に至つても拔けないのだといふことが解つた。世の母たるものが小供を嚇すにも、餘程考へてしないと、後になつて飛んだ結果を惹起すことがある。この恐怖の觀念を植ゑつけるといふ上から言つても、小供をちり／＼と呵責るのは考物だらうと思ふ。

癲癇なんかにもこの種のものが往々あるといふ話

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だ。火癲癇が火を見て轉倒るのも、水癲癇が水を見て泡を吹くのも故なくして起るのではない。群集の中で七轉八倒の苦悶をやる人癲癇の半生の歴史は、或は稀代の文學を生むかも知れぬ。

究實、究實。

話が大分岐路へ外れたが、また本文へ立返つて、病には、自分の決心一つで全治るのがあるといふことを大聲疾呼する。さうなると、中にはそんな調法な身體なら醫者も藥も要らないではないかと反問する人があるだらう。御尤な話である。藥を服まずに病氣——しかも輕からぬ——の全治した例は殆んど枚擧に遑がない。澤山の病人の中には、實際病氣でもないのに自分獨りで病氣だと決定てをる人が多いからである。さういふ患者には藥劑は不要なのである。藥を服んだとて全治りはせぬ。たゞ良藥を服んだと思ふ心が必要だ。是に於てか藥を信用すること、隨つて醫者を信用することは病氣を癒す要件とも秘訣ともなる。

我が國では古昔からの俗諺に、誰でも知つてる通り、「鰯の頭も信心から」といふのがある。古人はこれを眞理として信仰し、所謂新しい教育を受けた者は、「馬鹿な話だ」とか「愚にもつかん迷信だ」とか言つて一嘲に附した。否現今でも古人の趣味を嗤ひつゝある者があるだらうが、迷信とは厘毫も相容れざる科學研究の結果は、却つてこの俗諺の人を欺かざるを證することになつたのである。生意氣に人を嗤ふ輩は、他人を呪はゞ穴二つで、更に進める第三者から蔑られるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○如何なる名藥でも信用して服まなければ効能が薄い。「この藥を服めば乾度全治る」と確信して服めば、實際はつまらぬ藥でも全治ることが多い。これ全く我が心で全治すのである。勿論片眼でも鼻缺でも痼病でも何でも全治るといふわけではない。心から起きた病氣は心でなほるのが多いといふのである。前に名を出した例の「チユウク」氏の著を讀むとかういふ例は無數に擧つてゐる。次に一例を紹介して見よう。

○

エヂインバラ(英國蘇格蘭土)のジョン・ブラウンといふ醫者の許へ、或日のこと疝氣持の勞働者が來てどうも胃がわるくて困るから藥を下さいといふ。先生は委細承知して、サラ〳〵と處方箋を書いてその男に渡し、

「さ、それをお服みなさい。で二週間目に復私の許へ來て御覽。それ迄には乾度全治るでせう」

と言つた。勞働者はそれを推戴いて歸つて行つたが、やがて二週間經つと、病氣は何處へ行つたかといふやうにケロケロとした顏をして、さも嬉し氣にやつて來た。

「先生、お蔭樣で悉皆よくなりました」

「さうか、それはよかつた。が、どんな處方を與げたつけかしら。鳥渡見せて御覽」

「へえ、それを服きましたので」

「それは好いが」とドクトルは小首を傾けて、「でも處方箋は?」と訊ねると、勞働者は得々として、

「へえ、先生が仰有つた通り、そいつを服みましたので、へえ、グイッと鵜呑にしちまひました」

と答へた。處方箋は紙だ。勞働者は馬鹿正直に只の紙を呑んだのである。それで病氣が全快つたのである。ブラウン先生はかくあるべきを覺悟して、初から曖昧に"Take that"(それを服め)と命じ、さも自信あるらしく、「二週間經てば乾度全快する」と斷言したので、勞働者はドクトルの實驗に使はれたのだ。馬鹿正直にも程があるが、紙を呑ませられた男こそ好い面の皮だ。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○我國でも私の知つてるので手近い例がある。名前はお預にして置くが、元來が俳人で小說も作れば戯曲も書く（近來は小說家として文壇にその才を認められてゐる。たしか目下は某劇場の座附作者をして居られる）、頗る多才の文士で、由來知人間には奇行を以て知られて居る人だ。その奇行の一として同氏は今日は何處の安下宿の豬措大かと思はれるやうな風體をして外出するかと思へば、翌日は黑七子仙臺平のリウとした風采で出かけることがあるが、こゝに書く逸話は後者の場合に起つたことである。但し汽車の中だとか、先生天晴れ紳士氣取で歸へてゐると同室の奥樣風の若い立派な婦人が急に腹痛か何かを起して苦しみ出したが、乘合の連中は折あしく寶丹も清心丹も持ち合はさぬので、手を束ねて當惑して居ると、氏は何と思つたかツカ／＼とその奥樣の前へ行つて、自分は東京のさる醫師だが幸ひ此所に腹痛をいやす良藥を持合せてゐるから上げませうと、勿體らしく述べ立つて、何だか鼠色の小さな丸藥を出した。見ると例の堂々たる風采の紳士だから、これは定めて醫學博士か何かで所謂神のやうな名醫に相違ないと思つて、その呉れた丸藥をば地獄で佛と呑み込んでしまつた。先生は眞面目な顏をして、それさへ服めば直になほると澄して居た。すると不思議なことには少時するうちにさしもの腹痛がケロ／＼と癒つたので奥樣の喜びは一方でなかつたといふ話である。然り而して神ならぬ婦人は、その有がたく頂戴した丸藥が文士先生御手製の鼻糞丸ならんとは夢にも知る由がなかつたのである。即ちこの婦人には他人の一塊の鼻糞が得がたい名藥であつたのだ。

○又昔から俗に醫者の玄關といふことがある。醫者の玄關といへば堂々たるものに極つてゐる。又醫者は邊幅を修飾するものである。ちよつとしたことで、大抵のお醫者が「お脈を」と言つて患者の手を握るときにポッケットか帶の間から金時計（中には被せたのもあるかも知れぬが）を取出して時間をはかる。これらは他にも効能があるだらうが、主として、患者の信用を得るに就いて必要な事であると思ふ。包めども自ら光輝を發する夜光の名珠ならばいざ知らず、團栗の丈較べに似たる「濟々たる多士」の間にあつては、七子の織し立てと十二時近い眞岡木綿の羊羹色とでは確に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

段がちがふ。醫者の對手が聖人君子ならぬ以上は、昔通の醫者は相應に身裝を飾る必要がある。頭から、安ッぽい醫者だなンて貶してかゝるやうでは、迚も藥の利目は覺束ない。私は矢張り醫者の玄關は阿呆嚇し的ならんを要すと主張する者である。信用しない醫者の與へた信用しない藥はいくら服んだつて駄目な話だ。昔の人はよく御符と稱するものを有りがたく呑み込んで病がなほるといふが、科學の眼を以て客觀的に考察すれば、これにも慥に一面の眞理はある。たゞの紙を嚥むといふ點に於ては、前に掲げたブラウン氏の處方箋を嚥むのと些も差異は無い。但しこれで重病が即時に全治すると考へるのは笑止の極みである。東京土着の人は聞いたことがあるだらうが巢鴨の方に刺拔地藏といふのがある。これは靈驗あらたかだとて參詣の人が却々多いさうだが、此處でも例の御符を出す。で何か祈つて貰つて頂戴した御符を嚥むと、咽にさゝつた魚の骨なんぞは直樣拔けるのだといふが、これはどうも合點がゆかぬ。いくら鰯の頭も信心からだとてかう極端になつては恐れ入る。これと同じことで、愚鈍な善男善女のよくやる何々樣の腐敗した御水を飲むのも、その愚や嗤ふ可しである。

兎に角、藥劑は生理的機能に變化を起させる刺戟(又は暗示)として用ふるのであるから、勿論身體に無害のものでなければならぬ(尤も私は醫者ではないから斷言は出來ぬ、素人考である)。

○

かう述べ立てゝ見ると、次に起る問題は夢想又は神佛の御告である。孝子貞婦などの殊勝な心がけを神佛が嘉して、一夜何々の神が夢枕に立ち、どう〳〵すれば乾度全治してやるといふ御告があつて、自身またはその老母などの年來の重病が忽ちにして癒えたなどゝいふ話は昔の傳說文學にはよくあるものだが、よく考へて見ると、中には研究に値するのがあるかも知れぬ。就中、最も面白いのは聖書にあらはれたるキリストの奇蹟であるこれについては、他日章を新にして述べる機會があるだらうと思ふから、こゝにはこれで筆を擱く一體この不完全な稿は先頃さる女學生の小集會の席上で座談的に御話したものだが、そこへ出席された諸嬢の熱心なる希望により、又自分にも多少考へることがあるので本紙の餘白を藉りることにした、但し自分はこの道の專門家ではないといふことだけを斷つて置く。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

桃に就てのさま〴〵の傳說

林　天然

我邦では、三月のお節句のことを、「桃の節句」と稱へ、昔は、お雛樣の前に、桃の花を飾つたり、桃の酒をのんだり、桃の花のお粥を食べたりして、お祝ひをいたしました。今三月のお節句は、梅の花盛りで、桃の花などは、まだ〳〵蕾るへ、極く小さいですが、昔のお節句は、舊曆であるから、新曆よりは、大そう遲れてゐる。舊曆のお節句は、今年では、恰度四月十五日に當つてゐますから、梅の花は疾に散り果てゝ、桃や櫻の花盛り時であります。桃は、小供の唱歌に「桃から生れた桃太郎、氣はやさしくて力もち、鬼ケ島を擊んとて、日本一の黍團子」とある樣に、お伽噺で名高い桃太郎が生まれ出たといふことばかりでなく、春の花として、麗はしく賑やかなる上、其實が大くて、味が佳いので、古から世間の人々に持囃されてゐるのです。我邦の幼い小兒等は、果物のことをば、何種類を問はず、モンモといふ、抑もモンモは桃から出たことで、桃の實が、果實中最も著しく目立つから、桃の實のモンモが、遂に果物全體の總稱となつたのでしよう。

○

桃は、日本ばかりでなく、支那でも非常に之を持囃して居ります。何故かといふに、漢の武帝が、大そう仙術が好きであつたところ、或日西王母といふ仙女が來て、桃の實十四個を武帝に獻じた。すると其桃の實の味が、頗る美しいので、武帝は此果樹を植ゑて、年年其果實をとらうとした。然るに西王母のいふのには此木は仙木で、下界のものでなく、遠く天界のもので三千年に、たゞ一度實を結ぶばかりであるといつた。其時東方朔といふ侍臣が、斷りなしに其實三個をとつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て食べてしまつた。すると不思議や、東方朔は、長壽にも、長壽にも、困る程長壽をして、九千歳といふ天下無類、古今未曾有の長命を保つたといふことです。

支那人のいふことは當てにならんが、我邦でも之を傳へ、桃のことを「三千世草」と稱へ歌にも

咲きにけりいは井の水に影みえて
三千歳になる桃の初花　　忠房

我くにの桃の初花咲きにけり
三千世すぐべき春のしるしに　　常陸

三千歳になるてふ桃の今年より
花さく春にあひにける哉　　躬恒

三千世へん春を知れとて桃の花
君が園にぞまづ咲きにける　　大進

とあり、いづれも三千年に、たゞ一度花咲いて實を結ぶといふ西王母の故事が含まれてあります。

○

それから、桃については、武陵の桃源といふ有名な物語があります。昔支那漢の時代に、武陵の人が、或日釣竿を携へ、船にさほさして河の流に溯り、奥山に入つた。すると桃の花が澤山咲いてゐたので、船から下りて、陸に上り、先へ／＼と進んで、或る空洞の所に行つたら、二人の男女が居つた、不思議に堪へんから、斯様な人跡の絶えたる山奥に、何うして住んで居たかと尋ねて。そこで二人の男女は、吾等は秦の世の人であつたが、當時の戰亂を避けて此地に隱れ、もはや何百年といふ長い年月を經て來たと答へ、これが即ち桃源洞裏の物語であります。

○

一說に、昔或人が武陵と云ふ所に行つたら、桃の木が、山一面に生えてゐて、其花が雲か霞かの如く、咲き揃ふてゐた。あア、これは／＼實に奇麗だなと、恍乎として眺めて居ると、喉が渇いて來たので、つい桃の花の澤山流れてる小川の水をのんだ。さア大變、いや毒とは思ひの外、其水が非常によい藥になつたとみえ、東方朔には及ばないが、とう／＼三千歳といふ長壽をしたといふこと。以上の傳說によつて、支那人は

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

桃を以て、緣起のよい植物としてあるのです。

それから、また支那の古書には、桃は仙木で五行の精である。故によく邪氣を拂ひ、百鬼を制するのである、人家の門口に、桃符を用ゐるのは、即ち此爲めでまた桃撅とて、地面にたてゝ、家宅を鎭むるのであるといふことが、載つてます。

我日本でも、古事記、神代の卷に、伊弉諾尊が、黄泉國から逃て還らうとしたところが、多くの惡魔共が、追かけて來て、刀で打拂つたり、石を投げ附けたりしても、なか／＼逃げ去らない。さうして黄泉國の比良坂といふ所に來たので、其所にあつた桃の實三個をとつて投附けると、惡魔共は驚いて、悉く逃げ去つてしまつた。そこで尊は、桃に向ひ、汝はよく吾を助けてくれた。此後も葦原中國に居る人民の難儀をば、また吾の如く救つてやれよといひ。桃のことをば稜威神富命と名け給ふたといふことが書いてあるさうです。又日本紀に、桃を以て鬼を拂ふとあり。支那の風習と同じことであつて。桃太郎が、鬼ケ島へ、攻め渡つて、大勝利を得たといふ昔譚にもよく合つてゐます。

○

昔の傳說には附會が多いのですが、縱令附會にせよ、作り事にせよ、桃は祥瑞植物とみなされ、日本では、三月のお節句の祝賀に用ゐるやうになつたのです。今でこそ三月の雛祭には、白酒ばかり飲んでゐるが、昔は上下共に桃の花の酒をのんだのです。桃酒を丁寧に造るには、米

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大斗、麹六升、水三斗に、桃の花一斗の割合で醸すさうであるが、普通の桃の花を酒の中に浸けて置て、其酒を飲んだのです。で此桃酒をのむと、諸々の疾病を追拂ふ上、顔の色が、桃の花の樣に、美しくなるといひて居つたのです。斯の如く桃の花は、酒の中に用ゐられるので、桃のことを一に「御酒古草」と稱へ、歌にも、

のむ人や千代をおくらん御酒古草
かなふ齢の心なりせば

とあります。これから少しく植物學上のことを述べてみませう。

○

桃は、梅や櫻と同じく薔薇科に屬する喬木で、温帶國には適してゐるが、熱帶國は氣候が餘りに熱い爲めか、桃の樹は絶へて無いのです。桃栗三年柿八年といつて、柿は八年も經たなければ、實を結ばないけれども、桃は僅か三年も經てば、花が咲いて實を結ぶやうになります。殊に珍らしいのは、一歳桃とて、種子から芽が生えると、其歳のうちに花が咲き、三年目から、ずんずん實を結びます。

○

桃の果實は、普通球狀で尖形であるが、また扁平形も多く、色も普通は淡紅色、即ち桃色であるけれども、緋もあれば白もあり、紅白の斑色もあれば、咲分けもあり。果實は、基部が圓くて端の方が尖がり、一方に縱の溝があります。さうして、果實の表面は、初めのうちは、細かい毛が生えて、雨や露を凌いだり、蟲の食害を防いだりするのです。それから樹の枝から出る芽にも白い毛があつて、冬の間、寒氣や、霜雪の害を禦いでゐます。それからまた、桃の樹や果實から、よく樹脂が出ますあれは桃の爲めには、膏藥の樣なもので、若し樹か果實に傷が出來ると其所に樹脂が出て、空氣に觸れると、直ぐ乾くから腐蝕するのを豫防せられるのです。桃の外樹でも松、杉でも、漆樹でも、護謨木でも、皆樹脂があつて、傷が出來ると、其所を保護してゐます。

○

桃は梅や櫻の如く庭園に培養される植物であるから種類は多くあります、支那の博物書に、紅桃、緋桃、碧桃、白桃、烏桃、金桃、銀桃、或は方桃、扁桃、扁核桃、綿桃、御桃、或は早桃、秋桃、霜桃、冬桃等の種類が載せてあります。皆實の色や形や或は時期によつて名づけられたのです。

○

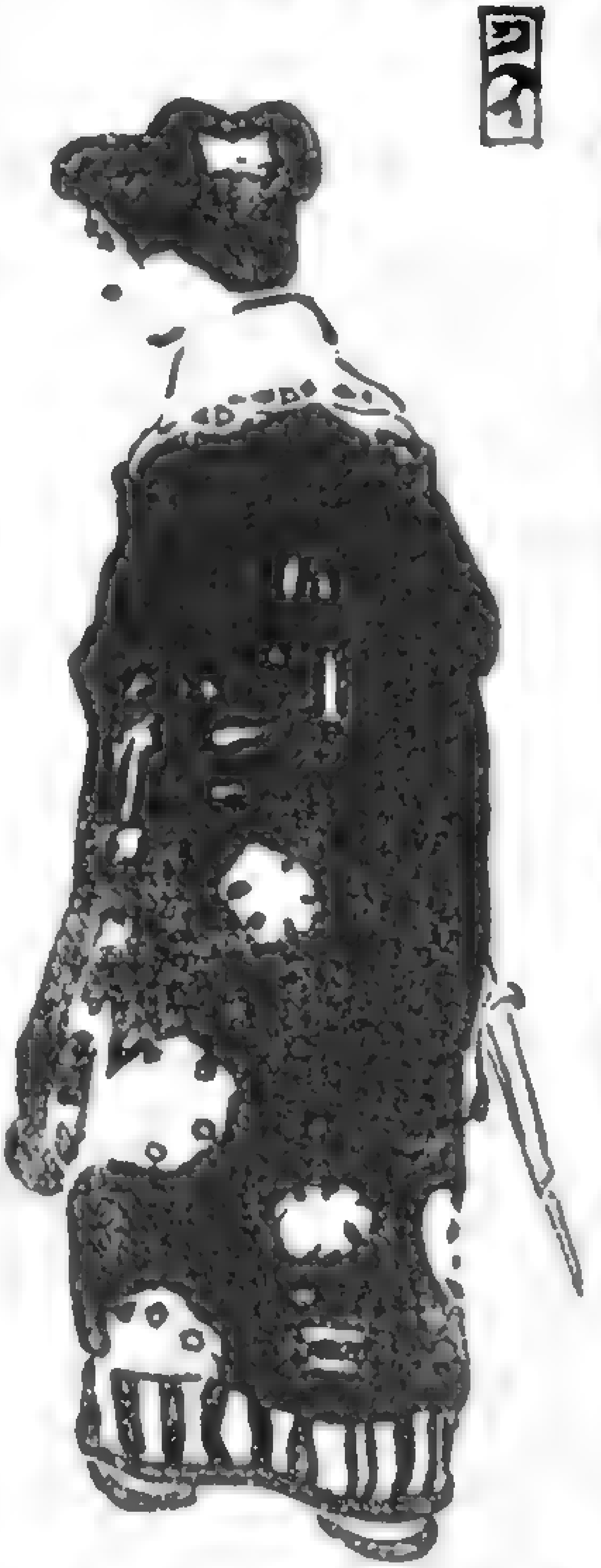
日本産の桃の中昔から最も名高いのは、「西王母」と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いふ譯です。此桃は、西王母の故事に因み、又仙人桃壽星桃、崑崙桃或は唐桃といひ。高さ僅かに三四尺許りしかないので三尺桃とも呼び。丈は低いけれども、枝多く、葉も多く、花も多く、花に一重と八重と紅と白及斑色があつて、果實の味も甘酸くて美しい方です

「阿面桃」といふのは、西王母桃の變種で、高さ四尺許りで、果實を多く結びます。

○「源平桃」は、一つの樹に、紅花と白花との咲分あり、又一つの花にも白い瓣と、紅い瓣とが混じてるので、源氏の白旗と、平家の赤旗との歴史に因み、源平桃と名けられたので、又二色桃とも日月桃とも江戸桃ともいひ、支那では金銀桃と呼んでるさうです。



○「油桃」は、椿桃ともいひ、果實に毛が無くて、椿の實の如く、ツル／＼光つてるので、椿桃と呼ばれ、それからツバキモモが、ズバイモモに訛つたといふこと。此桃は性質丈夫で樹脂少く、いたる所に生長して花も美しい。果實熟すと、紅くなつて、肉が裂けるが、中には「アヲズパイ」とて、熟しても、紅くならないで、終まで青くなつてる種類もあります。

○「垂枝桃」は、枝が下の方に垂れてるから、庭木や盆栽にはよろしい、昔は播州に産したといふこと。「寒桃」は、冬桃ともいひ、色により寒白桃、寒緋桃の二種に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

分けられ、寒中に咲くから、切花としてよろしく、果實は晩く熟し、珍らしくも冬から春まで貯へて置かれます。「菊桃」は、源氏車ともいひ、花瓣が長くて多く恰も菊の花の如くに開くので名けられ。「緋桃」は、花が八重で、眞紅な色であるから、美しい。さうして其花は、容易に散らんで長く持ちます。「箒桃」は、花が八重で、小枝に附ける多くの花が、恰も箒の狀の樣であるから、箒桃といひ。色により、白箒桃、紅箒桃、桃色箒の三種に分けられ、昔はよく加賀地方に産したといふこと。

○

此他近頃また、「天津水蜜桃」と、「上海水蜜桃」の二種が支那から傳來しました。此二種は、果實が頗る大きく、普通の桃の實の數倍あり、其重さ一個で二百匁に達し、其上味特に美しく、これまで桃類の王として園藝家に賞せられて居つた、二種の中、天津水蜜桃の方は、實が尖つてゝ、早く熟し、上海水蜜桃の方は、實が圓くて、晩く熟します。

それから果實用としては、水蜜桃の外、歐米諸國から大統領、世界桃、ルーズベルト、鶴桃、旭桃、アムステンシェン桃、ブリグストメー桃、珠將軍、蟠桃、サルクヱー桃、アレキサンダー桃など、新に輸入して來ました。就中「大統領」は、果實頗る大きくて略ぼ夏蜜柑位あり、外面に微毛あつて熟すと、紅斑が出て美しく、肉は軟かでなく、甘き汁多くて一種の芳香あり、最も夏の食用に適し。併かも樹は丈夫で多く實を結ぶので、桃類中に秀づる、所謂大統領なる名稱を得たのであります。「[illegible]桃」は、果實の大さは三十匁位であるが、最も早く熟し、味またよろしく、樹の性も丈夫であるので、園藝家に知られてゐます。

○

桃は、文學上の異名な、仙木、仙果、五十核、武陵花、阿陽花、玄都、美、鎮鬼、五渡、招害などゝいひ。花は餘り上品ではないが、麗はしくて如何にも賑かであります。山城國伏見の桃は、吉野の櫻と竝び、昔から有名であります。それから産地としては、備前、備後、紀伊、加賀上野、下野などは知られて居つたのですが、近頃東京附近では、下總の市川近邊が、桃の名所としてあります。桃は、櫻ほど賞美されないから、桃を詠んだ歌や俳諧は、櫻に比べると遙に少ない。

我宿の毛桃の下に月夜さし
しづ心よしうたてこの頃　　人丸

垣越に枝さしかはす桃の花
誰も千歳を重れてやみん　　[illegible]仲

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

誰れか又見て忍ぶらん山がつの
　そのふの桃の花のよそめを　　俊頼

薄くこく今日咲あへる桃の花
　酔をすゝむる色にぞ有ける　　仲實

春霞立かくるなん道のべの
　垣根に咲ける緋桃のはな　　昌琢

古寺の桃に米ふむ男かな　　蕪村

○

桃の花は、觀賞の外、食用となり、大小便の通じをよくするといふこと。漢法醫は、桃の仁は、血の疾に効ありといひ、それから桃の實が熟さずに、しほれたまゝ、長く枝に附いてるのを桃梟或は桃奴といひ、鬼瘧寒熱を療すによいとて、冬期採集して藥劑にしました、然し果して其しほれ桃の實が、疾に効あるや否やは知りません。西洋では、桃の實は、消化病に益があるとて、下痢などに用ゐるさうです。桃の果實は、熟すと軟くて甘く、生のまゝ食べるもよろしいが、又砂糖漬としたり、或は肉を潰ぶしてジャームにすると一層甘くなります。それから乾桃としたり、鑵詰に製したりすると、長持ちがするから便利です、歐米諸國では、近來盛に製造します、我邦では信濃の淺間山の麓で、桃の鑵詰を製えて居るといふことです。櫻は果實より花の方よろしく、梨は花より果實の方が勝つてる桃は花もよければ、果實もよろしい、所謂兩用で、觀用と食用とを兼ねてゐます。諺に曰ふ「桃李言ハザルモ、下自ラ蹊ヲ成ス」とは、桃李の如く、佳い果實のあるものは、ジッとして居つても、人が慕つて來る。人間も德のある者は、默つてゐても、人が尊敬して來るといふ譬へであります。桃の實も味ふべきだが、此の諺も味ふてみべきものであります。

女武士道　　　　館田峯城著

上は神功皇后、橘姫の事蹟より下つては王朝、源平、鎌倉、室町より戰國時代を經て幕府に至るまで日本歷史の上に花を飾りし女勇士數十氏の傳記中最も壯烈勇武なりし事蹟を集めたるものにして文章の豫期か懦夫を起たしむる慨ありといふべし。

（定價八十錢　本郷區二丁目　天地堂發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社交はいよいよ奢侈

米國富豪社會では、妙齢の女子を交際社會に出す爲に、盛なる舞踏會を催し、多數の紳士貴女を招待して、華奢を誇る風習のある事は、人の皆知る處ですが、昨年二十六日の夜、費府屈指の富豪で數個の銀行、保險會社、新聞社等の持主であるボール氏が、其愛嬢のマリーの爲に催した、舞踏會は華奢に馴れた米國富豪社會にも殆ど空前の出來事として、同國新聞が面白く傳へた話があります。有餘る黄金と人並勝れて華美好きの心を持つて居るボール氏は、數年前其姉娘を交際社會に出す爲に催した舞踏會にも、多額の費用を費ます、珍趣味を凝らして紳士貴女達を驚かしたので、今度も何か人目を驚かす趣向もがなと、數ヶ月前から頻りに其事に思考を凝して居りました。扨て愈々其夜となつて、招かれた多數の紳士貴女達が、思ひ〳〵盛裝を凝して廣い舞踏室へ入ると、室内には各國の見も知らぬ珍奇な四季の花が、薫ゆる許りに郁々たる芳香を放つて美しう咲き誇り花の上には紙や布で拵へた金色や銀色の無數の胡蝶が止つて居る、會衆は此光景に見惚て陶醉心地に四邊を見廻して居ると、今度は眞物の蝶、夫れは數ヶ月前から心を盡し南米ブラジル、ペルウ及印度等の各國から採集した五百の翅美しい胡蝶が不意に放たれた。蝶は忽ち廣い舞踏室を暖かい春野にして、翩々と胡蝶の舞を舞ひ、あるは舞踏服を着た婦人の美しい肌に戲れた翅を休め、あるは又造花を眞物の花と誤つて造花の蕋を嗅いだり、紙製の蝶を眞物の仲間と間違へて、雄蝶は雌蝶を狂ひ追う。前庭に佛蘭西のルイ十六世時代の華美を盡して龍吐水の如に迸しつて居る噴水の水は、悉く是れ高價な香水で、幽かな瓦斯の光に映じて燦然と輝く庭園の砂は、悉く是れ黄金と白銀とであつた。偖て斯うして華奢を盡すに就てボール氏は何れ程の金を費したかと云ふと、室内を飾つた花代だけが七萬圓、——花の中では亞米利加産の「美人」が一位を占めた——其他凡て此の一夜の舞踏會に費した料金は實に二十萬圓であつたと云ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

庖廚

洋食道楽

小　式　部

◎ソーセーヂ

此の腸詰の調理法は幾色も種類がありますが、何によらず五六斤あれば一時間以内に容易に出来るものであります、次に其の製法の内簡単で容易に出来るものを列記して見ませう、併し此の調理には器械を用ゆると大層容易でもあり又た重用でもあります。

◎ポーク、ソーセーヂ

此の料理を致すに際して若し豚の上肉がなければ腰の肉でも間に合ひます、飼養宜しきを得て十分成長した豚肉は、若い豚の肉よりも宜しいのです、肥え太つた豚の肉は痩せた豚の肉よりも三倍も得です、もし若い豚を用ゆる時分には、先づ皮を極めて薄く剥ぐのです（此の皮を薄く剥ぐと云ふ事は色々の料理に必要です）、而して鋭利なナイフで骨から肉を切り取つて、筋だの軟骨だのを除き去るのです、而して長さ二吋厚さ半吋以下の條片にするのです、それから一斤の肉に肉汁八勺位の割合に致すのですが、肉汁の代りに水でも宜しい、そこへよく篩つた麺包屑一オンス半程（十二匁許）と、鹽を大茶匙に一つ、黒の胡椒を小さな匙に一杯と、よく篩つた紫蘇とを混せるのです、次に薄く切つた皮を漏斗の上に載せ、皮の一方は結んで置き、他の一方より肉を少し宛入れて、器械の把手で徐に廻はすのです、皮の中には肉が軽く這入つて在るのですから、器械を廻す時に注意しないと不可ません、斯様にして腸詰が出来上つた時に他の一方を結いて好きな形に之を捻るのです。

普通には此の腸詰を油で揚げる前に針で刺し置きますけれど、斯うすると肉汁が出て了ふ恐があります、而して適當に出來た腸詰は油の鍋に入れて徐々と揚げて行きますと毀れる様な事はありません、それで完全に揚げて了ふまでには十五分から廿分位要しますが、揚がると美しい褐色に成ります、之に用ゆる油はバタ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でも脂肪でも宜しいのですが、臟腑を揚げる時には一緒に麵包の數片位は揚げる事が出來ます、此の臟腑の皮は豚屋から買つても宜しいが器械を貸つてゐる店にあります、而して此の皮は使用する前には水に浸して置くことが必要です。

◎ビーフ、ソーセーヂ

牛肉の臟腑も矢張豚肉のと同じ方法で出來ます、一斤のビーフ、ソーセーヂを作るには、牛肉が三十匁、肉汁か又は水が八勺、麵包屑が十二匁、鹽が大きな茶匙に一杯、乾して飾つた洋芹が一匙、而して別に小匙に一杯の鹽とを要します、是等の材料で巧く出來上つた時に、之を切つて喰べるのですが、肉汁が澤山に出るものです、けれど味は却つて豚で拵へた方が上等の樣です。

◎ヴェール、アンド、ハム、ソーセーヂ

是は犢肉の一斤にハムを半斤交せるのです而して鹽を半匙、胡椒を一匙交せて鹽梅し、次に篩つた麵包屑一オンス（七匁半）を交せ、之に犢肉とハムとより取つた肉汁四匙を加へて濕めすのです、其の餘の方法はポーク、ソーセーヂと同樣であります。

◎ポテトー、チップス

ポテトーの皮の剝いて、圓形の薄い片とし之を乾かす爲に布の上に擴げて置き、他の布にて之を蔽ひ、半時間程其儘になし置き、扨て蒸鍋の中に半分程煮えてゐる油を充たし、針金の籠に前のポテトーを入れて、之を油の中に入れるのです、而してポテトーが褐色にに成つて縮れるまで靜かに籠を動搖すのです、然る後に籠より取出して、紙の上に置き、火で一分間程乾かし、奇麗な鹽を輕くふりかけて、直ぐと喰べるのです、油の溫度は此のポテトーを揚げるのみならす、他の物を揚げる時にも常に注意しなければなりません、此の油が適度の溫度であるか無いかは、シチューと鳴る音が止んだ時は適度でありますし、又た麵包の小片を投込で見て、若し油が適度であるならば小片は直ちに表面に浮び色が變ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少しく熟練の域に達した人々の為めに左に二三の料理法を述べて見ませう。

総じて料理を美くするには第一に清潔と云ふ事が必要でありまして、殊に人を招待して料理を致す場合などには、料理に用ゆる総ての器具の内容を承知して居る必要があります、而して器具の外面許でなく内面を清浄にして置かなければなりません、而して又た鉄鍋や石鍋は料理用器具を清潔にする為めに使用してはならぬものであると云ふ事も承知して居らんければなりません。

◎ポッテッド、ロブスタアー

此の料理に使ふ海蝦は極く新鮮な物でなくてはいけません、此の拵へ方は先づ海蝦の肉を取出して、之を能く搗いた上で、鮹魚のソースで塩梅するのです（海蝦が半斤ならソースは一匙位もあれば可いのです）それから白胡椒を塩匙に四分の三程入れ、又た蕃椒の粒と肉荳蔲と、融解したバタとを三オンス（二十三匁余）程入れて塩梅するのです、而して是等がよく混和するまで搗いて後、此の海蝦を壺か又は皿の中に入れて圧をなし、之に前の混和したバタを十五匁程注ぐのです、そこで此のバタが十分に肉の中に泌み込んだ時には既う食べられるのであります。

◎ポッテッド、シュリンプス

新鮮な小蝦を茹でゝ皮殻を四分一丈残して余の四分の三を除去し、之をバタ三十匁と肉荳蔲、蕃椒、胡椒とを融合したもので塩梅するのです、而して固くなつた時には既う食べられますが、此の料理は又た最初に小蝦を煮ないで之を搗き、殆ど糊の様に成つた時に前述の薬味で塩梅して調理することも出来ます。

◎ポッテッド、ヴェール、サンド、トング

冷き焼肉か又は犢肉九十匁と、舌三十匁とを取つて、皮及び油を去り、之を細かに刻んで、糊になる位までに之を搗き砕くのです、而して搗て居る内に犢の肉の肉汁二匙を加へ、鮹魚肉汁一匙半、芥子半匙、白胡麻一匙半と、及び肉荳蔲とで塩梅し、臼の底には葫を擦いて十分混和するまで搗くのです、それから溶かしたバタを四十匁程入れて、全體が柔かに滑かに成つた時に取出して、皿に載せ、ナイフで頭を平らにし、溶かしたバタ十五匁程を注けるのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎スコッブト、オブ、ミート

鹽氣の無い肉半斤を綺麗に刻んで、鹽一匙、蕃椒、胡椒の一匙とで調梅し、肉汁にて濕ほし置き、次にパンの一片を細かに碎いて、之を鹽半匙と、胡椒四分の一匙とで調梅し、次に錫製の皿の底をバタにて塗り、此上に右の麵包屑を置き、其上に前述の肉を置き、麵包屑の殘餘を此肉の上にかけるのです、而して之を壓し付け、其上にバタ一オンス（七匁半程）を載せ、之を適當の温度を保つ爐の上に置いて大よそ廿五分間にして出來上ります。

虛弱なる人に適する料理

◎バルレー、ウオータアー

釉薬を施した當壺の中に大麥一オンス（七匁半）入れ、之に水六合程を滿たして大凡そ二時間半程煮沸し、時々攪拌して度々浮泡を掬取るのです、而して之を金巾で漉して瓶の中に入れるのです、是は砂糖で甘くすることも出來ます、若し病人が酸性の物を欲しがる時には之にレモンを調合すると可いのであります。

◎レンシード、チー（亞麻仁茶）

亞麻仁の一オンス（七匁半）と西班牙飲料半オンス程を交せ、此中に熱湯を五合程注して、能く密蔽して置き、冷却してから之を漉します、而して醫者によく相談して冷いまゝ用ゐるとも、又は熱くして用ゐるとも、其は其時の場合であります。

◎ビーフ、チー（牛肉茶）

極く新鮮しい牛肉四斤程を撰び、其を小い片に刻んで脂肪質の處は悉く取り去つて、之を壺に入れ、鹽一匙と冷水一升程を加へて、釉薬を施した鍋に入れて五時間煮ます、而して之を漉すのです、此の料理の時は脂肪質など少しあつても不可ません、又たパンの小片でも入つて居ようものなら失敗して了ひますから注意を要します。

◎エッグス、イン、クリーム

錫製の器に甘いクリーム二匙を入れ、之に四個の卵子を一つ一つ順に割つて入れ、之を瓦斯ストーブか或

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は堪燻に掛けそのです、而して卵子が煮えて了ふと不可ませんから、火加減を弱くし、入勺位の少しく熱いクリームが出來る位にするのです、而して卵子が悉く解けてクリームと融和した時が適度ですから、之を直ぐに喰べるのです、若し之を甘くしようと思ふならば、砂糖を入れゝば宜しい。

◎エッグ、パスター、フォーア、

サンドウキッチ

新鮮なる卵子拾個を煮詰め、黄味を取出しして之を臼で搗き、刻んだ茴芹か洋芹を茶匙に一杯、鹽を一匙及び胡椒を一匙、蕃椒一匙、芥子一匙、乾酪を二匙、上等のバタ三十匁とをよく交せて溫め、クリームの様に——滑らかに糊の様になるまで攪拌し、且つ搗くのです。

◎オムレッ

新鮮なる卵子四個を割り、クリームを食卓用匙に一杯混せ、別に一オンスのバタをオムレッ鍋に入れて溶かし、全く溶けた時前の卵子を入れ、而して能く混和するまで攪拌すのです、それから固くならぬ内に之を出し、熱い皿の上に載せて直ぐに喰べるのです。

香味のオムレッを調理しようと思ふ時は鹽を一匙、蕃椒を一匙、たゝき肉一匙幷に同量の乾酪を混せ、若し又た甘きオムレッを欲するならば、レモン水か蜜柑水を加へて調理するのです、而してレモン水の代りに砂糖を交せても宜しい、但し此の砂糖は能く粉にして篩ふのが大切です。

◎ミンスミート

皮も脂肪も無い所の冷肉ならば如何なる種類でも可い、斯う云ふ肉の九十匁程を切つてよく刻み、葱頭の刻んだのを加へ、又た好不好によつては葫を加へる事も出來ます、さて之に又た新らしい麪包屑を食卓用匙に一つ、鹽を茶匙に一杯、白胡椒を鹽匙に一つ、肉汁を茶碗に一杯、是等を加へて能く混和るまで攪拌し、半時間程其儘にして置くのです、次に鍋の底にバタをよく塗り、前の刻肉を此の中に入れ、金板で蓋をして置き、一杯の水を之に注して、爐にかけ、四十五分間位の間に料理して了ふのです。

但し犢肉や鳥肉を用ひた時には茴蘭蒿の葉を加へ豚肉の場合には紫蘇を加味します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

臺所に金を掛けぬ工風

翠香

▲女中に代るもの

貴婦人は別として中流以下に有ては主婦自ら厨の事に手を卸して爲るをよしとす。近ごろ都會にては水道を引て水を汲に勞する要なく、改良竈も種々なるあり捩一ツにて煮焚するにも昔日の如き長時間を要せず、誰が爲ても同樣に出來上りて熟練をも俟たざる上に、割木を燃かざれは煤に黑む事もなく、烟りに咽び眼を痛むる要もなく、衛生にも適してまことに都合克成たれは、細君自ら炊事を爲ともさのみ時間を費すに及ばず、もし母か妹又は女兒にても手傳ふ人あらは、一朝の仕事は五六人の家なれば二時間内外にて跡仕まひ拭掃除までも爲終らるべし。勿論人各々性質により物事を爲に遲速あれは一概にはいはれねども、是は我が家の實驗にて間違なき所なり、近頃は下婢奉公する者少くなり、少しく氣の利く者は皆職工となりて働らけば金になる事下女奉公の比に非ず。故に近在より出る者十人の中八九迄も工場へ赴き、稀に下婢となる者は、工女にも成られぬ愚物か、又は何か故あるか、とにかく給金の少しにても高きを望み、少し氣に入らぬ事あれば忽飛出していとまを取り、替りを求るも又容易にある事なし。さればさる六ケ敷おさんを雇ひ、給金を出し、物を喰して不注意自墮落の爲に損失多からむよりは、厨事に勞尠く成たる今日なれば、主婦自ら手を下して只走り使ひの爲に十四五迄の少女を雇へば給金も安くてすむべし。又は學婢を置もよし。學婢とは男兒の學僕に同じく、家に養ひて諸課業を教授する替りに給金を出さず、學婢たる者は學費を拂はぬ替りに何事に拘らず使はれて双方物入の尠なき也。但し是は其主婦が人に師として教授するの資格なくては出來ず。洗濯は常に有がちの肌の物は自ら洗ひ、數多き時は人を雇ひてもよし。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲荒れ性の人と米のとぎ方

改良米とぎ桶　是は荒性の人冬季水遣に苦むを免れんが爲に手を濡さずして米をとぐ工夫なり一寸よき發明の様なれど、使用し試るに、やはり手にて爲る程には白げ難く、稗、もみ、小沙利等も去りにくし。それよりは始の水を湯として十分に手にて磨ぎ、二度目よりは水にして、手を入れず杓子にて掻廻しては稗、もみ、沙等を克く吟味し去るか、又は始の白水を流したらば直に米揚桶又は籠に移し、扨磨桶に水を汲て其中へ揚桶にても籠にても其儘浸て、杓子にて掻廻しては引上げ、幾度も〱丁寧に水を取かへては濯ぎ白水の出ぬ様に成たらば止む。斯すれば一粒の米も流さずして精白光澤ある飯となるべし。始を湯にするはさのみ苦しき物に非ず。磨桶に米を入て水を替れば其度毎に多少米粒を流す。又流さじとすれば底水殘りて替らぬ也。序にいふ、手の荒を恐るゝ人は濡手を火にあぶるべからず。克く拭ひて後あたるべし。又何にても手に附着たらば必ずぬるき湯にて洗ひ落して克く拭ふべし。空消炭を手にて掴む勿れ面倒にても火箸にて灰こしに搔入て使ふべし。灰を手

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に着ければ一層あれの増る物なれば也。荒性の薬とて種種有と雖、いかなる妙薬を塗たりとも其手をつかはずには居られず。使用すれば又荒て畢竟其時限りにて何にもならず。只手を大事にして清潔にするにしかず。春暖を催し花咲候に至れば薬をつけずとも自然に癒て治るなれば、為方なしと諦らめて春を俟の外なかるべし。痛し苦しと喋々する人は自身の恥を吹聴するもの也。ちと愼みたまへ。

米櫃は折々掃除せざれば夏季蟲發生す。又心づかぬ隅を鼠にかぢられて穴の明てある事あり。かゝる事は麁人はとかく面倒がる物なれば、主婦自ら注意して米のへりたる折毎に米を悉く廣桶に打あけて、糠粉を羽箒にてよく拂ひおとし、箱の中へ日光のあたる様にして暫時の間曝す。長くはせず。長く日に曝せば箱ひゞ割る也而して再び風の吹通す處にて陰干にして其日中おくべし。又庭に梅樹あらば其葉を採りて、蟲などの付て居らぬかを克く吟味したる上、米の中へばら〳〵と交へ入れおけば米蟲生せず。

▲日々惣菜の撰び方

日々の惣菜を何に為べき歟一寸思ひ附に困る事ある物也。近頃暦の如くして一ヶ年中の惣菜を記し一枚宛めくり去るやうにして柱などに掛置やうに為たる物あり。一寸よき思ひ付也。一ッ買て居間に掛おくもよかるべし。但し日々の菜は其家と人數の多少に依て大に趣を異にせざるべからず。商店などの大勢ぐらしの家にては、惣菜は何にても煮て嵩の膨脹れる物、早く出來る物、其儘喰へる物を可とす。都會の地は薪炭共に高價なれば、多量の火を要する物は不經濟也。たとへば芋豆類は煮るに長時間を要するが上に鰹節砂糖をはり込まざれば甘からず、之を多人に煮るは隨分不經濟なり。刺身は高價の様にても少しの醤油のみにて火を要せざれば差引とくとなる。秋刀魚鰯等の如き下等魚は野菜物の鰹節砂糖を要するに增て遙かに經濟に宜き事、下宿屋等にて多く此種を用ゐるにても知るべき也。さし向ひに下女一人位の家にては少し上等品を用

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

わたりとて知れた物也。小勢なれば何によらずとかく殘り物にて、毎日同じ物を食はざるべからず。飽て困り果はわるく成て打捨る事も能くあれば、何にても少し宛うまくして提くとも翌日には食盡さるゝ位にするを得策とす。味噌澤庵も煮豆類も其日々々の入用だけ宛小買する方得策也。夏季には瓜茄子の當座漬だけは手製をよしとす。入湯は五六人迄の家族ならば家に湯殿有りとも湯屋へ

行方よし。但し夏の行水は宅にてするもよし。十人以上の大勢ならば家にて湯を立るを得策とす。

▲手輕に時間を要せぬ料理

近頃は料理のお稽古流行して、夫人令孃も其心掛あるやうに成しは誠に愛度き事也。從て料理の事をかきたる書も和洋共に多く世に出たればそれらを讀みて研究なさるべければ今更又何をかいはむ。但し彼の食道樂にいへる如き料理を日々爲たらば、朝か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら晩迄かゝり詰で日も猶たらず。おとはさんは裁縫等爲る暇はなかるべし。主婦たる人は裁縫は勿論家内中の種々雜多の用あり、客應接もせねばならず、兒童の世話も捨ては置れぬに、さう／＼食氣一方に掛らるゝ物ならむや。料理書中にも時間の餘り費らず手輕に早く出來るを撰びて試むべき也。何事にても拘泥めば弊害あり、新夫人のお料理の爲に老練の女中が毎度迷惑する話もなきに非ざれば、とかく若きうちは知タカ振をせずして老熟の人には何事によらず其教を受けて、經驗を積み、失敗を重ねて、後漸々と得る處あるべき也。

▲日用品手製の心得

廿人以上もある家ならば湯も宅にて立て、味噌漬物等も手製するを得策とす。京阪及び地方にては是等の事を一家の主婦にして知らざるはなく、雇人も又事に熟せる者多けれど、東京は上下押並て小買の習慣なれば下婢も又其製方を知らず、爲に損失する處多ければ、主婦たる人は萬事を克心得て注意せざるべからず。今爰に大勢の家有て雜用物を手製すると假定して、其心得の概略をいはんに、先

香の物の漬法　凡四斗樽一本に付て糠七升に鹽三升を甘口とす。是より糠を減し鹽を増す程からく成る也。風味克くせんと思はゞ甘くし、久しく貯藏むとならばからくすべき也。漬物を手製するには先づ其樽を吟味すべし、酒樽のあきたるもの最も宜し。酒氣にて風味うまければ也。酒樽ならずば克く洗ひ干て後用ふべし次に大根は宅の後園に干場有らば可と雖、もしなくば干大根を買ふべし。皺を生じて自在に結ばるゝ物を最上とし、折まげらるゝを中等とす。何れにても鬆のなきを撰ぶべし。一把中の一を眞中より少し上を切てみて、若し鬆あらば殘るのも、皆有る物と見て買ふべからず。切たる一本の代價を拂ひて跡は取替るをよしとす。扨大豆か米磨桶等何にても大なる器に糠と鹽を好む處の加減に混和して傍に据置き、四斗樽に先づ底一面に振り敷て大根を押詰て並べ、少し無理に押付るを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

可とす。兩端の隙處は其中の小さき物又は二三に截たる大根を詰合せ或は菜葉を詰るも可し。とにかく隙間なき樣にして、鹽糠の混和したるを一面に振かけて、又其上へ大根を詰ては糠をふり、登上るを押つけて蓋し、强き押を掛け置き、四五日經て嵩減たる際大根を入足して又山盛とし、彌々强き壓をかけて凡三ケ月を經て口をあけ食すべし。

●●●●●味噌の作り方　豆一升に付麹二升五合鹽三合之を甘味噌と云ふ。麹を減し鹽を增す程からくなる。加減は好み次第也。大桶、杵等の器械なくとも米磨桶、擂鉢等に入て擂木にて搗きては混和し又搗き、幾度もして桶又は甕に納め、蓋に目貼して空氣を防ぎ、久しく貯るには何月何日と記して冷る所に置き、甘きは一ケ月許にて使用す。からき程久しく置くべし。

扨此味噌澤庵に付て大に注意を要す。澤庵は片端より一本宛取出し跡を克く押ならして蓋し、上に石を置く事を度毎に怠るべからす。面倒也とて石を除たる儘にし、又は桶の眞中より溜出して其穴を塞がざれば忽ち味變すべし。味噌も又眞中を掘採るべからず。杓子にて薄く剝が如く匕ひ採て跡を克くならして元の如く蓋すべし。穴をあけ蓋せずして置けば忽ち酸味を生ずる也。茎の漬物は始め壓石を掛ければ水生じて溜る。此水を終迄捨ぬ樣にすれば味替らず。然るを東京にては漬物屋より茎漬を買へば運送に便なる爲に此水を流し去て運び來る故、始の中は香氣有て美味なるも、暫のうちに味變じて後には臭氣付き終には打捨るにも至る也。賣店にては一桶口を明れば速くも四五日に賣終るなれば味の變るに及ばねど、只の家にては百人以上の大ぐらしはいざ知らず、大概は半以上も味なく成勝也。故に茎漬は桶買せず手製して大切の水を捨ぬ樣に爲るを得策とす。雇人は何にても面倒がる物なれば、是等の事其理由を懇にいひ誨へて、折々見巡りて怠らぬ樣に注意すべき也。

●●●●●菜漬類の製法　京菜は洗ひたりとて必ず根株の處を二ッ三ッにも切割て吟味せざれば、泥土を含み又は蚯蚓などの潛居る事あれば、一々改て清淨にし、是も酒樽

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に漬れば其味最上等となるなり。醤油樽も亦可也。醤油の様ならば桃はずして其廻りたる菜を並べて鹽をはらし／＼と撒かけ、又やり違に並べては鹽を振り、三分の一計り芥子菜を交漬とすれば大に風味よし。鹽は凡四斗樽一本に二升程の割にてよし。三河島とても大てい替る事なかるべし。壓をかけて水上り菜の嵩減たる際又追漬する事大根に同じ。凡一ケ月にて口を開く。

●初糀漬の法●●●● 大根を半月短冊色々に切り、其菜をも刻みて混交し、凡厚さ一寸許りに並べて鹽を薄霜のおきたる程まばらに撒りかけて又如斯す。麹を少し交ふれば最も上等也。十分に押つけて塩上るを竹の皮にてくるりを掩ひ、塵の入ぬ様にして蓋し、押石を掛け、減掛たらば漬頭へて、寒ければ廿日計、暖ければ十四五日にて漬上べし。香氣有て酒の下物に可也。

●鹽魚の麹漬●●●● 鯛、鮭、鰤、鮪等の鹽辛く惣菜に使用れぬ物を上等品とする法あり。先づ何にてもよき程の切身として一寸五分計鹽出しを為し、麹を椀に半分計の割にて混ぜたるものに漬る。鯛、鮑等の上品を漬れば美味は勿論なれど、それにては經濟にならず。爰には經濟になる事許を撰出て記する也。寒ければ半月、暖かなれば一週間計にて取出し食物とす。味うまき事又前述の雜用品の比に非ず。一家の饗應となる。客の多き家にては随分よき物也。尠くならば幾度にても追漬出來る也。或は今日は肴料安也と思ふ日餘計に買ひて其日の餘分を薄鹽をあてゝ此麹中へ入れ置き、兩三日の後に使用するもよし。但し此麹漬は尾頭附より切身を可とす。

●魚類の味噌漬●●●● 何にても切身を鹽せずに味噌を敷きたる上に並べ、上にも味噌を掩ひて紙をあて、上より手にて克く押ならし、寒には三日、暖は翌日喰ふべし。味噌は汁とし肴か貝類を汁の子とすれば腥き事なし。是又經濟の一ツ也。

●魚飯●● 小さき生節一本にて十人迄は十分に足る。もし大なれば廿人以上にても足る。いかなる肴の廉き時にても生節一本の價にて大勢に足る料理は出來ざるべし。此魚飯は汁の加減さへ宜ければ甚うまく、十人は十人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ながら夜で惑ひなし。加之汁掛飯なる故に衆要らす。俄に人數の増す事有ても、汁に湯をさし醤油を加へて直に間に合ひ至極都合のよき物なれば、主婦たる人は記憶したまへ。其法は先づ生節の皮を剝去り、實を捲りつゝ骨を拔去り、双手にて拜むが如くして揉めば細き粉となるを、人數相應の鍋に湯を沸して此粉を入れ、醤油加減を為し、煮立ちたる時懸汁とす。熱飯によき程宛かけて、向ふには葱に卸大根の藥味を小皿にて銘々に附て出す也。京阪地方にては焼鯛焼鯖にてもすれば、東京の鯖は殊に腥く鯛は高價なれば生節に限るべし。鍋の蓋裏及びふちに粘く粉を杓子にて亦たおとすべし。

●●●酢の手製　始め酒に水を三分の一程割て壜に入れ、餅一片を烘て口より入る程に擘て押入れ、栓をして一ケ月計も經れば酢となる。折節に注意して燗冷にても御酒の卸にても日數經て變味したるにても水と等分にして入れ足し、絶ざるやうに續けゆけば無盡藏にて重寶なり。

●●●糊の製法　小人數ならば買ふを可とすれど、大勢にて夏季は日々洗濯物の絶えざる家にて一々糊を買ふは甚だ不經濟なり。手製は何も六ケ敷事に非ず。粉米を買て石臼にて挽て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

細末どし、石臼なくば丈夫なるきれに包て鐵槌にて打くだき、一夜水に漬て翌日水を去り、味噌同樣に擂るべし。漉餡の如くにして鍋に入れ、煮乍ら一方に立ちて杓子にて掻き交せ居れば次第々々に固形る。全くかたまりたる際、火を停止て茶碗か塗椀を水に濕して糊を盛て大なる桶の瓶に水半分計入れたる中へ俯にして揺落す。斯して日毎に其水を換れば數日蓄へらる。鍋と杓子に附着せる糊をば馬蘭を一二葉切り取て表裏共反古にて克く拭ひて、雑巾にて拭なかれ水氣有ては不可也三角に折り、くせを附けて其上に扼げ落し、三角に折り包み、上を紙にて空氣の入らぬ樣に貼り置き、一方を克く押て糊なき樣にして口を切り明け、入用だけ宛押出して使ふ。之を机針箱等に入れ置くに、夏は一月、冬は其糊盡る迄替る事なく、至極重寶也。中元に出入商人より貰ふ長素麵は、至極の下等品にて、若し家に素麵を不好人計なる時は進物にもならず爲方なき物也。是を利用して糊とすれば有用となる。其法素麵に當分或は三分一程粉米を混交し、煮て和にし、布袋に入れて、壓潰し、擂盆にあけて擂て前同樣に爲る也板ばりに用ゐても可也。勿論水にて薄くときて用る也廢物利用は家事中最必掛べき事なるべし。

●●●●●

おこし煮米　小兒ある家又なくても永日長夜菜を執り大勢間食の必要ある時に良法あり。先づ第一番に樫、桑、厚朴（俗にホウノ木と云ふ）此三木のうち何れにても可し指物屋琴三絃師等にて削屑を賴みて貰ひ集め、之を燒て灰と爲して貯へ置き、次に酒醬油の明樽に一寸餘り底の空所有るやう木竹にて簀を拵へ、（木二本渡して餅燒あみの古く成たるを載ても可也）其上に棕櫚の毛を敷き詰て、其上に炉炭粉礦礫等を敷き、扨該灰を入れ水を徐々注ぎ込み口の下に何にても受て灰汁を取る、（棕櫚を敷かざれは灰粉出る也、籍の古きを剝し用るもよし、）此の灰汁を凡一升を三合斗に煮詰て壜に貯へ、扨米一升に灰汁一合斗の割を以て克く掻き交せ半日許の後水に浸し、翌日に至つて之を蒸して薄平たき箱やうの物に擴げ、干乾て貯へ置き、扨之を煮米おこしと爲すに、凡一升は六升ともふへる事妙也。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

共立會の假裝を見る

小　夜　子

本誌の口繪に假裝會の寫眞が三枚出て居ります　即ち日蓮上人辻說法と中山侍從の郭公、これは女子共立會が新年懇話會の催ふした餘興の一齣でムいます、私は當日懇話會へお招に預って參りましたが、時間が後れて肝腎の講話を拜聽する事が出來ませんでしたけれども、餘興は大層面白いものばかりで、序幕に寄宿舍の失態といふのがあり、番外にお好みの隱し藝があり、辻說法に至っては却々本職も及ばぬ仕草の巧妙、眞に迫って思はず感嘆の聲を揚げましたのは私ばかりではございませんでした。

寄宿舍の失態といふのは三人の女生が自習時間に取散して居る處ろへ舍監に踏入られて大狼狽する體、滑稽の裡に諷刺の妙を極め當世の女學生を警囘する價値は十二分でした。

番外のお好みの藝は本業生の席から容顏花のごとき美人が顯はれて羽衣の一曲を舞ひました、實にや霓裳羽衣の曲、天津乙女の降臨かと想はれて、そゞろに見る人をして恍惚とさせました。それに續いて一妙齡佳人の郭公は簇の扇を舞はしむるの妙技感嘆三嘆を禁めざらしめました。

辻說法の事はいよ〳〵開かれました、只見るこれは鎌倉小町の大路上手奧より斜めに實登樂、正面は名越切通し、彼方に丘の遠見よろしく下手斜めに大路東側の築垣を見せ、こゝに烏帽子姿の放下、筑子を弄びつゝ

あらおもしろの里のさかえや鎌倉の……

と聲ほがらかに歌ふ、束れ髮、切禿の童三四人めぐり見る、歌ひ了つて放下は下手に入る、こゝへ法華日朗は油壺を持ち花道より現はれる、童は面白がりて戯れつゝ、油壺を奪はんとする、滑稽の仕ぐさありて壺面一變、忽ちにして美人（比企三郎の妹）顯はれ、忽ちにして勇士（義太郎善春）顯はれ、情緒纏綿、觀者をして轉た惆悵せしむるの演技一番局面は再び轉じて日蓮上人の辻說法となり妙技神に入るの假裝、觀者をして舌を卷かせしました。

抑もこの女子共立會と申すは、どういふ會かと申しますのに、平生は和洋裁縫を始めとして割烹、家政等普通女子の務めを教授する私塾ではありますが、世間に有觸れた營利的なものとは大に面目を異にして飽迄家族的の組織を以て婦人特有の長所を圓滿に發揮せしむるのが目的ですから、單に技藝の習得許りでなく、精神修養の上に最も深く心を注いで修業の上は一家の主婦として又母親として他日進歩せる社會に處して申分のないやうにしたいといふ望みでございます、これには多年世故に老練した會主卽ち經驗と技術とを兼れた誂へ向きの舍主が親切と熱心から生み出した會で當節柄一寸珍らしい婦人塾でございます會は本郷彌生町三番地です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少女世界愛讀者大會

去る二月十一日、紀元節をトして、少女世界愛讀者大會が、神田青年會館で開かれました。

午後一時開會といふので、行つて見ますと、まだ十二時半頃なのに、はや門前に「滿員」と記した大きな紙札が貼られてありました。あまりのことに驚いて、しばらく門前に佇んで居りましたが、折角愛らしい少女の集まりを見やうと思つて來たのに、このまゝ引き返すのも殘念だと思つて、刺を通じて係りのお方に案内を乞ふと、普通の入口からは入場することが出來ないからとて、特別に裏の方から、入場を許されました。

と見れば、滿員札の掲げられるのも道理、館内は、來賓席といはず、花道といはず、或は演壇の上に至るまで、色さまぐ\に飾りたてた愛らしい少女を以て、立錐の餘地もない程、充ち滿たされて居りました。

正一時、樂隊の奏する音につれて、一同君が代を歌うて、いよく\會は始まりました。開會の辭、祝文朗讀、少女の對話、成女學校生徒の唱歌など、プログラムの順りに運んで、やゝ會衆が倦んだと思はれる頃、久留島武彦氏が「小さき針に注意せよ」との意味で、熱心なお話をなさいました。それから一しきり少女たちの長唄、琴、お話、對話などがあつて、やがて巖谷小波氏が演壇に立たれると、集まれる二千有餘の會員は、手を拍ちハンケチを振つて迎へました。氏のお話は「ありがた物語」といふので、さすがは老練のお話しぶり。今更ならねど、少女と共に深く感服しました。

つゞいて、その日の大呼び物のお伽芝居「雪姫」が演ぜられたが、これまた少女の最もよろこぶところで、森の中の樵夫の會話、かしましの雪の精、最後に森の中から青羽少將が出て來て、雪姫と手を握り合ふ場、いづれもなかく\の上出來でした。かくして、この盛大にして無邪氣な會が終つたのは、午後五時半頃でした。

この會に行つて深く感じましたのは、近來少女が著しく社交的になつたといふことです。學校の學藝會や演奏會とはちがひ、互に知らぬ少女ばかりが集まつて居るのですから、その前に立つてお話をしたり琴を彈いたりするには、さぞ臆することであらうと思はれますが、事實は全くこれに反して居ました。演壇に現はれる少女が皆、少しも臆する所なく、羞かむ樣子もなく、落ちついた態度、流暢な辯舌で、言はんと欲するところをよく言ひ得たのは、實に感歎の外はありませんでした。今後、この種の會合が、ますく\盛んに行はれるにつれて、少女の智識と趣味と社交とは、おのづから進んで來るでありませう。

とにかく、學校と家庭との外にあつて、少女に清き娯樂を與へる會としての第一回は、非常な盛況を以て、大成功を博したものと思ひました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女學生のたべもの

◎東京府女子師範——本校の寄宿舎では食料、薪炭油費、炊夫給料等一切で生徒一人に一ヶ月四圓五十錢で、總ての費用を含んだ一食分が五錢に當ると云ふ、其献立料理かと調べて見ると、里芋、人參、牛蒡、ちくわ、はんぺん、鶉豆、切干大根などの菜類で、一週一度の豚肉當かも一人に二片三片が最上の御馳走である、諸式高直な今日、十五錢で暮すのは却々の骨折に相違ないが、百八十名からの寄宿生は共同生活の御蔭で辛つと暮してをる、何しろ普通の葉卷煙草一本より廉い一日分の生活費を宛がつて置いて給費も何も有つたものでは無い、入學の際十分强壯を保證される者のみを選拔するにも拘らず、師範出身の女教師は概して憔悴した樣な氣力が無い顏をしてると思ふ、校長の話では病氣で廢學する者も無く在學中も元氣であるといつて居られるが、若い盛りだもの元氣なのは當然である、雖然其元氣たるや一種自己分解的のもので、適當の補給を得て居ないから、弱るとなると忽ちに衰へて了まふ、府の當局者たるものに一週間ばかり此處の飯を食はしたいものだ。

◎日本女子大學——の寄宿舎は前者と異つてハイカラである、食料が一ヶ月六圓五十錢だから比較にならぬは當然だが、此處では每日一度は必ず豚、魚、肉、鷄卵の類を調えて居る、料理法も洋風のが多い樣だ、野菜類では甘藷と人參とが最も餘計に用ひられて居る。此校の寄宿は二十七寮に分れて居るが、一寮に三十人内外の寮生があつて、一人の下婢を雇つて二圓宛を拂つて居る、獻立表を見て生活法を見ると、下女泣置いて六圓中は廉いと思ふ、所が此處でも夫々苦心があつて、祝祭日には特別料理があるので、一ヶ月に二度もあるとなると月番炊事係は大迷惑をする、如何平素を節減しても足らない時は翌月分の豫算から臨時繰上げをして貰ふ事もある相だ。

◎實踐女學校——此處は日本部と支那部と二種の寄宿舎がある、日本部は月額六圓中の食費で、女子大學と同じく獻立も殆ど同一である、淸國留學の女生は食料十圓で日本人より餘程贅澤の料理を食つて居る、先づ朝の鷄卵と晝晩二度共に鳥肉か豚肉を食ふ事はチャンと定まつた獻立で、其外に饂飩の樣なものなども食つて居るが、野菜ばかりは決して食事しない、食料品が上等なのみならず其食量が日本婦人と淸婦人とは甚しい差がある、邦人が三合で濟めば淸人は五合は要る、若しお菜が少なかつたり氣に入らなかつたりすると翌日から學業を勉强しないでプリ〳〵する、仕方が無いから甘やかして買い物を喰はしてある、癇癪をやるにも菓子を與へて御機嫌を取つてからにしてる、約五十名のだゝつ子が大きな體格をして每日間食を買はなければ承知しないとは一寸困ものだらう、事情右の通りで十圓の食費では舍監も非常に苦しい相だ。(東京朝日新聞)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短文

甲賞

家庭日記

紀伊　松島双葉

二月二日　日曜　雨

今日は學校も休だしとれやの中で雨だれの音を聞いてゐると、時計がなる、六つ、七つ、八つ、おやもう八時とびつくりして起きる、姉さんが顔をみてクス〳〵笑つてゐられる。

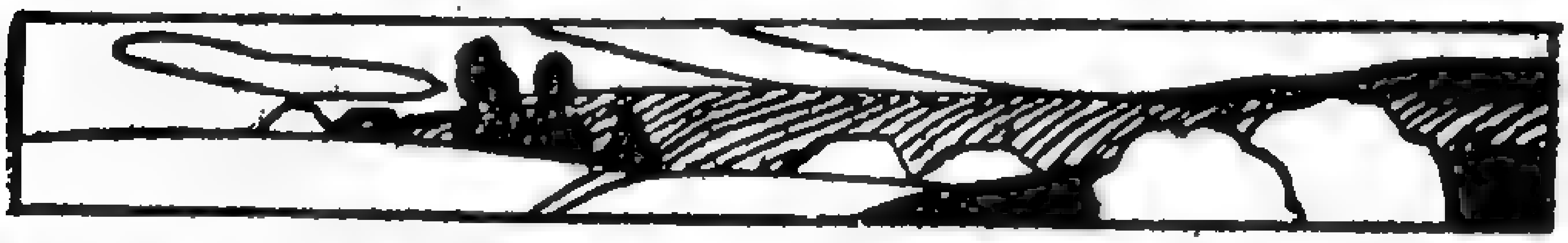
ご飯をたべて銭蓄に向ふ、久しぶりて様々に結つて見たが、何だかおかしいので、又くづして8にまく。裏から姉さんは春チャンをつれて叔母様の許へお貳にゆく。急にひつそりとなつた。机に向つて川端さんへの葉書をかく、序に一寸女學世界への短文をかいて見る。よいのができたので内しようで出して置く、夕方雨がやんだ。水桶をもつて母さんのお墓へ参る、姉さんが歸つておでお土産のお饅違ないたゞく、暫く書をみて十時床につく。

乙賞

渡し船

　　ゆかり子

少しでも近い方にと、今朝は渡し場に廻つたら折あしう舟は向ふ岸についたところ、同じ舟をを待つ人であらう四五人立つて居る、



五分十分待つ間の徒然に、かたへの店のかんばんをよむで見る、やう〳〵船がかへつてばあさんが一人やつこらさとおりる、待ちかれた人達は我先にと乗り込む。一たいにもやがかつた朝で、遠くの山はぼんやりとおもしろく渡添をあらはして居る、「今日は雨かな」と乗合ひの一人が船頭に話しかける、舟が岸を離れると「オーイ」と呼ぶ聲、ふりかへると職人らしいのが驅つける、と舟はまた元の岸につけられて職人を乗せる、いよ〳〵遅くなると氣がせくに船頭はギーイん〳〵とのんきに櫓の音をたてゝ居る。

乙賞

みつちやん

千葉　操子

「みつちやんや、ころんじやアいけないよ、御寺でころぶと三年生きないと云ふからね、ほらそこに石がある非よ」

妹の手を引きながら、花と線香を持つて本宗の前の石たゝみ道を行くと少さい門がある門をくゞつて古い石碑や倒れた塔婆の中の細い道を小中町程も行くとそこに伯母君の墓がある。

「みつちやんこれが母さんの御墓よ、いつぞや伯母さんの所へ行つた時の様に御辭儀をなさいよ、そう〳〵、みつちやんは御りこうね、この御線香をそこへあげて、それからこの御花を、その、竹の筒があるでせう、それへさすのよ、そう〳〵それでいゝの、……さあもう一度御辭儀をして、あゝあぶない!……」。

生垣の向ふで鳥がないてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

丙賞

笹小舟

青山　酒井温子

北山の里の霞を今朝は如何に御覧ぜさせ給ひしや。窓の紅梅は早一片二片散りそめ申候。君が御机の白梅は如何に、あまりに麗らかなる春日に候へば、背戸より例の流に出で候て、笹小舟を君が御許へと只今流し申候。露子の君よ、先頃の白梅の如くこも御みのがし遊ばすなよ。此文御手にし給はゞとく〳〵御門の流へおはしませや、あなかしこ。

川上にて

川下なる　露子様へ

丙賞

のどけさ

牛込　平塚白百合

日当りのよい農家の小縁に、真白な髪の老婆が糸車を引いてゐる、四つ目がきのほとりの梅は、盛りがすぎたのか、なしいほど霜どけの路に紅白の小紋をあやどつてゐる。白い鶏が一片くはへると他の三四羽もかけてくる。梅の梢には、鶯がしづかにないて、老婆のくるま引く手は、時々とまるのである。

丙賞

春郊

兵庫　澤野猶子

若草場に、異国者の男が、のんきに横になつて居る。今まで弁天様の祠で見えなかつたが、池の向ふを奥様らしい女が四五人そろり〳〵と歩いてゐる、石碑のある薬師山の麓から、ひさごを持つた翁が、其孫らしいのに、重包かなんかを持たして、ぶら〳〵来かかると件の男は急に立ち上がつて、チヨイと頬かむりを直して何にか歌を唱ひながらお山の方へ行く、つい近くに鶯の滑かな聲が聞える、何処か知らんと啼く音を頼りに尋れて行くと、春霞の棚引く中から、忽然二人の子守女が現はれた。

春の一日

本郷　佐野くに子

図書館の閉館の口惜しさに、そゞろ歩むに、春の日の面を拂ふ風軟かに、軒端の梅は散つてゐる。知らず〳〵日暮里とかやら行く道に迷ひ出でたが、いつも煙焼く萬丈の中に日を送る我が長閑は云ふ迄もない、せゝらぎ流るゝ水の音、畔道縫ひ行く人、耳に鶏聲を聞き、目には藁屋、軒の下には夢を結ぶ犬が見える。

嫁の車

本郷　西岡古代子

夜の香高き春の巷を、楽しげにさゞめく男女の群に擁せられて、しづ〳〵ときしりゆく嫁の車、明らけき月に淡雲を刷いたやうな面に、無限の喜悦を包んだうつくしさ、両側に縦を作つて見る人々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の夢の奥には、全く異つた國のやうに種々の幻想が躍つて居やう。折しも通りかゝりし袖短く袴の裾高くからげた若き學生の一連、いひ合はしたやうに車上の人をながめて「チエーストー」。

親子の情

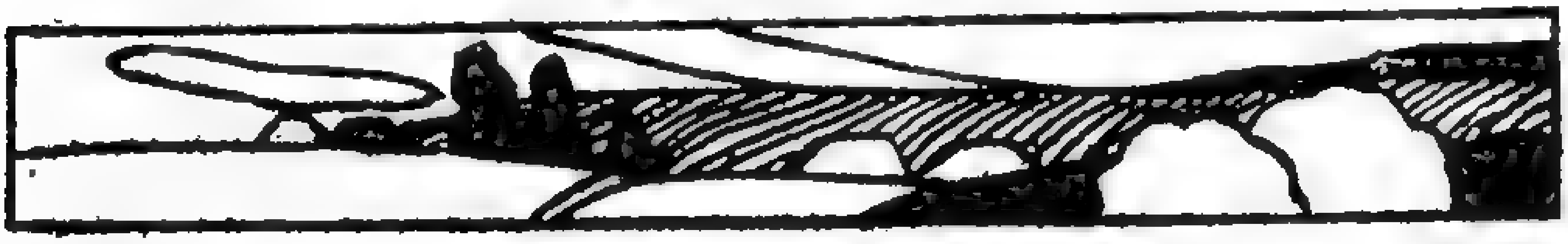
越中　栗山勢能子

暫く床り居りし、御母様のおいたつき、此程頃に募り、再三回の吐血に、身體いよゝ衰弱せられ、永く生き長へ給ふべくとも見えず、彼の悔のなからん様にと、身を犠牲にして、日ねもす夜もすがら、御枕元に侍り看護し参らせば、御母様は、哀れ微かな御聲もて「子なればこそ、斯かる厭はしき病の我をよくもいたはりくるゝことよ、所詮此度は、死なねばならぬが、われ亡き後は、子なく同胞なき身の、いかに淋しく思ふらん」とて、さめざめと泣かせ給ふ、天地を覆す大悲すらも、かくろゝ夜はあるなるを、親の御恩愛の何處までも、いたらぬ限なきことよ、勿體なさに共に咽にむせび入る、夜はいたく更けて、吹く風寒く病室を訪れぬ。

火事

愛知　三井たか子

日はかくれ木枯の音物すごき夕暮、隣の町にやあらん、常ならぬ半鐘の音す、すは火事よと外に出づれば、消防夫はポンプを引き、人は西に東にあはたゞしく走る、火は衝天の勢、木枯いよゝ吹きすさみ、いつ消ゆるとも思はれず、彼の家の人の心やいかならん。



小間使

新潟　田澤千代

けぶるが如く降る春雨も知らず顔に、目もあやなる衣の數々取り出でゝ、あれやよき此れや似合ふと、妾を對手に花見衣に心を悩まし給ふ姫様の御身の上のお羨ましさよ、あはれ妾とても父母居ませし折には、絹の小袖もつゞれの帯も思のまゝに得らるべき心地して嬉しとも思はざりしを、斯くも零落れし身の果敢なさ、げに浮世の栄は短き小蝶の夢にも似たりけるなど思へば、坐ろにありし昔の忍ばれて、ほろりと落す一雫に、あたら姫様の花の衣の袖を汚しぬ。

雛祭

山形　松山瑞枝

迷ひ出された猫の子が、襖の外でニヤーとなく、姉と妹は顔見合せてにつこり障子をあけられて夜風がサツト一とわたり、それが雲の雪洞を動して、桃の花びらが妹の前髪に落ちた、消えかけたぼんぼりの光に、雛の影、桃の影が室の壁に夢の様。

親の情

函館　渦岡あや子

餘り御天氣が好いので郊外に遊ばうと、思ふて、才媛諸嬢の御上手な作文を拝見してゐると、鉄網の丸窓からどうした事か、小雀が一羽舞ひ込んだ、見れば可愛さうに數個所に傷を受けて、朱に染まつてゐる、驚いて水吹き掛け、餌を與へて介抱すると、その

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

甲斐あつて、漸く誕生した。ホツと息をつく。可愛さうに隣のどら猫が取り殺したのだとかで、餌など與へてゐると庭の山茶花に、雀がしきりに鳴く、と見ると、どうも親鳥らしい。聲を限りに子を呼ぶ様、殆ど狂氣の様である、親子の情はかうしたものかと手を出してやると、親はいたはり助けて行つたが、之を見るにつけ、親の情の有難きを、今更の如く思ひやられた。

野遊

加賀　中西かねゑ

嫁菜は枯芝の間に萌えそめ、芹は溝に緑深う見ゆ、二もと三もと摘めば、千代子は前垂廣げて「母様に」といふも嬉し、あたりに笑ひさゞめくは鄰の菫取女ならん、やがて山々の夕映したるに氣つき、家に歸らんとして互に顔さし眺くもいとをかし。

初音

羽前　谷山たに子

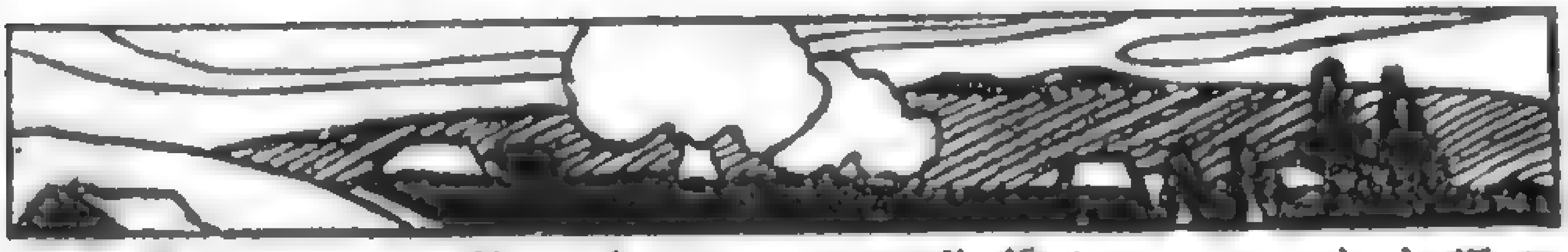
暖い春日和に、緑側でお雛遊びをしてゐた妹は、抜き足指し足で傍に來て、お庭で鶯が鳴いてゐますと聲を潜めて妾に告げる、尾いて行つて見ると、よほど兒鳥とみえて、未だ舌が澁つて可笑しく聞える、間もなく親鳥のあとを尋ねて何處へかいつて仕舞ひました。

家庭日記

牛込　秀子

二月五日

起きてみると雪がふつてゐる、漸う出來たご飯は半煮なので、軟か主義の兄様達にお氣の毒をした、母様は今日は大分よい、お晝頃雪がやむで松が歸つて來たので安心した、晩には皆の復習がすんでから昨日貰つた林檎をいたゞいて炬燵會議を開く、笛の音でもきゝたい様な靜な夜だ。



春風

信州　五味登美子

とう様も母様も四十路をこえられぬ、なかなかの子福者で、朝夕顔を眺めては、良いむこ貰つて、良い嫁とつて、樂しく揃つた顔見たいと、慈愛のこもつた笑顔、愛のあふれしお言葉、げに春風の心地せらる。

友の許に

牛込　市來こと子

春とはいへどまだ堪え難き寒さにて、初鶯のそれだに聞かず、なかなかに心にくき心地致し候、雲井はるかに在はする君は、如何渡らせられ候か、御消息もらし給ひてよ。

故里を思ふ

福岡　穴生照子

「故里には成業をまつ父君母君こそ居ませ、時ならぬ時、歸れと願ふ人はあらじ」との姉の文なるに、返し文參らせんとて、破窓の下なる机前に坐すれば、窓に射し入る片輪月、秋にはあらねど予々に物悲しくて、一入故里を戀しく思ひき。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

涙

北海道　和田香枝子

古きより幾多の詩人が月に花に灑ぎし涙こそ美しくも嬉しけれ。ましで世の罪になきし聖の清き涙の尊さはいとも有難し、「あれも人の子樽拾ひ」、かゝる涙ぞ信もたふとしや、さるを彼のはではでしう粧ひて世の浮れ男を欺く遊び女がそら涙ぞ淺ましくも罪深けれ、かくてこそ更けし夜を獨り淋しう泣きあかしたもふ奥樣もおはすなれ。あはれ痛ましきその涙や。

月の夜

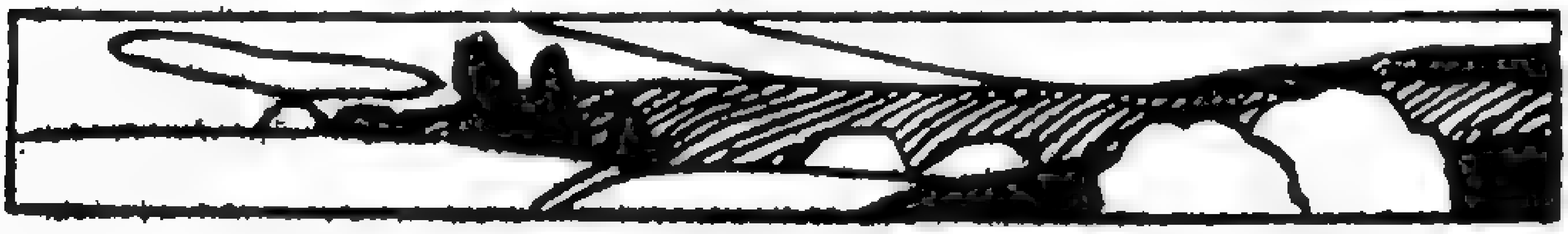
埼玉　小山榮子

湯上りのほて〳〵した顔を、冷い夜風に吹かせながら、町はずれのとある橋の上に來た、折しも月は、るり色に澄んだ大空の眞中に、皎々として、下界の有らゆる物を照して居る、ゆら〳〵と流れる水面にも其影を宿して、きら〳〵と銀波を畫いて居ると其所を小舟に乘つて、美しい月影を、なしげもなくくだいて網を打つ者がある、兩岸の松は颯々として鳴る、濵の音は、遠くよりどろ〳〵と響いて來て物淋しい。

春の美

筑後　下川すゑ子

まん圓き月の櫻の枝にかゝりたる、嵐山の櫻の咲き亂れたる、いとゆかし、道六の、あやしう自然の小羊をならすらよしや、叢の錦ふみしめて、まどかなる蝶の眠りを驚かしつゝあるなりしも、風一しきり吹き渡り、白き花片の三つ四つひら〳〵と散るもいと趣あり。



○

小石川　平塚八重子

靜に暮れ行く夕空の沈をゆるがして遠寺の鐘は今五時を告げ渡りぬ、早や一日の仕事も終へしならん、老も若きも鋤鍬を肩にして、笑聲高く語らひつゝ我前を過ぎて、家のうちへとかくれ行きぬ。彼等の樂しげなるを見て、いとゞ堪へがたくて、浮雲利祿にあこがるゝ思ひを一場の夢と擲ちて、風清き此地に彼等の如くして世を終らんかなど悶ゆる空に、明星の影さし初めて、平和の畑にあはれ夜の使者は來りぬ。

途上の感

愛知　紫　雲女

亂れた髪を藁で結び、身にボロを着て、籠を背負ひ、落ち散る紙屑を拾ふて行く婦人の後より、幼き女の子が母ちやんよい物があつたとさも嬉し相に塵溜の中から石鹼の空函を探し出て持て行く、あはれあの函に何を入れる積りであらう？。

猫の子

信州　とみ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六つになる栄の蕾が、私の居間へ入つて、サカキバラレヨーエンと云つて居るから、そつと行つてのぞいて見ると、可愛いゝ顔をひざの上へのせて、頻りと撫でゝ居りました。

後妻

丹波　荒田菊子

川向ふの寡婦を娶し給へて、嫁を満ぎて此方に歸る若夫婦の、一つ船に乗りて、夫は妻が身を庇ひ、妻は夫がうへを気遣ひ、互にしかと手を取り合ひて、いと睦じげに打語る後妻。淺き情の見えていと床しと思ひぬ。

兄妹

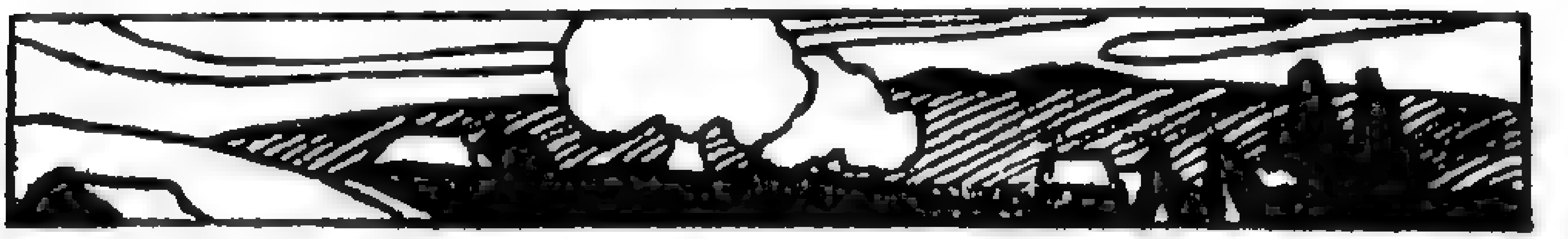
岩代　華香子

繁ちやんは、今ま盛の梅の枝に、大切の凧をひつかけて、下の方から懸命に、徐々と糸をひつたぐる其度に白い花がはら／＼とこぼれる。美枝ちやんは、それを見つけて嬉しげにかけより、一つ一つ拾つては長い袂に入れて居る。

櫻

岐阜　度會よし子

お蔦は、わが幼時の守りをして呉れた、心やさしき正直な女でした、暇を取つて郷へ歸る日に、櫻を庭へ植ゑて、よしちやん、どうぞこれから私と思つて見て下さい、此櫻が大きくなつて花の咲く頃には、立派な方になつて下さいと言ふ、春風秋雨十餘年、此櫻は今花をつけて、毎日わたしを慰めてゐるがさてお蔦はどんな顔をしてどこに居るでせう。



寒菊

姫路　象子

松の緑も、萩の操も、いつれ劣られど、寒菊の霜がれし草々の中より出でゝ一片の塵にそまず、潔く霜とまがふばかりに操節たるこそめでたけれ。

白菊や目にたちて見るちりもなし

蝶

香川　三村早子

はら／＼と散つた栗の花びらは下の小川に落ちて浮いた。何處からか黄色い蝶々が一つ飛んで來て、その上に羽をたゝんでさも樂しげに流れて行く、と數尺向ふに大きな魚がヌツト頭を現はした。

友のたより

岡山　笹原貞子

嬉しい新年は夢の樣に過ぎて、いつしか如月の中ばとなりぬ、今朝田舎に居る親しい友からのたよりが來た、兄弟のない一人ぽちでは、なつかしい友垣からの便り程嬉しいものはない、開て見ると、田舎の舊正月の模様やら何やら、いろ／＼詳しく書て、扨で、毎日／＼庭の梅の花のふくらむのを待つて居たら、漸く此頃咲き初めたが、おしい事にはまだ鶯の初音を聞ないなど〻、風流な事が書てある中から、紅の花がひら／＼と散て清い香りがあた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りに満ちた。

春の海

廣島　加藤しすい

磯松原の烟りわたれる、岩にくだけて折れかへる波、なみ路のすえに浮き立つ雲、なにの妙か之れに如かん。近き舟は行けども遠き帆影はうごかむともせず。霞の上にあらはれたる山、朝日をなかばうけたる島が根、また筆もてうつし得べくもあらず。

寒夜

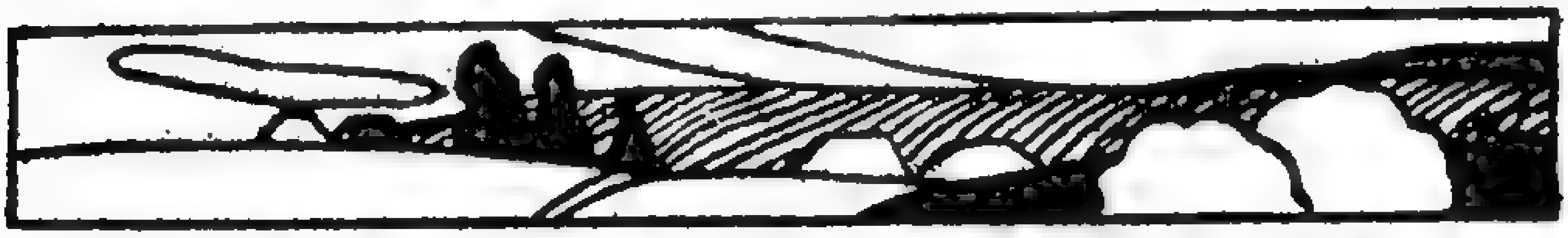
能登　星彩子

孤燈の下に讀書してゐると、身をきるやうな木枯が、時々思ひ出したやうに雪を誘ふてヒユー〳〵と吹く、其度に表窓の雨戸をゴト〳〵と動して荒神が何か求めて居るやうである。机の上にある一輪挿の白椿は一入高い薫を送つてゐる。置時計のセコンドの音の進むにつれて更け行く夜の寒さが身に沁みる。

母を思ふ

鹿兒島　隈元悦

冬の夜の分けて物淋しきに、思はいつしか亡き母上にぞはせぬ、父を失ひしより、残る一人の母上を明暮たよりつたのみつゝ、ひたすらかしづき参らせしを、又もや母には彌の一葉と諸共に果敢なくこそは成り給ひつるを思へば、早一年の昔とは成りけるが、あゝ今夏はふり落る涙止めもあえず。折柄身にしむ木枯の音。



夢

越後　ふさ子

母親に抱かれて、蓮花の薄を握つたまゝ、唇をしつかり閉ぢて、まアほんとによく寝入つたこと、オヤ、秀ちやんは笑つてよ、まあ寝顔の可愛いこと、此度ふだん好きな、花の夢を見てゐるのでせう。

玉章

釜谷　中村千代子

へイ郵便と差出されしを、手に取り見れば、なつかしき友の玉章なり、何事ならんと急ぎ封押切れば、墨あざやかなる筆のあと、そを讀下せば、其後の様子如何、将来の方針聞かされよなど、情けこもりし言葉の數々、戯ならぬ身をさまでみ心に掛させ給ふ眞心の程げに嬉敷き極みなりし。

妾の家庭

京都　相原滿壽子

母上は、父上の衣を縫ふ爲に二階の室で針を運んでいらつしやる。武雄と啟さんとは、母上の側でまゝごつこをしてゐる、妾は師の君に参らする書簡を認めて居る、中ば開いた庭の紅梅に、黄鳥が囀つて居る、東の窓から春風が、そよ〳〵と吹いて來る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一口噺 ◎甲入童

◎

横濱　せい子

姉「お隣の花子さんのお召は餘ッ程擬るつて居てよ」、妹「アラマー何かたかつて居たのかい」、

◎

京都　成田操

女教師「心の作用が身體の筋力に及ぼす影響を教へようと、頸を後ろにまげて、「どうして私しの頸が後ろにまがりましたか」、
女生徒、「耳の後ろに白粉がついてゐるのを見せるためでせう？」

◎

大阪　中村玉子

母「坊や顔を洗つたらすぐ神様を拜むものですよ」、
坊「もうさつきに拜みましたよ」、
母「何と云つて」、
坊「お母さんが毎朝神様を拜めと云はない様につて」、

△

千葉縣　よし子

父親が娘の悪評を聞いて、娘をよんできんぐ＼こごとを言つた揚句に、
父「おまへがいくら云ひ譯しても、火のない所に煙は上らんぞ」、
娘「だつておとうさん、世の中の人はよく水蒸氣を煙とまちがへる事がありますわ」、

△

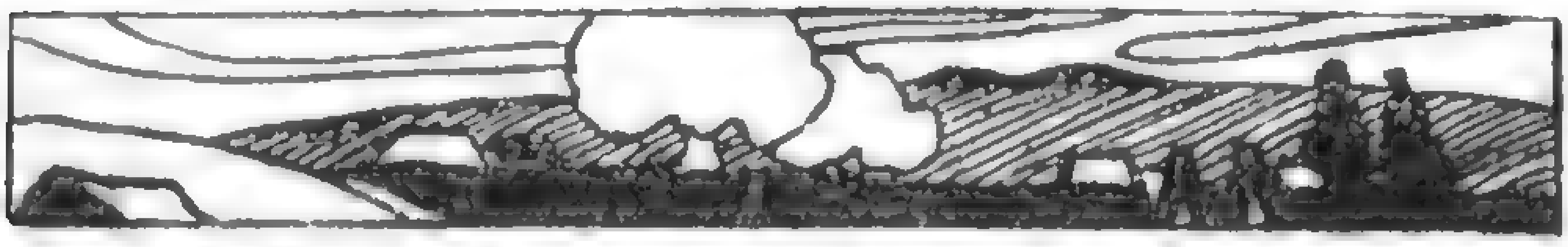
河内　古山月子

田舎の教師生徒に向ひ、
「オレオレと云ふものぢやありません」、
生徒「でも先生も云ふ事がありますよ」、
先生「オレはそんな事は云はない」、

△

廣島　北川きえ子

田舎人馬に米を負はせて町に出る、町の人、「おい、馬がかわいさうだ、一俵位負ふてやれ」、田舎人、「それでは、一俵負つて乘つて行きませう」、



△

駿河　天野ふじ子

甲「國家では三つ兒を産んださうだよ」、
乙「そうかそれでは屹度長生をするよ」、
甲「どうして？」、
乙「だつて三つ兒の魂百迄といふもの」、

△

長野　竹原ふじ

母親、「坊やはお行儀がわるいからおきうをすえるよ」、
子供、「坊は足袋をはいてゐるから大丈夫だ」、

△

京都　藤田靜枝

兄「君ちやん、お咄しして上げようか」、
妹「へー、して頂戴」、
兄「それでは、アル所に子」、
妹「兄さん、ナイ所つてあるの」、

△

白粉

下野　染谷錦子

甲「あなた何故白粉つけないの」、
乙「在學中は白粉つけないと誓へたつておくの」、
甲「それなら坐つておつけなさいよ」、

△

日本橋　金子幸子

田舎者
「東京は天然痘が流行ると聞くが、こんな暗い道へ淨山黙けたらよかんべゑ」、

△

横濱　せい子

妻君「お鍋や、お前は昨夜の地震を知らないのかい」、
お鍋「障紙を〆切つて寢きましたからチッとも聞えませんでした」、

△

伯耆　長田ふみ子

奥様「お三や何でもあたつたら、其物を黒こげにして吸むとれになるよ」、そばより坊「今朝ね一鍋やの頭に石が當つてよ」、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲人事活斷▼

石龍子

▲廣島縣深山の初雪女へ――雙方の家なして平和圓滑に纏まらしむるの任は唯貴女の一身に在り、されば貴女は何事も父母及び姉上夫婦の言に從ひ家に留まつて養子を迎へらるべし。雙方共に末益々吉なり。

▲府下心配婦へ――壬戌の大厄に彷徨ふが如き卦なり。其然働くまで強けれども其方肉を失するを如何せん、兄上の歸宅せざる理由も亦斯の如くなれば今當分の内は失意の境に呻吟せらるべし。然れどもその意志大に強きが故に末幸す吉なり。されば御身は家督を繼ぐを止めて内緣の夫と共に陰ながら兄上の好運を祈らるべし。聊かも憂ふるに足らず。

▲香川縣弁女へ――隣家の果樹實熟して其の枝垣を越え其の實梢に我が庭内に落ちんとするに似たり落つるを待つて拾はんかこれ不正なり。貴女此の理を知らば相約せし人を思ひ切らるべし。今にして思ひ切らざれば將來益す之に勝る苦痛あり。

▲一山村の眞子へ――眞の夫婦は貧富貴賤を論ずべきに非ず故に一旦嫁せば其夫が將來乞食にならうと大臣にならうと終始其の愛を一にして我が赤誠を盡すべきなり。俗に「貧家の鶏には山奥で手鍋提げても」といふ語あり、これでこそ眞の妹は愼れるなれ。然るに貴女は「將來見込ある良人と雖へども若しその目的を遂げざらんか私は親兄弟に合す顔なし云々」とこれ所謂眞の夫婦に非ず。貴女よ貴女良人とならば末に如何様なる憂き目を見ても苦しからずと信ぜらるべき人を擇びて嫁ぎるべし此心になられなば良緣多々幸運續々たり。

▲千葉縣井道不幸女へ――貴女の身の上は、鉄橋の様、鉄小くして十分堪ゆること能はざるに似たり、故に一旦鉄より出で否一ヶ年程良人と別れ身體の回復を計らるべし。元來生兒の屢死亡せしは出產後の房事早くして貴女の身體恢復せざるに先だちて姙娠するが故なり。而して良人は此の理を知らず情慾を遂うせんとすれども今や貴女は多病遂に冷遇せらるゝに至れるなり。世間此の例多し故に此の活斷を良人に示し、良人にして悟る所あらば夫婦の情交圓滿生兒は健全に育つべきなり。

▲京都子無き女へ――生兒は二人乃至三人あるべき兆あり、されば御身及び良人共に然るべき醫師に就きその診察を乞はるべし。深山の櫻時遇るを蟄もその開期の來るや必せり。

▲山口縣 月照寒女へ――貴女の言はるゝが如く「愛する人の爲には財産の如何を問はず」とこれ誠に立派なる眞理なれども貴女は又極端に走りて財産家は愛情なきものと誤解せらるゝが如き風あり。愛情ある人ならば財産家たりとも嫁がるべし、尚一層の幸運に非ずや。獨立上京は將來の故障を生じ甚だ凶なりと知らるべし。

▲宮城縣 蓮目蛙子――卜筮を取つて之を占ふに澄み渡る天空に明月の赫々懸れるが如き卦なり。萬事盈ふる所なく愉快に日を送らるべし。家庭圓滿幸運續々たり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲離れ小島の貴女へ――石貴子幼かりし時、母の寝物語に「或る僧が数年寝道を修業し、大寺の住職にならんと思ひの外、極めて小寺の住職となりたれば不平遣る方なく遂に辭職して更に他寺の住職たらんとせしが何處に行くも職とて周旋する者無し、是を以て日を重ね月を重ぬるに從ひ、衣食にも窮乏し已むを得ず乞食の身となれり。乞食になりても思ふやうに人に恵まず。然るに同職の乞食にて巧に飯食を多く貰ひ來る者を見、彼は如何なる術を以て來むるやを試みんと欲し其の後を尾けたれば彼は家々に回りたる後、これでは餘り多過ぎますといふの外何等の術あることなし。僧不思議に思ひ彼の多く得我の少く得る理由を尋ねたれば彼は答へて曰く、身に餘ると思へば心常に平なり足らずと思へば不平なり不平は常に幸福を得られざるの原なりしと聞き僧は翻然として僅少の寺を大事に住するや、乞食は觀音の姿になつて空に上り給へり云々」と貴女よ是の物語を何と思召すか。

▲丹波の佐賀女へ――職業貴賤の差別無くまで盡さるべし。賤婦小なりとても足らず、憂ふるに足らんや。

▲神奈川某兩親の人へ――富貴榮達を同にせず門閥職業を顧みず學問技藝を貴ばず世間の肩書を余輩に置かず、唯眞人を信じて嫁げば、其夫が將來如何なる不幸に陷るも更に悔ゆる所なく、其愛で終生變へず嫁ひ貴者の中にも人の知らざる艱難ありてなす、況や富貴榮達の身となるに至つてをや。然るに貴女の望む所は高等官と高等ナーベルとの外物に在るが如に思ふが如く高等官を夫にせらるとも、必ず苦に堪りるもの足りて彼々離しまざるの結果を來すべし。されば酒を好む大財なりとも、者る如の人に嫁がれ酒毀の本性を以て仕へられなば却て和氣藹々目出度々々。

▲九州のなやみ女へ――美玉一たび凡人の手に入らんとせしも、凡人その美玉なるを知らず之を捨てゝ却て路の價なき石を拾うて得々たるに似たり、貴女は其の心嶮曲にして恰も美玉の如し。凡々たる陸中中財の手に入らざりしは却て物怪の幸なり、二年も經たずして金銭の妻となるゝや必せり。懊惱する勿れ悲々たる勿れ。

▲北海道AB生へ――父上と義兄夫婦とを圓滿に暮さしむるの道、は唯貴女の一心に在り。貴女にして他へ嫁せんか、父上は不滿足なるべし。父上に乞ふて分家せられんか、兄上夫婦は、益々不平ならん。然れども貴女にして父を諫め「縁三合あらば養子に行くなといふ諺あり然るに分家したる小財産の家に養子に來るやうな人に碌な人物あらざるべし、氣骨なき人を夫にせんよりは氣概ある人に嫁ぐこと私の望む所なり」と理由を述べて他へ嫁せらるべし。嫁せられたる後は義兄夫婦を諫め父上に孝養を盡せしむべし。これ貴女の任なり。此の任を盡されなば貴女の幸、一は日を經るに從ひ續々たり。

▲出羽の死女史へ――之を占ふに兄上は眞箇君子の風致あり、將來益々英傑の人となるゝや必せり。されば貴女は一に兄上の爲めに從ひ口論にて夢を醒せよとならば「ハイ」斯る人に嫁げよとならば「ハイ」何處々々までも學問せよとならば「ハイ」の事も兄上に委せ自己の心を安へずれば御身萬事も亦末益々吉なり。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲中京すみ子へ――文部の檢定は高等女學校が師範生若しくは本科正教員の免狀を有する人に與ずんば受くる能はず。この規則は明治四十二年度より實行の筈なり。されば御身受驗の望は占はざるも到底叶はず、故に三十五六歳なる周圍の人に嫁し、御身も終生專科教員を以て己の任とし無邪氣なる兒童を相手にして暮すこと豈又樂しからずや。

▲宮城郡の孫生へ――我が國人は、兎角鄕土の念に強くして爲に偉大の事業を爲す能はざれば御身夫婦は斷然志を立て遠く海外に渡り、共に居留民教育を爲し堂々と其功績を擧げられよ。御身等の爲め國家の爲め石童子は兩手を擧げてその前途を祝するなり。

▲廣島縣某貴婦女へ――最初の夫は實婦と共に逃げ、第二の夫は肺病にて死し、第三番目の夫は夫の母繼母なるため、家治らず、第四番目の夫は酒に溺りて產を爲さず、これだけ聞かば何人も貴女の不幸に同情の涙を濺ぐも雖も、石童子をして忍びず言はず言はしむれば御身にも二つの大なる不德ありて然るなり、即ち其の一は嫁するに先だち夫とすべき人の身元を精査せざる事、其の二は御身は夫に對して其の情冷にして飽かれ易きこと是れなり。石童子をして女ならしめば、御身が最初の夫に仕へしめても實婦を愛する情を己に移させて見せん。第二の夫に仕へしめてもその肺病を全快させて見ん、若し全快せずば其の家に留まりて長く菩提を弔はん。第三の夫に仕へても、其の繼母を慈愛の舞に感化せしめん。第四の夫に仕へても必ず其夜の酒量になましめ貯蓄心を起させて見せる積なり。然れば如何なる術ありや、唯この溫かき情を要すのみ。

▲日本海岸の北風女へ――猛火炎々として大厦將に燒亡さんとすれども幸に耳妙なる消火器ありて之を消し止むるの光ありと然らばこの消火器の任に當る者は誰か、曰く貴女と二番目の姉上二人のみ、二人互に志を合せ、父上なめ諫め姉上夫婦を謝らしめ子は孝に父は慈に姉妹は友愛の道を盡し春風駘蕩の趣あらしめよ。これ返すぐも御身等二人の赤誠に出づるのみ。

▲青森の樺子へ――之を物に譬ふれば樹木繁茂して陰暗く庭園苔滑にして陰氣濛々なるが如し。宜しく其の樹を切つて快晴なる庭園となすべし、而其の鬱々たる心を退けて爽快なる氣象を作るが肝要なり。貴女が破鏡の歎を見るに至りしも一は貴女の陰氣に原因せり。快活以て再び嫁がるれば男心ほど賴みになるものは天下に無し。

▲下總の白雪女へ――邪は遂に正に勝たず、正義は遂に人を屈服せしむるものなり、而して父上の行爲は邪なり、父上の精神は不正なり、故に母上も御身も節を守り正義を重んじ、我が家の爲め祖先の爲め、正々堂々と諫め父をして財產を濫費せしむべからず、又御身は養子を迎へて家督を繼ぐべき任務あり、必ず他へ嫁すべからず、これ正義なり天の理法なり。

▲愛知白 菊女へ――人に依つて爲せば吉、獨立すれば凶なり。故に何事も兩親の旨に從ひ早々他に嫁せらるべし、身に覺えたる藝は必ずしも今急いで應用するに及ばざるなり。

▲南海の鷗鳥女へ――何事も人の恩を受けざるやう心掛るを吉とす。たとひ製糸會社長は御身の父と從兄弟の間にもせよ、此の人に費用を曾

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りて首尾克く業界の業師となるし恩を受けたるために、義務を盡さしるべからずして一身の前途を誤くる憂あり。故に一兩年は工女となりて其義を果たさるべし。末遂げ害なり。兄上の世帶持にならるゝも亦一兩年の中にして其の妻君選擇の任は貴女之を受けざるべからず。

▲遠州白須女史へ――我が國の民法は、男子家を繼ぐべき定めなれども男子無くば年長の女子之を繼がざるべからず。されば貴女は家に留まるべき身、又先方の三十歳なる人も今や我が家を繼ぎ而も家運を挽回すべき任務あり、是に由て之を觀ればこの縁談は占はざるも不正なること明なり。斷然成立すべきに非ず。

▲新潟縣 秋女へ――其人は心中實に御身を惡むに非ざれども、唯親れに御身を無情云々と云へるのみ。然るに御身は之を眞面目に信じ而も離縁を請求して文部の檢定を受けんかなどの心頭せるを以て。中に在ること自然外に表はれ其人に亦誠を傾注すること足らず、今や其人も眞に貴女を薄情なりと疑ふに至れり。されば貴女は此の際斷然と心を改め幼き我が子の爲め、又御身の爲め此の家より外に天下住むべき處なしと思はるべきなり。此の心になりて其人に接せられなば、和ぎたる顏色儼しき言葉自ら出で、其人も御身より外に天下女無しと信ぜらるべし。嗚呼天下の夫婦何れも皆斯くあらまほしく。

▲佐賀の愛讀者へ――人情は妙なものにして姑嫌なれば、嫁は夫を慕ふ心の愈募るもの、實家に行きて實家に歸り、その兩親嚴なれば又實家を慕ふ情の起るは必然の理、故に御身の身上も此の理を應用して御身に辛く當らるゝなり。されば御身は再び實家に歸りて兩方へ孝道を全うせらるべし、將來幸運多々なるの兆あり。

▲尾張の貧美人草女へ――甲人は乙人に誘はれて、手を携へて深き川を渡らんとせしが甲人は不圖中流の深きを疑ひ、今や岸に彷徨するの卦なり。此の卦に由て考ふれば御身は甲人にして會社へ勤むる人は乙人なりこの乙人とは斷然絶交せらるべし。絶交せざらんか、後には二人共に二るべき渦中に埋沒せんこと鏡にかけて見るが如し。

▲羽後國村子へ――明日ありと思ふ心のあだ櫻夜半に嵐の吹かぬものかはとは親鸞上人が無常の理を世人に知らせんために詠まれたる歌なれど此の歌を誤解して何事も悲觀せんか、人生の義務を盡す能はざるに至る。貴女も貴女飾り絶望に沈まずして貴家と同業なる人に嫁がるゝを吉とす、今年中に其縁あり必ず猶豫すべからず。

▲市内の白百合姫へ――石龍子の占ふ所によれば、御身の子宮病は治療にして行き屆かば必ず全快して妊娠すべき兆あり。今一應他醫の診察を受けられよ。音樂學校入學の事もこの診察を待つて決せらるゝを吉とす。

▲福岡縣 白雲がんじ子――我國にては安倍晴明の古法渓の易學丞四の醫曾法等を根據として之を占ふに。九紫遇の夫婦は何等の凶なることなし。土性金性は所うだとか三碧遇は四散だとかの愚説は後世の無學者ト者が流布したる射利的の言なり。之を氣にかけずして早々結婚せらるべし。目出度事此上なき兆あり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寳さがし解答の成績

二月一日發行の本誌に於て擧行したる懸賞寳さがしの新趣向に就て、解答を寄せられたる諸君は却々多數にして、多き時には一日五千通以上に及びたれば、これを選するに數名の事務員を備ふて調査せしめたる程の盛况なるが、二月廿六日即ち〆切前三日までに接手したる解答端書の數は、實に三萬八千六百二十八通といふ大數に及び、その中合格したる數は二萬九千八百七十五通と註されたり、即ち解答端書數の七割强は合格致し居る計算なり、さて右合格の分はお約束に從ひて〆切次第早速抽籤に附し一等より八等まで六百三十八名の當選番號を定め、其の結果を四月一日發行の紙上に發表する事と致し、賞品の發送は右當選人名の發表と同時に開始する事と致すべし。

解答——寳は人々の頭の中にあり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

虚榮の生活家

藤なみ子

姉夫婦の名が世上に持囃さるゝにつれて、光代は己が隠れたる生活に味氣なき心地がした、我が夫は徳望もあり、學問もある人だのに、何故か迂拙きよと、さはれ五年ぶりに都に住へる姉を訪ぺく志したのである。

私が上野へ着たなゝ、姉さんは乾度停車場まで迎ひに來て、よく來た、逢ひたかつたと喜んで下さるだらう、私も一郎をお目に掛けて丸々とした肉附を褒めていたゞかうと、優しき姉が面影を思ひ浮べて、いぶせき旅路もたゞ嬉しさに醉ふて居た。

汽車の便はありとは云へ、乳呑兒を携へて、越後からの一人旅は容易でない、プラットホームの雜鬧に揉まれて〳〵改札口を過ぎた頃には、心は身に添はぬやうであッた。

乾度迎ひに來るだらうと待ち設けた姉の姿の見へないので、仕方なしに帳場の車を雇ふて小石川へと車をいそがせ。切通しの坂を上ると記憶に殘る商家の軒並いつぞや姉と二人で夜店を買物に歩ひた事など考へると、新花町の小ぢんまりした住居、動ぎ出すやうな義兄の卓二の笑聲切の長ひパッチリした姉の眼元、夫婦差向ひで居た長火鉢、自分の居間の三疊敷、折々顔見交はした玻璃窓、實造も光ちやんも雙方の同胞だから本人同志が進むで居るならと縁物語を立聞した時の嬉しさ。考へ出すと胸の動悸が高まるやうで、若い血汐はまた燃えて來る、光代は姉の温き胸に憧がれて僅に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

身を支ふるやうな感じがした。

「奥様此處邊ですかへ。」と車夫は足を止めて振返へつた。

「えエー」と少し狼狽て、心づくと車は目白坂を上つて居る。

「私も初めてだから知らないが、細川様のお邸の前で石の門があるさうですよ。」

「はアさうですか、お名前は？」

「杉田――」

「よろしう御座ひます。」と車夫はまた走け出した。

姉さんは乾度待つて被居るよ、私には親にも同胞にも唯一人の姉さんだもの、思入れ甘へて叱られよう、私の不相變呑氣なのには姉さんもお呆れなさるだらう姉さんは却々外見張りで髮でも着物でもきちりとした事がお好きだつた、其に義兄さんは金儲けが上手で、立派な邸もお買ひなさつたといふから、俊ちやんなぞ嘸ぞハイカラな、美しいお孃様におなりだらう、久雄さんのお髭はと思ふ途端、ガラ／＼と敷石を軋る音がして、厳めしき玄關前に車夫は梶棒を下して居た。

車の音を聞きつけたら、何はさて置き走け出してと優しい姉を豫想して、思ひ設けて居たに引換へ、二三度呼でも答へもない、癇癪まぎれに車夫の引た呼鈴がけたゝましく奥へ響たのであらう、狼狽たやうに十五六の小娘が取次に出た。

「お國から來ましたつて、奥様にね。」光代は馴れ／＼しく云つて上へ上つた。

「左樣で御座いますか、どうぞ此方へ――」女中は先に立つて案内をする。

室は廻縁の南を受けて沈丁花の香ゆかしく乙女椿が軒近く咲いて居る、八疊間の違棚と並んだ床前には探幽の軸が掛けられて、布袋の置物も神々しひ、二枚の額は蘇東坡であらう。

「私、姉さんのお部屋へ行きたいのよ、改つたお客じやないのですから。」光代は一郎を抱き上げながら迷惑さうに女中を見た。

「只今お召更へで被居いますから、どうぞ此方へ。」八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

反の座布團と共に桐胴の火鉢を進めて恭しく引下る
光代は物足らぬ心地がして彼岸櫻の挿花を眺めながら
莊嚴と控へて居た。

「失禮しました、お待せ申しまして。」と華かな聲と共に障子が開くと、藍菊鼠にこぼれ松葉の江戸褄の重ねに、千羽鶴の繡珍の丸帯をしめた目の醒めるやうな姉の姿が現はれた、赤い手絡の丸髷は十二を頭に三人の子供の母親とは思れない。
「どういたしまして、久濶で。」と顏を上げたが、姉の取濟した樣子に氣を打たれて、物怖したやうに下を向いた。
光代は姉の若々しく婀娜なのに驚いた如く、富子は妹の田舍びて年老けたのに呆れたのであらうやがて時候の挨拶が濟むと二人云ひ交したやうに、お變りなさつてね、と云つた。富子の眼には明らかに輕侮の光が見えて居る。
「此間から東京育兒院の爲めに慈善演劇が明治座にも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るのですよ、私も是非と云はれて賛成者の一人になつてますの、今日は私が委員の當番だもんですからね、是非行かなくちやならないのですよ、お迎ひにと思つて居たんですけれど、今朝から髪だ着物だと騒いで居たもんですからね、せめて車だけでもと思つたけれどそれもつい遅くなつてね……」
「いゝえ、どういたしまして、お忙しく居らつしやるのですもの。」と何氣なく云つたが姉の餘所／＼しさがいつそ悲しくなつた。
「東京は大層變りましたつてね、其にお引移になつたので、もう解らないかと心配しましたの、でもね迷兒にもならないで參りましたは。」
「オホ……そんなに老耄れなくても可いぢやありませんか。」
「でもね姉さん不思議なものですのね、私など彼麼にお轉婆で御座いましたけれど、子供が出來たら自然心が大人振て眞面目な女になりましたよ子供は女の生命ですはね。」
「おやさう。」と俊子は眉をひそめて妹の膝に居た一郎を見たが、
「賢造さんは御丈夫ですかへ。」と直と話を他に移した。
「難有ふ御座います、いつも相變らずで……皆様によろしくと申ました、今年の夏には皆様被來つて下さるやうに……。」
「エ難有う、越後に避暑も氣が利かないからね、去年は久雄さんが參つたつて、此間も其話で大笑ひさ――賢造さんから、四角四面に眞理だ良心だと責めつけられたので僕は生命が縮るやうだつた――つて。」
「おやさう、私ちつとも存知ませんで。」
「いゝえね、馴れて居れば何でもないでせうよ、御亭主のお屁に好ひ臭だと云ひますからね。」富子は美しい齒を見せながら「ホホ……」と冷やかに笑つた。
「それでは失禮をいたしますよ……、華族方の奥樣なぞ、本統に三月のお雛様のやうで、飾り者には佳ひのだけれど、いざとなれば何の役にも立たないのですよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

それでね是非私に早くからと發起人からの頼みなのですは、縁の下の力持ちで馬鹿氣きつて居りますけれど渡りかゝつた橋だからね……。」

頸にかけた金鎖を爪繰りながら、ついと立つて縁側へ出た、光代も續いて後を追ふたが頭に燦く寶石の光さへ、何となく自分を侮蔑るやうで、四年前に別れた懐かしい、嬉しい姉とは思はれなかつた。

* * * * *

叔父さん、叔母さん、と五月蠅きまでに慕ふて呉れた芳雄と國雄は、曉星學校に寄宿して居るので、七ツと四ツの幸子と君子が六疊間に玩具を擴げて遊んで居る。

「幸さやん遊びませうか、嬰ちやんと一緒に遊んで頂戴な。」と光代は笑ひながら側へ行つた。

「嫌よ――」幸子は無愛想に頭をふる。

「何故？、幸ちやんの嬰さんの時には、始終叔母さんと遊んだのよ。」

「でも、田舎者になつたんだもの。」

「おやさう、幸ちやんも田舎へ來らつしやいな、どつさり好いものを上げますから。」

「嫌だわ、此間お父さんが云つてたわ――賢造は時代後れの馬鹿者だつて、それから今朝も母さんが云つてよ――野暮な、みつともない姿をして同胞だなんて來られると雇人の手前も恥しいつて――。」

「さう、幸ちやんは能く解るのね、オホ……」と笑ひにまぎらした、胸は抉らるゝやうに苦しい。

俊子は演奏會の準備とやらで日が暮ても歸宅せぬ、主人の卓二は四五日前から旅行中との事である。

「旦那樣は？」と光代は幾度も女中に尋ねた。

「もうお歸りなさる時ですが。」と女中は煮え切らぬ返事をする、手持無沙汰なので會社の方へ電話を懸けると四時頃にお歸りとのことであつた。

夕飯がすむと間もなく、旅の疲れに堪へぬので光代は一郎を抱えて床に就いた、眼を閉ぢると疊も天井も動くやうで山や畑が後へ後へと逆行するやうに見える突然我家の屋根が見えると、田の畦には夫が鋤を突ひ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て村の若者と話をして居る。
「君等は僕を文學士だなんて敬ふけれど、學士が何で貴いものか、本統に偉ひ人物は己を欺かない人間だらうね。」
ピイと烈しい汽笛が鳴つて汽車の進行が止まつたと思ふと襖を隔てゝ子供の泣聲がする。
「母樣に告口なぞなさいますとお口にお灸をいたしますよ、幸樣は善い娘ちやんね、此度緣日でお田をたべさせて上げませうね。」
光代は夢のやうで思はず耳をそばだてた。
二階の方にバイオリンの音がやむと、艶妖かしい笑ひ聲がして梯子を降る足音がする。
「……兄だつて義姉だつて、私にとやかう云ふ權利はありませんわ、あんな巫山戯た眞似をして居るのですもの、妾を持つたり、藝者を買つたり、役者と騷いだりして居る人達に神聖な戀が解るものですか。」
「僕等だつて、餘り神聖と威張れませんよ。」
「知らないわ……」とくすぐるやうな笑聲がして足音は廊下の彼方へ消えて行く。今のは確に主人の妹役子が書生とふざけてゐる聲だなと光代は思ふた。
「ヂヤーン」の鈴の音高く中玄關の戸を閉ると共に、
「旨くやつてらあ――」と茶の間の方に女中の聲がする。
「あいたゝ――」と笑ふ聲と共に、
「竹や――痒いよう。」と幸子はまた泣き出した。
「五月蠅いね、疱瘡うゑれば痒ひのが當り前だわ。」
「春公は何處行つたい。」
「何所をうろついて居るのでせう、這麼に晩くまで外に居て、君子さんがまた風邪を引くは。」
「構ふものか人の子だあな。」
「ホホ……」
「アハ……」と呑氣さうに笑ふ。光子は思はず眉をひそめた。
外には風の音がして――馬鹿に寒くなつたなと――男は嚔をする。
「倉さん、まだお迎ひに行かないかへ、奥樣がお待ち

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

おねですよ。」
「何に九時に閉場たつて枡酒家で二次會が開かれるのだからな、十一時だか十二時だか解りやしねえや、せめて旦那のお留守の時でも俺アこれで奥様贔負だせ。」
「さうともさ、たんまり握らせられて居るのだもの、けれどもね、私だつて奥様がお氣毒さ、此様な大な構をして居たつて、相場の上り下りで隨分火の車の時もあるからね、其麼時に限つて旦那樣は御機嫌が惡ひ、高利貸は居催促に來る、指輪からお召物まで六一銀行の倉に這入る。」
「それは山師の常だあな。」
「でもね、景氣の好い時には、旦那樣は待合這入りでちつともお歸りなさらないのだもの、それに烏森の方にはお子さんさへあるつて云ふじやないかね、自然奥樣だつて、彼様なるわ。」
「其だつて俺の女房になる奴あ幸福だよ、金もなければ借金もなし。」
「オホヽヽヽ。」
「アハヽヽヽ。」とまた笑ふ。
幸子はもう寢たのであらう、いつの間にか啜泣の聲も止んだ、君子はまだ歸つて來ぬ、柱時計は眠た氣に九時をうつた。
光代は床に起き返りながら嗚呼恐ろしきかなと溜息つく〳〵無心に眠る一郎の頰に接吻しながら頼もしき夫の愛に泣いた——我身は實に幸福である——。
虛榮は人を害ふ醸酒である、愛なく眞實なき家庭の行末はまア如何になるであらうか。

磯の悔悟

寶子

宵月晴れし熱海の濱、男波女波の寄せては返す礒際に佇んで、湯上りの體をひや〳〵した濱風に嬲らせながら、恍惚と沖の方を眺めて居る青年紳士がある。
漫々たる相模灘は一面に月光を帶びて、とろりと凝んだやう。沖には二三の漁火が點々影を波に浸して瞬

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いてゐる。南の方大島の邊に一塊の叢雲が、霽れきつた大空を突つ切つて、次第に擴大しながら、北へ〱と馳せ去つたあとは、再びもとの清々しい月の夜に返つた。すゞしい潮風が絶えず、流れるやうに吹き上げて來る。

「朔郎樣、もし朔郎樣！」

突然背後から呼び掛けられたので、始めて我に返つたやうに振り向いた男は、廿六七の顏色の白い、脊丈のすらりとした立派な青年である。

身には白色の浴衣に、羽二重の小紋絞りの兵兒帶をぐる〱卷いて、何所までも東京風の氣凜々とした扮裝、顏貌なら樣子なら、天晴れ紳士の卑しからぬ人柄を頷首るゝのであるが、何故か眼の冴えの曇然と濁つて、年齡にも似氣なく、何所やらに神の疲勞が微見ゆる。

聲を掛けながら、恐る〱磯づたひに、番下駄の覺束ない足取で、此方へ步を移して來るのは廿歲許りの潤るやうな若裝りの細君姿、眩いほど美しい顏は半ば月に出で半ば影に入つて、ゆら〱と揺りもあへぬ水色の浴衣、婀娜な紅色の帶を胸高に締めた身の風姿には、未だ何所やらに初々しい娘風が殘つて見える。

青年紳士は眼を瞪つて、不思議さうに其方を眺めて居たが、近づくまゝに愕然として、

「あ！坂巻の須磨樣。」

と思はず口走るやうに云つたが、忽ちさつと顏色を變へて口を噤んで了つた。

二人は暫し、無言の境に陷つて居たが、青年紳士は態てその俯目になつた婦人の大丸髷を忌々しげに見遣つて、

「いや、最早坂巻のお孃樣ではなかつたのだつけ、失敬しました。暫くお目に懸らなかつたですが……何日此地へ？」

「はい、數日ほど前に……」

と細君は俯向いたまゝ口の中で答へた。

「お一人りで？」

「いゝえ……」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『ぢやお連れがお有んなさるのですか。』

と青年紳士は苛々しく問ひ返した。問ひ返されて婦人も漸々心を決したやうに、屹と面を擧げて、

『所天と二人で御座います。』

『はゝ、蜜月旅行ですか、それあお樂みな事でせう。』

青年紳士は努めて冷かに云つた意であつたが、其の聲は怪しく顫へてゐた。而して斯く二人の相向つて言葉を交ふる事の、彼は堪へ難く苦痛を感ずるもの〻やうに、稍々傾きかゝつた月影を要ありげに瞻げながら、

『いや餘り遲くならんうちに歸りませう。須磨樣、僕は直ぐ向ふの朝陽館に滯在して居りますから、お體屈な折は些とお氣晴しに被來い、昔話でもしませうから。』

と云ひ棄て早も踵を返さうとする。婦人は少許狼狽へ氣味に、

『あの、私も仍且御一緒の宿に泊つて居りますので……もう二度とはお目に懸らない意りですから、お急ぎでも御座いませうが、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

萬望暫くお待ちなすつて下さいまし。只今貴郎が珍しくお一人で宿をお出掛けなすつたのをお見かけ申しましたから、故とお後を慕つて參りましたので……」

「では何か僕に御用がお有んなさるのですか。」

「はい、私のお尋ね申したい事は、貴郎の御同伴樣は、那は何ういふ仁で御座います？」

「何の爲にそれをお聞きなさる？」

と紳士の聲は凄じく怒氣を帶んだ。

それには應へずに、

「怎や貴郎の奥樣ではござんすまい。」

と情無さゝうに云つて、婦人は眤と涙ぐんだ眼で紳士の顔を眺めながら、

「貴郎は、貴郎は何故まア然ういふお心にお爲んなすつたのでせう！」

とばかり、終に堪られなくなつて、潸々と涙を落す。

「彼のお連樣は、貴郎の奥樣でない事は、伺はなくても分つて居ります。何ういふ御商賣のお仁といふ事も、私は能く存じて居るのでございますが、朔郎樣、わたくしが一生のお願ひでございます。萬望那いふお仁はお逐のけ遊ばして、舊の朔郎樣にお爲んなすつて下さいまし。貴郎の其後のお身持は、一々外から聞いて居りますので、一度お目に懸つて、此事を申し上げ度いと思ひ〳〵、終申し上げる機會がありませんでしたが、今夜懸してお目に懸る事が出來ましたのは、私の一念が届いたので御座いませう。この上は何うでもこのお願を叶えて戴かねば、私はお別れ申す事が出來ません。」

婦人は飽くまで思ひ入つた氣色で、ヽヽヽヒタと、男の袖を捉へねばかりに寄り添つて、

「近頃は、御大酒を遊ばすと云ふお噂も承りましたが、其所爲か、お顔色も以前の樣ではございません、御樣子も全然お變りなさいました。御器量といひ、御見識といひ、貴郎ほどの御仁が左樣して、身をお頽しなさるのは、餘り、餘りお情ないでは御座いませんか。」

「お待ちなさい！」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と青年紳士は腹立しげに婦人の言葉を遮つて、

『貴女は、如何にも賢明です。男子にも珍しいほど意志がお強い。僕のやうに、ある一旦の情の爲に自分を害ひ、總てを犠牲に供するのを御覧なすつたら、嘸ぞ思切りの悪い、融通の利かぬ白痴漢とでもお思召すでせう。併し最初、斯ういふ白痴漢を捉へて、その融通の利かない感情を弄びなすつたのは誰方です！　いやそれも賢明なる御婦人の一種の御道樂なのだ。それを信じたのが、僕の莫迦なのでせう。』

と殊更に切口上に云つて、衝と横を向いて終舞ふ。

婦人は、屹つと怨めしげに紳士の横顔をながめて居たが、やがて又悄然と頭垂れて、何事をか深く思ひ惱む様子であつたが、

『須磨さん、僕に用といふのは最早それだけですか。』

苛々しく青年紳士に問ひ返されて、再び屹と面を擧げて、

『いえ、まア一通りお聞きなすつて下さいまし。この事は申し上げぬ意りで居りましたが、貴郎のお辭が、餘り酷うございますから申し上げませう。朔郎様、只今の奥様がお嫁し遊ばす三日前に、改めて小野様が、お宅へお願ひに上つた事を貴郎は御存じありますまい。』

『知りません、何をお頼みに被來つたのです！』

『わ、須磨を娶つて下さるやうに……』

婦人は最早、堪えられぬやうにひたと兩袖を顔に押し當てながら、聲を忍んで泣くのであつた。

紳士は愕然として、

『な、何と被仰る？　え、それは事實ですか！』

『はい、全くでございます。貴郎の御不在に小野さんが、御返事旁々、お願ひに上りましたのでございましたけど、最早その時は、今の奥様の方と御縁談がお決り遊ばして、結納もお送り濟になつた後で御座いました。御隠居様も大層殘念にお思召して下さいますし、貴郎の妹様もお側に被在いましてお決まりなすつた方は斷つても、私をとまで被仰つて下さいましたさうですが、併し御隠居様は、お盃の時日まで決めて置い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、勝手に此方から變更へするのは、餘り踏つけにする譯で、先方樣へ義理の缺けるのが、如何にもお心苦しい御樣子だつたさうで御座いますから、強つてとも申されなくて、小野さんは其まゝお暇をして歸りましたので御座います。』

思ひ懸ない婦人の言葉に、見る〳〵死灰の如くなつた青年の面は、意外と遺憾とに譬樣のない苦悶の色を現はして、化石の如く立ち竦んだ儘、血の氣を失つた唇を唯木葉のやうに戰かすのみであつたが、軈て其失望の聲を放つて、

『あゝ然ういふ事は僕は今日まで些少も知らんかつたです！　餘り、煩く御催促をするのも惡いと思つて、空しく手を拱ねて御返事を待つて居たのですが、一月經ち二月經ち、一年近くも愚圖々々して延びましたものですから、終に貴女のお心も疑ひ出したのです。爾來僕が、漸々に身を屈し始めましたので、母が非常に急き出して、謂はゞ捨鉢で今のを娶ふ事に決めたのですが、……所詮愛なき偽りの結婚で、我々夫婦間の冷かな事はお察し下さい。假令話が纏つた後にもせよ、其時に、母が一言僕に知らせて呉れましたなら、又何とか他に仕樣もありましたらうに、實に、實に終生の恨事です！』

『で、御有理で御座います。けど御隱居樣では、何處までも先樣への義理をお思召して、何の道、お話の決まつた上は、憖ひに那麼ことをお耳に入れて、貴郎のお心を動かすのは、却つて後々までも御夫婦の仲のお爲になるまいと被仰つたさうで、御內密になすつたのが、決してお惡くは御座いません……恁麼悲しい行違ひになりましたのも皆私の方の御返事が遲れたからで御座います。』

『然し母は、一時の義理を缺くのを恐れて、我が子が生涯の不幸といふ事を等閑にしたのです。否、母が義理を缺くまいとした先方に對しても、實は大いなる不義理を犯してゐるので、愛なき結婚で形作られた夫婦の不幸は、僕ばかりでは歇まない。僕と一緒に妻も亦同樣に生涯の不幸を味はふのでせう。』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「それを御存じならば、朔郎様、萬望お可哀さうな奥様を、幸福なお身の上になすつてお上げ下さいましな。」

婦人は哀願するやうに、紳士を瞻げながら、

「縱令ば、愛のない御結婚にしてからが、一旦然うして御夫婦とお成んなすつた以上は、何所までも、御夫婦らしく、お睦じく遊ばさないでは、何にも御存じなくて被來つた奥様がお可哀さうではございませんか。甚麽に思つて居ましても、縁がなければ致し方がないのですから、縁あつて、お嫁でなすつたのをお嫌ひ遊ばすのは、運命とやらに逆ふのも同じでございませう。却つて、それでは貴郎のお苦みを深くするばかりで御座いますから、無理にも、奥様を可愛がつてお上げ遊ばしたが、宜しいでは御座いませんか。思ふやうにならぬが浮世で、悲しい生涯は貴郎ばかりではござんすまい！」

悲しんで亂れぬ婦人健氣な言語を聞くに就け、見るに就け、某女學校の才媛と呼ばれた昔も偲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ばれて、紳士はなか〳〵に不緣の恨みの募るのみであつた。

「有樣を申せば、私も始めは貴郞をお怨み申したので御座います。御返事が永延いたのは、惡う御座いましたけど、それも皆親戚の折合の爲、御存じもございますまいが、私の體には、亡父からの財產が少し附いて居りまして、それを目的に親戚の誰彼は、何うでも御自分達の方を緣組を爲せやうと云ひますので、毎日嚇したり賺したり、私は幾度小野さんの宅へ泣いて行つた事で御座いませう。漸く其方の折合も附きまして、貴郞樣の方へお願ひに上つて見ますれば、最うその樣な行違ひになつて居りましたので……あれ程堅い約束を、反古になすつて僅か一年と經たぬうちに、もう餘所から奥樣をお迎へなすつた所から考へて見ますと、今まで貴郞の被仰つた事は皆虛言に違ひない、私は欺されて居たのだと思ひつめまして、唯もう口惜しくて〳〵、一時は死なうとまで覺悟したので御座いますが、段々貴郞の御樣子を伺つたり、自分も考へまして、究竟お互ひに緣がなかつたのだと諦めまして、色々の義理から終々、唯今の所へ嫁く事になりましたが、果して此結婚に愛があつたか。なかつたかはそれは、私の口からは申されません……而し、所天は私が何ういふ心持で嫁入て來たなぞと、其やうな疑惑らしい事は、些少も考へて居ませんし、何處までも終生の妻として、誠心を盡して呉れますので、私は最早、自分の愛情や一身の慾望なぞは全く棄てゝ仕舞ました。一旦緣あつて嫁いだ上は、夫婦の和合の爲に、自分を犧牲にするのは、男も女も否む事の出來ない義務だと存じまして。私は潔く緣といふものに服從して居るのでございます。女の癖に生意氣な事ばかり申しまして、お耻しうございますが、私の事は何も彼も、能く御存じの貴郞ですから、遠慮なしに、つい這那お喋舌もしましたので、お氣に障りましたら、何卒御勘辨なすつて下さいまし。」

言辭惜しく斯う云ひ終つて、婦人は凝乎と熱心に男の氣勢を覗ふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

懇願より、いたく感激した樣に頭を垂れて、深くも思案に打沈んだ儘、一言の答もなかつた紳士、軈て、決する所あるもの丶如く、屹と正した其面には、限りなき希望の光りを輝せて、

『いや、僕は今貴女のお覺悟を承つて、全く今までの非行を悟りました。――運命に潔く服従するものは、この世の最も大いなる勇者です。圓滿なる夫婦を形作る爲に、己を犠牲にして決して緣と云ふものに逆はぬ――僕は、貴女の其殊勝なお心掛に對して、今までの自暴の所業を非常に耻ぢます。眞箇です、始めから娶らなければ左に右、愛の有無に係らず、一旦娶つて夫婦といふものを形作つた以上は、無い愛も強ひて燃すべく、努めて、出來る丈其夫婦の間を、圓滿なる理想の域に進めやうと心懸けねばなりません。貴女は實に暗黑なる僕の前途に、一道の新らしい光明を與へて下すつた導師です！』

と感謝の聲と共に、眞心籠めて云ひ放つのであつた。

婦人は見る／＼、眞珠のやうな涙を兩頬につたはせながら、

『では御改心なすつて下さいますか、朔郎樣、漸々これで、心殘りがございません。お言葉を交しますのも今宵限り、以後はもう二度とお顔を合はせますまい。萬望呉々も御夫婦仲お睦じく……必ず奮の朔郎樣にお返んなすつて下さいまし！』

『御安神下さい。那の女共は明朝の一番列車で歸してしまつて、電報で直ぐに妻を呼び寄せます！』

と紳士は感激の餘り、我にもあらず犇と細君の手を握つて、涙の眼で暫く其神々しい顔を凝視るのであつたが、

『あゝ人間の運命といふものは、圖られぬものだねえ須磨さん、貴女も僕も等しく、一度は同じ光明を樂しんだのですが、現在の僕は其貴女の救助によつて、辛うじて前途の光りを見せて貰つたのです。不思議なものぢやありませんか……』

『もう……過去の事は被仰つて下さいますな！』

と婦人は身を顫はせながら、密つと手を放して、顔を反向けながら、二人は互ひに月下の濱に果敢ない戀を泣くのであつた。(完)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

懸賞募集（締切三月十五日）

▲和歌（一人一首）

▲短文（百二十字以内）

▲小說（二十枚以内）

▲一口噺（一人一題）

▲僻地の生活（二百字以内、成可珍奇なるを採る）

▲雜文（十枚以内）

◎用紙は總てはがきの事◎字體は楷書にて鮮明なるべき事◎住所姓名は必らず原稿に記しおく事◎投稿は博文館女學世界宛の事

◎賞品

▲一等一圓▲二等五拾錢

▲三等參拾錢（圖書切符）

▲一口噺は入賞參拾錢

▲小說と雜文は該等の上相當の謝禮を呈す

毎月一日發行

定價表

一册（紙數二百八頁）…金二十錢

四册（三ヶ月分）…前金七十五錢

八册（半ヶ年分）…前金一圓四十五錢

十六册（一ヶ年分）…前金二圓八十錢

内（定刊數十二册　增刊四回）…一、五、九、十一月發行

郵税　一册　二錢

廣告料

	一行（二十四字詰）	半頁（卅二行）	一頁（六十四行）
特等	……	二十三圓四	十五圓
一等	……	十九圓五十錢三	十八圓
二等	五十五錢	十六圓五十錢三	十二圓
三等	四十七錢	十三圓五十錢二	十六圓

▲廣告の位置ハ切日等御照會次第御報可致候

注文略規

●本館發行の圖書は都て前金の外応ぜず

●御送込の前金相切れ候節は送本を停止す

●郵券代用は一割增にて五厘一錢の切手に限る

●總目錄御入用の方は二錢券相添申込あれ

不許複製

明治四十一年三月一日發行　第八卷第四號

編輯兼發行人　松原岩五郎

印刷人　山田英二

印刷所　博文館印刷所　東京市小石川區久堅町百八番地

發行所　東京日本橋區本町三丁目　博文館

電話　本局　三百三番　二千六百二十番
千十八番　三千二百二十九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家事書類

▲家政▼

元學習院女子部長 下田歌子女史著

家政學

上巻 和裝美本 大判一六五頁 正價參拾錢 郵稅六錢

●家事經濟 ●衣服の撰定 ●衣服の取扱 ●禮式服裝 ●[illegible] ●[illegible] ●[illegible]
●[illegible] ●洗濯、汚點拔 ●食品の撰定 ●飲料の調製 ●飯の炊法 ●麵類の製法 ●茶菓の法
●[illegible]の製法 ●漬物の製法 ●味噌の製法 ●肉類汁 ●燻法の製法 ●食物貯藏法 ●料理雜則

同

下巻 和裝美本 大判二五七頁 正價參拾錢 郵稅六錢

●住居の撰定及構造 ●住居の掃除及裝飾 ●[illegible] ●火災豫防 ●風災、水害及震災 ●家具什器 ●器物の保存及取扱
●器具書類の貸借 ●一般の[illegible] ●家長に對する禮 ●賓主の禮 ●吉凶事の心得 ●西洋風賓主の禮 ●[illegible]飾
●[illegible] ●[illegible] ●看病法 ●母親の衞生 ●小兒敎養法 ●家庭敎育 ●婢僕の使役

岸上操君著

家政案內

全一册洋裝 大判二五二頁 正價貳拾五錢 郵稅六錢

家政のおきて●主婦●衣食住●計算●保育●[illegible]●[illegible]●貯蓄●[illegible]衞●家計[illegible]●火災●[illegible]儀●時間●[illegible]論●運命●西洋婦人習[illegible]法數十項

元學習院女子部長 下田歌子女史著

家事要訣

全一册和裝 大判二七四頁 正價參拾五錢 郵稅八錢

家政の目的●家人の監督●家內の風儀●金錢の出納●貯金の方法●物品の購求●出納計算法●光線と空氣●飲料と食物●衣服と器具●土地と住居●身體の清潔、及動靜●疾病及負傷の手當●患者の取扱●主治醫●病室●衣服と飲食●衣服の[illegible]法●衣服の保存法●衣服の取扱法●[illegible]、洗濯、汚點拔●衞生及經濟●適へる飲食物●食時及食堂の裝飾●食膳●住居の撰擇●家屋の構造●室內裝飾●其他雜類には主婦のかゞみ數十項

近藤正一君著

新撰家事問答

全一册洋上製 小判二五八頁 正價貳拾錢 郵稅四錢

凡そ一家の盛衰家庭の消長は一に主婦が繰事の如何に因りて岐るゝものなり、彼の家政整然として家門の昌榮を見るさを得して主婦が[illegible]造より放たるゝ一種の光彩といふべきなり、本書は家政要務の細密に實し併せて女學生課習の餘暇に充てん爲めに編述せり主婦たるものゝ之に依つて偏ば天稟の賢能と貞順の德性とを加へば其處世の要道に於て完全の目的を達するに庶幾からん

專門諸名家拾名補助 木公中村千代松君編

實驗問答 日本家庭節用

全一册洋布特製美本長方判 一一五二頁 正價壹圓參拾錢 小包料八錢

●第一編衣服問答(一)裁縫(二)洗濯●第二編食物問答(一)日本料理(二)西洋料理(三)漬物●第三編作法問答●第四編家事問答●第五編衞生問答●第六編病氣問答(一)傳染病(二)[illegible]症(三)[illegible]●第[illegible]編[illegible](四)[illegible](五)消化器(六)呼吸器(七)小兒科(八)婦人科(九)[illegible](一〇)外科と皮[illegible](一一)[illegible](一二)[illegible](一三)[illegible](一四)中毒(一五)[illegible](一六)花柳病(一七)生殖器(一八)眼科(一九)齒科(二〇)病院●第七編調理科問答(一)家庭理科(二)工藝理科●第八編行儀問答●第九編諸稅問答●第十編通信問答●第十一編農事問答(一)野菜肥料(二)牧畜(三)家禽(四)養魚(五)果實●第十二編敎育問答●附錄雜問●問答總數壹千壹百六拾餘題

Google

天野誠齋君著

家庭寶典 臺所改良

全一冊和洋綴 大判二二六頁　正價四拾錢 郵税八錢

●臺所の設備 ●下水の掃除 ●下婢の使ひ方
●臺所の掃除 ●塵箱の改良 ●下婢と臺所經濟
●臺所の模範 ●飲料水の注意 ●買物の仕方

中村鈴子女史著

名流百家 家庭の模範

全一冊洋装 中判四一八頁　正價參拾八錢 郵税六錢

本書は閨秀の舉高き現今の名夫人に就て其の平常の趣味好尚を聞きたるものにして、著者の筆致たるや實に俗談を寫して冗漫に陷らず、平語を寫して平凡ならしめず、恰も三寸其人に接して其の面を見、其の語を聞くの感あらしむ、是れ文に一家の妙工風あるにあらずんば克く此の如くなる能はざるべし、婦人の見たる哲學あり、宗教あり、家事經濟あり、割烹あり、育兒衛生談あり又衣服、髪飾、化粧談あり、其他上は翠帳の内事より下は庖厨の瑣事に至るまで、社會各方面に通じて各種の特色を網羅す、正に是れ一幅の活畫にして當面婦人の性格、家門の規模歷然として家庭の模範たり

曾我部純一君著

最新家計簿記

全一冊洋装 大判一二九頁　正價貳拾五錢 郵税六錢

村井弦齋君著

絵入 下女讀本

全一冊洋装 大判一〇六頁　正價拾五錢 郵税四錢

●臺所の心得 ●洗濯の心得 ●子守の心得
●料理の心得 ●衛生の心得 ●平生の心得
●拭掃除の心得 ●行儀の心得 ●證明の心得

▲禮　式▼

坪谷善四郎君著

訂増 日本女禮式大全

（大判五八一頁）　正價九拾錢 小包料拾貳錢

▲蒔繪函入和綴 正價壹圓貳拾錢 小包料拾六錢

●我國の禮儀 ●教育のこと ●身じまひの心得
●婦人と禮式の關係 ●奉仕のこと ●製造手藝の心得
●婚姻のこと ●交際のこと ●家事經濟の心得
●出産のこと ●諸藝の心得 ●實用料理の秘傳

元學習院女子部長 下田歌子女史著

女子普通禮式

全一冊和洋綴 大判二五二頁　正價參拾五錢 郵税八錢

●禮法の心得 ●貴人に對する禮 ●點茶の禮
●普通の禮 ●下婢に對する禮 ●挿花の禮
●賓主の禮 ●吉凶事の禮 ●香道の禮

淑徳女學校講師 中島義式先生著

新撰 日用女禮式

全一冊洋装 大判一六二頁　正價貳拾五錢 郵税六錢

◉日用禮式●衣服の心得●訪問の心得●饗應の心得●座席の心得●立禮の心得●物品進撤の心得◉婚禮式●見合のこと●親類調のこと●結納のこと●目録の認め樣●結納使者の心得外數十項◉花結物●五行結●叶結●兩結●蝶形結●三輪取結外數十點

同　君著

新撰小學女禮式

全一冊洋装 大判二〇五頁　正價貳拾五錢 郵税六錢

●家庭の教 ●進退作法 ●結び物
●女の禮式 ●品物取扱法 ●水引結びやう
●立禮作法 ●婚姻の事 ●向の圖
●座禮作法 ●新婚禮儀式 ●新形包物の折方

Google

大橋乙羽君著

◉和洋禮式

全一册洋並製 大判二四〇頁 正價貳拾五錢 郵稅六錢

●禮式大意●古來の禮法●婚禮式一斑●婚姻式雜事●床飾●贈答●一家及主從●起居動作●饗應●飲食●言語●進物附答●春夏秋冬●禮式所感●先哲遺訓●西洋禮式數十項

中島義式君著

◉新撰女子作法書

全一册洋並製 大判一一二頁 正價貳拾五錢 郵稅六錢

米國法律博士 宮木作仙君著

◉西洋男女交際法

全一册洋並製 小判二一二頁 正價貳拾五錢 郵稅四錢

●緒論 ●婚姻 ●求婚女の心得 ●理想の男子 ●理想の女子 ●婚姻の儀式 ●妻が夫に對する心得 ●夫が妻に對すること ●母の心得 ●西洋の儀式 ●道路又は公開場所に於ての心得

同君著

◉紳士之顧問

全一册洋並製 長方判二〇六頁 正價參拾錢 郵稅六錢

●緒論 ●婚禮服 ●略服 ●通常服 ●晩餐會 ●午後客と晩客 ●對食 ●談話 ●午後訪問 ●男女共通禮式講示 ●附錄 結婚生活問題錄

▲裁縫と手藝▼

東京女子高等師範學校教授 喜多見佐喜子女史著

◉裁縫指南

全一册和並製 大判二三六頁 正價四拾五錢 郵稅八錢

●第一章 裁縫用具の名稱及用法其他の解六目●第二章 各種縫絆の說明五目●第三章 各種單衣の說明六目●第四章 袷綿入等の解五目●第五章 羽織袴の解六目●第六章 袍衣類目他の解七目●第七章 小袖及襦袢其外七點の解說●附錄 裁縫につき心得べき事項十六節

飯田吳服店裁縫部主任 小岩井規太郎君 鹽田眞三君合著

◉實用裁縫全書

▲全一册和並製大判二四五頁 正價五拾錢 郵稅八錢

裁縫の必要●裁縫用具及尺度の種類●針の持ち方及運針練習法●縫ひ方種類及應用實例●衣類各部の名稱●衣類疊み方●解き物の順序●布の丈幅●普通染色●縞柄及柄の種類●衣類寸法●裁縫順序◉圖解●襦袢、胴着及パッチ類●小兒服及附屬品●普通常服●羽織及袴●夜着布團●式服●雜種類◉附錄●羽織物及染物産地

吉田鋼子女史著

◉裁縫と編物

全一册洋並製 大判二五六頁 正價貳拾五錢 郵稅六錢

女子の尊き天職は、母として子女を育成し、妻として一家を整理するを主とす、特に家族の衣服類は、一として女子の手に繫らざるなく、裁縫及び編物は、實に女子として、尊卑に論なく、最も必要の手藝なり、本書に於て懇切鄭寧に其順序方法を解明し、一讀其術に精通すべからしむ、他の編み物に精しくとも、裁縫に迂きは、婦人の耻なるを辨へ給ふ方は、速に此の書を讀み給ふべし。

元學習院女子部長 下田歌子女史著

◉女子手藝要訣

▲全一册和並製大判二四八頁 正價參拾五錢 郵稅八錢

緒論◉養蠶●蠶種●蠶室●蠶の孵化外廿七目◉紡績●糸の繰き方●糸の繰り方●染物外廿四目◉機織●機の綜かた●機の織り方●織物の種別外十六目◉裁縫●裁り方●縫ひ方●縫ひ方外卅五目◉刺繡●刺繡に就きての注意●刺繡の方法●組緞の方法外卅目◉押繪●押繪の方法●押繪の用具●紋形外十三目◉編物●編物に就きての注意外十四目◉造花●造花の方法外十目◉包み、結び物●包物類●手結び外五十四目

三

Google

刺繡術專門　磯村大次郎君著

實用刺繡術

全一冊洋裝　大判一一四頁　正價貳拾五錢　郵稅四錢

●總則　●山水の部　●昆蟲の部　●樹木及花卉の部　●禽鳥の部　●紋章の部

造花技術校主　山田與松君著

實用造花術指南

全一冊和裝　大判一〇〇頁　正價貳拾五錢　郵稅四錢

◉總論　●着手の順序及其用途一目●技術理法八目●造花製作器具の持方及使用法九目●材料製法七目●色紙染法七目●絹綿布糊仕方一目●材料器具の收集法●染料及藥品類●光澤用藥品及糊類●器具類◉教授の方針　●教針十則●各種製作實習法廿一目◉附錄　實習模形圖畫數十種

東京美術學校教授　白井雨山君校閲
同校得業士鈴木、森田、牧野三君合著

應用家庭美術

全一冊洋裝中判三二六頁　正價四拾錢　郵稅六錢

◉緒言研究の順序◉日本畫(一)緒言(二)畫筆及刷毛の種類外九目◉西洋畫(一)緒言(二)研究の順序(三)鉛筆畫の用器外廿二目◉彫刻(一)緒言(二)木彫の用具外八目◉象牙彫刻(一)用具(二)象牙の種類外二目◉彫金(一)鏨の製作法(二)彫眼の方法外二目◉大理石彫刻(一)用具(二)彫琢の方法(三)大理石彫刻の應用◉塑像(一)油土と用具(二)塑像の用具(三)陶土原型の作法外九目◉鑄金(一)塑土の製法(二)挽型の作法外八目◉蒔繪(一)緒言(二)用具(三)材料外九目◉陶磁器(一)緒言(二)陶土の製法外十目◉造花(一)用具(二)材料(三)順序外二目

博文館編輯局編纂

衣服と流行

全一冊洋裝　大判二三四頁　正價貳拾五錢　郵稅六錢

衣服と時代●時代と嗜好●元祿風と友禪●天明時代の華奢●當世女裝一斑●東京十五區時世粧●佛國巴里の流行●英國倫敦流行の服裝●露西亞の服裝●獨逸伯林の服裝●古風の衣裝●染色●流行の起る根原●現今流行界の傾向●和服及附屬品●衣服のきつけ●帶●襦袢及半襟●洋服及附屬品●髮の具●髮の風●羽織紐●足袋●袋物●帽子、履物類●七寶燒●各階級見立流行縞柄●新年市中雜觀其他

▲料理▼

大日本割烹學會々長　石井泰次郎君著

四季料理

全一冊和裝　大判三一五頁　正價四拾五錢　郵稅八錢

◉緒論◉春の卷●勅題料理●みの字盡し料理●春の四季料理◉夏の卷●豆料理●鮎料理●南瓜料理●豆腐と燒みそ●茄子料理●鷄卵料理●神武天皇祭料理獻立◉秋の卷●栗料理●近江八景料理●松茸料理●紅葉づくし料理◉冬の卷●天長節料理●この頃の料理◉紀念戰捷料理獻立◉新年重詰拵方◉附錄●一月節の取合せ●二月節の取合せ●三月節の取合せ●四月節の取合せ●五月節の取合せ●六月節の取合せ●七月節の取合せ●八月節の取合せ●九月節の取合せ●十月節の取合せ●十一月節の取合せ●十二月節の取合せ◉料理の名品◉料理の習學法●日本料理を誤解したる事●第一料理を心なしに云ふ人●第二料理教師を選む心得●第三家庭料理を習ふ時の心得

Google

東京治庖會講師 飯井まき子女史著

◉和洋菓子製法

全一冊和特製大判三〇六頁 正價四拾五錢 郵税八錢

◉日本菓子を拵へるにつきての準備●同道具●同供すべき原料●同原料の保存◉餡類の部●並餡の製法●上等餡の製法外五種◉干菓子類の部●片栗の打物●落がん外三十一種◉生菓子類の部●薄羊羹●求肥むしやうかん外廿六種◉燒物類の部●中戯●三笠山●金鍔外十五種◉寄せ物類の部●錦羊羹外廿種◉煉り物類の部●栗羊羹外廿三種◉蒸物類の部●饅頭中外八十九種●米饅頭●皋米屁外廿三種◉西洋菓子の部●西洋菓子を拵へるにつけての心得●同製造用の器具●燒物類の部四十五種◉油揚物類の部九種◉煮物類の部十九種◉茹で物類の部六種◉合し物類の部四十八種◉ソース類の部廿八種◉新聞菓子談◉日本菓子の歴史

東京治庖會講師 飯井まき子女史著

◉實用家庭料理法

全一冊和特製大判二三〇頁 正價參拾五錢 郵税八錢

(一)料理の準備(二)臺所の整理(三)調理場の構造(四)器具取扱法(五)魚鳥野菜の切方(六)飲食物の選擇法(七)材料購入に際する鑑別法(八)主婦の注意(九)調味加減の説明(十)料理の配合(十一)煮出汁の製法(十二)汁物の調理法(十三)煮物類の調理法(十四)燒物の調理法(十五)浸し物の調理法(十六)和へ物類の調理法(十七)酢の物調理法(十八)刺身の作方(十九)蒸し物の調理法(二十)油揚物の調理法(廿一)寄せ物の調理法(廿二)きんとん類の調理

元學習院女子部長 下田歌子女史著

◉料理手引草

全一冊和特製大判三一〇頁 正價參拾五錢 郵税八錢

◉料理に就きての心得●衛生の注意●經濟の注意●調味の注意●外形の注意●器具の注意●飲料の撰び方●食品の撰び方◉献立に就きての心得●組合せの注意●取合せの注意●賓客の注意●普通の献立注意●平常の献立注意●四季の献立●精進料理●西洋料理献立◉本邦料理●器具の種類●煮炊の注意●出し汁作る法●潮汁●淡味噌汁●燒物、膾、刺肉、酢物其他のつくり方十六種◉西洋料理●器具の種類●肉類の製法●魚鳥獸肉の湯煮外十二種

石井治兵衛翁校閲 藤本藤陰君著

◉實用料理法

全一冊洋並製大判二七〇頁 正價貳拾五錢 郵税六錢

●料理の沿革●料理師心得●食物及器物の注意●煮方の心得●料理の取合●六炙雜話●寄せ物の製法及諸切方●魚菜を柔に煮る法●諸菜の貯蔵●諸の傳授三十三目●食合の禁忌十六種●毒中りする物●魚鳥庖丁法●鹹海川魚小切形六十餘種●鯛魚干魚料理法二十九種●四季の献立●二汁五菜の略式●珍味料理廿二種●吸物又すまし類廿一種●茶碗蒸及び卷纖●膾、さしみ、わた廿種●和物廿種●煮物上十六種●煮物下廿五種●天麩羅及び精進揚十二種●燒物十五種●田樂及び魚田九種●漬物十四種●香の物十九種●蒸物十種●飯十八種●四季精進料理一覧表〇春の料理百四十七種〇夏の料理九種〇秋の料理十種〇冬の料理九種●雜菜七種類●卓袱料理二十餘種●長崎四季卓子式●八百善の卓子料理十二種●普茶料理二十種●支那料理九項●西洋料理方三十一項●鍋百珍●鷄卵百珍●豆腐百珍●甘藷百珍●珍菓百菓●砂糖漬

米國料理學校卒業 佐々孝君著

◉西洋料理法

附長崎料理法

全一冊洋並製大判二四六頁 正價貳拾五錢 郵税六錢

この西洋料理法は多年斯道に從事せるものの著書にして、世間何人と雖ども、容易に割烹せらるべきやう、簡潔實用的に説明せるものなり、故に大家の令閨或は交際家の令嬢抔、力を勞すること少なくして、自ら風味美き肉羹を調進するを得、實に無上の好著述なり、又卷頭には長崎料理即ち「しつぽく料理法」をも附記したれば、一人にして兩様の割烹法をも自習し得らるゝ良書也

五

Google

坂本隆哉翁著

㊁衛生食物調理法

全一冊和装 大判一三八頁 正價參拾錢 郵税六錢

●緒論●調理に就ての心得●調理に就て金と時間の經濟●器具の事●色出類の事●飲料水の事●中毒物の事●魚、鳥、米、野菜の鑑別●調理の方法●香味料と嗜好品の事●庖刀切り方の事●食物調理に就て便宜方法●出し汁の事●注け酢、注け醬油●注け酒、附味噌●混味噌の製法●獸肉及鳥類●清し汁及吸物●溯汁●味噌汁●煮物類●煮物類廿九種●炙物類廿五種●和物類廿一種●漬物拵様●鍋物の仕方●鮨の製法●寄せ物類及蒲鉾はんぺん、しんじよ●調理雑集九十一種●人體營養の事●食物の消化吸收の事●小兒營養の事

同　翁著

㊂滋養調製病者の食餌

全一冊洋上製 長方判一五〇頁 正價貳拾錢 郵税四錢

●緒論●滋養物の製法鑑別(一)鷄卵(二)獸肉(三)乳汁(四)人工滋養品●食餌要論●病者の食餌調理●病人の食饌●各病の食饌例及禁忌數十項

八百善主人著

㊃八百善料理通

全二冊和紙 中本和紙刷裝 正價參拾八錢 郵税六錢

小田原屋主人著

㊄漬物早指南

全一冊和紙 中本和紙刷裝 正價拾貳錢 郵税四錢

醍醐山人著

㊅料理早指南

全二冊和紙 中本和紙刷裝 正價貳拾五錢 郵税六錢

風羅山人著

㊆料理いろは庖丁

全一冊和紙 中本和紙刷裝 正價拾八錢 郵税四錢

▲通俗衛生▼

醫學博士　井上通泰先生監修

㊇家庭衛生叢書

全部十二冊洋裝美本 大判各冊約百六十頁

正價〔一冊二付二十錢 十二冊二圓十五錢〕 郵税一冊六錢宛

第一編

(口繪)北里、長與、金杉、土肥の四博士(肖像)

傳染病の話……醫學博士　北里柴三郎先生
胃の攝生法……醫學博士　長與稱吉先生
血族結婚と聾啞との關係……醫學博士　金杉英五郎先生
淋病と家庭……醫學博士　土肥慶藏先生
眼科衛生談(第一)……醫學博士　井上通泰先生
雜錄＝患者を生じたる時の注意十五項

第二編

(口繪)木下博士、宮本學士(肖像)

膓窒扶斯に就て……醫學士　宮本叔先生
婦人の衛生一斑……醫學博士　木下正中先生
婦人及小兒の眼の衛生……醫學博士　桐淵鏡次先生
眼科衛生談(第二)……醫學博士　井上通泰先生
雜錄＝衛生雜話

第三編

(口繪)三輪博士、井上博士、緒方博士、富士川ドクトル(肖像)

日本の室内空氣に就て……醫學博士　緒方正規先生
轉地療養の話……ドクトル　富士川游先生
小兒の病氣に就て二三の注意……醫學博士　三輪信太郎先生
小兒の衛生に就て……醫學博士　弘田長先生
遺尿症に就て……醫學博士　朝倉文三先生
眼科衛生談(第三)……醫學博士　井上通泰先生
雜錄＝衛生雜話六項

六

Google

第四編

（口繪）朝倉博士　井上博士（肖像）

- 腸胃の話……醫學博士　井上善次郎先生
- 耳の攝生……醫學博士　岡田和一郎先生
- 乳兒の衛生に就て……醫學博士　緒方正規先生
- 癲癇と「ヒステリー」との關係……醫學博士　吳秀三先生
- 眼鏡の話……醫學博士　井上通泰先生
- 雜錄＝衛生雜話六項

第五編

（口繪）三輪博士　岡村博士（肖像）

- 創傷の話……醫學博士　三輪德寬先生
- 神經の攝生に就て……醫學博士　吳秀三先生
- 「チフテリア」の話……醫學士　宮本叔先生
- 皮膚の衛生……醫學博士　岡村龍彥先生
- 雜錄＝衛生雜話十二項

第六編

（口繪）大澤博士　三島博士（肖像）

- ペストの話……醫學士　宮本叔先生
- 身心の養生……醫學博士　大澤謙二先生
- 家庭に於て注意すべき二三の學校衛生……醫學博士　三島通良先生
- 產時の創傷傳染……醫學博士　木下正中先生
- 雜錄＝結核の豫防法十七項

第七編

（口繪）遠山博士　筒井學士（肖像）

- 徵毒に關する家庭の注意……醫學士　筒井八百珠先生
- 家庭と黴菌……醫學博士　遠山椿吉先生
- 姙娠中の攝生……醫學博士　緒方正淸先生
- 便秘の話……醫學博士　井上善次郎先生
- 雜錄＝花柳病雜話十八項

第八編

（口繪）木村博士　緒方博士（肖像）

- 婦人姙孕力の話（第一）……醫學士　伊庭秀榮先生
- 肝臟の話……醫學博士　木村德衛先生
- 分娩時の攝生……醫學博士　緒方正淸先生
- 色盲の話……醫學博士　井上通泰先生
- 小兒の身體上の監視幷に感冒の注意……醫學博士　瀨川昌耆先生
- 雜錄＝人工滋養品の話四項

第九編

（口繪）瀨川博士　伊庭學士（肖像）

- 肺癆の話……醫學博士　井上善次郎先生
- 婦人姙孕力の話（第二）……醫學士　伊庭秀榮先生
- 小兒の蟲及疳の話……醫學博士　瀨川昌耆先生
- 產後の攝生……醫學博士　緒方正淸先生
- 雜錄＝人工滋養品の話四項

第十編

（口繪）林博士（肖像）

- 飲酒と血族の退化……醫學博士　林春雄先生
- 不姙症の話……醫學士　伊庭秀榮先生
- 生殖の話……醫學博士　大澤謙二先生
- 消毒法の大意（上）……醫學博士　遠山椿吉先生
- 雜錄（衛生學上より見て歐米と日本との風俗慣習中善きものと惡しきものとの二項）

第十一編

（口繪）吳博士　楠田先生（肖像）

- 癲狂村の話（上）……醫學博士　吳秀三先生
- 最適當なる日本婦人の結婚年齡……醫學博士　楠田謙藏先生
- 消毒法大意（下）……醫學博士　遠山椿吉先生
- 衛衛酒の話……醫學博士　林春雄先生
- 雜錄＝現今の疾病界の概況八項

第十二編

（口繪）賀古學士（肖像）

- 咽喉の話……醫學士　賀古鶴所先生
- 癲狂村の話（下）……醫學博士　吳秀三先生
- 慢性銅中毒の話……醫學博士　林春雄先生
- 口內衛生に就て二三の注意……醫學士　石原久先生
- 雜錄＝食鹽の話八項⦿既刊の評

Google

每卷醫學專門大家講述（全部十二冊紙數各約百六十頁）

家庭衞生講話

每卷洋裝大判頗美本口繪寫眞版數多挿入

正價一冊ニ付金三十五錢＝郵稅六錢

第一編 一般救急法　醫學博士三輪德寛先生講述

緒言●內科病の救急法六項●中毒六項●異物の摘出法四項●火傷並に凍傷二項●止血法●失氣及假死二項●創傷十項

第二編 衞生學大意　醫學博士森林太郎先生講述

緒言二項●土地の事五項●下水の事二項●埋葬の事十二項●上水八項●都會の事八項●家屋の事廿一項●空氣の事十項●氣象の事廿項●衣服の事十二項●榮養の事廿七項

第三編 藥物之大要　醫學博士林春雄先生講述

◎總論●健康と病氣と●藥物の定義●治療の意義●藥物の作用●藥物の分量●投藥の反應●製劑の製粗並に藥劑の理學上の性質●藥物を用ふる場所●藥劑の個人に對する關係●身體に用ひたる藥劑の發落●藥劑の類別法◎神經筋肉發●「クロロフォルム」「アルコホル」の類●石炭酸の類●樟腦の類●「アンモニヤ」の類外十五目◎局所の榮養を障碍する有機化合體●粘漿劑●芳香苦味健胃劑●苦劑外八目◎無機化合體●水●食鹽の類●鹽味藥●「アルカリ」の類外七目◎消化酵素並に滋養品●脂肪及消化酵素の類外二目

第四編 姙産婦之心得　醫學博士緒方正淸先生講述

姙娠は如何にして起るか、姙娠中の母體と胎兒との有樣はどう云ふ風であるか、分娩は如何にして遂げらるゝか、産褥の狀態は如何、又姙娠、分娩、産褥中に如何樣の異常が起るかと云ふやうな問題は、最も婦人の知らねばならぬことであつて、婦人に此知識があつてこそ始めて其一家の衞生法が遺憾なく行はれ得るのであらう、緒方博士は當今第一流の産科學者で、又大病院を設けて日々數百の患者を診療して居らるゝのであるから、斯の如き大先生の話せられたる本書であるから、家庭の婦人の爲に如何に有益なる参考書であるかと云ふことは殆ど說くの必要がないのであります

（以下順次刊行中）

千葉內科院長 千葉稔次郎
讀賣新聞記者 鹿島櫻巷　君共編

家庭衞生訓

全一冊洋裝 小判三八四頁　正價參拾五錢 郵稅六錢

●健全なる家庭 ●小兒の衞生 ●母の衞生 ●父の衞生 ●衞生化粧術 ●住居と衣服 ●入浴の注意 ●海水浴 ●溫泉浴 ●家庭看護 ●夏と神經 ●運動と衞生 ●玩具 ●食品の心得 ●家庭の娛樂

米國醫學博士 ラーヴイス氏原著
日本海軍大軍醫 隈岐政治郎君譯

女子衞生學 附 結婚論

全一冊洋裝 小判三〇四頁　正價參拾錢 郵稅四錢

●神經と神經質 ●習慣と聯想 ●交際と幻想 ●女性特有の器官 ●女性の職業 ●女子の娛樂 ●社會の風習 ●身の調和と要素 ●衞生的道德

東京女學館教授 西田敬正君著

育兒と衞生

全一冊洋裝 大判二四〇頁　正價貳拾五錢 郵稅六錢

醫學博士 三島通良君著

はゝのつとめ

全一冊洋布上製 大判三二二頁　正價七拾五錢 郵稅拾錢

緒論◎育兒前篇●嫁娶＝二日●姙娠の故障＝五日●姙娠中の攝生＝七日●胎敎＝二日●出産の準備＝五日●出産＝四日●産褥中の注意＝五日◎育兒後篇●生兒養育法＝四日●哺乳＝三日●人工榮育法＝三日●嬰兒の衞生＝十日◎小兒病者看護法＝十八日●家庭敎育＝十三日●保生＝二十日●小兒必用養育草＝三十日●養生訓＝十日●養育說＝三日●乳の友＝九日

ドクトル フーフェーランド氏著
文學士 杉谷泰山君 紹述

身心修養 長命術

全一冊洋裝特製 大判四〇八頁　正價七拾錢 郵稅拾錢

人壽二百歲とは、此著者の研究なり、人生の意義より說き起して、衣食住は勿論、敎育、宗敎、道德に亘りて論ふる所、實に懇切丁寧、學理を極めたり、人間生活の伴侶として此書に及ぶもの無し、古今の長命術を紹介し、理想的長命者の狀態、長命法、養生法、豫防法、精神修養法を詳述し、平易に說明して、何人も之に依りて天壽を全うすることを得ん

醫學士 小玉龍藏君著

◉**延命長壽法** 全一冊洋布上製 長方判四二〇頁 正價六拾錢 郵稅六錢

短命諸件●教育●柔弱なる教育●放逸なる娛樂●腦力使用の過度●疾病●不潔なる空氣●飮用の過度●人壽を害する氣質及情慾●誇大の想像力●自然的並びに接觸的病毒●年齡早老

長命諸件●遺傳上壯健なる出生●合理的身體の教育●活潑にして能動的なる青年●青年時代に於て伉儷以外の肉慾を愼むの必要●幸福なる夫妻關係●睡眠●身體の運動●新鮮なる空氣と適當の溫度●田園生活●旅行●清潔、皮膚の衛生●良好の食品●精神の平和●快適なる感覺及び刺戟●疾病の豫防及び其療法●變死の救助●老年者の衛生●精神及び身體の修養●體質、氣候及び生活の差異に從ふ長壽法の應用

醫學士 佐藤得齋君 伊藤尚賢君 共著

◉**男女學生健康法** 全一冊洋布上製長方判三八一頁 正價四拾五錢 郵稅六錢

健康の要素 緒言=人體と食物との關係=人體の成分●飮食物=食物の分類=消化吸收=活動と保健食料=學生に適良なる食物=飮食物の性質=水●氣候食物=新鮮なる空氣●學生に適良なる衣服=衣服の選擇=寢具=帽子と履物●學生に適良なる住居=住居の選擇=學者の意見 健康增進法 偉大なる體格=健康體格の標準●規律ある生活=一日の時間割=休日の善用=安眠の方法=午睡の害●精神的衛生=精神と肉體との關係=精神の休養=煩悶の救濟●溫浴=溫浴の價値と其注意=溫泉の分類●冷浴=冷水浴、游泳及海水浴の價値と其注意●旅行=旅行の價値と其方法=登山の價値●運動と體育=體育にあての大注意=運動の目的と其效果 疾病豫防法 學生に多き疾病=青年と頭痛=神經衰弱の豫防法=强肺術=脚氣病の豫防法●青春の危期●季節衛生外數十項

日本體育會員 西川政憲君著

◉**育兒體育 健康要訣** 全一冊洋上製 小判二一二頁 正價參拾錢 郵稅四錢

●結婚の注意 ●幼時の體育 ●青年者の體育
●嬰兒の體育 ●少年者の體育 ●少女の體育

破竹居士著

◉**健康と遠足** 全一冊洋上製 中判二一六頁 正價參拾錢 郵稅四錢

◉健康篇 國民の健康●健康とは何ぞ●健康の方針十二節●健康の練習三節●健康に影響する重なる外物五節◉遠足篇 遠足の快樂と利益●遠足の二十五大快四節廿七目●遠足の順序十節●天幕生活●遠足の注意三節

醫學士石原喜久太郎君校閲 醫學得業士 首藤環君編

◉**新撰衛生生理問答** 全一冊洋上製 小判一九〇頁 正價貳拾錢 郵稅四錢

衛生之部 問答 緒言●空氣●土地●水●家屋●營養論●以上百〇六

生理之部 問答 血液●呼吸生理●消化生理●尿分泌論●以上八十二

女學世界衛生顧問系 左近君著

◉**四季應用 通俗治療法** ▲附養生秘訣 全一冊洋布上製中判二八四頁 正價貳拾八錢 郵稅六錢

緒言◉婦人病の部=十四節附姙婦養生◉胃腸病の部=十八節附衛生法◉傳染病の部=十一節附風土病◉呼吸器病の部=五節◉神經諸病の部=四節◉皮膚病の部=十節◉花柳病の部=三節◉養生秘訣=六項◉衛生問答 一般疾病=婦人病其の他=傳染病及び精神病=育兒及び其の疾病=坊間賣品及び諸多の質問=皮膚病=美顏法=雜問一束=以上數百問答の外本篇には趣味ある◉人間一生の食糧圖解あり

九

Google

藥學得業士 金澤鼎君著

通俗治療救急法

全一冊洋上製 小判三〇一頁 正價貳拾五錢 郵稅四錢

◉衞生法大氣●土地●水●住居●飲食物●衣服及皮膚●職業及運動●生殖衞生●育兒法●傳染病豫防法◉救急法救急劑●人工呼吸法●外傷●止血法●繃帶法◉治療法消化器病●呼吸器病●血行器病●神經病●生殖器病●傳染病●處方一斑◉附錄食物消化時間表●有毒菌檢查法●人乳牛乳婦乳分析表●牛乳稀釋表●人工浴法●水蛭用法●芥子泥用法●浴湯法●灌腸檢査法●各年齡藥量概表●鑛泉療法●海水浴法●藥品分量名目●水質檢査法其他

醫學士 田村貞策君 朝爽六郎君 譯述

衞生指針 姙産婦の務

全一冊和裝特製 大判四一六頁 正價七拾五錢 郵稅拾錢

本書は姙娠の有無、分娩の難易、産後母子の手當等、姙娠より産後に至るまで、姙産婦又は産婆の心得べき總ての事項を集め、務めて一般婦女の領解し易からん事を旨とし親切平易、談話體の行文を以て米國に名高い斯道專門の醫學博士ホリック先生の著書を譯述増減したもので一家の主婦たる者は、必ず家庭に一冊を備へ置くべき最良の書であります

米國醫學博士 ホリック氏著
日本醫學士 守矢親樹君譯

生殖器新書

全一冊洋布上製 中判四五〇頁 正價九拾錢 郵稅八錢

一名既婚未婚 男女必携婚姻案內

本書の原書は合衆國に於て非常の歡迎を博し第五百版の多きを重ねたるものなり、而して同國の貴婦人等は、此書の爲めに莫大の利益を得たるを喜び、或は謝狀に添へて金牌を贈るものあり、又は金ペン、寫字臺を贈るものあり、孰れも口を極めて此書の効驗の著名なるを頌讚せざるはなし、推して以て其價値如何を知るべし、世の紳士、令夫人、令孃よ、請ふ一本を購ひて幸を受け禍を防がれよ

醫學士 小川劍三郎君著

通俗衞生 眼のはなし

全一冊洋裝 中判一〇八頁 正價拾八錢 郵稅四錢

人體五官の內孰れも大切なるものは眼であります、其の最も大切なる眼の衞生は何人も平素心掛け置くべきことは云ふまでもありません、然るに世間には未だ誰人にも直ちに行ろべき保護心得を說きたる書冊のありませんのは、甚だ遺憾であります、此の書は之れが爲めに眼科專門の小川醫學士が極く平易に何人にも解り安く談話體に綴られたもので一讀其の大切なる眼の養生法が知れます

▲婦女教訓書及史傳▼

Google

三輪田高等女學校長　三輪田眞佐子女史著

新家庭訓

全一册和綴美本　大判三〇九頁　正價四拾五錢　郵稅八

序論●女訓今昔の感●少女時代●女性問題●處女時代●女學の要旨●結婚の意義●家庭の中和●家庭の趣味●家庭と道德●婦人の標範●人生と幸福●家庭と食卓●文明の婦人●家庭と快樂●人生と生々の理●犧牲の精神●婦人の小園●眞面目●婦人の天地●紅閨女史の懸隔●理想と空想●母の責任●家庭教育の標準●教育と家庭分子●習慣の勢力●才德の優劣●教育と遺傳●美的趣味●子供なき家庭●生活の改良●成養の經濟●婦人と交際外二十種略

元學習院女子部長　下田歌子女史著

婦女家庭訓

全一册和綴　大判二五一頁　正價參拾五錢　郵稅八

主婦の心得＝九章●夫に對する心得＝廿一章●父母に對する心得＝十一章●舅姑に對する心得＝八章●兄弟姉妹及び小姑に對する心得＝九章●子女に對する心得＝十二章●親族に對する心得＝七章●朋友に對する心得＝九章●婢僕に對する心得＝十章●病人に對する心得＝六章

元學習院女子部長　下田歌子女史著

泰西所見 家庭教育

全一册和綴　大判二四七頁　正價參拾五錢　郵稅八

(一)總論(二)小兒養育●胎育＝五章●哺育＝三章●小兒の衣食住及び疾病＝五章●小兒の動作及び遊嬉＝三章(三)子女教育●單純なる家庭教育＝二章●補充的家庭教育＝二章●心育＝五章●德育＝四章●智育＝三章●美育＝三章

醫學博士　三島通良君著

はゝのつとめ

全一册洋布上製　大判三一二頁　正價七拾五錢　郵稅拾

元學習院女子部長　下田歌子女史著

母親の心得

全一册和綴　大判二五七頁　正價參拾五錢　郵稅八

(一)總論母親の德義＝十節●母親の責務＝五節●母親の注意＝四節(二)姙婦の心得　受胎中の注意＝三節●姙婦の注意＝六節●分娩前後の注意＝四節(三)育兒　小兒の衣食住＝九節●小兒の取扱＝六節●哺乳＝四節●小兒の教養＝六節●生歯及び種痘＝五節●小兒の疾病及び負傷＝四節●遊戲及び玩具＝五節●保姆及び傭の者＝六節(四)學齡未滿幼兒家庭教育　母親の幼兒に對する心得＝八節●德育＝六節●體育＝四節●智育＝七節(五)學齡以上子女家庭教育母親の子女に對する心得●學校と家庭との關係＝三節●通學生徒の取扱ひ＝六節●單純なる家庭教育＝二節

文學士　大町桂月先生著

女學生訓

全一册洋綴　小判二五六頁　正價貳拾五錢　郵稅四

家庭以外學校以外の女子教育家桂月先生が獨特の才筆奇警なる觀察を流し趣味津々として、乾燥無味なる小言の比にあらず、讀んで面白きが上に女子百般の事に關して適切なる訓戒を垂れて女子教育上の指南車たり又木鐸たり、世上の女子は更なり娘を有せらるゝ父母も必ず一本を備へ給はざるべからず

女學世界主筆　松原岩五郎君著

女學生の栞

全一册洋美本　中判三三〇頁　正價參拾五錢　郵稅六

此書は女學世界の責任者松原氏が女子教育に對する多年の抱負を纏にしたるものに、立言の根據は自ら婦人をして獨立自營の氣象を養はしむるに基き、文章は平易流暢を旨とし、丁寧親切よく利害のある處を闡議して聰明なる婦人の智識に訴ふ、世間未婚の女子は勿論、花嫁、主婦、母親、いづれも新日本の淑女たらん人は一讀して著者が爲めの涙の如何なる點に向つて灑げるかを知りたまふべし

Google

元學習院女子部長　下田歌子女史著

少女文庫

全部六冊和製大判美本
紙數各二百三十頁以上
正價一冊參拾五錢　郵税一冊六錢宛
六冊壹圓九拾錢

第一編　お伽噺教草

この書は、少女が家庭教育に裨益あらんことを希ふ爲に東西のお伽噺の中、最も智德の涵養に利あるべしと思ふものを摘み、猶其れを取捨增減して綴れるもの多し、その文章體は尤も平易を旨として記したれば、側ら作文の初學びに最も裨益あるべし、書中對話體は主として都の詞づかひを用ひたれば少女が對話の栞ともなるべし

第二編　庭訓お伽噺

人を喞り笑ふまじき事●大井光遠の妹の人力●猿島をつかふ●妹の說●年經る鯉●いくの野の道●あづまのこと●嗚呼我己が影に怖れし雛●受領の下向●狗大きなる蛇を喰み殺す●猫の恩義●附頭の蛇●宿恩に報ゆ●梅花の屏風●宝車●船の霜●鷹の羽音●商女を憐みて報を得たり●狐の恨み●唐錦紙●ゆみのやみ●昔の事

第三編　内國少女鑑

⊙父母に孝行なりし少女〇橘妙姫〇武林女〇北野の留女外七女⊙主君に忠義なりし少女〇奥州の采女〇堀尾順女〇松山きつ女外四女⊙同胞に友愛なりし少女〇花又姫〇大阪の富女外三女⊙舞踊に對するに道を以てせし少女〇上東門院〇毛利元次の女〇秋山直女⊙恭倹の行ひありし少女〇山城の幼女〇鈴木氏の少女⊙才學に秀でたりし少女〇有智子內親王〇對島の海女〇延政門院〇不知清女〇井上通女〇加賀の千代女外四女⊙手工に長じたりし少女〇中將姫〇北山の刀自〇永井志加女⊙剛勇なりし少女〇米澤の鶴女〇東京の某女

第四編　外國少女鑑

(一)父母に孝行なりし少女＝珠庭の少女＝王子雅の女＝ルイス外三女(二)同胞に友愛なりし少女＝王子雅の女＝羅瑛外二女(三)主君に忠義なりし少女＝周の忠婢＝桑那＝鄧氏の女＝ペトロニトー(四)忠勇絕倫なりし少女＝荀灌＝木蘭＝ジョアンダーク＝アゴスチナ(五)愛國の心厚かりし少女＝晋漆室の女＝サラーペーチユ(六)義を守りて節に屈せざりし少女＝齊公之女＝召南申の女＝李野(七)仁慈の行ひありし少女＝エリサベツスギルバート＝マリー外二名(八)學問に秀でたりし少女＝徐惠＝宋若昭＝マルガレツト(九)材才に長けたりし少女＝班昭＝衞宣の女＝宿瘤女＝アンルイセル(十)技藝に秀でたりし少女＝蔡琰＝ロザベアンハウル

第五編　家庭之心得

少女が家庭に於ける注意●長者に對する心得●少者に對する心得●召使に對する心得●朋友に對する心得　少女が家庭に於ける行爲●長者に對する行ひ●少者に對する行ひ●召使に對する行ひ朋友に對する行ひ　少女が家庭に於ける任務●日課●臨時の事

第六編　學校之心得

就學に就きての心得●少女が就學前の注意●少女が就學中の心得課業中の心得●學術の教場●技藝の教場●體操の教場●音樂の教場放課時間中の心得●短時間の休み●長時間の休み●臨時の休み通學途中の心得●往●復●行往　卒業後の心得●學校に對すること●教師に對すること●同級の友に對すること

二

Google

櫻所　干河岸貫一先生箋釋

◉女訓評釋

全一冊和裝　大判四一〇頁　正價六拾錢　郵稅拾錢

- ●女今川操文庫
- ●女小學
- ●女實語敎
- ●貝原益軒女大學
- ●女庭訓往來
- ●植村玉枝女中庸
- ●女訓孝經
- ●鄭氏女孝經
- ●曹大家女誡
- ●宋若昭女論語
- ●仁孝皇后內訓
- ●王節婦女範捷錄

櫻所　干河岸貫一先生編撰

◉日本女子立志編

全二冊　和裝䗶綴各冊口繪木版彩色挿入大判七二〇頁　正價一冊六拾錢　郵稅八錢宛

上卷目次

賢淑の部　高森夫人●大姥殿●山內一豐の室●春日局●前田利家の夫人●奧村永福の妻●阿爲の方●阿勝の局●三宅女●我忠俊の後●陽和院外三十七名　忠烈の部　眞田大介の母●婦屋中之丞の母●澤橋兵太夫の母●濱口よし女●山本才助の老女●淺岡●小島喜兵衞の妻●原元辰の母外二十女　孝烈の部（上）廣大夫人●喜代姫●尼崎幸右衞門の女●岡心何某の女●妙河尼●大和の伊麻女●菅秋のいと女外四十三名

下卷目次

孝烈の部（下）伊勢のわひ女●豐後のたけ女●安藝のはな女●土佐のかれ女外十七名　貞烈の部　信松院尼●毛利勝永の室●長岡宗信の室●平家の十菜の妻外五十名　勇烈の部　平級因幡の女●富田信高の夫人●天久院外二十九名　文學の部　證明夫人●島津淡路守の室●六浦の少女●菊女●今式部外十五名　才略の部　阿菜局●出口某の妻●大浦良女外四名

東京女學館講師　西田敬止先生著

◉帝國女子修身鑑

全四冊和裝䗶綴　大判四二四頁　正價一冊拾錢　郵稅一冊貳錢

▲婦女作文及習字▼

濱本鶴賓先生著（木版錦繪挿入）

◉婦女敎育明治姫鏡

全一冊和紙刷　大判三一四頁　正價六拾錢　郵稅八錢

讀賣新聞記者　關如來君著（寫眞版十三葉挿入）

◉明治の令孃

全一冊洋裝　中判一八七頁　正價參拾錢　郵稅六錢

讀賣新聞記者　鈴木光次郎君著

◉明治閨秀美譚

全一冊洋裝　小判一七二頁　正價拾貳錢　郵稅貳錢

文學士　中內蝶二君著　山中古洞君畫

◉ジヤンダーク

全一冊洋裝　大判一二八頁　正價拾參錢　郵稅四錢

井上貫軒君著　菱田春草君畫

◉春日局

全一冊洋裝　大判一五〇頁　正價拾參錢　郵稅四錢

藤本藤陰君著　富岡永洗君畫

◉烈女お藤

全一冊洋裝　大判一二四頁　正價拾參錢　郵稅四錢

元學習院女子部長　下田歌子女史著

◉女子作文之栞

全一冊和裝䗶綴　大判二三六頁　正價卅五錢　郵稅八錢

本書は先づ文章は如何にして作るべきものぞと云ふことを示し且つ種々の場合に望みさま〳〵の題を探りては、斯やうの材料に成り立たしむべきものぞと云ふことを敎へたり其の懇切丁寧なることは經驗ある著者のことなれば玆に云ふまでもなし

三一

Google

東京女學館講師　西田敬止先生編

女子消息文範

全一冊　洋裝美製　中判紙數三百頁　正價參拾五錢　郵税六錢

總說　序說●消息文の沿革●同分類●同格式●消息文は簡潔を貴ぶ●言文一致の消息●消息文の練習　文例　祝賀●弔慰●招待●依賴●通知●誘引●答禮●請求●紹介●音物　文範の一　靜寬院の宮の御消息●井伊掃部頭への消息●養行先生への消息●佐藤一齋への消息外卅七章　文範の二　年始の文●婚禮祝儀の文●出産よろこびの文外五十五章　鼇頭消息雜載●古消息●和文消息外數百種

元學習院女子部長　下田歌子女史著

女子書簡文

全一冊和裝美製　大判二一六頁　正價參拾五錢　郵税八錢

書翰文に就きての注意　文章の起源及び女子の消息文●書簡の文章及び字句外二章　作例及び各種の注意　祝賀の文書く心得●哀悼の文書く心得●慰問の文書く心得●招待の文書く心得●依賴の文書く心得●請求の文書く心得●報知の文書く心得●誘引の文書く心得●紹介の文書く心得●謝禮の文書く心得●謝絶の文書く心得●忠告の文書く心得●催促の文書く心得●音物の文書く心得●貸借の文書く心得●口上書認むる心得●届伺願書認むる心得●受取預證等を認むる心得　鼇頭　歷代女子消息文　別れの文●謫居を訪らふ文●物問ひ合する文の返事●産養ひの文●移徙を訪らふ文●新年の文●物借る文●訪問の文●平安を賀する文●書き置く文●乳母の文●侍女を申し請ふ文●外材料百種

樋口一葉女史著

通俗書簡文

全一冊洋裝美製　大判二三九頁　正價貳拾五錢　郵税六錢

本書は閨秀小說家として有名なる、一葉女史樋口夏子君の編する所、君が文壇に於ける位置には世既に定評あり、君がその創作に用ゆる材を藉つてこゝに淑女諸子の爲に經營慘憺これを草す、讀者若し夫れ薰風渡る書窓の下に、穩かに此編を繙て熟讀せば、編中金玉の諸章、燦として得あるべし書牘に諸君がその日常の材たるのみならむや乞ふ御愛讀あれ

佐々木信綱先生著

女子消息文の志をり

全一冊洋裝美製　大判二九八頁　正價五拾錢　郵税八錢

本書は實用雅俗の文、殊に多くの趣味ある題目を撰ばれたれば日常作文の模範となしうべく、以て純雅なる趣味を養ひうべし、卷頭に添へられたる文話約四十頁は、美しく麗かなる筆を以て作文の注意を記されたる者必ずや少なからざる興味を以て讀み了ると共に大に益する處あるべし

佐々木信綱先生　渥美雅子女史　共著

新撰女子用文

全一冊洋裝美製　大判二一八頁　正價參拾錢　郵税六錢

婦女諸君の生涯を通じて最も必要なるものは書翰文なり、その一見易きが最も易きに似て最も難きは書翰文かくことなり、しかも故に、顧らるゝこと少くして、爲によくかく人の多からぬはいと恨むべき限なり、思ふにこの恨をもちて、學ぶべき師なく書なきにくるしめる人、世に少なからざるべし、この女子用文は、さる人々の爲めにつくられしものなれば、或は世の需むる所にかなふべきか

Google

佐々木信綱先生著
●日本婦女用文
全一冊洋装中判三三四頁 正價拾八錢 郵税四錢

元學習院女子部長 下田歌子女史編
學習院女子部教授 阪正臣先生書
●女子用文習字帖
全二冊 大判並製 和紙木版 百四十四枚 正價八拾錢 郵税八錢

巧みなる文章も筆蹟美しからねば人之を卑み筆蹟美しきも文章拙ければ人之を侮る之に反して文章筆蹟兼ね全ければ其人を見ずして先づ其人を敬ふの念を生ず文章筆蹟の人の品格を上下せるや甚しといふべし此事女流の日用文に於て殊に然り實に日用文章と筆蹟との練習は婦人のために最も必要の務めなり此書は文と筆と天下の雙絶を集む女流の習字帖として從來之に勝るものなきなり

大和田建樹先生編
小野鵞堂先生書
●増補 明治女子書翰文
全一冊 大判並製 和紙木版一〇〇枚 正價四拾錢 郵税四錢

本書は建樹大人が、新年より年末に至る時候に應ずる贈答文數十項を、實地通俗に物されしを鵞堂先生が得意の健腕を揮はれたるものにして、以て日用書簡の習字手本となすべく、亦其作文軌範と爲すに足る、何人も一本を求めて座右に備ふべき良書なり

多田親愛先生書
●假名習字帖 古今和歌集序
▲大判特別製
全一冊和本書袖珍入表紙美本 正價八拾錢 郵税四錢 一圓二十錢 郵税六錢

橘千蔭先生書
●高等女子習字帖 鳥丸帖
全一冊和紙木版 大判二四枚 正價參拾五錢 郵税四錢

同先生書
●假名習字帖 新百人一首
全一冊和紙木版 大判五一枚 正價參拾錢 郵税四錢

新岡久賴先生書
●いろは三體帖
全一冊 長方判 折本 正價四拾錢 郵税四錢

▲婦女必讀雜著▼

元學習院女子部長 下田歌子女史著
●女子遊嬉の栞
全一冊和裝 大判三二一頁 正價參拾五錢 郵税八錢

●總論●戸外遊嬉廿五種●室内遊嬉用四種●往古の遊嬉四十二種●物歌十種●わらべ歌廿四種

近藤正一君著
●女子職業案内
全一冊 洋装 長方判四五八頁 正價四拾五錢 郵税六錢

女子の生活●女子の獨立●女子の職業●小學校教員●中等教員●家庭教師●保姆●閨秀文學家●女記者●閨秀畫家●音樂家●寫眞師●割烹教師●茶道教師●挿花の師範●女醫●看護婦●産婆●東京郵便局の事務員●電話交換手●日本銀行女子事務員●通信局電務員●女子の商店員●三越呉服店の女店員●速記者●婦人の諸曲師範●編物師と編物教師●裁縫教師と裁縫師●職工●女工

Google

元祿姉さん著（全一冊洋裝並製大判一六八頁）

●現代生活裏面觀察 呪はれたる女

正價參拾五錢 郵稅六錢

●嫁の最負り・姑の最負●踏付られたる女●女性を呪へる口●お轉婆を作りし社會●囚はれたる女●圖を引損ひし女●美人の立場と醜婦の立場●武器を持てる女●侮辱されたる女●手腕ある女●札に野心家に落ちたり●女は三世の果り●離婚の原因●女學生の行末●都と鄙、婦人兩面觀●婦人と文章●化粧哲學●情の研究

伊達奧州君著

●女性觀 附通人漫語

全一冊洋裝並製長方判一六〇頁 正價貳拾錢 郵稅四錢

女性觀緒論●現外に女は引込み勝なり●感激にして中庸を得難し●女子と感情●女は優しく可憐なるものなり●虛榮、自惚、嫉妬猜疑強きものなり●貞節は婦人の生命なり●女性は愛の權化なり●女性と嫉妬●通人漫語并序●貧の說●戀とは何ぞ●婦人の心得草●歌唄界の消息（其一）●同（其二）●漫語數則（其一）●同（其二）

櫻井鷗村君著

●現代女氣質

全一冊洋裝並製小判三六六頁 正價參拾五錢 郵稅六錢

近松女氣質（六種）●新婦を論ず●嫉婦を憎む●良婦を論ず●女傑の美質●男女相互の鑑識●男子觀●主婦の自殺●女房役●家婦の玉寶●子の愛●家の風介●伯母樣●名士の子に感物あり●女節の一理●みやこ女田舍むすめ●髮の毛一すぢ●男の嫉妬●主人のハンケチ●女子のつゝしみ男子のつゝしみ●亭主の職光●當代の楊貴妃●自轉車をんな●官宅仕ひ●婦女の修養●二代目●御身代り●結婚の木乃●別離の光●一杯の水●かなしき夢●女性の保險●妻の不平（六種）●亭主の不平●貧男子女學を知るの用（岡本綺堂君）

博文館編輯局編纂

●現代婦人 成功立志談 全一冊洋裝並製大判二〇八頁 正價貳拾錢 郵稅貳錢

同所編纂 ●處世百話 全一冊洋裝並製大判二〇八頁 正價貳拾錢 郵稅貳錢

同所編纂 ●女玉手箱 全一冊洋裝並製大判二〇六頁 正價貳拾錢 郵稅貳錢

同所編纂 ●當世交際社會 全一冊洋裝並製大判二〇八頁 正價貳拾錢 郵稅貳錢

同所編纂 ●婦人博覽會 全一冊洋裝並製大判二〇八頁 正價貳拾錢 郵稅貳錢

同所編纂 ●寶の藏 全一冊洋裝並製大判二〇八頁 正價貳拾錢 郵稅貳錢

同所編纂 ●女智惠袋 全一冊洋裝並製大判二〇八頁 正價貳拾錢 郵稅貳錢

同所編纂 ●家庭百生活 全一冊洋裝並製大判二〇八頁 正價貳拾錢 郵稅貳錢

同所編纂 ●女重寶記 全一冊洋裝並製大判二〇八頁 正價貳拾錢 郵稅貳錢

同所編纂 ●新女藝 全一冊洋裝並製大判一一二頁 正價拾錢 郵稅壹錢五厘

Google

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人良藥 中將湯(ちゅうじやうとう)

中將湯は子宮血の道より起る左の諸症を全治す

●子宮病　●血の道
●下腹痛み　●夜眠れず
●難產流產　●氣ふさぎ
●月經不順　●產前產後
●胸先差込　●脚足冷込
●白血赤血　●こしけ
●癇癪ぶり　●月經滯り
●逆上頭痛　●月經痛み

定價
一日分 [illegible]

本舖
東京日本橋通四丁目 津村順天堂本店 振替口座一六八〇番
大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店 振替口座三一六〇番

下り腹止め・ヘ・ル・プ・は家庭の常備藥なり

ヘルプを常に家庭に備へ朝夕二三粒宛服用すれば恐る可きコレラ赤痢等の惡疾を豫防するの特効あり又旅行者は必ず本劑を携帶し汽車汽船中等の應急に的用せらるべし

効能
◉痢病◉腸加答兒◉赤痢◉虎列剌◉暑氣あたり◉時候あたり◉水あたり◉食傷◉總て腸胃を整へ下痢を治し腹痛を癒し身體の衰弱を回復せしむ

定價 十錢 二十錢 三十錢 五十錢 一圓 郵稅二錢

ヘルプは全國到る所の賣藥店にあり

東京市日本橋通四丁目
本舖 津村順天堂本店
大阪市堺筋大寶寺町南
支舖 津村順天堂支店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

監修
小山静子　KOYAMA Shizuko
京都大学大学院教授

女学世界(じょがくせかい) 明治期復刻版58
明治41年2月(第8巻第3号)、3月(第8巻第4号)

2009年7月10日　第1刷発行　定価(本体20,000円+税)

監　修　小山静子
発行者　富澤凡子
発行所　柏書房株式会社
東京都文京区本駒込1-13-14(〒113-0021)
電話　03-3947-8251[営業] 03-3947-8254[編集]
協　力　株式会社博文館新社
印　刷　株式会社友美社
製　本　有限会社青木製本

ISBN978-4-7601-3616-2　C3321

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

U.C. BERKELEY LIBRARIES
C097500378

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA